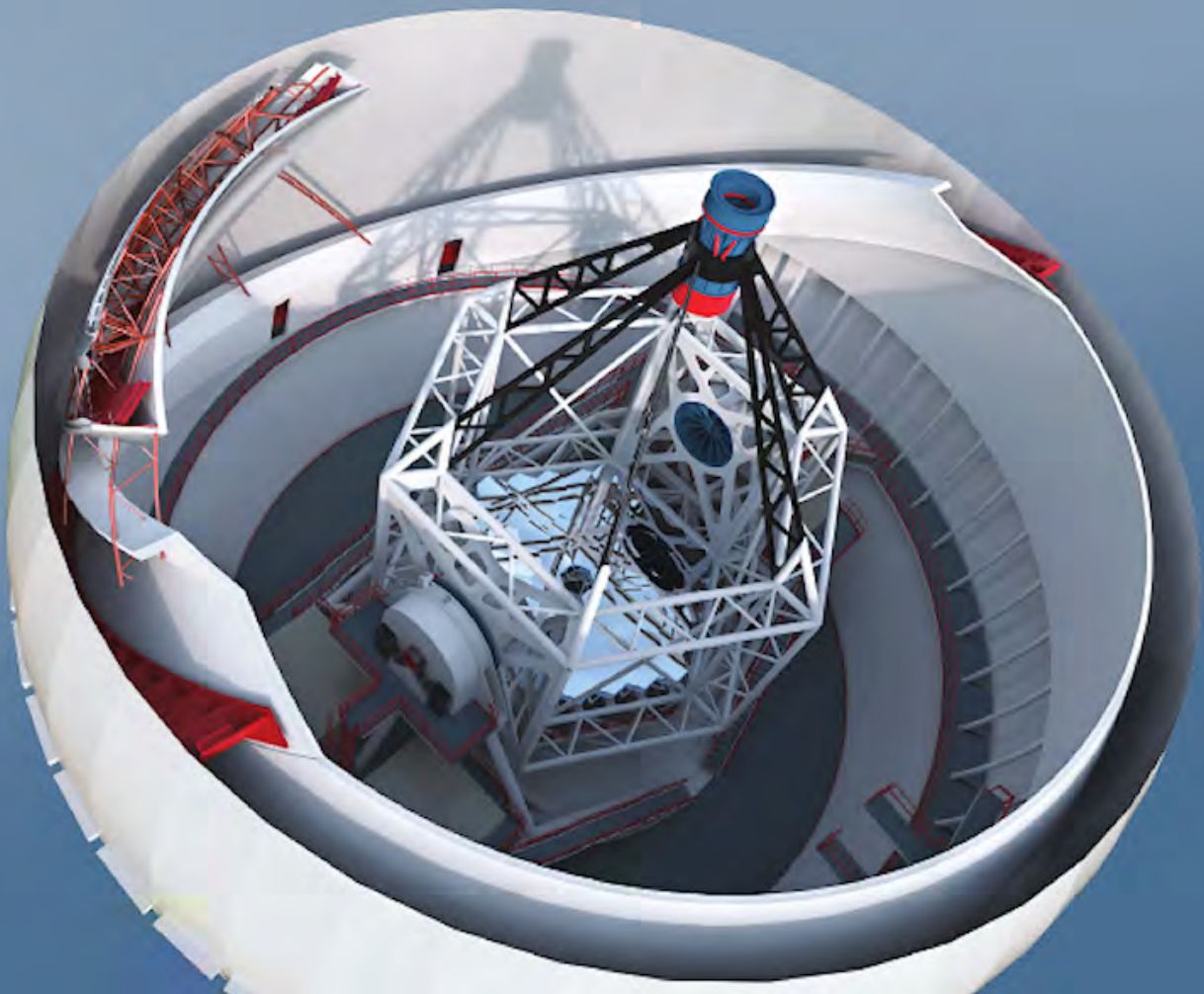




インストレーション ガイド

SOLIDWORKS PDM 2019/SOLIDWORKS Manage 2019



目次

著作権に関する注意書き	9
1 SOLIDWORKS PDM および SOLIDWORKS Manage インストールガイド	12
2 インストールの概要 (Installation Overview)	14
必須インストール コンポーネント (Required Installation Components)	15
オプションのインストール コンポーネント (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	17
SOLIDWORKS PDM 運用シナリオ	18
システム要件 (System Requirements)	21
インストールのまとめ (Installation Summary)	21
インストールに関するサポート (Installation Assistance)	22
3 SQL Server のインストールと設定 (Installing and Configuring SQL Server)	23
SQL Server 2016 および SQL Server 2017 のサポート	24
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストール	24
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 をインストールする前に	24
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールの実行	25
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストール後	30
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールの確認	30
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 へのアップグレード	30
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 へのアップグレードの実行	31
SQL Server 2016 または SQL Server 2017 にアップグレードしてから	33
SQL Server 2014 のサポート	33
SQL Server 2014 のインストール	34
SQL Server 2014 をインストールする前に	34
SQL Server 2014 インストールの実行	34
SQL Server 2014 のインストール後 (After Installing SQL Server 2014)	39
SQL Server 2014 のインストールの検証	39
SQL Server 2014 へのアップグレード (Upgrading to SQL Server 2014)	40
SQL Server 2014 アップグレードの実行 (Performing the Upgrade to SQL Server 2014)	40
SQL Server 2014 へのアップグレード後 (After Upgrading to SQL Server 2014)	43
SQL Server 2012 のインストール	43

SQL Server 2012 をインストールする前に	43
SQL Server 2012 インストールの実行	44
SQL Server 2012 のインストール後	49
SQL Server 2012 のインストールの検証	49
SQL Server 2012 へのアップグレード (Upgrading to SQL Server 2012)	50
SQL Server 2012 アップグレードの実行 (Performing the Upgrade to SQL Server 2012)	50
SQL Server 2012 へのアップグレード後 (After Upgrading to SQL Server 2008)	53
SQL Server のトラブルシューティング (SQL Server Troubleshooting)	53
クライアントがファイルボルトで作業できない	53
SOLIDWORKS PDM の管理機能がエラーになる	54
SOLIDWORKS PDM がサーバーに接続できない	54
SQL サーバーのログイン アカウントを変更する(Changing the SQL Server Login Account)	54
新しい SQL ログイン アカウント (Creating a New SQL Login Account)	55
新しい SQL ログインを SOLIDWORKS PDM アーカイブで使用	55
SQL ユーザーに既存の SOLIDWORKS PDM ファイル ボルト データベースの db_owner アクセスを割り当てる	56
SQL権限が不十分な場合 (Insufficient SQL Permissions)	57
4 SQL Server Express のインストールと設定	58
SQL Server 2014 Express のサポート	58
SQL Server 2014 Express のインストールと管理	58
SQL Server 2014 Express をインストールする前に	59
SQL Server Express Database Engine のインストール	59
SQL Server 2014 Express のインストール後	63
SQL Server 2014 Express のインストールの検証	65
SQL Server 2014 Express を SQL Server 2014 にアップグレードする	65
5 SOLIDWORKS PDM のインストール	66
SOLIDWORKS PDM のインストールの開始	67
SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール	68
データベース サーバーをインストールする前に (Before Installing the Database Server)	69
データベース サーバー インストールの実行 (Performing the Database Server Installation)	69
SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール	71
アーカイブ サーバーをインストールする前に(Before Installing the Archive Server)	71
アーカイブ サーバー インストールの実行 (Performing the Archive Server Installation)	72
クライアント/サーバー通信のためにポートを開く (Opening Ports for Client/Server Communication)	77

WAN 環境でのアーカイブ サーバーの追加 (Adding Archive Servers in a WAN Environment)	79
SolidNetWork ライセンスのインストールと設定 (Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)	81
SolidNetWork License Manager のインストール	81
SolidNetWork ライセンス アクティベーション (Activating a SolidNetWork License)	82
SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用 (Using SolidNetWork License Server with Firewalls)	83
SolidNetWork ライセンス管理 (SolidNetWork License Administration)	84
ライセンス契約 (Licensing)	89
SOLIDWORKS PDM Web サーバーのインストール	93
SOLIDWORKS PDM Web2 のインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	93
Web2 をインストールする前に	93
Web2 Server インストールの実行	98
Running Web2 を実行する IIS サーバー上でのボルト ビューの作成	98
SOLIDWORKS PDM Web2 の設定	99
SOLIDWORKS PDM Web API サーバーのインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	111
Web API サーバー インストールの実行	111
SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール	112
クライアントをインストールする前に (Before Installing Clients)	113
インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール (Installing Clients Using the Installation Wizard)	114
eDrawings をインストールする (Installing eDrawings)	116
SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする	116
インストールのトラブルシューティングのためのログ (Enabling Logging to Troubleshoot Installation)	117
SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブ イメージの作成	117
Windows Active Directory を使ったクライアントの配布 (Deploying Clients Using Windows Active Directory)	118
SOLIDWORKS PDM 配布時ログを有効にする	120
SOLIDWORKS PDM のサイレント インストール スクリプト作成	121
6 SOLIDWORKS Installation Manager の使用	125
SOLIDWORKS PDM	125
PDM Server コンポーネントのリスト	126
PDM クライアントの違いについて	128
PDM Server をインストールする前に	129
SLDIM を使用した PDM Server のインストール	130
SLDIM を使用した PDM Client のインストール	132

7 ローカル ファイルボルト ビューの作成と配布 (Creating and Distributing File Vault Views)	133
ボルトの作成(Vault Creation)	134
前提条件	134
アーカイブ サーバーを追加する(Adding an Archive Server)	135
アーカイブ サーバーにログインする(Logging In to an Archive Server)	135
ボルトの作成 (Creating a Vault)	136
SolidNetWork ライセンス サーバーをファイル ボルト用に設定する	141
ビュー セットアップウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する (Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard)	142
Windows ファイアウォールでブロードキャストを可能にする(Enabling Broadcast with Windows Firewalls)	145
複数のユーザー プロファイルで共有ファイルボルト ビューを使用する (Using a Shared File Vault View with Multiple User Profiles)	146
SOLIDWORKS PDM をターミナル サーバーで使用する	147
ファイルボルト ビュー セットアップ ファイルの作成 (Creating a File Vault View Setup File)	148
ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成 (Scripting File Vault View Setup)	149
Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル ボルト ビューの配布	150
SOLIDWORKS PDM ボルト ID の検索	151
配布されたファイル ボルト ビューを受け取る (Receiving a Distributed File Vault View)	152
WAN環境でファイルボルト ビューを配布する (Distributing File Vault Views in a WAN Environment)	152
SOLIDWORKS PDM クライアントに通知するアーカイブ サーバーを手動で設定	153
SOLIDWORKS PDM 設定グループ ポリシーを手作業で指定	153
SOLIDWORKS PDM 設定ポリシー オプション	154
8 ボルトを Standard から Professional にアップグレードする	158
SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする	159
Professional ライセンスのアクティブ化	159
Standard ボルトのアップグレード	160
SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする	161
ファイル ボルトのアップグレード後	161
9 コンテンツ検索を設定する (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	163
コンテンツ検索の概要 (Content Search Overview)	163
推奨されるコンピュータ構成 (Recommended Computer Configuration)	164
コンテンツ検索での Windows Search の使用	164

Windows Search サービスのインストール.....	165
Windows 7 上での Windows Search サービスの有効化.....	165
Windows Server 2008 R2 上での Windows Search サービスの有効化.....	165
Windows Server 2012 上での Windows Search サービスの有効化.....	166
Windows Search の設定.....	166
Windows Search のアーカイブのインデックス作成.....	167
コンテンツ検索に Microsoft インデックス サービスを使用する.....	168
Microsoftインデックス サービスのインストールを確認する (Verifying Microsoft Indexing Service Installation)	168
Microsoftインデックス サービスをモニタリングし、チューニングする(Monitoring and Tuning the Microsoft Indexing Service).....	168
SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成.....	169
SQLサーバー以外のシステムにインデックス サービスを設定する(Configuring the Index Service on a Non-SQL Server System).....	170
インデックス サーバー フィルタの追加 (Adding Index Server Filters)	172
圧縮アーカイブ (gzip) フィルタ (Compressed Archives (gzip) Filter)	173
ファイルボルト インデックス カタログの管理 (Managing File Vault Index Catalogs)	174
ファイルボルト インデックスを削除する(Removing a File Vault Index).....	174
10 ファイルボルトのバックアップと復元 (Backing Up and Restoring File Vaults)	175
ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database)	176
SOLIDWORKS PDM マスター データベースのバックアップ.....	176
アーカイブ サーバー設定のバックアップ (Backing Up the Archive Server Settings)	177
アーカイブ ファイルのバックアップ (Backing Up the Archive Files)	178
データベース バックアップのスケジュール作成.....	178
SQL Server Agentの開始 (Starting the SQL Server Agent)	178
データベース バックアップのためのメンテナンス プランの設定 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	179
Restoring a File Vault.....	182
SQLサーバー ファイルボルト データベースの復元 (Restoring the SQL Server File Vault Databases)	182
ConisioMasterDbの復元を検証 (Verifying the ConisioMasterDb Restore)	183
アーカイブ サーバーとファイルボルト アーカイブの復元 (Restoring the Archive Server and File Vault Archives)	183
11 SOLIDWORKS PDM のアップグレード.....	184
Enterprise PDMのアップグレードについて (About Enterprise PDM Upgrade)	185
アップグレードの前に (Before Upgrading)	185
現在のバージョンを調べる (Determining the Current Version)	185
どの更新が適用されたかを調べる(Determining Which Updates Have Been Applied).....	186

アーカイブ サーバーのアップグレード (Upgrading the Archive Server)	187
データベース サーバーのアップグレード (Upgrading the Database Server)	187
SolidNetWork License Manager のインストールまたはアップグレード	190
ファイルボルトのアップグレード (Upgrading File Vaults)	190
ファイルボルト データベースをアップグレードする (Upgrading the File Vault Database)	
.....	190
ファイル ボルト アーカイブ (File Vault Archives)	193
SOLIDWORKS PDM での Toolbox のアップグレード	201
 12 SOLIDWORKS ファイルのアップグレード (Upgrading SOLIDWORKS Files)	 203
.....	203
SOLIDWORKS ファイルのアップグレード (Upgrading SOLIDWORKS Files)	203
必要なアップグレード ユーティリティ ソフトウェア (Required Upgrade Utility Software)	
.....	205
システム要件 (System Requirements)	205
ファイルバージョン アップグレード ユーティリティのインストール (Installing the File	
Version Upgrade Utility)	206
アップグレードの準備 (Preparing to Upgrade)	206
バージョン設定を選択(Selecting Version Settings).....	207
ファイルの新しいバージョンを作成する (Creating New Versions of Files)	208
ファイルの既存のバージョンを上書き (Overwriting Existing Versions of Files)	213
トライアル ファイル アップグレードの実行 (Performing a Trial File Upgrade)	221
アップグレード ユーティリティの実行 (Running the Upgrade Utility)	222
作業インストラクション ファイルの作成と使用(Creating and Using Work Instruction	
Files).....	222
中断されたアップグレードを完成する (Completing an Interrupted Upgrade)	224
アップグレード後 (After Upgrading)	224
アップグレード ログのファイル名フォーマット (File Name Formats for Upgrade Logs)	
.....	225
バックアップ ファイルの管理(Managing Backup Files).....	225
バックアップファイルの作成 (Backup File Creation)	225
誤ってアップグレードしたバージョンをバックアップから復元 (Restoring an Incorrectly	
Upgraded Version from a Backup)	226
 13 その他の設定 (Additional Configuration)	 228
SQLトランザクション ログ サイズの管理 (Managing the SQL Transaction Log Size)	228
単純復元モデルに変更 (Changing to the Simple Recovery Model)	229
トランザクション ログの縮小可 (Shrinking the Transaction Log)	229
SOLIDWORKS PDM を IP アドレスのみを使用して通信するように設定する	229
アーカイブ サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート (Updating the	
Archive Server to Communicate Using IP Addresses)	230

SQL サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート (Updating the SQL Server to Communicate Using IP Addresses)	230
SOLIDWORKS PDM クライアントを IP アドレスを使って通信するようにアップデート	231
IP アドレスを使った通信の検証 (Verifying IP Address Communication)	231
サーバー コンポーネントを別のシステムに移動 (Moving Server Components to Another System)	232
ファイルを新しいサーバーにコピー (Copying Files to the New Server)	232
移動した SQL ファイルボルト データベースの設定 (Configuring the Moved SQL File Vault Database)	233
SolidNetWork License Manager の移動	234
SOLIDWORKS PDM データベース サーバーの移行	234
移動したアーカイブ サーバーの設定 (Configuring the Moved Archive Server)	235
クライアント レジストリ キーの更新 (Updating Client Registry Keys)	236
複製設定の更新 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	237
サーバー移動後の検証 (Verifying the Server Move)	237
14 SOLIDWORKS Manage Professional のインストール	238
SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントのリスト	238
SOLIDWORKS Manage Client のタイプとライセンス	239
SOLIDWORKS Manager の前提条件とシステム要件	241
SOLIDWORKS Manage 向け SOLIDWORKS Installation Manager の使用	242
SOLIDWORKS Manage Server のインストール	242
SOLIDWORKS Manage Client のインストール	243
SOLIDWORKS Manage コンフィギュレーション ファイルの編集	243
15 SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設定	245
SOLIDWORKS Manage への初回ログイン	245
SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインの使用	249
SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインの使用	250
IIS の構成	250
IIS ファイル サーバーの確認	251
IIS のトラブルシューティング	252

著作権に関する注意書き

© 1995-2018, Dassault Systemes SolidWorks Corporation, a Dassault Systèmes SE company, 175 Wyman Street, Waltham, Mass. 02451 USA. All Rights Reserved.

本ドキュメントに記載されている情報とソフトウェアは予告なく変更されることがあり、Dassault Systemes SolidWorks Corporation (DS SolidWorks) の保証事項ではありません。

この製品を DS SolidWorks の書面上の許可なしにその目的、方法に関わりなく複製、頒布はできません。

本ドキュメントに記載されているソフトウェアは使用許諾に基づくものであり、当該使用許諾の条件の下でのみ使用あるいは複製が許可されています。DS SolidWorks がソフトウェアとドキュメントに関して付与するすべての保証は、ライセンス契約書に規定されており、本ドキュメントまたはその内容に記載、あるいは黙示されているいかなる事項もそれらの保証、その変更あるいは補完を意味するものではありません。

特許

SOLIDWORKS® 3D mechanical CAD and/or Simulation software is protected by U.S. Patents 6,611,725; 6,844,877; 6,898,560; 6,906,712; 7,079,990; 7,477,262; 7,558,705; 7,571,079; 7,590,497; 7,643,027; 7,672,822; 7,688,318; 7,694,238; 7,853,940; 8,305,376; 8,581,902; 8,817,028; 8,910,078; 9,129,083; 9,153,072; 9,262,863; 9,465,894; 9,646,412; 9,870,436; 10,055,083; 10,073,600 and foreign patents, (e.g., EP 1,116,190 B1 and JP 3,517,643).

eDrawings® software is protected by U.S. Patent 7,184,044; U.S. Patent 7,502,027; and Canadian Patent 2,318,706.

U.S. and foreign patents pending.

SOLIDWORKS 製品とサービスの商標と製品名

SOLIDWORKS、3D ContentCentral、3D PartStream.NET、eDrawings、eDrawings のロゴは DS SOLIDWORKS の登録商標です。FeatureManager DS SOLIDWORKS が共同所有する登録商標です。

CircuitWorks、FloXpress、PhotoView 360、TolAnalyst は DS SolidWorks の商標です。

FeatureWorks は、HCL Technologies Ltd. の登録商標です。

SOLIDWORKS 2019、SOLIDWORKS Standard、SOLIDWORKS Professional、SOLIDWORKS Premium、SOLIDWORKS PDM Professional、SOLIDWORKS PDM Standard、SOLIDWORKS Simulation Standard、SOLIDWORKS Simulation Professional、SOLIDWORKS Simulation Premium、SOLIDWORKS Flow Simulation、SOLIDWORKS CAM、SOLIDWORKS Manage、eDrawings Viewer、eDrawings Professional、SOLIDWORKS Sustainability、SOLIDWORKS Plastics、SOLIDWORKS Electrical Schematic Standard、SOLIDWORKS Electrical Schematic Professional、SOLIDWORKS Electrical 3D、SOLIDWORKS Electrical Professional、CircuitWorks、SOLIDWORKS Composer、SOLIDWORKS Inspection、SOLIDWORKS MBD、SOLIDWORKS PCB powered by Altium、SOLIDWORKS PCB Connector powered by Altium、SOLIDWORKS Visualize は、DS SolidWorks の製品名です。

その他、記載されているブランド名、製品名は各社の商標及び登録商標です。

COMMERCIAL COMPUTER SOFTWARE - PROPRIETARY

本ソフトウェアは、48 C.F.R. 2.101 (OCT 1995) に定義されている「商用品」であり、48 C.F.R. 12.212 (SEPT 1995) で使用されている「商用コンピュータ ソフトウェア」および「商用コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション」で構成されます。本ソフトウェアは、(a) 48 C.F.R. 12.212 に規定された政策に従って、民間機関による、またはそれに代わる取得のため、あるいは (b) 48 C.F.R. 227.7202-1 (JUN 1995) および 227.7202-4 (JUN 1995) に既定された政策に従って、国防総省の一部門による、またはそれに代わる取得のために、米国政府に対して提供されます。

米国政府機関から、上記の規定を超える権利と共にソフトウェアを提供するように要求された場合は、DS SolidWorks にその要求の範囲を通知するものとします。DS SolidWorks は、5 営業日以内に、独自の判断により、そのような要求を受け入れるか拒絶するかを決定します。Contractor/Manufacturer: Dassault Systemes SolidWorks Corporation, 175 Wyman Street, Waltham, Massachusetts 02451 USA.

SOLIDWORKS Standard、Premium、Professional、Education 製品における著作権

Portions of this software © 1986-2018 Siemens Product Lifecycle Management Software Inc. All rights reserved.

この製品には、Siemens Industry Software Limited が所有する、次のソフトウェアが含まれています。

D-Cubed® 2D DCM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® 3D DCM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® PGM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® CDM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® AEM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

Portions of this software © 1998-2018 HCL Technologies Ltd.

本ソフトウェアの一部は NVIDIA 2006-2010 による PhysX™ が含まれています。

Portions of this software © 2001-2018 Luxology, LLC. All rights reserved, patents pending.

Portions of this software © 2007-2018 DriveWorks Ltd.

(c) 2011, Microsoft Corporation. All rights reserved.

Adobe® PDF Library テクノロジーを含みます。

Copyright 1984-2016 Adobe Systems Inc. and its licensors. All rights reserved. Protected by U.S. Patents 5,929,866; 5,943,063; 6,289,364; 6,563,502; 6,639,593; 6,754,382; Patents Pending.

Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、Adobe PDFのロゴ、Distiller、Reader は米国およびその他の国において Adobe Systems Inc. の登録商標または商標です。

DS SolidWorks の詳細な著作権情報については、ヘルプ (Help) > **SOLIDWORKS** について (About **SOLIDWORKS**) を参照してください。

SOLIDWORKS Simulation 製品における著作権

Portions of this software (c) 2008, Solversoft Corporation.

PCGLSS © 1992-2017 Computational Applications and System Integration, Inc. All rights reserved.

SOLIDWORKS PDM Professional 製品における著作権

Outside In® Viewer Technology, © 1992-2012 Oracle

(c) 2011, Microsoft Corporation. All rights reserved.

eDrawings 製品における著作権

Portions of this software © 2000-2014 Tech Soft 3D.

Portions of this software © 1995-1998 Jean-Loup Gailly and Mark Adler.

Portions of this software © 1998-2001 3Dconnexion.

Portions of this software © 1998-2017 Open Design Alliance. All rights reserved.

eDrawings® for Windows® ソフトウェアは部分的に Independent JPEG Group の研究に依存しています。

Portions of eDrawings® for iPad® copyright © 1996-1999 Silicon Graphics Systems, Inc.

Portions of eDrawings® for iPad® copyright © 2003 – 2005 Apple Computer Inc.

SOLIDWORKS PCB 製品における著作権

Portions of this software © 2017-2018 Altium Limited.

SOLIDWORKS Visualize 製品における著作権表示

NVIDIA Corporation のライセンスに基づいて提供される NVIDIA GameWorks™ テクノロジー。
Copyright (C) 2002-2015 NVIDIA Corporation. All rights reserved.

1

SOLIDWORKS PDM および SOLIDWORKS Manage インスト レーション ガイド

SOLIDWORKS® PDM および SOLIDWORKS Manage インストールガイドでは、SOLIDWORKS PDM、SOLIDWORKS Manage、SQL Server Express、および SQL Server のインストール方法と設定方法について説明します。

SOLIDWORKS PDM Standard は、SOLIDWORKS Enterprise PDM を基にした新しい製品です。SOLIDWORKS Professional および SOLIDWORKS Premium に含まれます。

SOLIDWORKS PDM Professional は、以前は SOLIDWORKS Enterprise PDM と呼ばれていた製品の名前です。別途購入して製品を利用することができます。

インストールの概要 (Installation Overview) (14ページ)	必須、オプションのインストール コンポーネント、運用シナリオ、インストールの概要を説明します。
SQL Server のインストールと設定 (Installing and Configuring SQL Server) (23ページ)	SQL Server 2014 と SQL Server 2012 のインストールとアップグレードについて説明します。SQLサーバーのログイン アカウ ントの変更を含みます。
SQL Server Express のインストールと設定	SQL Server 2014 Express のインストールについて説明します。
SOLIDWORKS PDM のインストール (66ページ)	SOLIDWORKS PDM データベース サーバー、アーカイブ サー バー、SolidNetWork License Manager、Web サーバー、および SOLIDWORKS PDM クライアントのインストールについて説明し ます。クライアントのインストールにはアドミニストレーティブ イメージの作成と展開、サイレント インストールのためのスクリ プト作成についての説明が含まれています。
ローカル ファイルボルト ビューの作成と配布 (Creating and Distributing File Vault Views) (133ページ)	ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを 作成します。ライセンスの適用、共有ビューの使用、ファイルボ ルト ビュー セットアップのスクリプト作成、ファイルボルト ビュー の配布についての説明も含まれています。

コンテンツ検索を設定する (SOLIDWORKS PDM Professional のみ) (163ページ)	SOLIDWORKS PDM Professional インデックス サービスの設定について説明します。 ファイルボルト アーカイブのインデックス作成、インデックス サーバー名の更新、ログイン アカウントの変更、インデックス サーバー フィルタの追加が含まれています。
SOLIDWORKS PDM のアップグレード (184ページ)	データベース、アーカイブ、Web サーバー、ファイルボルト データベースとアーカイブ、SOLIDWORKS PDM クライアントのアップグレードについて説明します。
ファイルボルトのバックアップと復元 (Backing Up and Restoring File Vaults) (175ページ)	ファイルボルト データベースのバックアップと、アーカイブ サーバー設定も含めた SOLIDWORKS PDM マスター データベースのバックアップに関して説明します。 データベース バックアップ作業のスケジュール設定とファイルボルトの復旧についての内容も含まれます。
その他の設定 (Additional Configuration) (228ページ)	SQL トランザクション ログ サイズの管理、IP アドレスのみを使用する SOLIDWORKS PDM の通信の設定、サーバー コンポーネントを別システムに移動する方法等について説明します。

SOLIDWORKS Manage Professional では、高度なデータ管理ツールが SOLIDWORKS PDM Professional に提供されます。 高度なバージョン制御機能、およびプロジェクト、プロセス、アイテムの管理機能が提供されます。 SOLIDWORKS Manage を使用するには、SOLIDWORKS PDM Professional ライセンスが必要です。

SOLIDWORKS Manage Professional のアーキテクチャは、SOLIDWORKS PDM Professional に似ています。 アイテムおよびプロジェクト データを管理するために Microsoft SQL Server データベースを用いる、クライアント/サーバー アーキテクチャを使用します。 データベース、ファイル サーバー、Web サーバー機能の 3 つのサービスがあり、シック クライアントと Web ブラウザ クライアントの両方がサポートされます。 これら 3 つのサービスは、同一のサーバー上でホストすることも、別々のサーバー上でホストすることもできます。 SOLIDWORKS Manage Professional Editor のライセンスを所有するユーザーは、SOLIDWORKS Manage アドインを使用すると、SOLIDWORKS の内部から Manage のデータに直接アクセスできます。

SOLIDWORKS Manage Professional のインストール (238 ページ)	SOLIDWORKS Manage Server および Client のインストール要件とインストール プロセス。
SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設定 (245ページ)	SOLIDWORKS Manage の設定とログイン。

2

インストールの概要 (Installation Overview)

この章では以下の項目を含みます：

- 必須インストール コンポーネント (**Required Installation Components**)
- オプションのインストール コンポーネント (**SOLIDWORKS PDM Professional** のみ)
- **SOLIDWORKS PDM** 運用シナリオ
- システム要件 (**System Requirements**)
- インストールのまとめ (**Installation Summary**)
- インストールに関するサポート (**Installation Assistance**)

SOLIDWORKS PDM Standard または SOLIDWORKS PDM Professional は次のものを使用してインストールできます：

- SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM)
- SOLIDWORKS PDM InstallShield ウィザード

使用するインストール方法によって、クライアント コンポーネントとサーバー コンポーネントが次のように別個のフォルダにインストールされます。

- SLDIM を使用する場合

`C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM`

- InstallShield ウィザードを使用する場合

`C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM`

インストール ガイドはどちらのパスにも言及しています。お使いの環境に適切なパスを使用してください。

SolidNetWork License Manager は別途インストールする必要があります。

SOLIDWORKS PDM クライアントと SOLIDWORKS PDM サーバーを別のマシンまたは同じマシンにインストールできます。両方を同じマシンにインストールするには、サーバー インストールを実行する必要があります。

クライアントとサーバーを別個のインストールを使用して同じマシンにインストールすることはできません。

使用可能なライセンスに基づいて製品タイプを選択できます。製品タイプに固有の次のアドインを使用できます。

顧客	製品タイプとアドイン
SOLIDWORKS PDM Standard	SOLIDWORKS PDM CAD Editor • SOLIDWORKS • DraftSight SOLIDWORKS PDM Contributor • DraftSight SOLIDWORKS PDM Viewer アドインなし
SOLIDWORKS PDM Professional	SOLIDWORKS PDM CAD Editor • Microsoft Office との統合 (Microsoft Office Integration) • SOLIDWORKS • DraftSight • Autodesk Inventor • AutoCAD SOLIDWORKS PDM Contributor • Microsoft Office との統合 (Microsoft Office Integration) • DraftSight SOLIDWORKS PDM Viewer • Microsoft Office との統合 (Microsoft Office Integration)

必須インストール コンポーネント (Required Installation Components)

SOLIDWORKS PDM を使用するには、次のコンポーネントがインストールおよび設定済みである必要があります。

Microsoft SQL Server	SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト データベースは、SQL Server 2017、SQL Server 2016、SQL Server 2014、または SQL Server 2012 でホストする必要があります。 SQL Server ソフトウェアは SOLIDWORKS DVD には含まれておらず、別途インストールする必要があります。
----------------------	---

Microsoft SQL Server Express	SOLIDWORKS PDM Standard ファイルボルト データベースは SQL Server 2014 Express でホストする必要があります。 SQL Server Express ソフトウェアは、SOLIDWORKS DVD に含まれています。
SOLIDWORKS PDM データベースサーバー	データベースサーバーは通知やローカルビューのリフレッシュ、複製スケジュールの更新、インデックスサーバーの変更などがあつたかどうか調べるために SOLIDWORKS PDM データベースを定期的にポーリングします。また、データ インポートおよびエクスポートのルールも管理します。
SOLIDWORKS PDM アーカイブサーバー	アーカイブサーバーはファイルボルトに格納された物理ファイルをホストし、ユーザーとその認証情報を管理します。
SolidNetWork License Manager	SolidNetWork License Manager は SOLIDWORKS PDM のライセンスを管理します。 SOLIDWORKS に既に SolidNetWork License Manager がインストールされている場合、SOLIDWORKS PDM で使用することができます。SOLIDWORKS PDM のリリースバージョンに更新されていることを確認します。
SOLIDWORKS PDM Professional クライアント	SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルトにアクセスする各コンピュータには以下のクライアントの 1 つがインストールされている必要があります: SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor & Web 全てのファイル タイプをサポートし、SOLIDWORKS を含む CAD フォーマットの管理とプレビュー機能が強化されています。CAD アドインの使用により、CAD アプリケーションから SOLIDWORKS PDM Professional にアクセスすることも可能です。 SOLIDWORKS PDM Professional Contributor & Web CAD ファイルを含む全てのファイルタイプをサポートしています。しかし、このクライアントタイプに対しては CAD アドインはサポートされていません。 SOLIDWORKS PDM Professional Viewer ファイルボルトに読みとり専用のアクセスを提供します。ユーザーはファイルを追加、変更（チェックアウト、チェックイン、値を更新）したり CAD アドインを使用することはできません。

SOLIDWORKS PDM Standard

SOLIDWORKS PDM Standard ファイル ボルトにアクセスする各コンピュータには以下のクライアントの 1 つがインストールされている必要があります:

SOLIDWORKS PDM Client CAD Editor SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。Office プラグインで処理されるすべてのファイル フォーマットは、プレビューを除き、SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動作します。

SOLIDWORKS PDM Standard Contributor SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。

SOLIDWORKS PDM Standard Viewer ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可します。ユーザーはファイルを追加、変更 (チェックアウト、チェックイン、値を更新) できません。

オプションのインストール コンポーネント (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

次のインストレーション コンポーネントはオプションです:

SOLIDWORKS PDM Web サーバー Webサーバーはインターネットあるいはイントラネットからのファイルボルトへのアクセスを提供します。

SOLIDWORKS PDM インデックス サーバー SOLIDWORKS PDM インデックス サーバーはファイル ボルトに格納された多くのファイル タイプに対するフル コンテンツ検索を可能にします。

SOLIDWORKS PDM Web API サーバー EXALEAD® OnePart ユーザーは、Web API サーバーを使用し、SOLIDWORKS PDM データをインデックス化して検索できます。

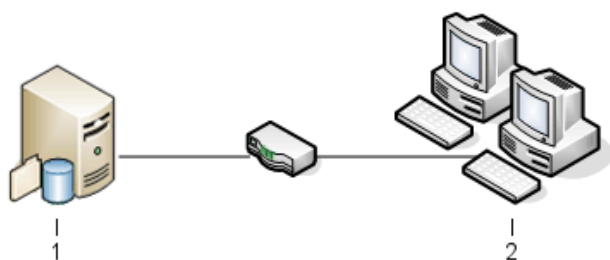
Microsoft Internet Information Services 7 以降のバージョン (IIS) をインストールする必要があります。

SOLIDWORKS PDM 運用シナリオ

SOLIDWORKS PDM コンポーネントの運用は、SOLIDWORKS PDM を使用する組織のサイズやタイプによって異なります。

中規模なオフィス ネットワーク (Medium Office Network)

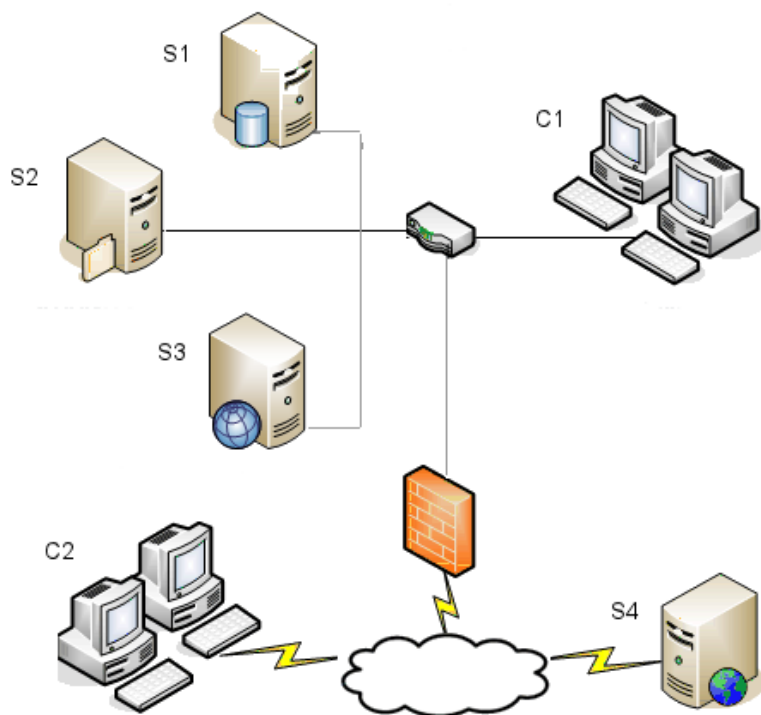
SOLIDWORKS PDM Professional 用に SQL Server を実行するサーバー、または SOLIDWORKS PDM Standard 用に SQL Server Express を実行するサーバーは、アーカイブ サーバー、データベース サーバー、SNL サーバーをホストします。このサーバーに SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールした Windows ワークステーションが接続されます。



1	SQL、データベース、SNL、アーカイブ サーバー
2	クライアント

大規模なオフィス ネットワーク (Large Office Network)

Microsoft SQL Server</Z1>を実行するサーバー1</Z2>台がファイルボルト データベースとデータベース サーバーをホストします。1 台のサーバーがアーカイブ サーバーをホストし、別のサーバーが SNL サーバーをホストします。これらのサーバーに SOLIDWORKS PDM Professional クライアントをインストールしたワークステーションが接続されます。Web サーバーを使用することにより、SOLIDWORKS PDM Web クライアントを使用してインターネットを介したアクセスが可能になります。

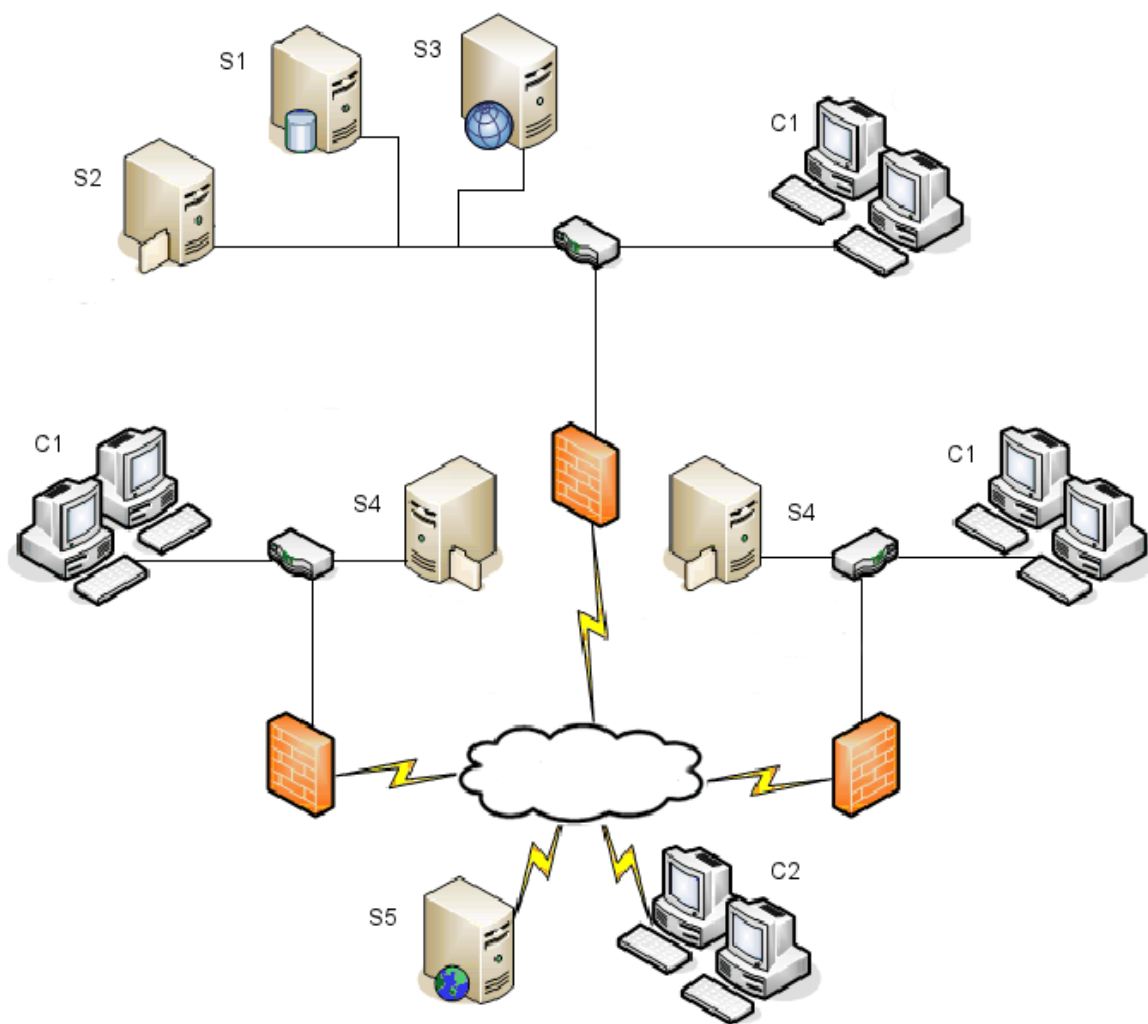


S1	SQLおよびデータベース サーバー	S4	Web サーバー
S2	アーカイブ サーバー	C1	クライアント
S3	SNL サーバー	C2	Web クライアント

WAN接続された複数のオフィス (WAN Connected Offices)

SQL Serverを実行するメインのサーバー1台がセントラルデータベース サーバーをホストします。2 台目のサーバーがアーカイブ サーバーをホストし、3 台目のサーバーが SNL サーバーをホストします。各 WAN オフィスには、ローカル アーカイブ サーバーをホストし、複製されたファイルボルト アーカイブを持つサーバーが存在します。

SOLIDWORKS PDM Professional クライアントをインストールしたワークステーションがローカル アーカイブ サーバーならびにセントラル データベース サーバーに接続されます。



S1	SQLおよびデータベース サーバー	S5	Web サーバー
S2	アーカイブ サーバー	C1	クライアント
S3	SNL サーバー	C2	Web クライアント
S4	複製ファイル ボルトのあるアーカイブ サーバー		

システム要件 (System Requirements)

SOLIDWORKS PDM のシステム要件については、SOLIDWORKS Web サイトをご覧ください。

<http://www.solidworks.com/sw/support/pdmsystemrequirements.html>.

インストールのまとめ (Installation Summary)

各コンポーネントはどの順序でインストールしてもかまいませんが、LAN</Z1>インストール向けの推奨される順序を紹介します。

SOLIDWORKS PDM Professional コンポーネントをインストールするには:

1. 既に SQL Server または SQL Express を実行している場合を除き、SOLIDWORKS PDM Professional ファイルボルト データベースをホストしているシステムに SQL Server をインストールするか、SOLIDWORKS PDM Standard ファイルボルト データベースをホストしているシステムに SQL Express をインストールする。
詳細は、[SQL Server のインストールと設定 \(Installing and Configuring SQL Server\)](#) (23ページ) を参照してください。
2. SQL</Z1>サーバーを実行中のシステム上にデータベース サーバー コンポーネントをインストールする。
詳細は、[SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール](#) (68ページ) を参照してください。
3. アーカイブ サーバーを、SQL Server</Z1>が稼働しているシステムまたは別のシステムにインストールする。
詳細は、[SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール](#) (71ページ) を参照してください。
4. すべてのクライアントにアクセスできるサーバー（できれば SQL データベース サーバー）に、SolidNetWork License Manager をインストールして構成します。
詳細は、[SolidNetWork ライセンスのインストールと設定 \(Installing and Configuring SolidNetWork Licensing\)](#) (81ページ) を参照してください。

5. ファイルボルト内で稼働するすべてのワークステーションに SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールする。
詳細は、[SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール](#) (112ページ) を参照してください。
6. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使用して、SOLIDWORKS PDM クライアントがインストールされたシステムに新規のファイルボルトを作成する。
詳細は、[ボルトの作成](#)を参照してください。
7. 残りのクライアントをアーカイブ サーバーに接続し、ビュー セットアップ (View Setup) ウィザードを使用してローカル ファイルボルトを作成する。
詳細は、[ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する \(Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard\)](#) (142ページ) を参照してください。
8. 必要に応じて、コンテンツ検索サポートのため、SOLIDWORKS PDM Professional インデックス サーバーをセットアップする
詳細は、[コンテンツ検索を設定する \(SOLIDWORKS PDM Professional のみ\)](#) (163ページ) を参照してください。

インストールに関するサポート (Installation Assistance)

SOLIDWORKS 製品の一次技術サポートは販売代理店が提供します。

サポートが必要な場合代理店にお問い合わせ下さい。

- <http://www.solidworks.com/sw/support/customer-software-support.htm>を参照してください。
- 1-800-693-9000に連絡 (米国およびカナダの場合)
- 1 978-371-5011に連絡 (上記以外の地域の場合)
- customercenterSR@solidworks.com に電子メールを送信してください。

3

SQL Server のインストールと設定 (Installing and Configuring SQL Server)

この章では以下の項目を含みます：

- [SQL Server 2016 および SQL Server 2017 のサポート](#)
- [SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストール](#)
- [SQL Server 2016 または SQL Server 2017 へのアップグレード](#)
- [SQL Server 2014 のサポート](#)
- [SQL Server 2014 のインストール](#)
- [SQL Server 2014 へのアップグレード \(Upgrading to SQL Server 2014\)](#)
- [SQL Server 2012 のインストール](#)
- [SQL Server 2012 へのアップグレード \(Upgrading to SQL Server 2012\)](#)
- [SQL Server のトラブルシューティング \(SQL Server Troubleshooting\)](#)
- [SQL サーバーのログイン アカウントを変更する\(Changing the SQL Server Login Account\)](#)

SOLIDWORKS PDM Professional はMicrosoft SQL ベースのデータベースを使ってファイルボルト内のファイルや処理についての情報を格納します。 ファイル ボルトでは、SQL Server 2012 以降のバージョンが必要です。

推奨事項: SQL Server 2014 を使用してファイルボルト データベースをホストします。

Microsoft SQL Server 2014 DVD は、SOLIDWORKS PDM メディア キットに含まれています。 ダウンロードには含まれていないため、ダウンロードされたキットからインストールする場合は、SQL Server ソフトウェアを別途入手する必要があります。

必要なバージョンのSQL Serverがインストールされている場合には、 [SOLIDWORKS PDM のインストール](#) (66ページ) に進んでください。

インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、 [Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

SQL Server 2016 および SQL Server 2017 のサポート

SOLIDWORKS PDM Professional 2017 以降は、SQL Server 2016 の使用をサポートしています。SOLIDWORKS PDM Professional 2019 以降は、SQL Server 2017 以前の使用をサポートしています。

他のチャネルを通じて SQL Server 2016 を購入したお客様についても、既存の SQL Server に対する十分な SQL クライアント アクセス ライセンスがある場合は、SOLIDWORKS PDM 2017 以降での SQL Server 2014 の使用がサポートされます。

他のチャネルを通じて SQL Server 2017 を購入したお客様についても、既存の SQL Server に対する十分な SQL クライアント アクセス ライセンスがある場合は、SOLIDWORKS PDM 2019 以降での SQL Server 2014 の使用がサポートされます。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストール

SQL Server 2016 および SQL Server 2017 インストーラでは、Windows Vista 以降で実行する場合の注意事項を含むヘルプが提供されます。SQL Server オンラインブックは、ハードウェア要件とソフトウェア要件、およびインストールに関する詳細な情報を提供します。

詳細は、<https://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb500469.aspx>を参照してください。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 をインストールする前に

ローカル インストールの場合は、管理者として**セットアップ(Setup)**を実行する必要があります。SQL Server 2016 または 2017 をリモート共有からインストールする場合は、リモート共有で読み取りアクセス許可と実行アクセス許可のあるドメイン アカウントを使用する必要があります。

SOLIDWORKS PDM がシステムにインストールされている場合、**プログラムのアンインストール (Uninstall a program)** を使って **Microsoft SQL Server 2014 の旧バージョンとの互換性 (Microsoft SQL Server 2014 Backward Compatibility)** パッケージをアンインストールしてから SQL Server 2016 または 2017 のインストールを開始してください。

Microsoft .Net framework version 3.5 SP01 と Windows Installer 4.5 が必要となります。インストールされていない場合、インストール ウィザードは SQL Server 2016 または 2017 のインストールを開始する前にこれらをインストールします。これらのインストールには、コンピュータの再起動が必要となる場合もあります。

Windows Server 2008 R2 x64 において、.Net framework 3.5 SP01 をインストールするには、**マイ コンピュータ (My Computer)** を右クリックし、**管理 > フィーチャー**を選択します。フィーチャーの追加ウィザード(Add Features Wizard)で、フィーチャー(Features)ページで、**.Net**

Framework 3.5.1 Features を展開し、**.Net Framework 3.5.1 (Installed)**を選択します。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールの実行

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2016 または SQL Server 2017 インストール メディアを挿入します。ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックし、指示のある場合を除いてデフォルト設定を使用します。

スクリーン	動作
SQL Serverインストール センター/Planning	左側パネルで インストール (Installation) を選択します。
SQL Serverインストール センター/Installation	新規インストールの作成または既存のインストールへの機能の追加 (New SQL Server stand-alone installation or add features to an existing installation) をクリックします。
プロダクト キー	プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力します。 次へ (Next) をクリックします。
ライセンス条項	- 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があります。 次へ (Next) をクリックします。
インストールのルール	インストーラは再びチェックを実行します： - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。

スクリーン	動作
機能の選択	a. インスタンス機能(Instance Features)でデータベースエンジン サービス(Database Engine Services)を選択します。 b. 共有機能(Shared Features)で次を選択します： • クライアント ツール接続 • Integration Services • クライアント ツールの旧バージョンとの互換性 • ドキュメントコンポーネント SQL Server 2017 のインストール時に、ドキュメントコンポーネント (Documentation Components) オプションは使用できません。 c. 次へ (Next) をクリックします。
インスタンスの構成	新しいインストールの場合： a. 既定のインスタンス(Default instance)を選択します。 b. 次へ (Next) をクリックします。 SQL サーバーがシステムにインストールされていて、アップグレードを行わない場合： a. 名前付きインスタンス (Named Instance)を選択します。 b. このインストールに対するユニークなインスタンス名を入力します： <code>computername\instancename.</code> c. 次へ (Next) をクリックします。

スクリーン	動作
サーバーの構成 (Server Configuration) / サービス アカウントタブ	SQL Server Agent: • アカウント名(Account Name): NT Service\SQLSERVERAGENT • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)
	SQL Server データベース エンジン: • アカウント名(Account Name): NT Service\MSSQLSERVER • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)
	SQL Server Integration Services 13.0: • アカウント名(Account Name): NT Service\MsDtsServer130 • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)
	SQL Server 2017 の場合: SQL Server Integration Services 14.0 • アカウント名(Account Name): NT Service\MsDtsServer140 • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)
	SQL Server Browser: • アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)

スクリーン	動作
データベース エンジンの構成 データ ディレクトリまたは FILESTREAM タブの設定は変更しないでください。	混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証) (Mixed Mode (SQL Server authentication and Windows authentication)) を選択します。SOLIDWORKS PDM Professional はデータベース通信に SQL サーバー認証を使用します。 - システム管理者アカウント (sa) のパスワードを入力します。パスワードは空白のままにしないで下さい。パスワードの規則に関しては、ヘルプ (Help) を参照してください。 パスワードを再入力して確認します。 SOLIDWORKS PDM Professional ファイルボルトデータベースの設定をする際に使用するの、このパスワードを覚えておいてください。 SQL Server 管理者の指定 (Specify SQL Server administrators) で現在のユーザーを追加 (Add Current User) をクリックします。 次へ (Next) をクリックします。
インストールのルール	インストーラは、SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールを妨げる問題がないかチェックします。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。
インストールの進行状況 (Installation Progress)	インストールには長い時間がかかる場合もあります。SQL Serverの旧バージョンとの互換性ファイル関連のエラーが表示されたら、インストールをキャンセルします。 プログラムのアンインストール (Uninstall a program) を使用して、Microsoft SQL Server 2014 の旧バージョンとの互換性パッケージをアンインストールします。次に、SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールを再開します。 進行状況バーにセットアップ処理が完了しました(Setup process complete)が表示されたら、次へ (Next) をクリックします。

スクリーン	動作
完了	閉じるをクリックします。 コンピュータを再起動する必要があるとするメッセージが表示された場合は、OK をクリックします。再起動が自動的に開始されない場合は、コンピュータを手動で再起動します。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストール後

ネットワーク上で安全なSQL通信を行いたい場合、認証サーバーがあればSSL暗号化を使用できます。

詳細については、以下の Microsoft 技術情報を参照してください。

- <https://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb500395.aspx>
- <https://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms143219.aspx>

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールの確認

SQL Server 2016 または 2017 が正しくインストールされたことを確認するには:

1. SQL Server 構成マネージャー を起動します。
2. **SQL Server 2016 サービス (SQL Server 2016 Services)** または **SQL Server 2017 サービス (SQL Server 2017 Services)** をクリックし、**SQL Server (MSSQLSERVER)** が実行されているかどうかを確認します。
3. 実行されていない場合は、**SQL Server (MSSQLSERVER)** を右クリックし**開始 (Start)** をクリックして、サービスを開始します。
4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 へのアップグレード

既存の SQL Server SQL 2012 インスタンスを SQL Server 2016 または SQL Server 2017 にアップグレードするには次の手順に従ってください。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 にアップグレードする場合は、[Microsoft ドキュメント](#) ページにアクセスし、アップグレード情報を検索してください。

インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、[Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

サーバー インスタンスがアップグレードされると、全てのファイル ボルト データベースは自動的に SQL Server 2016 フォーマットにアップグレードされます。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 へのアップグレードの実行

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2016 または SQL Server 2017 インストール メディアを挿入します。ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックし、指示のある場合を除いてデフォルト設定を使用します。

指示のある場合を除いてデフォルトの設定を使用します。

画面	動作
SQL Server インストール センター/Planning page	左側パネルで インストール (Installation) を選択します。
SQL Server インストール センター/Installation page	SQL Server の前バージョンからアップグレード (Upgrade from a previous version of SQL Server) をクリックします。
プロダクト キー	プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力します。 次へ (Next) をクリックします。
ライセンス条項	- 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があります。 次へ (Next) をクリックします。
アップグレードのルール	インストーラは再びチェックを実行します。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
インスタンスの選択	SQL サーバー インスタンスを選択し、アップグレードします。 MSSQLSERVER はデフォルトです。
フィーチャーの選択	アップグレードされるインストール済みのSQL機能がリストに表示されます。 次へ (Next) をクリックします。
インスタンスの構成	アップグレードされる名前付きインスタンスが表示されます。 次へ (Next) をクリックします。
サーバーの構成	次へ (Next) をクリックします。

画面	動作
アップグレードのルール	インストーラは、SQL Server 2014 へのアップグレードを妨げる問題がないかチェックします。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
アップグレードの準備完了	アップグレード をクリックします。
アップグレードの進行状況	全てのコンポーネントのアップグレードが完了したら、 次へ をクリックします。
完了	閉じる をクリックします。
SQL Serverインストール センター	右上隅にある X をクリックし、閉じます。

SQL Server 2016 または SQL Server 2017 にアップグレードしてから

- アップグレードを確認します。
詳細は、[SQL Server 2016 または SQL Server 2017 のインストールの確認](#) (30ページ) を参照してください。
- 問題のトラブルシューティング。
詳細は、[SQL Server のトラブルシューティング](#)を参照してください。

SQL Server 2014 のサポート

SOLIDWORKS PDM Professional 2016 は、SQL Server 2014 の使用をサポートしています。

他のチャネルを通じて SQL Server 2014 を購入したお客様についても、既存の SQL Server に対する十分な SQL クライアント アクセス ライセンスがある場合は、SOLIDWORKS PDM 2016 での SQL Server 2014 の使用がサポートされるようになりました。

SQL Server 2014 のインストール

SQL Server 2014 インストーラでは、Windows Vista またはそれ以降で実行する場合の注意事項を含むヘルプが提供されます。SQL Server 2014 オンライン ブックは、ハードウェア要件とソフトウェア要件、およびインストールに関する詳細な情報を提供します。

詳細については、<http://msdn.microsoft.com/en-in/library/bb545450.aspx> を参照してください。

SQL Server 2014 をインストールする前に

ローカル インストールの場合は、管理者として**セットアップ(Setup)**を実行する必要があります。SQL Server 2014 をリモート共有からインストールする場合は、リモート共有で読み取りアクセス許可と実行アクセス許可のあるドメイン アカウントを使用する必要があります。

SOLIDWORKS PDM がシステムにインストールされている場合は、SQL Server 2014 のインストールを開始する前に、**プログラムのアンインストール (Uninstall a program)**を使用して **Microsoft SQL Server 2012 の旧バージョンとの互換性 (Microsoft SQL Server 2012 Backward Compatibility)**パッケージをアンインストールします。

Microsoft .Net framework version 3.5 SP01 と Windows Installer 4.5 が必要となります。インストールされていない場合、インストール ウィザードは SQL Server 2014 のインストールを開始する前にこれらをインストールします。これらのインストールには、コンピュータの再起動が必要となる場合もあります。

Windows Server 2008 R2 x64 において、.Net framework 3.5 SP01 をインストールするには、**マイ コンピュータ (My Computer)** を右クリックし、**管理 > フィーチャー**を選択します。フィーチャーの追加ウィザード(Add Features Wizard)で、フィーチャー(Features)ページで、**.Net Framework 3.5.1 Features**を展開し、**.Net Framework 3.5.1 (Installed)**を選択します。

SQL Server 2014 インストールの実行

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2014 のインストール メディアを挿入します。ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックし、指示のある場合を除いてデフォルト設定を使用します。

スクリーン	動作
SQL Serverインストール センター/Planning	左側パネルで インストール (Installation) を選択します。
SQL Serverインストール センター/Installation	新規インストールの作成または既存のインストールへの機能の追加 (New SQL Server stand-alone installation or add features to an existing installation) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラは、SQL Server サポート ファイルのインストールを妨げる問題がないかチェックします： - 問題がなければ、OK をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
プロダクト キー	a. プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力します。 b. 次へ (Next) をクリックします。
ライセンス条項	a. 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があります。 b. 次へ (Next) をクリックします。
セットアップ サポート ファイル	インストール (Install) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラは再びチェックを実行します： - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。

スクリーン	動作
機能の選択	インスタンス機能(Instance Features)でデータベース エンジン サービス(Database Engine Services)を選択します。 共有機能(Shared Features)で次を選択します： - クライアント ツール接続 Integration Services - クライアント ツールの旧バージョンとの互換性 - ドキュメントコンポーネント - 管理ツール – 基本 - 管理ツール – 完全 次へ (Next) をクリックします。
インスタンスの構成	新しいインストールの場合： 既定のインスタンス(Default instance)を選択します。 次へ (Next) をクリックします。 SQL サーバーがシステムに既にインストールされていて、アップグレードを行わない場合は： 名前付きインスタンス (Named Instance)を選択します。 - このインストールに対するユニークなインスタンス名を入力します： <pre>computername\instancename.</pre> 次へ (Next) をクリックします。
必要なディスク領域	必要なディスク領域が満たされている場合は、次へ (Next) をクリックします。 必要なディスク領域条件が満たされない場合： - 領域が必要とされます。 キャンセル (Cancel) をクリックします。 - 必要な領域を確保します。 - インストールを再実行します。

スクリーン	動作
サーバーの構成 (Server Configuration) / サービスアカウントタブ	SQL Server Agent: • アカウント名: NT Service\SQLAgent\$*INSTANCENAME* • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動
	SQL Server データベース エンジン: • アカウント名(Account Name): NT Service\MSSQL\$*INSTANCENAME* • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)
	SQL Server Integration Services 12.0: • アカウント名(Account Name): NT Service\MsDtsServer120 • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動
	SQL Server Browser: • アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE • スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動
サーバーの構成 (Server Configuration) / 照合順序タブ	- データベース エンジン (Database Engine) の場合、カスタマイズ (Customize) をクリックします。 - ダイアログ ボックスで Windows 照合順序指定子と並べ替え順序 を選択し、ロケールと一致する 照合順序指定子 を選択します。他の選択内容はそのままにします。 SOLIDWORKS PDM はバイナリ設定のサーバーでは使用できません。 次へ (Next) をクリックします。

スクリーン	動作
データベース エンジンの構成/ アカウントの準備タブ データ ディレクトリまたは FILESTREAMタブの設定は 変更しないでください。	a. 混合モード (SQL Server 認証とWindows 認証) を選択します。SOLIDWORKS PDM Professional はデータベース通信に SQL サーバー認証を使用します。 b. システム管理者アカウント (sa) のパスワードを入力します。パスワードは空白のままにしないで下さい。パスワードの規則に関しては、ヘルプを参照してください。 パスワードを確認するため、再び入力します。 SOLIDWORKS PDM Professional ファイルボルト データベースの設定をする際に使用するの、このパスワードを覚えておいてください。 c. SQL Server 管理者の指定 (Specify SQL Server administrators) で追加 (Add) をクリックします。 d. ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択ダイアログ ボックスで、システムのローカル管理者または Administratorsグループの名前を入力します。 e. 次へ (Next) をクリックします。
データベース エンジンの構成/ データ ディレクトリ タブ	(オプション) SOLIDWORKS PDM Professional が作成するデータベースが保存されるデフォルト フォルダを変更するには、ユーザー データベース ディレクトリとユーザー データベース ログ ディレクトリの場所を変更します。
エラーと使用状況レポート	次へ (Next) をクリックします。
インストールのルール	インストーラは、SQL Server 2014 のインストールを妨げる問題がないかチェックします。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。

スクリーン	動作
インストールの進行状況 (Installation Progress)	インストールには長い時間がかかる場合もあります。SQL Serverの旧バージョンとの互換性ファイル関連のエラーが表示されたら、インストールをキャンセルします。 プログラムのアンインストール (Uninstall a program) を使用して、Microsoft SQL Server 2012 の旧バージョンとの互換性パッケージをアンインストールします。その後 SQL Server 2014 のインストールを再実行してください。 進行状況バーにセットアップ処理が完了しました(Setup process complete)が表示されたら、次へ (Next) をクリックします。
完全	閉じるをクリックします。 コンピュータを再起動する必要があるとするメッセージが表示された場合は、OKをクリックします。再起動が自動的に開始されない場合は、コンピュータを手動で再起動します。

SQL Server 2014 のインストール後 (After Installing SQL Server 2014)

ネットワーク上で安全なSQL通信を行いたい場合、認証サーバーがあればSSL暗号化を使用できます。

詳細については、[Microsoft サポート](#) ページを参照し、ナレッジ ベースの記事 318605 を検索してください。

SQL Server 2014 のインストールの検証

SQL Server 2014 が正しくインストールされたことを確認するには:

1. SQL Server 構成マネージャー を起動します。
2. **SQL Server 2014 のサービス (SQL Server 2014 Services)** をクリックし、**SQL Server (MSSQLSERVER)** が実行されているか確認します。
3. 実行されていない場合、**SQL Server (MSSQLSERVER)**を右クリックして**開始 (Start)** を選択します。
4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

SQL Server 2014 へのアップグレード (Upgrading to SQL Server 2014)

既存の SQL Server SQL 2008R2 または SQL Server SQL 2012 のインスタンスを SQL Server 2014 にアップグレードするには、次の手順に従ってください。

SQL Server 2014 にアップグレードする場合は、[Microsoft ドキュメント](#) ページにアクセスし、アップグレード情報を検索してください。

インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、[Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

サーバー インスタンスがアップグレードされると、全てのファイル ボルト データベースは自動的に SQL Server 2014 フォーマットにアップグレードされます。

SQL Server 2014 アップグレードの実行 (Performing the Upgrade to SQL Server 2005)

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2014 インストール メディアを挿入し、ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックします。
- 指示のある場合を除いてデフォルトの設定を使用します。

スクリーン	動作
SQL Server インストール センター/Planning page	左側パネルで インストール (Installation) を選択します。
SQL Server インストール センター/Installation page	SQL Server 2005、SQL Server 2008、SQL Server 2008 R2 または SQL Server 2012 からのアップグレード (Upgrade from SQL Server 2005, SQL Server 2008, SQL Server 2008 R2 or SQL Server 2012) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラは、SQL Serverサポート ファイルのインストールを妨げる問題がないかチェックします： - 問題がなければ、OK をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
プロダクト キー	a. プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力します。 b. 次へ (Next) をクリックします。
ライセンス条項	a. 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があります。 b. 次へ (Next) をクリックします。
セットアップ サポート ファイル	インストール (Install) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラは再びチェックを実行します。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。

スクリーン	動作
インスタンスの選択	SQL サーバー インスタンスを選択し、アップグレードします。 MSSQLSERVER はデフォルトです。
フィーチャーの選択(Select Features)	アップグレードされるインストール済みのSQL機能がリストに表示されます。 次へ (Next) をクリックします。
インスタンスの構成	アップグレードされる名前付きインスタンスが表示されます。 次へ (Next) をクリックします。
必要なディスク領域	必要なディスク領域が満たされている場合は、 次へ (Next) をクリックします。 必要なディスク領域条件が満たされない場合： a. 領域が必要とされます。 b. キャンセル (Cancel) をクリックします。 c. 必要な領域を確保します。 d. インストールを再実行します。
サーバーの構成	次へ (Next) をクリックします。
フルテキスト検索アップグレード	インポート (Import) を選択して 次へ (Next) を選択します。
エラーと使用状況レポート	次へ (Next) をクリックします。
アップグレードのルール	インストーラは、SQL Server 2014 へのアップグレードを妨げる問題がないかチェックします。 • 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 • 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
アップグレードの準備完了	アップグレード をクリックします。
アップグレードの進行状況	全てのコンポーネントのアップグレードが完了したら、 次へ をクリックします。
完全	閉じる をクリックします。

スクリーン

動作

SQL Serverインストール センター 右上隅にある **X** をクリックし、閉じます。

SQL Server 2014 へのアップグレード後 (After Upgrading to SQL Server 2014)

- アップグレードを確認します。
詳細は、[SQL Server 2014 のインストールの検証](#) (39ページ) を参照してください。
- 問題のトラブルシューティング。
詳細は、[SQL Server のトラブルシューティング \(SQL Server Troubleshooting\)](#) (53ページ) を参照してください。

SQL Server 2012 のインストール

SQL Server 2012 インストーラでは、Windows Vista またはそれ以降で実行する場合の注意事項を含むヘルプが提供されます。SQL Server 2012 オンライン ブック (SQL Server 2012 ドキュメント コンポーネント) は、ハードウェア要件とソフトウェア要件、およびインストールに関する詳細な情報を提供します。

詳細については、

<http://sqlish.com/installing-books-online-for-microsoft-sql-server-2012/> を参照してください。

SQL Server 2012 をインストールする前に

ローカル インストールの場合は、管理者として **セットアップ** を実行する必要があります。SQL Server 2012 をリモート共有からインストールする場合は、リモート共有で読み取りアクセス許可と実行アクセス許可のあるドメイン アカウントを使用する必要があります。

SOLIDWORKS PDM がシステムにインストールされている場合は、SQL Server 2012 のインストールを開始する前に、**プログラムのアンインストール**を使用して **Microsoft SQL Server 2008 の旧バージョンとの互換性**パッケージをアンインストールします。

Microsoft .Net framework version 3.5 SP01 と Windows Installer 4.5 が必要となります。インストールされていない場合、インストール ウィザードは SQL Server 2012 のインストールを開始する前にこれらをインストールします。これらのインストールには、コンピュータの再起動が必要となる場合もあります。

Windows Server 2008 R2 x64 において、.Net framework 3.5 SP01 をインストールするには、**マイ コンピュータ** (My Computer) を右クリックし、**管理 > フィーチャー**を選択します。フィーチャーの追加ウィザード (Add Features Wizard) で、フィーチャー (Features) ページで、**.Net**

Framework 3.5.1 Features を展開し、**.Net Framework 3.5.1 (Installed)**を選択します。

SQL Server 2012 インストールの実行

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2012 のインストール メディアを挿入します。ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックし、指示のある場合を除いてデフォルト設定を使用します。

画面	操作
SQL Serverインストール センター/Planning	左側パネルで インストール (Installation) を選択します。
SQL Serverインストール センター/Installation	新規インストールの作成または既存のインストールへの機能の追加 (New SQL Server stand-alone installation or add features to an existing installation) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラは、SQL Serverサポート ファイルのインストールを妨げる問題がないかチェックします： - 問題がなければ、OKをクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
プロダクト キー	プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力します。 次へ (Next) をクリックします。
ライセンス条項	- ライセンス契約を読み、同意します。 次へ (Next) をクリックします。
セットアップ サポート ファイル	インストール (Install) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラは再びチェックを実行します： - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。

画面	操作
機能の選択	インスタンス機能(Instance Features)でデータベース エンジン サービス(Database Engine Services)を選択します。 共有機能 で、次を選択します： - クライアント ツール接続 Integration Services - クライアント ツールの旧バージョンとの互換性 - ドキュメントコンポーネント - 管理ツール – 基本 - 管理ツール – 完全 次へ (Next) をクリックします。
インスタンスの構成	新しいインストールの場合： 既定のインスタンス(Default instance)を選択します。 次へ (Next) をクリックします。 SQL サーバーがシステムに既にインストールされていて、アップグレードを行わない場合は： 名前付きインスタンス (Named Instance)を選択します。 - このインストールに対するユニークなインスタンス名を入力します： <code>computername\instancename.</code> 次へ (Next) をクリックします。
必要なディスク領域	必要なディスク領域が満たされている場合は、次へ (Next) をクリックします。 必要なディスク領域条件が満たされない場合： - 領域が必要とされます。 キャンセル (Cancel) をクリックします。 - 必要な領域を確保します。 - インストールを再実行します。

画面	操作
サーバーの構成 (Server Configuration) / サービスアカウントタブ	SQL Server Agent と SQL Server データベース エンジン (SQL Server Agent and SQL Server Database Engine) : • アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\SYSTEM • スタートアップ タイプ(Startup Type) : 自動 (Automatic) SQL Server Integration Services 10.0: • アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\SYSTEM • スタートアップ タイプ(Startup Type) : 自動 (Automatic) SQL Server Browser: • アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE • スタートアップ タイプ(Startup Type) : 自動 (Automatic)
サーバーの構成 (Server Configuration) / 照合順序タブ	- データベース エンジン (Database Engine) の場合、カスタマイズ (Customize) をクリックします。 - ダイアログ ボックスでWindows 照合順序指定子と並べ替え順序を選択し、ロケールと一致する照合順序指定子を選択します。他の選択内容はそのままにします。 SOLIDWORKS PDM はバイナリ設定のサーバーでは使用できません。 - 次へ (Next) をクリックします。

画面	操作
Database Engine Configuration/Account Provisioning tab データ ディレクトリまたは FILESTREAM タブの設定は変更しないでください。	混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証) を選択します。SOLIDWORKS PDM Professional はデータベース通信に SQL サーバー認証を使用します。 - システム管理者アカウント (sa) のパスワードを入力します。パスワードは空白のままにしないで下さい。パスワードの規則に関しては、ヘルプを参照してください。 パスワードを確認するため、再び入力します。 SOLIDWORKS PDM Professional ファイルボルトデータベースの設定をする際に使用するの、このパスワードを覚えておいてください。 SQL Server 管理者の指定 (Specify SQL Server administrators) で追加 (Add) をクリックします。 - ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択ダイアログ ボックスで、システムのローカル管理者または Administrators グループの名前を入力します。 次へ (Next) をクリックします。
Database Engine Configuration/Data Directories tab	(オプション) SOLIDWORKS PDM Professional が作成するデータベースが保存されるデフォルト フォルダを変更するには、 ユーザー データベース ディレクトリ と ユーザー データベース ログ ディレクトリ の場所を変更します。
エラーと使用状況レポート	次へ (Next) をクリックします。
インストールのルール	インストーラは、SQL Server 2012 のインストールを妨げる問題がないかチェックします。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。

画面	操作
インストールの進行状況	インストールには長い時間がかかる場合もあります。SQL Serverの旧バージョンとの互換性ファイル関連のエラーが表示されたら、インストールをキャンセルします。 プログラムのアンインストール を使って Microsoft SQL Server 2008 の旧バージョンとの互換性パッケージをアンインストールします。その後 SQL Server 2012 のインストールを再実行してください。 進行状況バーにセットアップ処理が完了しました(Setup process complete)が表示されたら、次へ (Next) をクリックします。
完了	閉じるをクリックします。 コンピュータを再起動する必要があるとするメッセージが表示された場合は、OKをクリックします。再起動が自動的に開始されない場合は、コンピュータを手動で再起動します。

SQL Server 2012 のインストール後

ネットワーク上で安全なSQL通信を行いたい場合、認証サーバーがあればSSL暗号化を使用できます。

詳細については、[Microsoft サポート](#) ページを参照し、ナレッジ ベースの記事 318605 を検索してください。

SQL Server 2012 のインストールの検証

SQL Server 2012 が正しくインストールされたことを確認するには:

1. SQL Server 構成マネージャー を起動します。
2. **SQL Server サービス (SQL Server Services)** をクリックし、**SQL Server (MSSQLSERVER)** が実行されているか確認します。
3. 実行されていない場合、**SQL Server (MSSQLSERVER)**を右クリックして**開始** (Start) を選択します。
4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

SQL Server 2012 へのアップグレード (Upgrading to SQL Server 2012)

既存の SQL Server 2008 インスタンスを SQL Server 2012 にアップグレードするには、次の手順に従います。

SQL Server 2012 にアップグレードする場合は、[Microsoft サポート](#) ページを参照し、アップグレード情報を検索してください。

インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、[Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

サーバー インスタンスをアップグレードすると、全てのファイル ボルト データベースが SQL Server 2012 フォーマットに自動的にアップグレードされます。

SQL Server 2012 アップグレードの実行 (Performing the Upgrade to SQL Server 2012)

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2012 インストール メディアを挿入し、ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックします。
- 指示のある場合を除いてデフォルトの設定を使用します。

画面	動作
SQL Server インストール センター/Planning page	左側パネルで インストール (Installation) を選択します。
SQL Server インストール センター/Installation page	SQL Server 2008 からアップグレード (Upgrade from SQL Server 2008) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラーは、SQL Server サポート ファイルのインストールを妨げる問題がないかチェックします: - 問題がなければ、OK をクリックします。 - 問題がレポートされる場合: a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
プロダクト キー	a. プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力します。 b. 次へ (Next) をクリックします。
ライセンス条項	a. 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があります。 b. 次へ (Next) をクリックします。
セットアップ サポート ファイル	インストール (Install) をクリックします。
セットアップ サポート ルール	インストーラーは再びチェックを実行します。 - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合: a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。

画面	動作
インスタンスの選択	SQL サーバー インスタンスを選択し、アップグレードします。 MSSQLSERVER はデフォルトです。
フィーチャーの選択(Select Features)	アップグレードされるインストール済みのSQL機能がリストに表示されます。 次へ (Next) をクリックします。
インスタンスの構成	アップグレードされる名前付きインスタンスが表示されます。 次へ (Next) をクリックします。
必要なディスク領域	必要なディスク領域が満たされている場合は、 次へ (Next) をクリックします。 必要なディスク領域条件が満たされない場合： a. 領域が必要とされます。 b. キャンセル (Cancel) をクリックします。 c. 必要な領域を確保します。 d. インストールを再実行します。
サーバーの構成	次へ (Next) をクリックします。
フルテキスト検索アップグレード	インポート (Import) を選択して 次へ (Next) を選択します。
エラーと使用状況レポート	次へ (Next) をクリックします。
アップグレードのルール	インストーラは、SQL Server 2012 へのアップグレードを妨げる問題がないかチェックします。 • 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 • 問題がレポートされる場合： a. 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
アップグレードの準備完了	アップグレード をクリックします。
アップグレードの進行状況	全てのコンポーネントのアップグレードが完了したら、 次へ をクリックします。
完全	閉じる をクリックします。

画面

動作

SQL Serverインストール センター 右上隅にある **X** をクリックし、閉じます。

SQL Server 2012 へのアップグレード後 (After Upgrading to SQL Server 2008)

- アップグレードを確認します。
詳細は、[SQL Server 2012 のインストールの検証](#) (49ページ) を参照してください。
- 問題のトラブルシューティング。
詳細は、[SQL Server のトラブルシューティング \(SQL Server Troubleshooting\)](#) (53ページ) を参照してください。

SQL Server のトラブルシューティング (SQL Server Troubleshooting)

クライアントがファイルボルトで作業できない

原因	SQL パスワードの期限切れ、またはアカウントがロックアウトされています。
解決策	Windows 認証を使用してログインすることで、アカウントをアンロックします。

SQL サーバー アカウントをアンロックするには

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
2. Connect to Server ダイアログ ボックスで:
 - a) 認証 には、**Windows 認証** を選択します。
 - b) 接続 をクリックします。
3. 左側パネルで、**セキュリティ**を展開して**ログイン**を選択します。
4. アーカイブ サーバーで使用するよう定義されたSQLログイン (通常**sa**アカウント) を右クリックし、**プロパティ**を選択します。
5. ログインのプロパティ ダイアログ ボックスの左側のパネルで、**ステータス** をクリックします。
6. ステータスの **SQLサーバー認証** で **ログインがロックアウトされています** を選択解除します。
7. SQL Server Management Studioを終了します。

SOLIDWORKS PDM の管理機能がエラーになる

原因 リモート接続が許可されていません。

解決策 SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にします。

SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にするには:

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
2. 管理者としてログインします。
3. サーバーを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
4. サーバーのプロパティ ダイアログ ボックスで、**接続** をクリックします。
5. 右側パネルの**リモート サーバー接続**で、**このサーバーへのリモート接続を許可する**が選択されていることを確認し、**OK**をクリックします。
6. SQL Server Management Studioを終了します。

SOLIDWORKS PDM がサーバーに接続できない

原因 TCP/IPが有効になっていないか、TCPポートが間違っています。

解決策 クライアント接続用にTCP/IPプロトコルをアクティブ化し、TCPポート1433が開いていることを確認します。

SQL Server TCP/IPプロトコルをアクティブ化するには:

1. SQL Server 構成マネージャー を開きます。
2. 左側のパネルで、**SQL Server 2008 ネットワークの構成** (SQL Server 2008 Network Configuration) を展開し、**MSSQLSERVER のプロトコル** (Protocols for MSSQLSERVER) をクリックします。
3. 右側のパネルで、TCP/IPが有効なことを確認します。
4. **TCP/IP** を右クリックし、**プロパティ** を選択します。
5. IPアドレス (IP Addresses) タブで、TCPがポート1433を使っていることを確認します。
6. SQL Server構成マネージャ を終了します。

SQL サーバーのログインアカウントを変更する (Changing the SQL Server Login Account)

アーカイブ サーバーおよびデータベース サーバー サービスは、それらの管理する SOLIDWORKS PDM Professional データベースに、少なくともそのデータベースに対する db_owner アクセス権を持つ SQL ログインを使ってアクセスしなければなりません。通常、SQL Server がインストールされる際には、SQL Server 上のすべてのデータベースにフル アクセス権を持つシステム管理者ログイン (**sa**) が作成されます。

このシステム管理者を使用するか、SOLIDWORKS PDM Professional データベースに対する db_owner アクセス権を持つ新しいユーザーを作成してください。

db_owner SQLログインを使って新しいファイルボルト データベースを作成する場合、このSQLログインをまず作成します。

新しいファイル ボルト データベースを作成するには、SQL システム アドミニストレータとしてログインしてください。 db_owner SQL ログインを使用すると、ボルトの作成中にシステム アドミニストレータ (sa) ログインをプロンプトされます。

新しい SQL ログイン アカウント (Creating a New SQL Login Account)

1. **Microsoft SQL Server Management Studio** を開きます。
2. システム管理者としてログインします。
3. 左側パネルで**セキュリティ** (Security) を展開します。
4. **ログイン** を右クリックし、**新しいログイン** を選択します。
5. ログイン - 新規作成 ダイアログ ボックスで **全般** を選択します。
 - a) 新しいSQLユーザーのログイン名を指定してください。
 - b) **SQL Server認証** を選択してパスワードを入力します。
 - c) **パスワード ポリシーを適用する** を選択解除します。
 - d) **OK** をクリックします。
6. **Microsoft SQL Server Management Studio** を閉じます。

このログインを SOLIDWORKS PDM Professional で使用するのに、これ以外の権限は必要ありません。

新しい SQL ログインを SOLIDWORKS PDM アーカイブで使用

1. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーが動作しているシステムで、次のいずれかを実行して SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタートメニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
2. ツール (Tools) > **デフォルト設定 (Default settings)** を選択します。
3. 設定 ダイアログ ボックスの **SQLログイン** で、**変更** をクリックします。

4. SQLユーザーの変更 ダイアログ ボックスで、新しい SQL ユーザーの SQL ユーザー ログインとパスワードを入力し、**OK** を 2 回クリックします。

これ以降作成されるファイルボルト データベースにはこのユーザーに対するdb_ownerアクセスが割り当てられます。

5. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを終了します。
6. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーが動作しているシステムで、次のいずれかを実行して SOLIDWORKS PDM データベース サーバー (SOLIDWORKS PDM Database Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタートメニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > データベース サーバー コンフィギュレーション**をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**データベース サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
7. 新しい SQL ユーザー ログインとパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
8. SOLIDWORKS PDM データベース サーバー サービスを再起動します。

SQL ユーザーに既存の SOLIDWORKS PDM ファイル ボルト データベースの db_owner アクセスを割り当てる

1. 新しい SOLIDWORKS PDM データベースをホストしている SQL サーバーで、Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
2. システム管理者としてログインします。
3. 左側パネルで、**Security**を展開して**Logins**をクリックします。
4. SQLユーザーを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
5. ログインのプロパティ ダイアログ ボックスで:
 - a) 左側パネルで**ユーザー マッピング**を選択します。
 - b) 右側のパネルの**このログインにマップされたユーザー**の下で、すべての SOLIDWORKS PDM データベース (ファイル ボルト データベースと **ConisioMasterDb**) に対して**マップ**を選択します。
 - c) 各データベースの**データベース ロールのメンバシップ**で、**db_owner**を選択します。
 - d) **OK** をクリックします。
6. サーバーを右クリックし、**新しいクエリ**を選択します。
7. 右側パネルで、**db_owner**ユーザーに対して以下のクエリ文を入力して**実行 (Execute)** をクリックします。


```
GRANT VIEW SERVER STATE TO [SQL_USER_NAME]
```
8. Microsoft SQL Server Management Studio を終了します。

9. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーが動作しているシステムで、次のいずれかを実行して SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
10. ツール (**Tools**) > **デフォルト設定 (Default settings)** を選択します。
11. 設定 ダイアログ ボックスの **SQLログイン** で、**変更** をクリックします。
12. SQLユーザーログインの変更 ダイアログ ボックスで、新しい SQL ユーザーの SQL ユーザーログインとパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
13. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを閉じます。
14. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーが動作しているシステムで、次のいずれかを実行して SOLIDWORKS PDM データベース サーバー (SOLIDWORKS PDM Database Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**データベース サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
15. 新しい SQL ユーザー ログインとパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
16. SOLIDWORKS PDM データベース サーバー サービスを再起動します。

SQL権限が不十分な場合 (Insufficient SQL Permissions)

SQLユーザーに十分なSQL権限を与えないと、ファイルボルト ビューにログインすることができません。

SQLユーザーが少なくともdb_ownerアクセスを持っていないと警告メッセージが表示されます。

- ConisioMasterDbデータベースに対して

例:

データベース"*filevault* on Server *servername*"にログインできませんでした。

- ファイルボルト データベースに対して

例:

データベースのこの項目にアクセスできません。

4

SQL Server Express のインストールと設定

この章では以下の項目を含みます：

- **SQL Server 2014 Express のサポート**
- **SQL Server 2014 Express のインストールと管理**

SOLIDWORKS PDM Standard は Microsoft SQL Server Express データベースを使ってファイル ボルト内のファイルや処理についての情報を格納します。

ファイル ボルト データベースをホスティングするには、SQL Server 2014 Express を使用する必要があります。

Microsoft SQL Server 2014 Express は SOLIDWORKS DVD に含まれています。

SQL Server 2014 Express のサポート

SOLIDWORKS PDM Standard は Microsoft SQL Server 2014 Express の使用をサポートしています。

他のチャネルを通じて SQL Server 2014 Express を購入されたお客様におかれても、SOLIDWORKS PDM Standard 2016 での SOLIDWORKS の使用がサポートされるようになりました。

SQL Server 2014 Express のインストールと管理

SQL Server 2014 Express をインストールし、管理する場合、SQL Server Database Engine と SQL Server Management Studio をインストールします。

インストール パッケージから、SOLIDWORKS のインストール メディアで利用できる SQL Server データベース エンジンを実インストールできます。詳細については、*SQL Server Express* データベース エンジンのインストールを参照してください。SQL Server Management Studio をインストールするには、

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ssms/download-sql-server-management-studio-ssms> で使用できるインストール パッケージをダウンロードしてインストールします。

SQL Server Database Engine と SQL Server Management Studio を同時にインストールする場合は、統合インストール パッケージ `SQLSERVERW_x64_ENU.exe` を

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=42299> からダウンロードし、インストールしてください。

SQL Server 2014 Express をインストールする前に

ローカル インストールの場合は、管理者としてインストールを実行する必要があります。

Microsoft SQL Server 2012 Backward Compatibility がシステムにインストールされている場合、**プログラムのアンインストール (Uninstall a program)** を使用して **Microsoft SQL Server 2012 Backward Compatibility** パッケージをアンインストールしてから、SQL Server 2014 Express のインストールを開始してください。

Microsoft .Net framework version 3.5 SP01 と Windows Installer 4.5 が必要となります。インストールされていない場合、インストール ウィザードは SQL Server 2014 Express のインストールを開始する前にこれらをインストールします。これらのインストールには、コンピュータの再起動が必要となる場合もあります。

Windows Server 2008 R2 x64 において、.Net framework 3.5 SP01 をインストールするには、**マイ コンピュータ (My Computer)** を右クリックし、**管理 > フィーチャー** を選択します。フィーチャーの追加ウィザード (Add Features Wizard) で、フィーチャー (Features) ページで、**.Net Framework 3.5.1 Features** を展開し、**.Net Framework 3.5.1 (Installed)** を選択します。

SQL Server Express Database Engine のインストール

1. Windows エクスプローラを含む全ての Windows アプリケーションを閉じます。
2. SOLIDWORKS DVD を挿入します。
SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
3. `\PreReqs\SQLServer\sqlservr_x64_enu.exe` を参照し、**管理者として実行 (Run as administrator)** をクリックします。
抽出が開始され、インストール ウィザードを起動します。

4. 指示のある場合を除いてデフォルトの設定を使用します。

スクリーン	動作
SQL Serverインストール センター/Installation	新規インストールの作成または既存のインストールへの機能の追加 (New SQL Server stand-alone installation or add features to an existing installation) をクリックします。
ライセンス条項	- 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があります。 次へ (Next) をクリックします。
インストールのルール	インストーラは再びチェックを実行します： - 問題がなければ、次へ (Next) をクリックします。 - 問題がレポートされる場合： - 問題がある場合は、詳細の表示 (Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。 - インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル (Cancel) をクリックします。
機能の選択	インスタンス機能 (Instance Features) で データベース エンジン サービス (Database Engine Services) を選択します。 共有機能 (Shared Features) で次を選択します： - クライアント ツール接続 - クライアント ツールの旧バージョンとの互換性 - クライアント ツール SDK 次へ (Next) をクリックします。

スクリーン	動作
インスタンスの構成	新しいインストールの場合： 既定のインスタンス(Default instance)を選択します。 次へ (Next) をクリックします。 SQL サーバーがシステムに既にインストールされていて、アップグレードを行わない場合は： 名前付きインスタンス (Named Instance) を選択します。 - 一意のインスタンス名を入力してください。 次へ (Next) をクリックします。
サーバーの構成 (Server Configuration) / サービス アカウント (Service Accounts) タブ	SQL Server データベース エンジン： アカウント名(Account Name): NT Service\MSSQL\$*INSTANCENAME* スタートアップ タイプ(Startup Type) : 自動 SQL Server Browser： アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE スタートアップ タイプ(Startup Type) : 自動
サーバーの構成 (Server Configuration) / 照合順序 (Collation) タブ	- デフォルト値 SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS を保持します。 - オプションで、ユーザー定義 (Customize) をクリックし、Windows 照合順序指定子と並べ替え順序 (Windows collation designator and sort order) を選択し、お使いのロケールに適合する照合順序指定子 (Collation designator) を選択します。他の選択内容はそのままにします。 SOLIDWORKS PDM Standard はバイナリ設定のサーバーでは使用できません。 次へ (Next) をクリックします。

スクリーン	動作
データベース エンジンの構成 (Database Engine Configuration) /サーバーの構成 (Server Configuration) タブ	混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証) (Mixed Mode (Windows Authentication and SQL Server Authentication))を選択します。SOLIDWORKS PDM Standard はデータベース通信に SQL サーバー認証を使用します。 - システム管理者アカウント (sa) のパスワードを入力します。パスワードは空白のままにしないで下さい。パスワードの規則に関しては、ヘルプ (Help) を参照してください。 パスワードを確認するため、再び入力します。 SOLIDWORKS PDM Standard ファイルボルト データベースの設定をする際に使用するので、このパスワードを覚えておいてください。 SQL Server 管理者の指定 (Specify SQL Server administrators) で追加 (Add) をクリックします。 - ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択ダイアログ ボックスで、システムのローカル管理者またはAdministratorsグループの名前を入力します。 次へ (Next) をクリックします。
データベース エンジンの構成 (Database Engine Configuration) /データ ディレクトリ (Data Directories) タブ/FILESTREAM タブ	オプションで、残りのパスを設定します。FILESTREAM タブでデフォルトの設定を保持します。

スクリーン	動作
インストールの進行状況 (Installation Progress)	インストールには長い時間がかかる場合もあります。 SQL Serverの旧バージョンとの互換性ファイル関連のエラーが表示されたら、インストールをキャンセルします。 プログラムのアンインストール (Uninstall a program) を使用して、Microsoft SQL Server 2012 の旧バージョンとの互換性パッケージをアンインストールします。その後 SQL Server 2014 のインストールを再実行してください。 進行状況バーにセットアップ処理が完了しました (Setup process complete)が表示されたら、次へ (Next) をクリックします。
完全	閉じるをクリックします。 コンピュータを再起動する必要があるとするメッセージが表示された場合は、OKをクリックします。再起動が自動的に開始されない場合は、コンピュータを手動で再起動します。

SQL Server 2014 Express のインストール後

リモート クライアントから SQL Server Express インスタンスに接続する場合は、サーバーがリモート接続を承認するように構成し、TCP/IP プロトコルを有効にする必要があります。SQL Server ポートをデフォルトの動的ポート番号ではなく、固定ポート番号に設定してください。

SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にする

SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にするには:

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
2. SQL Server のインスタンス名を選択してシステム管理者としてログインします。
3. サーバーを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
4. サーバーのプロパティ ダイアログボックスで、**接続**をクリックします。
5. 右側パネルの**リモート サーバー接続**で、**このサーバーへのリモート接続を許可する**が選択されていることを確認し、**OK**をクリックします。
6. SQL Server Management Studioを終了します。

SQL Server TCP/IP プロトコルのアクティブ化

SQL Server TCP/IP プロトコルをアクティブ化するには：

1. SQL Server 2014 構成マネージャー (SQL Server 2014 Configuration Manager) を開きます。
2. 左側のパネルで、**SQL Server ネットワークの構成 (SQL Server Network Configuration)** を展開し、<インスタンス名> のプロトコル (**Protocols for <instance name>**) をクリックします。
3. 右側のパネルで、TCP/IPが有効なことを確認します。
TCP/IP が無効になっている場合は、**TCP/IP** を右クリックして**有効にする (Enable)** を選択します。
4. 左側パネルで **SQL Server サービス (SQL Server Services)** を選択します。
5. **SQL Server (<インスタンス名>)** (**SQL Server (<instance name>)**) を右クリックして**再起動 (Restart)** を選択します。
6. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを設定する

SQL Server Express インスタンスは、デフォルトでダイナミック ポートで待ち受けます。SQL Server サービスが開始されると、ポート番号が変わります。サーバーでファイアウォールが有効になっていると、クライアントのアクセスを許可するようにポート例外を設定することは難しくなります。

SQL Server アクセスに関するファイアウォールの設定について詳しくは、[https://msdn.microsoft.com/en-us/library/cc646023\(v=sql.120\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/cc646023(v=sql.120).aspx)を参照してください。

固定 TCP ポートで待ち受けるするように SQL Server Express インスタンスを設定するには：

1. SQL Server 2014 構成マネージャー (SQL Server 2014 Configuration Manager) を開きます。
2. 左側のパネルで、**SQL Server ネットワークの構成 (SQL Server Network Configuration)** を展開し、<インスタンス名> のプロトコル (**Protocols for <instance name>**) をクリックします。
3. **TCP/IP** をダブルクリックして IP アドレス (IP Addresses) タブを選択します。
4. **IPAll** の **TCP ダイナミック ポート (TCP Dynamic Ports)** の値をクリアします。
5. **TCP ポート (TCP Port)** を SQL Server Express インスタンスが待ち受ける固定ポート番号に設定します。
 - SQL Express だけがシステムの SQL Server インスタンスである場合、ポートを 1433 に設定します。
 - 他の SQL Server インスタンスがシステムにある場合は、ポートを固有の値 (1440 など) に設定します。
6. **OK** をクリックします。

7. 左側パネルで **SQL Server サービス (SQL Server Services)** を選択します。
8. **SQL Server (<インスタンス名>) (SQL Server (<instance name>))** を右クリックして**再起動 (Restart)** を選択します。
9. **SQL Server Browser** をダブルクリックし、サービス (Service) タブを選択します。
10. **開始モード (Start Mode)** を**自動 (Automatic)** に設定して **OK** をクリックします。
11. **SQL Server Browser** を右クリックし、サービスが実行中でなければ開始します。

SQL Server 2014 Express のインストールの検証

1. SQL Server 構成マネージャー を起動します。
2. **SQL Server サービス (SQL Server Services)** をクリックし、**SQL Server (<インスタンス名>) (SQL Server (<instance name >))** が実行中であるかどうか確認します。
3. 実行されていない場合、If it is not, start the service by right-clicking **SQL Server (<インスタンス名>) (SQL Server (<instance name >))** を右クリックして**開始 (Start)** を選択します。
4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

SQL Server 2014 Express を SQL Server 2014 にアップグレードする

1. Windowsエクスプローラを含む全てのWindowsアプリケーションを閉じます。
2. SQL Server 2014 インストール メディアを挿入し、ルート フォルダから `setup.exe` をダブルクリックします。
3. SQL Server インストール センター (SQL Server Installation Center) ページの左パネルで**メンテナンス (Maintenance)** を選択します。
4. **エディションのアップグレード (Edition Upgrade)** を選択します。
5. 『Upgrade the Edition for SQL Server 2014』のステップを完了します。

5

SOLIDWORKS PDM のインストール

この章では以下の項目を含みます：

- **SOLIDWORKS PDM のインストールの開始**
- **SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール**
- **SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール**
- **SolidNetWorkライセンスのインストールと設定 (Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)**
- **SOLIDWORKS PDM Web サーバーのインストール**
- **SOLIDWORKS PDM Web2 のインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)**
- **SOLIDWORKS PDM Web API サーバーのインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)**
- **SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール**

SOLIDWORKS のメディアにはサーバー コンポーネントとクライアント コンポーネントが含まれています。

各サーバー コンポーネントは個別にインストールすることも、複数のコンポーネントを選択して一度にインストールすることもできます。

例えば、データベース サーバーとアーカイブサーバーを同じコンピュータにインストールするには、サーバー インストール (Server Installation) で両方のオプションを選択します。

複数のコンポーネントをインストールする際には、これらのコンポーネントに適切な画面が表示されます。本章では説明を簡潔にするため、個別にインストールする手順を説明します。

SOLIDWORKS PDM Standard または SOLIDWORKS PDM Professional は次のものを使用してインストールできます：

- SOLIDWORKS PDM InstallShield ウィザード
- **SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM)**

SOLIDWORKS PDM InstallShield ウィザードを使用する場合は、SolidNetWork License Manager を別個にインストールする必要があります。SLDIMを使用する場合、SolidNetWork License Manager は SOLIDWORKS PDM と一緒にインストールできます。

SOLIDWORKS PDM クライアントと SOLIDWORKS PDM サーバーを別のマシンまたは同じマシンにインストールできます。両方を同じマシンにインストールするには、サーバー インストールを実行する必要があります。

クライアントとサーバーを別個のインストールを使用して同じマシンにインストールすることはできません。

SOLIDWORKS PDM のインストールの開始

SOLIDWORKS PDM のインストール開始方法はすべて共通しています。

SOLIDWORKS PDM をインストールするには、次のコンポーネントをインストールする必要があります。

- Windows Installer 3.1
- MSXML 6.0
- .NET Framework 4.0 以降
- Visual C++ 2010 Redistributable - x86
- Visual C++ 2010 Redistributable - x64
- Visual C++ 2013 Redistributable - x86
- Visual C++ 2013 Redistributable - x64
- Visual C++ 2015 Redistributable - x64

必須コンポーネントのインストール ファイルは、インストール メディアの \PreReqs\ ディレクトリに用意されています。

SOLIDWORKS DVD に含まれるドキュメントを閲覧するには Adobe Reader がインストールされている必要があります。

SOLIDWORKS PDM のインストールを開始するには:

1. SOLIDWORKS DVD を挿入します。
2. SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
3. SOLIDWORKS PDM サーバーをインストールするには、\SWPDMServer\setup.exe を実行します。
4. SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールするには、\SWPDMClient\setup.exe を実行します。

すべての要件を満たしていることを確認します。

終了すると、インストール ウィザードの処理が続行されます。以下の手順に従ってインストールを実行します。

画面	動作
ようこそ	次へ (Next) をクリックします。
ライセンス契約書	使用許諾契約を読み、次へ (Next) をクリックします。

画面	動作
インストール先フォルダ (Destination Folder)	デフォルトのインストール先を使用する場合、次へ (Next) をクリックします。 異なるインストール位置を指定するには： 1. 変更 (Change) をクリックします。 2. 新しい位置を参照します。 3. OK をクリックします。 4. 次へ (Next) をクリックします。
PDM 製品の選択	次のいずれかを選択してインストールします： • SOLIDWORKS PDM Standard • SOLIDWORKS PDM Professional

SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール

データベース サーバーは通知やローカル ビューのリフレッシュ、複製スケジュールの更新、インデックス サーバーの変更などがあつたかどうか調べるために SOLIDWORKS PDM データベースを定期的にポーリングします。

以下を行うために必要です。

自動的な通知	状態の変更、チェックアウト、チェックイン、追加、期限等のワークフローその他の自動通知
ビューの更新	ファイルボルト ビューおよびアドインのリストの自動更新 (リフレッシュ)
カード リストの更新	SQLクエリを使用するカード リストの定期的な更新
コールド ストアのスケジュール リング	コールド ストアのスケジュールに対する変更をアーカイブ サーバーにアップデート
複製のスケジュール リング	複製のスケジュールに対する変更をアーカイブ サーバーにアップデート
インデックス サーバーの管理	コンテンツ検索に使用するインデックス サービスの管理
データのインポート/エクスポート	事前定義された間隔でデータ インポートおよびエクスポート ルールを実行

データベース サーバーはMicrosoft SQLサーバーと同じシステムにインストールすることを推奨します。別のシステムにインストールすることも可能ですが、ネットワークのオーバーヘッドが発生します。

データベース サーバーをインストールする前に（Before Installing the Database Server）

- データベース サーバーがTCPポート3030を使ってアーカイブ サーバーへ、そしてTCPポート1433を使ってSQLサーバーにアクセス可能であることを確認してください。
- 以下の情報を調べてください。
 - SQLサーバー名
 - 読み取り／書き込みアクセスを持つSQLユーザー アカウントの名前およびパスワード

読み取り／書き込みアクセスを有するユーザーの名前が分からない場合、これらの権限を持つSQL sa アカウントを使用できます。また、この用途のためにログインを作成することもできます。詳細はSQL サーバーのログイン アカウントを変更するを参照してください。

データベース サーバー インストールの実行（Performing the Database Server Installation）

1. データベース サーバーをインストールしようとするシステムに対し、ローカルな管理者権限でローカルにログイン、あるいはリモート ログインします。
2. **SOLIDWORKS PDM のインストールの開始**の説明に従って、インストールを開始します。

3. 以下の手順に従ってインストールを完了します。

画面	操作
サーバー インストール (Server Installation)	データベース サーバー (Database Server) を選択して次へをクリックします。 同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインストールできます。 SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインストールする場合、クライアント (client) も選択する必要があります。 クライアントのインストールの詳細は、インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール (<i>Installing Clients Using the Installation Wizard</i>) を参照してください。
SOLIDWORKS PDM データベース サーバー SQL ログイン	a. 次のことの1つを行い、ファイルボルト データベースのホストとして機能するために SQL サーバーの名前を指定します： - SQL サーバーの名前を入力します。 参照 (Browse) をクリックして利用可能なネットワーク上のSQLサーバーのリストから選択し、OKをクリックします。 SQLサーバーがデータベース サーバーをインストールするシステムにインストールされている場合、(local) を入力または選択します。 b. ログイン名 (Login name) フィールドに、SQL サーバー上でホストされているすべての SOLIDWORKS PDM データベース (ファイルボルト データベースと ConisioMasterDb) に対する読み取り/書き込みアクセス (例、db_owner 権限) を持つサーバー上の SQL ユーザーの名前を入力します。 c. パスワード (Password) フィールドにはそのSQLユーザーのパスワードを入力します。 d. 次へ (Next) をクリックします。 ログイン情報が検証されます。間違いがある場合には警告が表示されます。
プログラム インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。

画面

操作

InstallShield ウィザード完了 **完了 (Finish)** をクリックします。

SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール

アーカイブ サーバーはファイルボルトに格納された物理ファイル（図面、ドキュメントなど）をホストし、ユーザーとその認証情報を管理します。

SOLIDWORKS PDM を使用するすべてのクライアントは、1 つあるいは複数のファイルボルト アーカイブをホストする 1 つあるいは複数のアーカイブ サーバーに接続しなければなりません。

アーカイブ サーバーはインストールされているコンピュータ上のシステム アカウントのサービスとして実行され、クライアントとファイルボルト アーカイブ間でファイルの送信、受信を行います。また、パスワードやユーザーのログイン情報も格納します。1 つあるいは複数のファイルボルト アーカイブをホストする各コンピュータに必要なアーカイブ サーバーは1つだけです。

複製環境では、同じファイルボルト アーカイブの複製コピーをホストするために複数のアーカイブ サーバーをセットアップすることも可能です。 *SOLIDWORKS PDM Professional* 複製ガイドを参照してください。

アーカイブ サーバーに接続する際の問題を回避するために、サーバー名は15文字以下にしてください。

アーカイブ サーバーをインストールする前に(Before Installing the Archive Server)

アーカイブ サーバー インストールに必要なユーザー、アカウント、権限を設定します。

アーカイブ フォルダのアクセス権限 システム アカウントは、アーカイブ フォルダとして指定されたフォルダ内にフォルダやファイルを作成する完全なアクセス権限を持っていない必要があります。アーカイブ フォルダはアーカイブ サーバー サービスがファイルの読み取り／書き込みを実行できるネットワーク共有上に設定することもできます。

アーカイブ サーバー サービスのログオン アカウントをサービス プロパティでシステムアカウント以外のユーザーに変更指定することもできます。

SQLユーザー アカウント ファイルボルト データベースとやりとりする SQL ユーザーは、少なくとも SQL サーバー上の既存のファイルボルト データベースに対する db_owner 権限を有している必要があります。
SQLサーバー インストール時に作成されたsa アカウントを使用することもできます。

SQL ログインの詳細については、SQL サーバーのログイン アカウントを変更するを参照してください。

ユーザーおよびグループ アカウント インストール時にアーカイブ サーバーに対するユーザーおよびグループアクセス権を設定したい場合、前もってユーザーとグループを作成しておきます。

ドメイン ユーザーを使用するには、ドメイン コントローラ上でドメイン グループを作成し、SOLIDWORKS PDM Professional にログインすべきドメイン ユーザーを追加します。

- インストール時に、検索するユーザーまたはグループ (Find User or Group) ダイアログを使ってドメイン グループを追加します。これにより SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールでこのユーザーが表示されます。
- インストール後、アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ツールを実行してユーザーやグループの割り当てを追加、変更することができます。

アーカイブ サーバー インストールの実行 (Performing the Archive Server Installation)

1. アーカイブ サーバーをインストールしようとするシステムで、ローカルに管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. **SOLIDWORKS PDM のインストールの開始** (67ページ) の手順に従ってインストールを開始します。

3. 以下の手順に従ってインストールを実行します。

画面	操作
サーバー インストール (Server Installation)	アーカイブ サーバー (Archive Server) を選択して次へをクリックします。 同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインストールできます。 SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインストールする場合、クライアント (client) も選択する必要があります。 クライアントのインストールの詳細は、インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール (<i>Installing Clients Using the Installation Wizard</i>) を参照してください。
プログラム インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。 ローカル セキュリティ ネットワーク アクセスが"Guestとして認証"に設定されており、"Classic"に変更する必要があるというメッセージが表示されたら、はい (Yes) をクリックして変更を受け入れます。 新規インストールの場合、インストールが終了すると、アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザードが表示されます。

アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

ようこそ (Welcome) **次へ (Next)** をクリックします。

アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

アーカイブ フォルダ

- a. 以下のいずれかを行います。
 - アーカイブ フォルダとしてデフォルトの場所を使用します。
 - 以下のいずれかを実行して場所を変更します：
 - **参照**(Browse)ボタンをクリックしてフォルダを指定する。
 - パスを入力する。

指定されたパスが存在しない場合、作成するかどうかをたずねられます。

アーカイブ フォルダ パスには **Archives** という名前が付けられます。この名前は後に、クライアントから ビュー セットアップ ウィザードを使用してファイル ボルトをセットアップあるいは接続する際に使用されます。

アーカイブ フォルダとそのサブフォルダ（ファイル ボルト アーカイブ等）を毎日のバックアップルーチンに含めてください。

- b. **次へ** (Next) をクリックします。

Adminパスワード

- a. Adminユーザーのパスワードの入力と確認をします。
 Adminユーザー アカウントにはファイルボルトに対する完全な管理者権限が与えられます。管理者は、ユーザーを作成し、ワークフローを設定し、ファイルを削除などを行うことができます。唯一のユーザーが新たに作成されたファイルボルトに存在しています。
 パスワードは、アーカイブサーバー コンフィギュレーション ツール (Archive Server Configuration) でいつでも変更できます。
- b. **次へ** (Next) をクリックします。

SQLユーザー ログインとパスワード

- a. SQLサーバーでホストされるファイルボルト データベースと通信するSQLユーザーのログイン情報を入力します。
 SQLサーバーのシステム管理者ユーザー**sa**を使うことができます。
 SQLサーバー上の権限が低いSQLユーザーを指定した場合、このユーザーには新規ファイルボルトに対してはdb_owner権限が割り当てられます。
- b. **次へ** (Next) をクリックします。

アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

セキュリティ (Security)

アーカイブ サーバーにアクセスできる Windows ユーザー アカウントを定義するには、**利用可能なユーザーおよびグループ (Available users and groups)** からアカウントを選択し、**管理者アクセス (Administrative access)** または**アタッチ アクセス (Attach access)** の矢印をクリックします。

利用可能なユーザーおよびグループ デフォルトでシステム上の全てのローカル ユーザーとグループが表示されます。
ドメイン アカウントをリストに追加するには：

- a. **検索するユーザーまたはグループ** (Find User or Group) をクリックします。
- b. **検索するユーザーまたはグループ** (Find User or Group) ダイアログ ボックスで、追加するユーザーまたはグループアカウントを検索します。例えば、ドメイン グループを追加するには、`domain\groupname` を入力して**OK**をクリックします。

管理者アクセス

新規ファイル ボルトを作成する、またはアーカイブ サーバーにある既存のファイル ボルトを削除、追加、更新する権限を割り当てます。

ファイルボルトを作成する際には、このセクションに追加されたアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

アタッチ アクセス

アーカイブ サーバーで管理する既存のファイル ボルトに接続する権限を割り当てます。

ファイルボルトビューを作成する、またはファイルボルトに接続する際には、このセクションに追加されたアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

ログイン タイプ (Login type)	このアーカイブ サーバー上で管理される新規ファイルボルトを作成する際にデフォルトで使用する認証方法を選択します。
SOLIDWORKS PDM ログイン	SOLIDWORKS PDM ユーザー名およびパスワードはアーカイブサーバー上に格納されます。SOLIDWORKS PDM クライアントのアドミニストレーション ツールを使用して追加および削除できます。
Windows ログイン (Windows login) (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	ファイルボルトへのログインを、ログインしている Windows ユーザーと同期化します (アクティブ ディレクトリ)。パスワードおよびユーザー名は標準の Windows アカウント管理を使って定義されます。 Windows ログイン設定ダイアログボックスで、 利用可能なユーザーとグループ (Available users and groups) からアカウントを選択し、右矢印ボタンを使って 追加されたユーザーとグループ (Added users and groups) に追加します。 ドメイン アカウントをリストに追加するには：
LDAP ログイン (LDAP login) (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	検索するユーザーまたはグループ (Find User or Group) をクリックします。 検索するユーザーまたはグループ (Find User or Group) ダイアログ ボックスで、追加するユーザーまたはグループ アカウントを検索します。例えば、ドメイン グループを追加するには、<code>domain\groupname</code> を入力して OK をクリックします。 LDAP ユーザー名はこれらのアカウントを管理する LDAP サーバー上で定義されます。 LDAP を使っているサーバーに対する接続設定を定義するには：
サーバー名 (Server name)	LDAP サーバーの名前あるいは IP アドレスを入力します。
ポート (Port)	サーバーで LDAP のために使われたポートを入力します。デフォルトポートは 389 です。

アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

コンテキスト (Contexts)	ユーザー マネージャーにリストされるユーザーのコンテキストを少なくとも 1 つ追加してください。コンテキスト名は、識別できる名前として入力されなければなりません。例えば、O=company, OU=department, O=company または CN=Users, DC=company, DC=com です。
ユーザー コンテキスト	アーカイブ サーバーがLDAPサーバーに接続するのに使用するユーザーログインのコンテキストを入力します。
ユーザー名	選択されたユーザーコンテキストに含まれるユーザー名を入力します。このユーザーは、アーカイブ サーバーがLDAPサーバーに接続するために使用されます。
パスワード (Password)	選択されたユーザーのパスワードを入力してください。
完了 (Completed)	完了 (Finish) をクリックします。

クライアント／サーバー通信のためにポートを開く (Opening Ports for Client/Server Communication)

Windows Server、Windows 7、および Windows 8.1 では、デフォルトでビルトイン ファイアウォールが有効に設定されています。これによって、TCP/IPインターフェイスを介した接続を必要とするアプリケーションへのネットワーク アクセスが制限される場合があります。

アーカイブ サーバーはTCP</Z1>ポート3030</Z2>を使ってクライアントと通信しています。SOLIDWORKS PDM が受信接続を受け付けるようにするには、ファイアウォールでこのポートを完全に開いておく必要があります。このポートが開いていないと、アーカイブ サーバーは利用できません。

サーバーがネットワーク上でブロードキャスト（自身をアナウンス）できるように、対応するUDPポート上の受信トラフィックも許可することをお勧めします。たとえばドロップダウン リストに名前を表示して、ユーザーがクライアントからサーバーに接続できるようになります。

SQL サーバーからクライアントへの通信を許可するには、TCP ポート 1433 と 1434 を開く必要があります。SOLIDWORKS PDM Web サーバーをインストールする場合は、ポート 80 と 443 を開く必要があります。

クライアント ライセンスをチェックアウトするには、SolidNetwork ライセンス サーバーでポート 25734 と 25735 を開く必要があります。

次の表に、到達可能でなければならないポートの要約を示します。 リッスンまたは受信側でファイアウォール ポートを開きます。

受話と受信	通信の開始元				
	顧客	アーカイブ サーバー	データベース サービス	SQL サー バー	Web サー バー
顧客					
アーカイブ サーバー	3030	3030	3030		3030
データベース サービス					
SQL サーバー	1433/1434	1433/1434	1433/1434		1433/1434
SNL サーバー	25734/25735				25734/25735
Web サーバー	80/443				

送信フィルタリングはデフォルトで無効になっています。しかし、組織のネットワークで許可されるアプリケーションのみにトラフィックを制限する送信ルールが管理者によって作成されている可能性があります。SOLIDWORKS PDM クライアントまたは複製サーバーが SQL サーバーまたはアーカイブ サーバーに到達できない場合は、ネットワーク管理者により Windows ファイアウォール設定でサーバー ポートへのアクセスが制限されていないことを確認してください。

SOLIDWORKS PDM Standard ボルトは、デフォルトで、ダイナミック ポートで待ち受ける SQL Server Express を使用します。SQL Server インスタンスをファイアウォールで開いた固定ポートに設定する必要があります。これは、追加のカスタム SQL Server インスタンスにも当てはまります。詳細は、[固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを設定する](#)を参照してください。

Windows および Windows Server システムでポートを開く

セキュリティが強化された Windows ファイアウォールを使用して、クライアントと通信するために必要なポートを開くことができます。

受信 SOLIDWORKS PDM トラフィックのための TCP および UDP ポートを有効にするポート ルールを作成します。

まずアーカイブ サーバー用のポートを開きます。次に、同じ手順に従って SQL サーバーと Web サーバー用のポートを開きます。

アーカイブ サーバー用のポートを開くには:

1. **コントロール パネル** を開きます。
2. コンピュータの設定を調整します ページで **システムとセキュリティ** をクリックします。
3. 右側パネルで、**Windows ファイアウォール**(Windows Firewall)をダブルクリックします。
4. 左側パネルで**詳細設定** (Advanced settings) をクリックします。
5. 右側パネルで、**View and create firewall rules**の下で、**Inbound Rules**をクリックします。

6. さらに右側のパネルで**Actions, Inbound Rules**の下で、**New Rule**を作成します。
7. New Inbound Rule Wizard で、ルール タイプ 画面の右パネルで、**ポート** を選択し **次へ** をクリックします。
8. プロトコルとポート 画面の右パネルで:
 - a) **TCP** を選択します。
 - b) **特定のローカル ポート** を選択し 3030 を入力します。
 - c) **次へ** をクリックします。
9. 動作 画面の右パネルで、**接続を許可** を選択し **次へ** をクリックします。
10. プロファイル 画面の右パネルで、**Public** を選択解除し **次へ** をクリックします。
11. 名前画面で**名前**に例外名 (Enable TCP port 3030 for inbound SOLIDWORKS PDM traffic など) を入力し、**完了**をクリックします。

ウィザードは終了し、ルールはinbound ルールのリストに加えられます。デフォルトで利用可能です。
12. 手順 6 から 11 を繰り返し、UDP ポート 3030 用の受信ルールを作成します。
13. SQL Server をホストしているシステムで、手順 6 から 12 を繰り返し、ポート 1433 および 1434 に対する受信 TCP および UDP ルールを作成します。
14. SolidNetwork License Server をホストしているシステムで、手順 6 から 12 を繰り返し、ポート 25734 および 25735 に対する受信 TCP ルールを作成します。
15. Web サーバーをホストしているシステムで、手順 6 から 12 を繰り返し、ポート 80 および 443 に対する受信 TCP および UDP ルールを作成します。
16. **ファイル(File) > 終了(Exit)** Windows Firewall with Advanced Security をクリックしてウィンドウを閉じます。
17. コントロール パネル を閉じます。

WAN 環境でのアーカイブサーバーの追加 (Adding Archive Servers in a WAN Environment)

通常、SOLIDWORKS PDM クライアントは、サーバーのシステム名を使用してアーカイブサーバーおよび SQL サーバーと通信するように設定されています。これらのシステム名は IP アドレスに変換されます。

この名前の検索が失敗するか、または遅い場合、次の問題に起因することがあります：

- クライアントは、どのサーバーも見つけられません。これは、サブネットまたはWAN構成を使用する際の共通の問題です。
- ログイン、参照、ファイルの追加など、SOLIDWORKS PDM 機能を使用した全体的なパフォーマンスが遅くなります。
- SOLIDWORKS PDM Professional の場合、サーバー間の複製は失敗します。

サーバー名を解決できることを検証 (Verifying That the Server Name Can Be Resolved)

最適なパフォーマンスを確実にするには、DNSサーバーの構成が名前を正しく効率良く解決するように設定されていることを確認してください。

1. **スタート (Start) > ファイル名を指定して実行 (Run) > CMD**でコマンド プロンプトを開きます。
2. `Ping Ping server_name` と入力します。

名前でサーバーに接続できる場合は、サーバーのIPアドレスを含む応答が表示されます。 例:

```
PING SRV-DEV-15
Reply from 192.168.1.71: bytes=32 time<1ms
TTL=128
```

3. 正しいIPが返されていることを確認します。
- DNSが間違ったIPアドレスを返す場合、サーバー以外の別のシステムが応答しています。
- サーバー名を解決できない場合は、DNSサーバーの構成が正しくありません。 例:

```
PING SRV-DEV-15
Ping request could not find host SRV-DEV-15.
Please check the name and try again.
```

サーバー名を解決するようにホスト ファイルを構成 (Configuring the Hosts File to Resolve the Server Name)

DNSサーバーを構成できない、またはパフォーマンスが改善されない場合は、クライアントのホスト ファイルを正しいサーバー名とIPアドレスで更新してください。これは、サーバーのアドレスに対してDNSの名前解決を待つのではなく、ホスト ファイルが直接クエリされることを確実にします。

サーバー名を解決するようにホスト ファイルを構成するには：

1. SOLIDWORKS PDM クライアントでホスト ファイルの場所を探します。
デフォルトの格納場所は以下のとおりです：

```
C:\Windows\System32\Drivers\Etc\
```

2. 管理者としてテキスト エディタ (メモ帳など) でファイルを開きます。
3. 新しい行を追加し、サーバーIPアドレスに続けてサーバー名を入力します。

例:

```
192.168.1.71 SRV-DEV-15
```

4. SOLIDWORKS PDM 使用するその他のサーバーすべてに対して、手順 3 を繰り返します。
5. ホスト ファイルを保存して閉じます。

SolidNetWorkライセンスのインストールと設定 (Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)

SOLIDWORKS PDM は、SolidNetWork License (SNL) Managerを使用してライセンスを管理します。SolidNetWork ライセンスのインストールには次の作業が含まれます:

- SolidNetWork License Manager をインストールする。

SOLIDWORKS に既に SolidNetWork License Manager がインストールされている場合、SOLIDWORKS PDM で使用することができます。SOLIDWORKS PDM のリリースバージョンに更新されていることを確認する必要があります。

- クライアント ライセンスをアクティブ化する。
- SOLIDWORKS NetWork License サーバーをファイル ボルトで使用するよう設定する。
- SolidNetWork License サーバーがすべてのクライアントからアクセス可能であることを確認する。

SolidNetWork License Manager のインストール

SolidNetWork ライセンスのシリアル番号を使用して、SolidNetWork License Manager を、すべてのクライアントにアクセスできるサーバー (SQL データベース サーバーが望ましい) にインストールします。

SolidNetWork License ソフトウェアは、SOLIDWORKS のインストール メディアに含まれます。

スタンドアロンのインストーラから SolidNetWork License Manager をインストールするには:

1. SOLIDWORKS のインストール メディアの適切な setup フォルダにディレクトリを変更します。
2. SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
3. swlicmgr\setup.exe を実行してインストールを開始します。
4. SolidNetWork ライセンスのシリアル番号を入力します。
シリアル番号を複数お持ちの場合は、番号ごとにカンマで区切って入力してください。
5. デフォルトのインストール フォルダのまま、**次へ (Next)** をクリックします。
6. **インストール (Install)** をクリックします。

SolidNetWorkライセンス アクティベーション (Activating a SolidNetWork License)

SOLIDWORKS PDM ボルトにクライアントとしてログインするには、SolidNetWork ライセンスをアクティブ化する必要があります。

SolidNetWork ライセンスをアクティブ化するには、以下を行います。

1. 次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS version > SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) > SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps) 画面の SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** で、**SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
2. アクティベーションを求めるプロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
SolidNetWork ライセンスをアクティブ化している場合は、**変更 (Modify)** をクリックします。
3. SolidNetWork ライセンス サーバー情報 (SolidNetWork License Server Information) 画面で以下を行います。
 - 会社でファイアウォールを使用している場合は、**このサーバーのファイアウォールは使用中です** (A firewall is in use on this server) を選択します。
詳細は、**SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用 (Using SolidNetWork License Server with Firewalls)** (83ページ) を参照してください。
 - **ポート番号** (Port Number) (およびファイアウォールを使用している場合は **ベンダーデーモン ポート番号** (Vendor Daemon Port Number)) にはデフォルト値を使用するか、または会社で使用しているポート番号を指定します。

ポート番号は、1024 - 60000の範囲内のTCP/IPポート番号で、これは他のプロセスでは使用できません。通常、デフォルト (25734) が好ましく、現在ライセンス マネージャーサーバー上にある他の FLEXnet サーバーのプロセスと一致する可能性が少ないといえます。

4. SOLIDWORKS 製品のアクティブ化 (Activate Your SOLIDWORKS Product) 画面で以下を行います。

- インターネットか電子メールのプロセスを選択します。
- 電子メールの連絡先を入力します。
- **次へ** をクリックし、続行します。
 - インターネットの場合: アクティベーションは自動的に行われます。
 - Email : **保存** をクリックしてリクエスト ファイルを作成し、ファイルを activation@solidworks.com に送信します。レスポンス ファイルを含む電子メールを受信したら、電子メールからファイルを抽出し、**開く** をクリックしてファイルを読み込みます。

必要に応じて、アクティベーション手順を終了してから再び実行してレスポンス ファイルを開きます。

5. **完了** (Finish) をクリックします。

SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用 (Using SolidNetWork License Server with Firewalls)

サーバーでファイアウォールを使用している場合は、SolidNetWork ライセンスをサポートするようにポートを構成する必要があります。

ファイアウォールはサーバー側で構成する必要があります。

WindowsファイアウォールのためのSolidNetWork License Manager設定の変更 (Modifying SolidNetWork License Manager Settings for Windows Firewall)

Windows ファイアウォールを使用している場合は、ファイアウォール ポートを使用してライセンス クライアント コンピュータにライセンスを配布するために、SolidNetWork ライセンス ファイルを変更する必要があります。

1. 次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS version > SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) > SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** で、**SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
2. ライセンス **サーバー** (License Server) のサーバー アドミニストレーション (Server Administration) タブで停止 (Stop) をクリックします。(確認を求めるプロンプトが表示されたら、**はい** と **OK** をクリックし、ライセンス サーバーの停止を完了します。)

3. **ライセンス情報** (License Information) で **変更** (Modify) をクリックします。
4. **サーバー タイプ** (Server Type) でネットワークのサーバー配置 (**単一** (Single) または **3 サーバー** (Triad)) を選択してから、**次へ** (Next) をクリックします。
5. **サーバー情報** (Server Information) で以下を行います。
 - a) **このサーバーのファイアウォールは使用中です** (A firewall is in use on this server) を選択します。
 - b) ポート番号とベンダー デモン ポート番号には、Windows ファイアウォールに指定したポート番号が含まれていなければなりません。
 - c) **オプション ファイル** を選択し、**参照** をクリックしてファイルを見つけます。 **編集** をクリックして、いずれかのパラメータを変更します。

オプション ファイルを使用することで、ライセンス管理者は FLEXnet ライセンスのさまざまな操作パラメータを制御できます。

オプション ファイルの推奨される場所は、SolidNetwork License Manager のインストール ディレクトリ (

`SolidNetwork_License_Manager_install_dir\Licenses \sw_d.opt`) です。このファイルは、sw_d.lic ファイルと同じディレクトリにある必要があります。

オプション ファイルの詳細については、SolidNetWork License Manager インストール ディレクトリにある *FLEXnet Publisher License Administration Guide* (`\Docs\flexuser\licensingenduserguide.pdf`) を参照してください。

- d) **次へ** (Next) をクリックし、**終了** (Finish) をクリックします。
6. **サーバー アドミニストレーション** (Server Administration) タブの **ライセンス サーバー** (License Server) で **開始** (Start) をクリックします。
7. **OK** をクリックして **SolidNetWork License Manager** を閉じます。

SolidNetWorkライセンス管理 (SolidNetWork License Administration)

タスクには、ライセンス マネージャー ライセンスの起動、アップグレード、およびアンインストールが含まれます。

SolidNetWork License Managerの開始 (Starting the SolidNetWork License Manager)

SolidNetWork License Manager は Windows の **スタート** メニューから開始できます。

次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。

- Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS version > SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) > SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。

- Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** で、**SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。

SolidNetWork License Managerのアップグレード (Upgrading the SolidNetWork License Manager)

SOLIDWORKS PDM メジャー リリースの場合、ライセンス マネージャーのアップグレードは古いライセンス マネージャーのアンインストール、新しいライセンス マネージャーのインストール、SolidNetWork ライセンスの再アクティブ化で構成されます。

SolidNetWork License Manager をアップグレードするには:

1. 次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS version > SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) > SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** で、**SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
2. ライセンスの使用状況 (License Usage) タブで、SOLIDWORKS PDM を実行しているクライアント コンピュータがネットワーク上にないことを確認します。
3. 古いライセンス マネージャーをアンインストールします。詳細は、[SolidNetWork License Manager のアンインストール \(Uninstalling the SolidNetWork License Manager\)](#) を参照してください。
4. 新しいライセンス マネージャーをインストールし、ライセンス マネージャー サーバーで SolidNetWork ライセンスを再アクティブ化します。詳細は、[SolidNetWork License Manager のインストール](#) (81ページ) を参照してください。

SolidNetWork ライセンス マネージャーのアンインストール (Uninstalling the SolidNetWork License Manager)

SolidNetWork License Manager をアップグレードする場合は、新しいバージョンをインストールする前に、まずアンインストールを行う必要があります。SolidNetWork ライセンスを別のサーバーに移行する場合は、現在のサーバーから SolidNetWork License Manager を削除する前にライセンス トランスファーを行う必要があります。

1. 次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS version > SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) > SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** で、**SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。

2. ネットワーク上のクライアントが SOLIDWORKS PDM を実行していないことを確認します。
ライセンスの使用状況 (License Usage) タブには、ライセンスを使用しているクライアントが表示されます。
3. ライセンス **サーバー** (License Server) のサーバー アドミニストレーション (Server Administration) タブで停止 (Stop) をクリックします。
4. **OK** をクリックし、ライセンス マネージャーを閉じます。
5. Windows で、**コントロール パネル (Control Panel) > プログラム (Programs) > プログラムと機能 (Programs and Features)** を開きます。
6. **SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager** を選択し、**アンインストール (Uninstall)** をクリックして削除を確認します。

これで、新しいバージョンのライセンス マネージャーのインストールを行う準備が整いました。詳細は、[SolidNetWork License Manager のインストール](#)および [SolidNetWorkライセンス アクティベーション \(Activating a SolidNetWork License\)](#) (82ページ) を参照してください。

SolidNetWorkライセンス トランスファー (Transferring a SolidNetWork License)

SolidNetWork ライセンスを新しいサーバーやアップグレードしたサーバーにトランスファー (移動) するには、まずライセンスを Dassault Systèmes SOLIDWORKS Corporation のライセンス キー サーバーにトランスファーし、その後別のサーバー上で再度アクティブ化します。

ライセンスを Dassault Systèmes SOLIDWORKS Corporation のライセンス キー サーバーにトランスファーできない場合 (たとえば、ハードドライブの故障など) でも、再アクティベーションはほとんどの場合に成功します。そうでない場合は、お客様の代理店にお問い合わせください。

SolidNetWork ライセンス サーバーはシリアル番号ごとに 1 つだけアクティブ化できます。

SolidNetWork ライセンスをトランスファーしてサーバーに戻すには:

1. 次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS version > SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) > SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps) 画面の SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) で、SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
2. **ライセンス情報 (License Information)** で **変更 (Modify)** をクリックします。
SOLIDWORKS 製品のアクティベーション (SOLIDWORKS Product Activation) ウィザードが開始されます。
3. **何を行いますか? (What would you like to do?)** で **ソフトウェア ライセンスのトランスファー (Transfer a software license)** を選択してから、**次へ (Next)** をクリックします。

4. **どのようにトランスファーしますか?** (How would you like to transfer?) で **インターネットを自動的に使用 (推奨)** (Automatically over the internet (recommended)) を選択します。
5. **連絡情報** (Contact Information) で連絡先の電子メール アドレスを指定します。
6. **次へ** (Next) をクリックします。これで、製品ライセンスのトランスファーが完了します。

一時的なライセンスのインストール (Installing Temporary Licenses)

一時的な "ANY" ライセンスは、オリジナルの SolidNetWork ライセンスが使用できない場合に一時的に使用できます。

"ANY" ライセンス ファイルのインストールにより、お客様は Dassault Systèmes SOLIDWORKS Corporation から SolidNetWork ライセンスを受け取った際、従来のライセンスの履行に同意することになります。この場合も、ライセンス制限への応諾が必要となります。

"ANY"ライセンスをインストールするには、以下を行います。

1. 既存のSolidNetWork ユーザーである場合、SolidNetWork License Manager のアンインストールを行い、インストール フォルダを削除します。詳細は、*SolidNetWork License Manager* のアンインストール (*Uninstalling the SolidNetWork License Manager*) を参照してください。
2. SolidNetWork License Manager を SOLIDWORKS PDM インストーラからインストールします。

SolidNetWork License Manager は、スタンドアロン インストーラからインストールすることもできます。詳細は、[SolidNetWork License Manager のインストール](#) (81ページ) を参照してください。

- a) SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager 設定 (SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager Setup) ページで、SolidNetWork ライセンスのシリアル番号を入力し、**次へ (Next)** をクリックします。
- b) **インストール** (Install) をクリックします。
3. SolidNetWork License Manager を起動します (**スタート (Start)** > **すべてのプログラム (All Programs)** > **SOLIDWORKS バージョン (version)** > **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** > **SolidNetWork License Manager バージョン (version)**) 。
4. アクティブ化を求めるプロンプトが表示される場合は、**いいえ** をクリックします。
SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager のサーバー アドミニストレーション タブが表示されます。
5. **詳細設定オプション** で **オプション** をクリックします。
詳細設定オプション (Advanced Options) ダイアログ ボックスが表示されます。
6. SolidNetWork Server ライセンス モードで **ライセンス ファイル使用** (Use a License File) をクリックし、**OK** をクリックします。
詳細設定オプション (Advanced Options) ダイアログ ボックスが閉じます。

7. **ライセンス情報** (License Information) で **変更** (Modify) をクリックします。
SolidNetWorkライセンス ファイル ウィザードが表示されます。
8. **サーバー タイプ** (Server Type) で **単一** (Single) を選択し、**次へ** (Next) をクリックします。
9. 次のメッセージが表示される場合は、以下を行います。
ドングルのID番号が読み取れませんでした。**キャンセル**をクリックしてください。
IDとして**"ANY"**が自動的に表示されます。

コンピュータでファイアウォールを使用している場合は、この画面で追加の指定を行う必要があります。詳細は、[SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用 \(Using SolidNetWork License Server with Firewalls\)](#) (83ページ) を参照してください。

10. インストレーションを続行します。

SolidNetWorkライセンスのトラブルシューティング (Troubleshooting SolidNetWork Licenses)

SolidNetWork License Manager のインストレーションに失敗した場合は、次の考えられる原因について確認してください。

SolidNetWorkライセンス ログ ファイルへのアクセス (Accessing the SolidNetWork License log files)

ライセンス エラーの原因は、ほとんどの場合、SNL_Manager_インストール_ディレクトリ \lmgrd.log ファイルに記載されています。

SOLIDWORKS PDM のライセンスを取得できなかったか、ライセンスサーバーに接続できない

通常、これらの問題はポート設定が原因で発生します。

- SolidNetWork License Manager とライセンス クライアントとで一致していないポート設定を使用している場合が考えられます。
- 複数バージョンの SolidNetWork License Manager で必要な追加のポート設定が指定されていない場合が考えられます。
- サーバー名が指定されている場合に、クライアント マシンがサーバーを正確に解決してサーバーにルートできることを確認します。また、クライアント マシン名が指定されている場合に、サーバーがクライアントを正確に解決してクライアントにルートできることを確認します。
- サーバー アドミニストレーション (Server Administration) タブのログ ファイルで、ポート番号が正しいことを確認します。
- SolidNetWork ライセンス サーバーのファイアウォールがポート アクセスをブロックしていないことを確認します。

ログエラーが発生した場合は、アドミニストレーションツールでログファイルを確認できます。

ライセンス契約 (Licensing)

ライセンス タイプ

SOLIDWORKS PDM では、フローティング クライアント ライセンスを使用します。 ボルトにログインすると、SolidNetWork License Server によって管理されるライセンスのプールから、お使いのシステムにインストールされるライセンスが取得されます。 SOLIDWORKS PDM をログアウトまたは終了すると、ライセンスはプールに戻され、別のクライアントで使用できるようになります。

SOLIDWORKS PDM Professional のライセンス

ライセンス:	含まれるライセンス タイプ
SOLIDWORKS PDM ProfessionalCAD Editor & Web	Editor: 全てのファイル タイプをサポートし、SOLIDWORKS を含む CAD フォーマットの管理とプレビュー機能が強化されています。 CAD アドインの使用により、CAD アプリケーションから SOLIDWORKS PDM Professional 機能にアクセスすることも可能です。 Web: リモート ユーザーはWebクライアントを使用してボルトの検索と基本機能の実行ができるため、リモートワークプロセスが実現できます。
SOLIDWORKS PDM ProfessionalContributor & Web	Contributor: LAN、WAN、VPNのユーザーは、CADアドインが利用できないこと以外はEditorライセンス タイプと同じ機能を実行できます。 Web: リモート ユーザーはWebクライアントを使用してボルトの検索と基本機能の実行ができるため、リモートワークプロセスが実現できます。
SOLIDWORKS PDM Professionalビューア	ボルトに読み取り専用のアクセスを提供します。 ユーザーはファイルを追加、変更（チェックアウト、チェックイン、値を更新）したりCADアドインを使用したりすることはできません。

SOLIDWORKS PDM Standard のライセンス

ライセンス:	含まれるライセンス タイプ
SOLIDWORKS PDM StandardCAD Editor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。Office プラグインで処理されるすべてのファイル フォーマットは、プレビューを除き、SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動作します。
SOLIDWORKS PDM Standard提供者	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。
SOLIDWORKS PDM Standardビューア	ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可します。ユーザーはファイルを追加、変更（チェックアウト、チェックイン、値を更新）できません。

クライアント ライセンス タイプの変更

クライアント ライセンス タイプはインストール中に選択します。

前提条件:

- ライセンス タイプを変更するには、Windows に対するローカル管理権限が必要です。
- クライアントがアドミニストレーティブ イメージからインストールされている場合（アクティブ ディレクトリの展開または類似のスクリプトを使ったインストールにより）、指定されたクライアント タイプを持つ別のアドミニストレーティブ イメージからクライアントを再インストールしなければなりません。

ライセンス タイプは、以下によって変更できます：

- コントロール パネル (Control Panel) > プログラム (Programs) > プログラムのアンインストール (Uninstall a program)** を使用して SOLIDWORKS PDM を削除し、再インストールします。
- プログラムのアンインストールまたは変更 (Uninstall or change a program) ダイアログ ボックスを開き、**SolidWorks PDM クライアント (SOLIDWORKS PDM Client)** > **変更** を選択します。SOLIDWORKS PDM インストール ウィザードで、**変更** を選択します。

MSI を使用して SOLIDWORKS PDM をインストールした場合、プログラムのアンインストールまたは変更 (Uninstall or change a program) ダイアログ ボックスに **SolidWorks PDM クライアント (SOLIDWORKS PDM Client)** または **SOLIDWORKS PDM Server** がリストされます。SLDIM を使用して SOLIDWORKS PDM をインストールした場合、SOLIDWORKS インストレーションを修正する必要があります。

- SOLIDWORKS PDM について (About SOLIDWORKS PDM) ダイアログ ボックスを使用します。

SOLIDWORKS PDM について (About SOLIDWORKS PDM) ダイアログ ボックスからクライアント ライセンス タイプを変更するには:

1. ヘルプ > **SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション (Administration)** をクリックします。
2. **クライアントタイプ (Client type)** ドロップダウン リストを使用して、別のクライアント ライセンス タイプを選択します。
3. **OK** をクリックします。
4. コンピュータを再起動する指示が表示されたら、**OK** をクリックします。
5. コンピュータを再起動します。

クライアントがインストールされたときに使用されたライセンス タイプによっては、SOLIDWORKS PDM について SOLIDWORKS PDM について (About SOLIDWORKS PDM) ダイアログ ボックスから CAD Editor のライセンス タイプを変更しても、CAD アドインが有効にならない場合があります。有効にならない場合は、前述の方法で SOLIDWORKS PDM を削除し、再インストール時に **SOLIDWORKS PDM CAD Editor** を選択してください。

クライアントのないシステムのバージョン情報を確認する (Viewing Version Information for Non-client Systems)

クライアントがインストールされていないサーバー上で **SOLIDWORKS PDM** ソフトウェアのバージョンを確認するには、以下のようにします:

1. コントロール パネル (**Control Panel**) > プログラム (**Programs**) > プログラムのアンインストール (**Uninstall a program**) を開きます。
2. **/> Server** をクリックします。SOLIDWORKS PDM
バージョン (**Version**) 列に、現在インストールされているバージョンが表示されます。

クライアント システムのバージョン情報を確認する

クライアント上の SOLIDWORKS PDM ソフトウェアのバージョンを確認するには:

1. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールにログインします。
2. ヘルプ (**Help**) > **/> アドミニストレーションについて (Administration)** をクリックします。SOLIDWORKS PDM
3. **クライアント バージョン (Client version)** を確認し、**OK** をクリックします。

SolidNetWork ライセンス サーバーの追加と変更

SOLIDWORKS PDM クライアントからボルトにログインするには、現在インストールされているライセンス タイプおよびバージョンと一致するライセンスが必要です。ライセンスは、ライセンス設定で定義された SolidNetWork ライセンス サーバーから取得されます。SolidNetWork ライセンス サーバーを追加または変更するには、アドミニストレーション ツールから使用可能な Set License ダイアログ ボックスを使用します。

ライセンス サーバーを追加または変更するには:

1. 次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート > すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**をクリックしてください。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. ファイル ボルトを作成するか、既存のファイル ボルトを展開します。
3. **ライセンス(License)**ノードを右クリックし、**開く(Open)**を選択します。
4. サーバー リスト タブで、**追加 (Add)** をクリックします。
5. SolidNetWork License Manager のアドレスを次の形式で入力します: port@SNLServerName

デフォルトのポート番号は 25734 です。SNLServerName には、SolidNetWork ライセンス サーバーのホスト名または IP アドレスを入力できます。すべてのクライアントが IP アドレスまたはホスト名でライセンス サーバーにアクセスできることを確認してください。

6. **OK** をクリックします。
7. ライセンスの使用状況 (License Usage) タブをクリックし、SOLIDWORKS PDM ライセンスが使用可能であることを確認します。
8. **OK** をクリックします。

ライセンス キーの設定ダイアログ ボックス (Set License Dialog Box)

ライセンス サーバーを追加または変更するには、ライセンス キーの設定 (Set License) ダイアログ ボックスを使用します。SOLIDWORKS PDM クライアントからボルトにログインするには、現在インストールされているライセンス タイプおよびバージョンと一致するライセンスが必要です。

このダイアログボックスを開くには次のいずれかを実行します：

- **ライセンス (License)** をダブルクリックします。
- **ライセンス (License)** を右クリックし、**開く (Open)** を選択します。

Server

サーバー リスト (Server List)	SolidNetWork ライセンス サーバーをリストします。 例: Port@SNLServerName
-------------------------------	--

追加	ライセンス サーバーを追加できます。
-----------	--------------------

削除	選択したライセンス サーバーを除去できます。
-----------	------------------------

ライセンスの使用状況 (License Usage)

Server	SolidNetWork ライセンス サーバーを選択できます。
プロダクト	ライセンスの詳細を表示するには、SOLIDWORKS PDMライセンスタイプを選択します。 ライセンス タイプ (89ページ) を参照してください。
ライセンスの合計数 (Total licenses)	ライセンスの合計数を表示します。
未使用ライセンス (Free licenses)	未使用ライセンスの数を表示します。
ライセンス使用者 (Licenses used by)	使用されているライセンスの詳細を表示します。

SOLIDWORKS PDM Web サーバーのインストール

SOLIDWORKS PDM Professional Web サーバーは、ユーザーが任意のシステムから Windows Internet Explorer を使用してインターネットまたはイントラネット経由で 1 つまたは複数のファイルポルトに直にアクセスできるようにします。

Web サーバーおよびクライアントのインストール方法、および使用方法については、*SOLIDWORKS PDM Web サーバー ガイド*を参照してください。

SOLIDWORKS PDM Web2 のインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

Web2 では、ユーザーは、インターネット ブラウザを使用して、ほとんどのデバイスから SOLIDWORKS PDM Professional ポルトに接続できます。Web2 クライアントが役立つのは、社内ネットワークに接続していない、あるいはオペレーティング システムがサポートされていない、外部および内部のユーザーです。

Web2 をインストールする前に

Web2 をインストールするには、次のコンポーネントをインストールする必要があります。

- Microsoft .NET 4
- Microsoft Internet Information Services 7 以降のバージョン (IIS)

SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールし、IIS を実行しているサーバー上の Web2 がアクセス可能なローカル ボルト ビューを作成する必要があります。

- Windows Server 2016 以降のオペレーティング システム
- Microsoft Visual C++ 2013 runtime

Microsoft .NET Framework 4.0 のインストール

Microsoft .NET Framework 4.0 のインストールについて詳しくは、
<http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=17718>を参照してください。

Windows Server 2012上で Microsoft IIS を有効にする

1. Windows のスタート (**Start**) メニューで、サーバー マネージャー (Server Manager) と入力して、サーバー マネージャー (**Server Manager**) をクリックします。
2. 管理 (**Manage**) > 役割と機能の追加 (**Add Roles and Features**) を選択します。

3. 役割と機能の追加ウィザード (Add Roles and Features Wizard) を完了します。
 - a) サーバーの役割の選択 (Select Server Roles) 画面で、**Web サーバー (IIS) (Web Server (IIS))** を選択して**次へ (Next)** をクリックします。
 - b) **機能の選択 (Select Features)** 画面で、**.NET Framework 4.5 の機能 (.NET Framework 4.5 features)** を有効にして、オプション **.NET Framework 4.5 と ASP .NET 4.5** を含めます。
 ボルトに .NET 3.5 以前のバージョンに依存するアドインが含まれる場合、機能の選択 (Select Features) 画面で **.NET Framework 3.5 の機能 (.NET Frameworks 3.5 features)** も有効にします。
 - c) IIS で必要な機能を追加するようにメッセージが表示されたら、**必要な機能を追加 (Add Required Features)** をクリックします。それ以外の場合は、**次へ** をクリックします。
 - d) 役割サービスの選択 (Select Role Services) 画面で、**Webサーバー (Web Server)** を展開して次のオプションを選択します。

フォルダー	オプション
HTTP 基本機能 (Common HTTP Features)	既定のドキュメント (Default Document) ディレクトリの参照 (Directory Browsing) HTTPエラー (HTTP Errors) 静的コンテンツ (Static Content)
状態と診断 (Health and Diagnostics)	HTTPログ (HTTP Logging)
パフォーマンス	静的なコンテンツの圧縮 (Static Content Compression)
セキュリティ	要求フィルター (Request Filtering)
アプリケーション開発 (Application Development)	.NET Extensibility 4.5 (および、インストールされている場合には 3.5) ASP ASP.NET 4.5 (および、インストールされている場合には 3.5) CGI ISAPI Extensions ISAPI Filters
管理ツール (Management Tools)	IIS Management Console

4. ウィザードを完了し、**インストール (Install)** をクリックします。

Windows Server 7上で Microsoft IIS を有効にする

正式運用環境では、SOLIDWORKS PDM Web2 を Microsoft Windows 7 で実行することは推奨されません。

Windows 7 で Microsoft IIS を有効にするには:

1. Windows でコントロール パネル (Control panel) > プログラム (Programs) > プログラムと機能 (Programs and Features) > Windows の機能の有効化または無効化 (Turn Windows features on or off) を開きます。
2. ダイアログ ボックスで、インターネット インフォメーション サービス (Internet Information Services) をオンにします。
3. Web 管理ツール (Web Management Tools) を展開し、IIS 管理コンソール (IIS Management Console) を選択します。
4. World Wide Web サービス (World Wide Web Services) を展開し、次のオプションを選択します。

フォルダー	オプション
Application Development Features	.NET Extensibility ASP.NET CGI ISAPI Extensions ISAPI Filters
HTTP 基本機能 (Common HTTP Features)	静的コンテンツ (Static Content) 既定のドキュメント (Default Document) ディレクトリの参照 (Directory Browsing) HTTPエラー (HTTP Errors)

5. **OK** をクリックします。

Windows 10 での Microsoft IIS の有効化

推奨事項：正式運用環境で SOLIDWORKS PDM Web2 を実行するには、Microsoft Windows 10 を試用しないでください。

Windows 10 で Microsoft IIS を有効にするには:

1. Windows でコントロール パネル (Control panel) > プログラム (Programs) > プログラムと機能 (Programs and Features) > Windows の機能の有効化または無効化 (Turn Windows features on or off) を開きます。

2. ダイアログ ボックスで、**インターネット インフォメーション サービス (Internet Information Services)** をオンにします。
3. **Web 管理ツール (Web Management Tools)** を展開し、**IIS 管理コンソール (IIS Management Console)** を選択します。
4. **World Wide Web サービス (World Wide Web Services)** を展開し、次のオプションを選択します。

フォルダー	オプション
Application Development Features	.NET Extensibility 4.5 ASP.NET 4.5 ISAPI Extensions ISAPI Filters Server-Side には、以下が含まれます
HTTP 基本機能 (Common HTTP Features)	静的コンテンツ (Static Content) 既定のドキュメント (Default Document) ディレクトリの参照 (Directory Browsing) HTTPエラー (HTTP Errors)
状態と診断 (Health and Diagnostics)	HTTPログ (HTTP Logging)
性能機能 (Performance Features)	静的なコンテンツの圧縮 (Static Content Compression)
セキュリティ	要求フィルター (Request Filtering)

ASP .NET 4 の登録

Windows 7 上で IIS を実行する場合、ASP .NET 4 を登録して IIS サーバー上で使用可能にする必要があります。

ASP .NET 4 を登録するには:

1. Windows エクスプローラで `C:\Windows\Microsoft.NET\Framework64` を参照し、.NET 4.0 Framework フォルダの名前を確認します。
2. Windows の**スタート (Start)** メニューで、`cmd` と入力し、`cmd.exe` を右クリックして**管理者として実行 (Run as administrator)** を選択します。
3. `cd C:\Windows\Microsoft.NET\Framework64\v4.0.30319` と入力します。
4. `aspnet_regiis -iru` と入力します。

5. ASP.NET のインストールが完了しました (Finished installing ASP.NET) と表示されたら、コマンド プロンプトを閉じます。

Web2 Server インストールの実行

1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてIISシステムにログオンします。
2. SOLIDWORKS DVD を挿入します。
3. SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
4. \SWPDMServer\setup.exe を実行して、サーバーのインストールを開始します。
5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面が表示されるまで、インストール画面の指示に従ってください。
6. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を選択します。
7. サーバー インストール (Server Installation) 画面で **Web2 Server** とクライアント (**Client**) を選択します。

- Web2 サーバーでは、同じマシン上にクライアントがインストールされている必要があります。
- Web2 を通してファイルを編集または追加する場合、クライアント タイプは Contributor または CAD Editor である必要があります。Web2 ユーザーが Viewer 機能に限定される場合、サーバー上に Viewer クライアントをインストールして有効にする必要があります (ライセンス タイプに関係なく、ログイン画面で選択します)。
- 同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインストールできます。

8. プログラム インストールの準備完了 (Ready to Install the Program) の画面で、**インストール (Install)** をクリックします。
9. InstallShield Wizard完了 (InstallShield Wizard Completed) 画面で、**完了 (Finish)** をクリックします。

Running Web2 を実行する IIS サーバー上でのボルト ビューの作成

Web2 サーバーからアクセス可能なファイル ボルトに対するローカル ファイル ボルト ビューを作成できます。

- ビューが、すべてのユーザーに対する共有ビューとして作成されることを確認します。
- このプロセスの後半では、Windows ユーザーをアプリケーション プール ID として定義します。このユーザーは、ボルト ビューを参照し、ファイルまたはフォルダを少なくとも 1 回右クリックしてアドインとレジストリ設定が正しく登録されていることを確認する必要があります。

ボルトで Windows ログインが使用される場合、次のようにして、Web2 サーバー上のボルト ビューへの自動ログインを無効にする必要があります。

1. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを起動します。

2. 左側パネルで、**ローカル設定 (Local Settings)** > **設定 (Settings)** を展開します。
3. 自動ログイン (Automatic Login) タブで、Web2 によってアクセス可能なボルトを**ボルト (Vault)** リストから選択します。
4. **サーバーデフォルトを使用 (Use server default)** および**このボルトに自動ログインを使用 (Use automatic login for this vault)** を無効にします。
5. **OK** をクリックします。

SOLIDWORKS PDM Web2 の設定

IIS Manager のアプリケーション設定機能にアクセスするか、
inetpub\wwwroot\SOLIDWORKSPDM\Web2 にある Web.config ファイルを編集して、
SOLIDWORKS PDM Web 2 を設定できます。

Web.config ファイルの編集

IIS サーバー上にローカル ファイルボルト ビューを作成したファイルボルトにアクセスするには、
Web.config ファイル内の *VaultName* キーと *VisibleVaults* キーを更新する必要があります。

XML ベースの Web.config ファイルは、メモ帳または任意の XML 編集アプリケーションで編集
できます。

Web.config ファイルが読み取り専用でないことを確認してください。Web.config ファイル
を編集する場合は、値を必ずダブルクォーテーションで囲んでください。

1. XML 編集アプリケーションで Web.config ファイルを開きます。
2. Web2 を介してアクセスしたいプライマリ ボルト名を *VaultName* キーに追加します。
例:

```
<add key="VaultName" value="PDM_Pro_Vault">
```

 この名前では、大文字と小文字が区別されます。
3. オプション: Web2 を介して複数のボルトにアクセスするには、AllowAccessToOtherVaults
を "true" に設定します。

```
<add key="AllowAccessToOtherVaults" value="true">
```
4. オプション: 複数のボルトにアクセスする場合、VisibleVaults ごとにボルト名を | で区
切って入力します。

```
<add key="VisibleVaults" value="PDM_Test|PDM_Pro_Vault" />
```

5. オプション: ユーザーおよびグループ用のダウンロード権限を制御するには、Web.config ファイルの <configuration> ノードに以下の設定を追加し、構成します。

```
<vaultSettings>
  <vault name="EPDM" defaultDelimiter="|" denyDownloadGroups="">
    <user name="admin" denyDownload="false"/>
  </vault>
</vaultSettings>
```

ボールド設定	説明
name	ボールドの名称。制御されたダウンロード権限を必要とするボールドに対して、それぞれ個別の <vaultSettings> セクションを作成します。
defaultDelimiter	denyDownloadGroups 設定で、グループ名を区切るための区切り記号。デフォルト区切り記号は です。
denyDownloadGroups	指定されたボールドでダウンロードが拒否されている可能性のあるグループ。グループ名は、defaultDelimiter 設定に指定された区切り記号で区切ることができます。

ユーザー設定	説明
name	ユーザーのログイン名。各ユーザー用個別の <user> ノードを作成します。
denyDownload	指定されたユーザーのダウンロードを拒否または許可する設定。false に設定された場合、そのグループはファイルをダウンロードできます。true に設定された場合、そのグループはファイルをダウンロードできません。

6. オプション: デフォルトのログイン ライセンス タイプをビューア (Viewer) に変更するには、DefaultLicenseType を "Viewer" に設定します。

```
<add key="DefaultLicenseType" value="Viewer"></add>
```

Microsoft IIS の設定

1. Windows の **スタート (Start)** メニューで、「IIS」と入力してインターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャを開きます。
2. 左側パネルで、コンピュータ名を展開して、**アプリケーション プール (Application Pools)** を選択します。
3. **SOLIDWORKS PDM Web2 > 拡張設定 (Advanced Settings)** を右クリックします。
4. **ユーザー プロファイルの読み込み (Load User Profile)** が **True** に設定されていることを確認します。

5. 拡張設定 (Advanced Settings) ダイアログ ボックスで、ボタンをクリックして**ID**を設定します。
 - a) アプリケーション プール ID (Application Pool Identity) ダイアログ ボックスで、**カスタム アカウント (Custom account)** を選択して**設定 (set)** をクリックします。
 - b) 資格情報の設定 (Set Credentials) ダイアログ ボックスで、現在 Windows にログインしているユーザー、または IIS システムにログインし、ファイル ボールトを参照し、少なくとも 1 回フォルダをクリックしたユーザーの Windows 資格情報を入力します。
 - c) **OK** を 3 回クリックします。

このユーザーのパスワードを変更する場合、アプリケーション プールは、ユーザーがパスワードを更新するまで動作を停止します。

カスタム アカウント ユーザーが **IIS_IUSRS** グループのメンバーであることを確認します。 **コンピュータ (Computer) > 管理 (Manage) > ローカル ユーザーとグループ (Local Users and Groups) > グループ (Groups) > IIS_IUSRS** を右クリックします。

カスタム アカウント ユーザーがローカル **Administrators** グループのメンバーであることを確認します。

SOLIDWORKS PDM Web2 サーバーをアップグレードする際、Microsoft IIS を構成して、アプリケーション プール、**SOLIDWORKS PDM Web2** を変更する必要があります。

Web2 へのアクセス

コンピュータまたはモバイル デバイスで Web2 にアクセスできます。

Web ブラウザのアドレス フィールドに次の URL を入力します。

`http://ComputerName/SOLIDWORKSPDM`

Web2 ログイン ページが表示されない場合、IIS サーバー上の Windows ファイアウォールでポート 80 経由のアクセスが許可されていること、および IIS サーバー サービスが開始されていることを確認します。

新しい Web2 アプリケーションの作成

Web2 サーバーをインストールすると、**SOLIDWORKSPDM** という名前の Web2 アプリケーションがデフォルトの Web サイトに自動的に作成されます。

Web2 アプリケーションを新規作成するには:

1. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー を開きます。
2. 左側パネルで、コンピュータ名を展開して、**サイト (Sites)** を選択します。
3. **既定の Web サイト (Default Web Site)** を右クリックして、**アプリケーションの追加 (Add Application)** を選択します。

4. **エイリアス (Alias)** フィールドに名前を入力します。
このエイリアスは、Web2 アプリケーションへの接続アドレス、つまり
`http://ComputerName/applicationalias` です。
5. **選択 (Select)** をクリックし、**アプリケーション プール (Application Pool)** に対して
SOLIDWORKS PDM Web2 を選択します。
6. **物理パス**については、`inetpub\wwwroot\SOLIDWORKSPDM\Web2` を参照します。
7. **OK** を2回クリックします。
個別の Web2 URL アドレスを作成して別のボルトにアクセスする場合には、
`inetpub\wwwroot\SOLIDWORKSPDM\Web2` をコピーして、新しいアプリケーション物理パスでこのコピーを指します。 コピーしたフォルダ内の `Web.config` を、アクセスするボルト名で更新します。

アプリケーション設定ダイアログ ボックスの設定

IIS Manager のアプリケーション設定機能にアクセスするか、アプリケーション ファイルに含まれる Web.config ファイルを編集して、SOLIDWORKS PDM Professional を設定できます。

設定：	タイプ	デフォルト値(Default Value)
AllowAccessToOtherVaults	真/偽	TRUE
AllowDataCardEdit	真/偽	TRUE
AllowLicenseChange	True/False	True
ClientValidationEnabled	真/偽	TRUE
ColumnSetName	テキスト	エクスプローラ
DateFormat	テキスト	MM/dd/yy
DaysInState_Sortable	真/偽	TRUE
DaysInState_Visible	真/偽	TRUE
DefaultLanguage	テキスト	en
DefaultLicenseType	テキスト (Text)	Web
DownloadZipFilename	テキスト	Files.zip
EditableDataCardVariables	テキスト	*
FileList_PageSize	数	15
FileList_PageSize_Mobile	数	10
FileUploadPath	テキスト	\Content\Uploads\
FreeSearch	真/偽	FALSE
OnlySearchLatestVersion	真/偽	TRUE
PopupWindowHeight		780

設定：	タイプ	デフォルト値(Default Value)
	数	
PopupWindowWidth	数	1040
PreviewGenerationTimeOut	数	30
RememberMe_Days	数	7
RememberMe_Visible	真/偽	TRUE
SearchDataCardVariables	区切りテキスト リスト	コメント 説明
UnobtrusiveJavaScriptEnabled	真/偽	TRUE
VaultName	テキスト	EPDM
VisibleVaults	区切りテキスト リスト	EPDM_Test EPDM
webpages:Version	数値文字列	1.0.0.0

アプリケーション設定ダイアログ ボックスの変数

設定：	説明
AllowAccessToOtherVaults	True に設定されている場合、サーバー上の複数のボルトにログインできます。 False に設定されている場合、VaultName 設定により、VisibleVaults に設定された単一ボルト ビューに接続できます。 True に設定すると、他のボルトはログインにクエリ文字列変数の Vault を使用します。
AllowDataCardEdit	

設定：	説明
	True に設定されている場合、チェックアウト権限が割り当てられているデータ フィールドの値を編集できます。この設定は、編集対象の変数を制御する EditableDataCardVariables 設定と組み合わせて使用します。 SOLIDWORKS PDM Web2 は、コンフィギュレーション値をすべて自動で更新するわけではありません。トランジションアクションを使用して設定された変数の値は、すべてのコンフィギュレーション値を指定されたとおりに更新します。
AllowLicenseChange	True に設定されている場合、ライセンス タイプを変更して、Web ライセンスまたはビューア (Viewer) ライセンスのいずれかを使用するようにできます。False に設定した場合、DefaultLicenseType 設定で指定されたライセンス タイプだけを使用できます。
ClientValidationEnabled	変更しないでください。
ColumnSetName	SOLIDWORKS PDMWeb2 は、ボルトで定義されたユーザー定義の列セットを表示します。列セットは 1 つのみ表示できます。これはすべてのユーザーに適用されます。 名前 (Name)、チェックアウト (Checked Out)、サイズ (Size)、ステータス (State)、変更日時 (Modified)、バージョン (Version) に定義された列がユーザー定義の列セットに含まれていると、その名前がデフォルトの Web2 列で予約されているため、サポート対象外となります。
DateFormat	

設定：

説明

SOLIDWORKS PDM Web2 の日付フィールドの表示を制御します。さまざまな区切り文字を使用して日付を設定できます。日付フィールドを表示するために、次のような多様なオプションがあります。

月	"M"	"M">1-12、"MM">01-12、 "MMM">Dec、 "MMMM">December
日	"d"	"d">1-31、"dd">01-31、 "ddd">Sat、"dddd">Saturday
年	"y"	"y">0-99、"yy">00-99、"yyy">0000-9999

例：

"MM/dd/yy">06/07/09

"dddd, MMMM-d, yyyy">Sunday, June-7, 2009

DaysInState_Sortable

True に設定されている場合、**ステータス (State)** 列の日数をソート可能に設定します。SOLIDWORKS PDM Web2 のデフォルト列はソート可能ですが、列セットを定義して表示される列はソートできません。

DaysInState_Visible

True に設定されている場合、**ステータス (State)** 列に日数を表示します。この列は SOLIDWORKS PDM Web2 固有です。

DefaultLanguage

設定：

説明

最初のログインで表示されるデフォルトの言語 **en** を設定します。この言語は Web2 ユーザー インタフェースから変更できます。

Web2 ユーザー インタフェースは、インターネットクッキーをクリアするまで変更された言語を表示します。

この設定に使用される言語コードは次のとおりです：

インチ規格	en	スペイン語	es
フランス語	fr	イタリア語	it
日本語	ja	Korean	ko
ドイツ語	de	ポーランド語	pl
中国語（中国）	zhs	ポルトガル語	pt
中国語（台湾）	zht	ロシア語	ru
チェコ語	cs	トルコ語	tr

DefaultLicenseType

Web2 のログイン ページで、すべてのユーザーのデフォルト ライセンス タイプを設定します。ライセンス タイプは、**Web** または **ビューア (Viewer)** として設定できます。

DownloadZipFilename

複数のファイルをダウンロードに選択すると、Web2 はそれらのファイルを 1 個の圧縮ファイルに統合します。この設定で、圧縮ファイルの名前を指定します。

EditableDataCardVariables

AllowDataCardEdit が True に設定されている場合、この設定で編集対象の変数を制御します。デフォルト値は * で、読み取り専用でないすべての変数を編集できます。複数の値を | で区切ります。たとえば、*Description* と *Number* を編集する場合、“Description|Number” と入力します。

FileList_PageSize

フル SOLIDWORKS PDM Web2 バージョンに表示するファイルとフォルダのデフォルト数を設定します。

FileList_PageSize_Mobile

モバイル SOLIDWORKS PDM Web2 バージョンに表示するファイルとフォルダのデフォルト数を設定します。

設定：	説明
FileUploadPath	新しいファイルをアップロードまたは新しいバージョンを作成する場合、SOLIDWORKS PDM Web2 はファイルを Uploads フォルダにコピーします。このフォルダのフルパスは、Web2 アプリケーション ファイルの場所により異なります。たとえば、Web2 アプリケーション ファイルが C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM\Web2 にある場合、Uploads フォルダのパスは C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM\Web2\Content\Uploads となります。
FreeSearch	SOLIDWORKS PDM Web2 が、すべてのファイル名とフォルダ名、変数名、コンフィギュレーション名、コメント、ラベルを検索できます。
OnlySearchLatestVersion	検索をファイルの最新バージョンに限定します。True に設定すると、検索では最新バージョンのみの値が検出されます。
PopupWindowHeight	プレビュー イメージ上でクリックしたときに表示されるポップアップ表示ウィンドウの、幅をピクセル単位で設定します。
PopupWindowWidth	プレビュー イメージ上でクリックしたときに表示されるポップアップ表示ウィンドウの、高さをピクセル単位で設定します。
PreviewGenerationTimeout	変換操作が終了するまでに、プレビュー コンバータが待機可能な長さを秒単位で制御します。この設定の最小値は、30 秒です（最大値の制限はありません）。大規模ファイルおよび複雑なフォーマットまたはグラフィックを含むファイルは、変換処理に時間がかかります。ファイル プレビュー ページでタイムアウト エラーが発生した場合は、ファイルに必要な変換時間がこの値を超えていることを示します。タイムアウト値を増すと、コンバータが長時間かけて変換を完了させることができます。
RememberMe_Days	ボルト名、ライセンスの種類、ユーザー名のログイン情報を、システムがユーザーに記憶させる日数を設定します。
RememberMe_Visible	ログイン画面のパスワードを記憶する (Remember me) チェックボックスの表示を制御します。
SearchDataCardVariables	

設定：	説明
	FreeSearch を False に設定すると、SOLIDWORKS PDM Web2 は、入力されたファイル名、フォルダ名、変数名を検索します。変数名は で区切ります。ユーザー インタフェースの検索ボックスには次のいずれかが表示されます。 • フリー検索 (Free Search) (True に設定されている場合) • ファイル/フォルダ名、変数1、変数2 (File/Folder name, variable1, variable2) (フリー検索 (Free Search) が False に設定されている場合)
UnobtrusiveJavaScriptEnabled	変更しないでください。
VaultName	SOLIDWORKS PDM Web2 の接続先のボルト名を指定し、それをログイン画面に表示します。単一ボルトにのみアクセスする場合は、VisibleVaults 設定の値をクリアしてください。
VisibleVaults	複数のボルトにアクセスする場合は、ボルト名を で区切って入力してください。
webpages:Version	変更しないでください。

変数名および変数値エイリアスの設定

ボルトにユーザー フレンドリーではない変数名が含まれる場合、データ カード プレビューに分かりやすい名前が表示されるように、エイリアスを設定できます。

例: 部品番号値を格納する変数 *PAR_NUM* がボルトに含まれる場合、この変数をデータ カード プレビューに**部品番号 (Part Number)**と表示すると分かりやすくなります。これは、プロパティ名のエイリアス設定で設定できます。

データ カード プレビュー ページには、この変数とその値がリスト形式で表示されます。データ カードは、シック クライアントまたは既存の Web クライアントに表示されるようには表示されません。したがって、書式、図、ラベル、およびその他のカード コントロールはサポートされません。

また、変数値にもエイリアスを指定できます。例: テキスト タイプ変数が、ファイルがスペア部品かどうかを表示するチェック ボックス コントロールに接続されている場合、SOLIDWORKS PDM Web2 の値は、チェック ボックスが選択されているかクリアされているかによって、**1** または **0** と表示されます。変換エイリアス値の設定を介して、**はい (Yes)** または **いいえ (No)** を表示するように変数値を設定できます。

変数名エイリアスの設定

1. メモ帳または XML 編集プログラムで Web.config ファイルを開きます。<!-- プロパティエイリアスおよび値マッピングの処理に使用するセクション --> <propertySettings>
<property name="SPARE_PART" alias="Spare part"> <transform value="1" alias="Yes" /> <transform value="" alias="No" /> </property>
</propertySettings>
2. propertySettings セクションまで、下にスクロールします。
3. 次のように入力します:

属性	動作	例
名前 (name)	実際の変数名	name="SPARE_PART"
alias	目的の変数名	alias="Spare part"

4. 変数値のエイリアスを設定するには、変換の値 (value) 属性に実際の値を入力します。
このステップはオプションです。変数名にエイリアスが必要な場合には、変換ラインを削除します。

エイリアス	値	目的の値
値 (value)	"1"	alias="Yes"
値 (value)	""	alias="No"

システム メンテナンス

使用可能なディスク領域を確保するため、2 つのフォルダを定期的に監視して空にする必要があります。

監視するフォルダ:

Uploads: ボルトにコピーする前に、アップロードされるファイルを追加するフォルダ。

tempFiles: アプリケーション ファイルの位置の Content フォルダ下に存在するフォルダであり、プレビューの目的で使用されます。

SOLIDWORKS PDM Web API サーバーのインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

EXALEAD® OnePart ユーザーは、Web API サーバーを使用し、SOLIDWORKS PDM データをインデックス化して検索できます。

Web API サーバーは、他の SOLIDWORKS PDM サーバー コンポーネントとともに同じコンピュータにインストールすることも、別のコンピュータに個別にインストールすることもできます。

Web API サーバーをインストールする前に

Microsoft Internet Information Services 7 以降のバージョン (IIS) をインストールして有効にする必要があります。

Web API サーバー インストールの実行

1. ローカル管理者権限のあるユーザーとして IIS システムにログオンします。
2. SOLIDWORKS DVD を挿入します。
3. SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
4. \SWPDMServer\setup.exe を実行して、サーバーのインストールを開始します。
5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面が表示されるまで、インストール画面の指示に従ってください。
6. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を選択します。
7. サーバー インストール (Server Installation) 画面で、**Web API サーバー (Web API Server)** を選択します。

同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインストールできます。

8. オプション: **HTTP ポート番号 (HTTP port number)** に 0 ~ 65535 の値を指定します。デフォルト値は 65453 です。
9. プログラム インストールの準備完了 (Ready to Install the Program) の画面で、**インストール (Install)** をクリックします。
10. InstallShield Wizard 完了 (InstallShield Wizard Completed) 画面で、**完了 (Finish)** をクリックします。

Web API サーバーのコンポーネントは、IIS ディレクトリにインストールされます。

SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール

システムが SOLIDWORKS PDM ファイル ボルトを使用するには、SOLIDWORKS PDM クライアントがインストールされていなくてはなりません。

以下の種類の SOLIDWORKS PDM Professional クライアントが利用可能です：

SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor & Web

すべてのファイル タイプがサポートされています。これには SOLIDWORKS、AutoCAD、Inventor、SolidEdge、Pro/ENGINEER 等の多数の CAD フォーマットの管理およびプレビューが含まれます。CAD ファイルを使用するすべてのシステムで使用するべきタイプです。

Pro/ENGINEER ファイルを処理するには、SOLIDWORKS PDM Professional クライアントをインストールした後で Pro/ENGINEER CAD アドインをインストールします。Pro/ENGINEER Connector には別のインストール メディアが必要です。詳細は SOLIDWORKS Value Added Reseller (VAR) までご連絡ください。

SOLIDWORKS PDM Web クライアント アクセスのサポートが含まれます。

SOLIDWORKS PDM Professional Contributor & Web

CAD ファイルを含む全てのファイルタイプをサポートしています。しかし、このクライアントタイプに対してはCADアドインはサポートされていません。

SOLIDWORKS PDM Web クライアント アクセスのサポートが含まれます。

SOLIDWORKS PDM Professional Professional Viewer

ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可します。ユーザーはファイルを追加、変更（チェックアウト、チェックイン、値を更新）できません。このクライアントタイプに対してはCADアドインはサポートされていません。

以下の種類の SOLIDWORKS PDM Standard クライアントが利用可能です：

SOLIDWORKS PDM Standard CAD Editor

SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。Office プラグインで処理されるすべてのファイル フォーマットは、プレビューを除き、SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動作します。

SOLIDWORKS PDM Standard Contributor

SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。

SOLIDWORKS PDM Standard Viewer

ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可します。ユーザーはファイルを追加、変更（チェックアウト、チェックイン、値を更新）できません。

クライアントのインストール方法：

- SOLIDWORKS DVD のインストール ウィザードを使用する。

- SOLIDWORKS Installation Manager を使用する。
- アドミニストレーティブ イメージを作成して複数シートをインストールする

クライアントをインストールする前に（Before Installing Clients）

- ライセンス契約で許可されているクライアントのタイプを確認してください。
インストールしたクライアント タイプが間違っている場合、SOLIDWORKS PDM のフローティング ライセンス マネージャによりファイル ボルトへのログインが禁止されます。
- SOLIDWORKS PDM Editor クライアントをインストールする場合には、オプションのアドインをインストールできます。

アドインを使うことにより、チェックアウト、チェックイン等の管理機能を CAD や Office ソフトウェアのツールバーおよびメニューから利用できるようになります。アドインの追加はオプションであり、Windows エクスプローラ インタフェースやファイルを開く／保存ダイアログを使って SOLIDWORKS PDM で管理できるファイル フォーマットの種類には影響しません。

SOLIDWORKS PDM Standard には、DraftSight アドインと SOLIDWORKS アドインが用意されています。

- Professional ボルトにログインするには、ライセンス サーバーで入手可能な SOLIDWORKS PDM Professional ライセンスが必要です。同様に、Standard ボルトにログインするには、ライセンス サーバーで入手可能な SOLIDWORKS PDM Standard ライセンスが必要です。

クライアント コンポーネントとサーバー コンポーネントの両方をインストールするには、サーバーのインストールで**クライアント（Client）** オプションを選択してください。

以下は製品別の前提条件です：

SOLIDWORKS

SOLIDWORKS ファイルは、SOLIDWORKS がインストールされていなくても管理できます。プレビュー用として eDrawings Viewer </Z1>をインストールしておくことをおすすめします。

Autodesk Inventor （SOLIDWORKS PDM Professional のみ）

Inventor ファイルを管理（追加、チェックアウト、チェックイン、プレビュー等）するには、Autodesk InventorアプリケーションあるいはInventor Design Assistantソフトウェアがインストールされている必要があります。Inventorファイルのプレビューを行うには、Inventor View がインストールされている必要があります。

Autodesk AutoCAD （SOLIDWORKS PDM Professional のみ）

DWG/DXF 形式のファイルを管理する際、AutoCAD がインストールされている必要はありません。DWG ファイルのプレビュー用として eDrawings または DWG TrueView アプリケーション、DWF ファイルのプレビュー用としてDWF Viewer をインストールしておくことをおすすめします。

Microsoft Office Integration （SOLIDWORKS PDM Professional のみ）

Microsoft Office アドインは、SOLIDWORKS PDM Professional のインストール時にインストールできます。Microsoft Office アドインを使用するために追加のライセンスは必要ありません。ただし、

ファイルのチェック インやチェックアウトには、Contributor、CAD Editor、または PSL のライセンスが必要です。

**Solid Edge
(SOLIDWORKS PDM
Professional のみ)**

SOLIDWORKS PDM Professional で Solid Edge ファイルを管理、プレビューするには Solid Edge アプリケーションをインストールしておく必要があります。

**Pro/ENGINEER
(SOLIDWORKS PDM
Professional のみ)**

SOLIDWORKS PDM Professional で Pro/ENGINEER ファイルを管理、プレビューするには完全な Pro/ENGINEER アプリケーションをインストールしておく必要があります。

Pro/ENGINEER Connector については、SolidWorks クライアントのインストールを行った後、別途インストールする必要があります。このソフトウェアは、SolidWorks Value Added Reseller から入手できます。

これらの条件は、インストールを SOLIDWORKS PDM メディアから行った場合にもアドミニストレーティブ イメージから行った場合にも適用されます。

インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール (Installing Clients Using the Installation Wizard)

1. クライアント コンピュータにローカル管理者権限のあるユーザーとしてログオンします。
2. **SOLIDWORKS PDM のインストールの開始** (67ページ) の手順に従ってインストールを開始します。

3. 以下の手順に従ってインストールを実行します。

画面	動作
PDM 製品の選択	インストールするクライアントのタイプを選択します: SOLIDWORKS PDM Professional: SOLIDWORKS PDM Professional サーバーにのみ接続する場合に選択します。 アイテム エクスプローラ付きのクライアントをインストールするには、ユーザー定義 (Customize) を選択して次へ (Next) をクリックします。 SOLIDWORKS PDM Standard: SOLIDWORKS PDM Standard サーバーにのみ接続する場合に選択します。
ユーザー定義設定	アイテム エクスプローラ (Item Explorer) を選択して次へ (Next) をクリックします。 このオプションは、SOLIDWORKS PDM Professional でのみ利用できます。
製品タイプを選択	a. ライセンスに従って、インストールするクライアントのタイプを選択します。 SOLIDWORKS PDM CAD Editor SOLIDWORKS PDM Contributor SOLIDWORKS PDM Viewer b. 次へ (Next) をクリックします。
アドインを選択	製品タイプが SOLIDWORKS PDM CAD Editor の場合、 a. 次のオプションを選択できます: - SOLIDWORKS PDM Professional クライアント用の Microsoft Office Integration、SOLIDWORKS、DraftSight、Inventor、および AutoCAD アドイン。 - SOLIDWORKS PDM Standard クライアントの場合、SOLIDWORKS および DraftSight アドイン。 b. 次へ (Next) をクリックします。
プログラム インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。

画面	動作
InstallShieldウィザード完了	完了 (Finish) をクリックします。

eDrawings をインストールする (Installing eDrawings)

eDrawings を SOLIDWORKS PDM クライアント上にインストールし、SOLIDWORKS ファイルをプレビューします。また、eDrawings® は無償ダウンロードとしても使用できます。

1. SOLIDWORKS DVD を挿入します。
2. SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
3. \eDrawings\setup.exe を実行します。
4. **次へ (Next)** をクリックします。
5. ライセンス キーを入力せずに、**次へ (Next)** をクリックします。
eDrawings は Professional ライセンスで実行されます (SOLIDWORKS PDM Professional クライアントにインストールされている場合)。
6. **インストール (Install)** をクリックします。
インストールが続行されます。
7. インストールが完了したら、**完了 (Finish)** をクリックします。

SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする

InstallShield Wizard を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、次のステップを実行します。

アップグレードする方法:

1. Windows で、**コントロール パネル (Control Panel) > プログラムと機能 (Programs and Features)** を開きます。
2. **SOLIDWORKS PDM Client** または **SOLIDWORKS PDM Server** を右クリックし、**変更 (Change)** を選択します。
クライアントをインストールした場合は、SOLIDWORKS インストールを変更して、クライアント インストールをアップグレードします。
3. ようこそ画面で、**次へ (Next)** をクリックします。
4. プログラム メンテナンス (Program Maintenance) 画面で**変更 (Modify)** をクリックします。
5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を選択します。

6. SOLIDWORKS PDM Professional のインストールを続行します。

SLDIM を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、**プログラムと機能 (Programs and Features)** でリストされている **SOLIDWORKS 2016** を変更してアップグレードします。

インストールのトラブルシューティングのためのログ (Enabling Logging to Troubleshoot Installation)

インストールが上手く行かない場合、トラブルシューティングにはインストール ログが役立ちます。

1. コマンド プロンプトを開きます。
2. SOLIDWORKS DVD の適切な setup フォルダに移動します。
3. 以下を入力するとログを記録したインストールが開始します。

- クライアントの場合:

```
MSIEXEC /i "SOLIDWORKS PDM Client.msi" /L*v C:\LOGFILE.TXT
```

- サーバーの場合:

```
MSIEXEC /i "SOLIDWORKS PDM Server.msi" /L*v C:\LOGFILE.TXT
```

インストールについての情報が含まれたログファイルが生成されます。

SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブ イメージの作成

アドミニストレーティブ イメージにより、クライアントのインストールおよびアップグレードを複数のクライアントマシンに対して行うことができます。

すべてのクライアント ライセンス タイプに対応する 1 つのイメージを作成し、特定のクライアント タイプをマシンにインストールするスクリプトを選択できます。

インストール ウィザードによってセットアップ パッケージ (SOLIDWORKS PDM Client.msi および必要ファイル) が作成され、これを Microsoft Active Directory などの配布方法を使って配布することができます。

すべての選択肢が含まれるアドミニストレーティブ イメージのコピーを保存し、アップグレードする際のアンインストールが簡単に行えるようにします。

アドミニストレーティブ イメージを作成するには：

1. Windows の **スタート (Start)** メニューから、コマンド プロンプトを実行します。

2. SOLIDWORKS DVD で setup.exe がある場所を入力し、コマンド スイッチ E:\SWPDMClient\setup.exe /a を追加します。
setup.exe をコマンド プロンプトにドラッグ & ドロップして、コマンド スイッチを追加することもできます。
3. **OK** をクリックします。
4. これらの手順を使用してアドミニストレーティブ イメージを作成します。

画面	操作
ようこそ (Welcome)	次へ (Next) をクリックします。
使用許諾契約書	ライセンス契約を読み、次へ (Next) をクリックします。
ネットワークの場所	SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブ イメージを作成する場所を入力します。 このイメージを配布する予定の場合、すべてのクライアント システムが利用できるネットワーク リソース上に配置してください。
プログラム インストールの準備完了	インストール (Install) をクリックします。
InstallShield ウィザード完了	完了 (Finish) をクリックします。

Windows Active Directory を使ったクライアントの配布 (Deploying Clients Using Windows Active Directory)

Windows Active Directoryのグループ ポリシー機能を使って、SOLIDWORKS PDM クライアントを組織全体に対して配布、インストール、集中管理することができます。

これによりクライアントのアップグレード、パッチ、削除等の定期的保守作業を各ワークステーションを操作せずに一元的に行うことも可能になります。

アドミニストレーティブ イメージを使用してクライアントを配信する場合は、すべてのクライアントに Microsoft XML Core Services (MSXML) 6.0 および .NET Framework 4.0 を展開する必要があります。

MSXML と .NET Framework の配信については、

<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ee390831.aspx> を参照してください。

この方法で配布できるのは SOLIDWORKS PDM クライアントのみです。アーカイブ サーバーおよびデータベース サーバーは標準のインストール方法でインストールしてください。

Active Directory</Z1>を使った配布に関する注意事項

- SOLIDWORKS PDM はコンピュータ レベルでインストールするため、ユーザーがログオンする前に、配布先のすべてのシステムから配布用パッケージが利用可能である（十分な権限を持って共有されている）ことが重要です。
- クライアントを配布すると、SOLIDWORKS PDM によってマシンのロケールと一致するようにデフォルトの言語が変更されます。ロケールがサポートされていない言語である場合、SOLIDWORKS PDM によってデフォルトの言語は英語に設定されます。
- 配布終了後、ファイルボルト ビューを次の方法でクライアントに追加できます：
 - ポリシーを使用
詳細は、[Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル ボルト ビューの配布](#)（150ページ）を参照してください。
 - スクリプトによるビューのインストールを使用
詳細は、[ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成（Scripting File Vault View Setup）](#)（149ページ）を参照してください。

Windows Server 2008 Active Directory を使ってクライアント アドミニストレーティブ イメージを配布するには：

1. SOLIDWORKS PDM を配布するすべてのシステムから UNC パスでアクセスできるネットワーク上の場所にアドミニストレーティブ イメージ（SOLIDWORKS PDM Client.msi）を作成してください。
詳細については、[SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブ イメージの作成](#)（117ページ）を参照してください。
2. コントロール パネルを開き、**システムとセキュリティ > 管理ツール > Active Directory ユーザーとコンピューター** をクリックします。
3. セキュリティ グループを作成するか、既存のセキュリティ グループを利用します。
セキュリティ グループを作成するには：
 - a) Active Directory ユーザーとコンピューター ダイアログ ボックスで、**ユーザー** を右クリックして **新規作成（New） > グループ（Group）** を選択します。
 - b) [新しいオブジェクト - グループ] ダイアログ ボックスで、**グループ名** の名前を入力します。
 - c) **グループの種類** で、**セキュリティ** を選択して **OK** をクリックします。
4. SOLIDWORKS PDM が配置されるべきコンピュータを追加します。
ドメイン コンピュータをセキュリティ グループに追加するには：
 - a) セキュリティ グループを右クリックし、**プロパティ** (Properties) を選択します。
 - b) メンバータブで、**追加**（Add）をクリックし、コンピュータを追加します。
5. Active Directory ユーザーとコンピューター ダイアログ ボックスを終了します。
6. コントロール パネルで、**システムとセキュリティ > 管理ツール > グループ ポリシーの管理** をクリックします。
7. グループ ポリシーの管理 コンソールで、ステップ 3 と 4 で作成したセキュリティ グループ用の新しいグループ ポリシーを作成します。
8. 新しいグループ ポリシーが含まれているフォレストとドメインの **グループ ポリシー オブジェクト** を展開し、グループ ポリシーを選択します。

9. 右側のパネルの **設定** タブで、**コンピューターの構成** を右クリックして、**編集** をクリックします。
10. グループ ポリシー管理エディター で、**コンピュータの構成 (Computer Configuration)** > **ポリシー** > **ソフトウェアの設定 (Software Settings)** > **ソフトウェアのインストール (Software Installation)** に移動します。
11. 右クリックして**新規作成 (New)** > **パッケージ (Package)** を選択します。
12. SOLIDWORKS PDMアドミニストレーティブ クライアント イメージを作成した場所にある SOLIDWORKS PDM Client.msi ファイルを参照します。

UNCパスを正しく使用するには、**マイ ネットワーク(My Network Places)**を使って参照してください。 マッピングされたドライブは使用しないでください。

13. **開く** をクリックします。
 14. [ソフトウェアの展開] ダイアログ ボックスで、**割り当て済み** を選択し、**OK** をクリックします。
 15. **公開または割り当て時の詳細設定 (Advanced published or Assigned)** を選択します。
 16. **変更 (Modifications)** タブのページで、**追加 (Add)** をクリックして適用する 1 つ以上の変換を選択します。
- 変換ファイルが、リモート コンピュータからアクセス可能なネットワーク ドライブ、理想的にはソース イメージを使用可能な場所で使用できることを確認してください。

Orca などの MSI ツールを使用して変換ファイルを生成できます。 構文については、**SOLIDWORKS PDM のサイレント インストール スクリプト作成**を参照してください。

17. グループ ポリシー管理エディター と グループ ポリシーの管理 コンソールを終了します。
- クライアント イメージの配布準備ができました。セキュリティ グループに含まれるコンピュータに対し、システムが次回起動される際にインストールが行われます。

SOLIDWORKS PDM 配布時ログを有効にする

Windows Active Directory を使用して、SOLIDWORKS PDM クライアントのアドミニストレーティブ イメージを配布するときに発生するインストールに関する問題のトラブルシューティングを行うには、インストール手順のログを有効にする必要があります。これはグループ ポリシーを使って行います。

1. Active Directoryサーバーで、配布パッケージが指定されているOUを探します。
2. OUを右クリックし、**プロパティ(Properties)**を選択します。
3. プロパティ (Properties) ダイアログボックスのグループ ポリシー タブで、**新規 (New)** をクリックします。ポリシー オブジェクトに名前を付け (例えばLogging等)、**OK**をクリックします。
4. 新しいポリシー (あるいは既存の配布ポリシー) を選択し、**編集 (Edit)** をクリックします。
5. グループポリシーオブジェクトエディタで**コンピュータの構成(Computer Configuration)** > **管理用テンプレート(Administrative Templates)** > **Windowsコンポーネント (Windows Components)** > **Windowsインストーラ(Windows Installer)**を選択します。

6. 右側パネルで、**Logging**設定をダブルクリックします。
7. ポリシー オブジェクトのプロパティ (Properties) ダイアログ ボックスで次を行います：
 - a) ポリシーを有効化
 - b) **ログの記録** (Logging) テキストボックスで、ログの引数を入力します。

iwearucmpvo

- c) **OK** をクリックします。
8. 新しいグループ ポリシー オブジェクトを作成した場合にはグループ ポリシー (Group Policy) タブで新しいポリシーがリストの最上部に表示されることを確認してください。

SOLIDWORKS PDM を配布すると、.msi インストール ログが Windows システム フォルダの下
の Temp フォルダに作成されます。

SOLIDWORKS PDM のサイレント インストレーション スクリプト作成

アドミニストレーティブ イメージからのクライアント インストールはスクリプト化することもできます (.batファイルからインストールする等)。

サイレント インストールをスクリプトで実行するには：

1. 次のコマンドで使用するための SOLIDWORKS PDM Client.msi を作成するために、インストールするクライアントタイプのアドミニストレーティブイメージを作成します。
詳細は *SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブイメージの作成 (Creating SOLIDWORKS PDM Client Administrative Image)* を参照してください。
2. **SOLIDWORKS PDM コマンドライン プロパティ (SOLIDWORKS PDM Command-Line Properties)** の次のコマンドライン オプションを使用して、インストール スクリプトを更新します。

サイレント インストレーションのスイッチ (Silent Installation Switches)

スイッチ	説明
/qn	UIなし
/qb	基本UI
/qsr	簡略UI、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示
/qf	フルUI、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示
/qn+	UIなし、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示のみ

スイッチ	説明
/qb+	基本UI、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示
/qb-	基本UI、モーダル ダイアログ ボックスなし
REBOOTYESNO=NO	再起動をプロンプトしない
REBOOT=REALLYSUPPRESS	REBOOTYESNO と組み合わせて使用すると、再起動を求めるプロンプトを表示しない
以前行ったインストールをこのオプションでアップグレードする際には、使用中の置き換えられたファイルをリロードするためインストールの最後に再起動を必ず行う必要があります。	
REMOVE=[string]	機能をインストールから除外

SOLIDWORKS PDM コマンドライン プロパティ

プロパティ	説明
INSTALLDIR=[string]	インストール ディレクトリ
PDMTYPE=0, 1	クライアントの種類 0 = PDM Standard 1 = PDM Professional
PTID=	SOLIDWORKS PDM Viewer {CC72DD26-1A34-4209-B50B-21C7DD5E29F6} SOLIDWORKS PDM Contributor {E2BE88CF-6E17-43e2-A837-C1051F3E4EDB} SOLIDWORKS PDM CAD Editor {05AD35C4-8A9A-4114-B51F-32186222ABA1}

プロパティ	説明	
ADDLOCAL=	メイン フィーチャー	顧客
	Office アドイン	Office
	SolidWorks アドイン	SolidWorks
	Oracle Viewer	InsoViewer
	Web クライアント ヘルパー	WebClient
	アイテム エクスプローラ	ItemExplorer
	Autocad アドイン (現在は x64 のみサポート)	AutoCAD64
	Inventor アドイン	Inventor
	DraftSight アドイン	DraftSight
	共通ファイル	共有
	共通ファイル 64 ビット	Shared64
ACADVERSION64=	AutoCAD 2007	R17.0
	AutoCAD 2008	R17.1
	AutoCAD 2009	R17.2
	AutoCAD 2010	R18.0
	AutoCAD 2011	R18.1
	AutoCAD 2012	R18.2
	AutoCAD 2013	R19.0
	AutoCAD 2014	R19.1
	AutoCAD 2015	R20.0
	AutoCAD 2016	R20.1

詳細については、次のサンプル スクリプトを参照してください:

- SOLIDWORKS PDM Professional Viewer (アドインなし)

```
Msixexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=1
PTID={CC72DD26-1A34-4209-B50B-21C7DD5E29F6}
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,WebClient,InsoViewer /qb
```
- SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor (SOLIDWORKS および Office アドインあり)

```
Msixexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=1
PTID={05AD35C4-8A9A-4114-B51F-32186222ABA1}
```

```
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,WebClient,InsoViewer,SolidWorks,Office  
/qb
```

- SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor (SOLIDWORKS、Office、AutoCAD 2014 アドインあり)

```
Msiexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program  
Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=1  
PTID={05AD35C4-8A9A-4114-B51F-32186222ABA1}  
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,WebClient,InsoViewer,SolidWorks,Office,AutoCAD64  
ACADVERSION=R19.1 /qb
```

- SOLIDWORKS PDM Standard CAD Editor (SOLIDWORKS アドインあり)

```
Msiexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program  
Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=0  
PTID={05AD35C4-8A9A-4114-B51F-32186222ABA1}  
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,SolidWorks /qb
```

**アップグレードのスクリプトを作成する場合、管理者は REINSTALLMODE=vomus
REINSTALL=ALL を追加する必要があります。**

6

SOLIDWORKS Installation Manager の使用

この章では以下の項目を含みます:

- **SOLIDWORKS PDM**
- **PDM Server** コンポーネントのリスト
- **PDM** クライアントの違いについて
- **PDM Server** をインストールする前に
- **SLDIM** を使用した **PDM Server** のインストール
- **SLDIM** を使用した **PDM Client** のインストール

以下のトピックで、SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM) を使用した SOLIDWORKS PDM サーバーとクライアントのインストールに関する概要、要件、タスクについて説明します。

SLDIM を使用すると、PDM サーバー コンポーネントとクライアント コンポーネントのインストールが容易になります。ただし、PDM コンポーネントと SQL Server データベースの設定とトラブルシューティングを行う場合は、このガイドの他のセクションの詳細トピックを参照する必要があります。

SOLIDWORKS PDM

SOLIDWORKS PDM は、以前 SOLIDWORKS Enterprise PDM と呼ばれていたクライアント/サーバー アーキテクチャに基づくドキュメント管理製品です。

SOLIDWORKS PDM には次の 2 種類があります。

- SOLIDWORKS PDM Standard
- SOLIDWORKS PDM Professional

SOLIDWORKS PDM は Microsoft SQL Server データベースを使用してファイル ボルトを管理します。

この表には、各製品で使用できるデータベース システム、サーバー コンポーネント、およびクライアント オプションがリストされています。

	PDM Standard	PDM Professional
設計対象	小規模～中規模のオフィス ネットワーク（一般的に 20 以下の同時ユーザー）。	大規模オフィス ネットワーク（多数の同時ユーザー）
制限	1 ソケットまたは 4 コア（どちらか少ない方）、1 GB RAM、10 GB データベース サイズ	SQL Standard の制限: 4 ソケットまたは 16 コア（どちらか少ない方）、128 GB RAM、524 PB データベース サイズ
データベース管理システム	Microsoft SQL Server Express 2014（SOLIDWORKS に含まれており、一緒にインストールされます）	Microsoft SQL Server 2014（SOLIDWORKS とは別途）、または前もってインストールされた Microsoft SQL Server 2014、または 2012。
SolidNetWork License Manager が必要ですか？	はい	はい
アーカイブ サーバーとデータベース サーバーが含まれていますか？	はい	はい
SOLIDWORKS PDM Web サーバー、Web2 サーバー、および Web API サーバーが含まれていますか。	いいえ	はい
クライアント タイプ	ネイティブ	ネイティブ、ブラウザ ベース
CAD Editors 向けクライアント アドイン	SOLIDWORKS、DraftSight	SOLIDWORKS、DraftSight、Microsoft Office Integration、Autodesk Inventor、AutoCAD
Contributors 向けクライアント アドイン	DraftSight	DraftSight、Microsoft Office Integration
Viewers 向けクライアント アドイン		Microsoft Office との統合

PDM Server コンポーネントのリスト

このテーブルにはSOLIDWORKS PDM Server のサーバー コンポーネントがまとめられています。

Server	関数	インストール (Installation)
PDM Standard 向け Microsoft SQL Server Express	SOLIDWORKS PDM データ ボルトのデータを管理します。	PDM Standard と一緒にインストール可能です。または、前にライセンスが付与されインストールされているバージョンを使用できます。
PDM Professional 向け Microsoft SQL Server	SOLIDWORKS PDM データ ボルトのデータを管理します。	個別に PDM Professional で提供 以前に使用許諾され、インストールされたバージョンも使用できます。
SolidNetWork License Manager	SOLIDWORKS PDM ライセンスを管理します。	新しいボルトを作成する前にインストールされている必要があります。 SLDIM を使用するとき、SOLIDWORKS PDM サーバー構成部品でインストールできます。
アーカイブ サーバー	クライアントとファイル ボルトアーカイブ間のファイル転送を管理し、ユーザーとその資格情報を管理します。	必ず実行: PDM Standard または Professional と一緒にインストールします。
データベース サーバー	更新に関して PDM データベースをポーリングし、データのインポートおよびエクスポートルールを管理し、メッセージシステムを管理し、また複製およびコールド ストレージをスケジューリングします。	必ず実行: PDM Standard または Professional と一緒にインストールします。
Web Server と Web2 Server	ブラウザベースのクライアントからインターネット経由でファイル ボルトへのアクセスを提供します。	この操作はオプションです。PDM Professional のみと一緒にインストールします。
Web API サーバー	EXALEAD OnePart ユーザーは、Web API サーバーを使用して、SOLIDWORKS PDM データをインデックス化し、取得することができます。	この操作はオプションです。PDM Professional のみと一緒にインストールします。

アーカイブ サーバーはインストール先のコンピュータのシステム アカウントでのサービスとして実行されます。1 つのアーカイブ サーバーは同じコンピュータにある複数のファイル ボルトをホスティングできます。

スタンドアロン インストレーションでは、アーカイブ サーバー、データベース サーバー、ライセンス サーバー、Web API サーバーだけでなく、SQL Express または SQL Server データベースもすべて同じマシンにインストールできます。

分散環境では、サーバー コンポーネントは別のマシンに配置できます。また、同じファイル ボルト アーカイブの複製コピーをホスティングするために、複数のアーカイブ サーバーを別のコンピュータにセットアップすることも可能です。詳細は *SOLIDWORKS PDM Professional 複製ガイド* を参照してください。

PDM クライアントの違いについて

クライアント ソフトウェアをインストールする前に、PDM 環境によって異なるクライアントのうちのどのクライアントが必要なのかを判断する必要があります。

このテーブルには SOLIDWORKS PDM Standard 向けクライアントの要約が記載されています。

Standard クライアントの種類	説明
CAD Editor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。Office プラグインで処理されるすべてのファイル フォーマットは、プレビューを除き SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動作します。
Contributor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。
Viewer	ファイル ボルトに読み取り専用のアクセスを許可します。ユーザーは、ワークフローを通してファイルを遷移させることができますが、ファイルを追加または修正（チェックアウト、チェックイン、値の更新）することはできません。

このテーブルには SOLIDWORKS PDM Professional 向けクライアントの要約が記載されています。

Professional クライアントの種類	説明
CAD Editor & Web	全てのファイル タイプをサポートし、SOLIDWORKS を含む CAD フォーマットの管理とプレビュー機能が強化されています。CAD アドインの使用により、CAD アプリケーションから SOLIDWORKS PDM Professional にアクセスすることも可能です。リモート ユーザーは、ボルトを検索し、インターネットを介して Web クライアントおよび Web2 クライアントを使用して基本的な機能を実行できます。
Contributor & Web	CAD ファイルを含む全てのファイルタイプをサポートしています。しかし、このクライアントタイプに対してはCAD アドインはサポートされていません。リモート ユーザーは、ボルトを検索し、インターネットを介して Web クライアントおよび Web2 クライアントを使用して基本的な機能を実行できます。
Viewer	ファイル ボルトに読み取り専用のアクセスを許可します。ユーザーは、ワークフローを通してファイルを遷移させることができますが、ファイルを追加または修正（チェックアウト、チェックイン、値の更新）すること、またはCAD アドインを使用することはできません。

PDM Server をインストールする前に

PDM Server コンポーネントをインストールする前に、次の要件を満たしておく必要があります。

- サーバーとクライアントをインストールする予定のマシンに完全な管理権限を取得してください。
- データベース サーバーがTCP</Z1>ポート3030</Z2>を使ってアーカイブ サーバーへ、そしてTCP</Z3>ポート1433</Z4>を使ってSQL</Z5>サーバーにアクセス可能であることを確認してください。
- 既存の SQL Server Express または SQL Server データベースを使用する予定の場合、SQL Server データベースの名前と、データベースへの読み取り/書き込みアクセス権を持つ SQL Server 管理者またはデータベース所有者のアカウント ID とパスワードを取得してください。tew ユーザーは使用できません。
- PDM クライアントが既にシステムにインストールされている場合、それをアンインストールします。PDM Server と PDM クライアントを同じシステムに置きたい場合、SOLIDWORKS Installation Manager のServer 製品ページから両方をインストールできます。

SLDIM を使用した PDM Server のインストール

PDM Standard 用に PDM Server をインストールする場合、同じマシン上にアーカイブ サーバー、データベース サーバー、および PDM CAD Editor クライアントをインストールできます。クライアントのインストールを別途実行する必要はありません。

PDM Professional 用に PDM Server をインストールするとき、これらのコンポーネントの他、Web サーバー、Web2 サーバー、および Web API サーバーも含めることができます。

PDM Server とそのコンポーネントをインストールするには:

1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
2. ようこそ (Welcome) ページで**サーバー製品 (Server Products)** を選択して以下を選択します。
 - **SOLIDWORKS PDM Server コンポーネントをこのコンピュータにインストールする (Install SOLIDWORKS PDM Server components on this computer)**。
 - **SolidNetWork License Manager をこのコンピュータにインストールする (Install SolidNetWork License Manager on this computer)**。

SolidNetWork License Manager がインストールされている場合、このオプションは表示されません。
3. SolidNetWork License Manager オプション (SolidNetWork License Manager Options) ページが表示される場合、シリアル番号を入力し、ディレクトリの場所を指定して**次へ (Next)** をクリックします。
4. システムの警告の指示に従い**次へ (Next)** をクリックします。
5. **SOLIDWORKS PDM Server** のサマリー (Summary) ページで**変更 (Change)** をクリックします。

6. SOLIDWORKS PDM Server オプション (SOLIDWORKS PDM Server Options) ページで:
- Server 製品の選択 (Select Server Product)** で、**SOLIDWORKS PDM Standard** または **Professional** をクリックします。
 - インストール先 (Installation Location)** で、**参照 (Browse)** をクリックしてファイル パスを指定します。
 - 機能の選択 (Select Features)** で:
 - アーカイブ サーバー (Archive Server)**、**データベース サーバー (Database Server)**、および**クライアント (client)** をクリックして、これらのコンポーネントを同じマシン上にインストールします。分散環境にいる場合、別のマシン上で Installation Manager を実行して、アーカイブ サーバーとデータベース サーバーをインストールできます。
- マシン上に PDM クライアントが既にインストールされている場合、インストールをキャンセルして、クライアントをアンインストールする必要があります。次に、SLDIM を実行して、クライアントと共に PDM サーバーをインストールします。
- PDM Professional をインストールしている場合は、**Web サーバー (Web server)**、**Web2 サーバー (Web2 server)**、および **Web API サーバー (Web API Server)** もクリックできます。
- Web API サーバーをインストールしている場合は、**HTTP ポート番号 (HTTP port number)** に 0 ~ 65535 の値を指定します。デフォルト値は 65453 です。
- SQL Server** で、PDM Server と共に提供されるデータベース ツールの新規インスタンスをインストールできます (SQL Server Express for PDM Standard)。または、既存インスタンスのデータベース名、ユーザー名、およびパスワードを指定できます。
- 完全版の SQL Server は、別途 PDM Professional と共に提供されます。
- サマリーに戻る (Back to Summary)** をクリックします。
7. サマリー (Summary) ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインストール (Install Now)** をクリックします。

SOLIDWORKS Installation Manager がインストールを完了すると、アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ツール (Archive Server Configuration Tool) が開始します。ウィザード内のプロンプトに従って、アーカイブ サーバーを構成します。

アーカイブ サーバー、データベース サーバー、Web サーバーと Web2 サーバー、および SQL Server データベースのセットアップ、構成、およびトラブルシューティングを行うには、*SOLIDWORKS PDM 2019 インストール ガイド*で関連するトピックを参照してください。

SLDIM を使用した PDM Client のインストール

SOLIDWORKS PDM Client のメジャー バージョンは SOLIDWORKS PDM Server のメジャー バージョンと一致させる必要があります。SOLIDWORKS PDM Client をインストールまたはアップグレードする場合は、バージョンが一致していることを確認してください。

PDM Client をインストールするには:

1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
2. ようこそ (Welcome) ページで**個人 (Individual)** を選択します。
3. シリアル番号 (Serial Number) ページで**次へ (Next)** をクリックします。

SOLIDWORKS PDM クライアントは、別個のシリアル番号を必要としません。

4. システムの警告の指示に従い**次へ (Next)** をクリックします。
5. サマリー (Summary) ページの製品 (Products) の下で**変更 (Change)** をクリックします。
6. 製品選択 (Product Selection) ページで**別のパッケージ/製品の選択 (Select different packages or products)** をクリックします。
7. 表示するパッケージを選択してください (Select the package you want to show) ダイアログ ボックスで SOLIDWORKS のエディションを選択します。 **OK** をクリックします。
8. 製品選択 (Product Selection) ページで **SOLIDWORKS PDM Client** を選択します。 次に、**eDrawings** を選択して、PDM プレビュー機能を有効にします。 SOLIDWORKS PDM Professional を使用している場合は **Item Explorer** も選択できます。
9. サマリー (Summary) ページで **SOLIDWORKS PDM オプション (SOLIDWORKS PDM Options)** を展開して**変更 (Change)** をクリックします。
10. SOLIDWORKS PDM Client オプション (SOLIDWORKS PDM Client Options) ページで次を選択して**サマリーに戻る (Back to Summary)** をクリックします。
 - PDM 製品の種類
 - PDM クライアントの種類
 - アドイン
11. サマリー (Summary) ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインストール (Install Now)** をクリックします。

管理者は、PDM クライアントのイメージの作成と展開に、アドミニストレーティブ イメージ オプション エディタも使用できます。 詳細については、*SOLIDWORKS インストレーションおよびアドミニストレーションガイド (SOLIDWORKS Installation and Administration Guide)* のアドミニストレーティブ イメージの使用 (Using Administrative Images) を参照してください。

7

ローカル ファイルボルト ビューの作成と配布 (Creating and Distributing File Vault Views)

この章では以下の項目を含みます:

- ボルトの作成(Vault Creation)
- **SolidNetWork** ライセンス サーバーをファイル ボルト用に設定する
- ビュー セットアップウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する (Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard)
- **Microsoft Windows Active Directory** を使用したファイル ボルト ビューの配布
- **WAN環境でファイルボルト ビューを配布する (Distributing File Vault Views in a WAN Environment)**

SOLIDWORKS PDM ファイルボルトには、SOLIDWORKS PDM で管理されるファイルおよび情報が格納されます。

ファイルをファイルボルトに追加するには、ローカル ファイルボルト ビューにファイルを配置します。これは、すべての中間的ファイル変更が行われる作業フォルダです。

ファイル ボルト ビューは以下と直接接続されています:

- ファイルボルト アーカイブに物理的ファイルを格納するアーカイブ サーバー。
- ファイルボルトに格納されるファイルや処理に関する情報が含まれるファイルボルト データベース。

ファイルボルトに格納されたファイルおよび情報は SOLIDWORKS PDM クライアントがインストールされたシステムから、また適切なアクセス権限を持ったユーザーとしてログインすることによってのみアクセス可能です。

ボルトの作成(Vault Creation)

SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使ってアーカイブ サーバー上にボルトを作成します。

前提条件

ボルトを作成する前に：

- すべての SOLIDWORKS PDM コンポーネントがインストールされていることを確認してください。
- アーカイブ サーバーが使用可能であることを確認してください。

使用するアーカイブ サーバーが別のシステムにある場合、追加しなければならないことがあります。

アーカイブ システム上のファイアウォールが TCP ポート 3030 をブロックしている場合、アーカイブ サーバーにアクセスできません。

- SQL Serverがアーカイブ サーバーと異なるシステム上にある場合、使用できることを確認してください。 ファイアウォールがポート1433をブロックしているとアクセスできない場合があります。

SQL Server が名前付きインスタンスを使用している場合、または SQL Server Express である場合は、TCP ポートに 1433 ではなく動的な値が設定されている可能性があります。詳細については、[固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを設定する](#)を参照してください。

- 十分なアクセス権限があることを確認してください。

Windowsユーザー アカウントには、アーカイブ サーバーへの管理者アクセスが必要です。アーカイブ サーバーと同じシステム上にボルトを作成した場合、ローカルのAdministratorにはデフォルトでこの権限があります。

- SQL Serverの情報を入手してください。

以下を確認する必要があります。

- SQLサーバー名。
- ボルトを作成するのに十分なシステム管理者権限を持つユーザーのログイン情報。

アーカイブ サーバーを追加する(Adding an Archive Server)

ボルトを作成するには、アーカイブ サーバーに接続可能になっている必要があります。アーカイブ サーバーがインストールされていて、アドミニストレーション ツールに表示されていない場合、これを追加できます。

1. 次の 1 つを行いアドミニストレーションツールを開始します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の **スタート** メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. **ファイル > サーバーを追加** をクリックします。
3. サーバーの追加 ダイアログ ボックスの **サーバー名** で、追加するサーバーを選択または入力します。

*Installation Guide*で説明しているとおり、環境が IP アドレスのみの通信に設定されていない限り、IP アドレスではなくサーバー システム名を使用してください。

アーカイブ サーバーをWANに追加するときに、DNSがサーバー ホスト名のIPアドレスのルックアップに失敗することがあります。回避策として、クライアントがサーバーを名前でも ping できることを確認してください。ping が動作しない場合、ローカルの HOSTS ファイルを更新します。

詳細は、SOLIDWORKS PDM/SOLIDWORKS Manage インストレーション ガイドの *WAN 環境でのアーカイブ サーバーの追加 (Adding Archive Servers in a WAN Environment)* を参照してください。

4. **OK** をクリックします。

アーカイブ サーバーにログインする(Logging In to an Archive Server)

新しいボルトを作成する前にログインする必要があります。ログインした Windows ユーザー アカウントがアーカイブ サーバー上の管理者アクセス権を持っている場合、ログインは必要ありません。

アーカイブ サーバーにログインするには：

1. ログイン(Login)ダイアログ ボックスで、アーカイブ サーバー上のボルトにアクセス権を持つユーザーのWindowsユーザー名とパスワードを入力します。
 - アーカイブ サーバーを追加してそのボルトをリストするには、アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ツールの **アタッチ アクセス(attach access)** リストのメンバーになっているユーザーとしてログインします。
 - ボルトの作成、アップグレード、削除などの管理タスクを実行するには、**管理者アクセス (administrative access)** を持つユーザーとしてログインします。

2. ログイン ダイアログ ボックスにドメイン リストが含まれる場合、以下のいずれかを実行してください。
 - アーカイブ サーバー上のローカル ユーザー アカウントを使用している場合、末尾に (ローカルアカウント) (local account) が付いているシステム名を選択します。
 - ドメイン アカウントを使用している場合は、正しいドメインを選択または入力します。
3. ログイン(Log In)をクリックします。

ボルトの作成 (Creating a Vault)

ボルトを作成するには：

1. SOLIDWORKS PDM クライアントがインストールされているシステムにログインします。
2. 次の1つを行いアドミニストレーションツールを開始します：
 - Windows 7 および Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の **スタート (Start)** メニューから、**すべてのプログラム (All Programs)** > **SOLIDWORKS PDM** > **管理 (Administration)** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**管理 (Administration)** をクリックします。
3. 作業するアーカイブ サーバーがリストにない場合は、**アーカイブ サーバーを追加する(Adding an Archive Server)** (135ページ) で説明されているとおり追加します。
4. 左側パネルで、ボルトを作成するアーカイブ サーバーを右クリックし、**新しいボルトを作成 (Create new vault)**を選択します。

ログインを求められた場合は、アーカイブ サーバーへのログイン (*Logging In to an Archive Server*) を参照してください。

5. ボルト セットアップ ウィザードで以下を行います。

スクリーン	動作
ようこそ	次へをクリックします。
ボルト タイプを選択	SOLIDWORKS PDM Standard ボルト (SOLIDWORKS PDM Standard Vault) または SOLIDWORKS PDM Professional ボルト (SOLIDWORKS PDM Professional Vault) を選択します。 この画面は SOLIDWORKS PDM Professional でのみ表示されます。
ボルト名を選んでください	新しいボルトの名前と説明を入力します。
ボルト アーカイブ フォルダの選択	ボルト アーカイブ フォルダ (Vault root folder) で、ボルト アーカイブを保存するアーカイブ フォルダを選択します。 デフォルトのアーカイブ フォルダは、Archives です。
データベースを選択	ボルト データベースには、ボルトに格納されるファイルや処理に関する情報が含まれます。 データベース サーバーを選択で、ボルト データベースをホストする SQL Server Express を選択または入力します。 Standard ボルト データベースは SQL Server Express でホストする必要があります。 データベース名 (Database name) を入力します。 次のいずれかの場合、SQL ログイン ダイアログ ボックスが表示されます。 - 保存されている SQL ログインに十分な権限がない - SQL サーバーでユーザーが無効である - ユーザー名またはパスワードが無効である 十分な権限を持つ、sa などのSQLユーザーを指定してください。
ボルト用のライセンスサーバー	SolidNetWork License Server のアドレスを次の形式で入力します: port@SNLServerName。 SOLIDWORKS PDM Standard ボルトの場合は、Standard ボルトのライセンスをアクティブ化したサーバーの名前を追加します。 SOLIDWORKS PDM Professional ボルトの場合は、Professional ボルトのライセンスをアクティブ化したサーバーの名前を追加します。

スクリーン	動作
地域の設定を選択	言語 ボルトで使用する言語を選択します。
adminユーザを作成	次のいずれかの操作を行います: • このアーカイブ サーバーのデフォルト 'admin' パスワードを使用 (Use the default 'admin' password for this archive server) を選択します。 アーカイブ サーバーのインストール時に定義した Admin ユーザーのパスワードが、ボルトの admin ユーザーに対して使用されます。 • このオプションをクリアして、パスワードの入力と確定を行います。 このログインは、新しいボルトのボルト固有 admin ログイン設定にセットされます。
ボルトを設定	次のいずれかの操作を行います: • 管理者エクスポート ファイル (*.cex) に基づくコンフィギュレーションを使用 ボルトで使用する設定を含んだ .cex ファイル (別のボルトからエクスポートしたボルト設定等) を参照します。 .cex ファイルを Standard ボルトで使用するためにインポートする場合、Standard に固有のフィーチャーがインポートされます。Standard でサポートされない要素を含むフィーチャーはインポートされません。 • 定義済みのコンフィギュレーションを使用 次のいずれかを選択してください: 空 ファイルのないデータ フォルダを作成します。これにより、データ カードやワークフローなどのインポートや作成がより簡単になります。 デフォルト 以前のバージョンの SOLIDWORKS PDM でインストールされたデータ セットをインストールします。 クイック スタート 事前定義済みのグループと権限を含む単純なデータ セットをインストールします。初めて SOLIDWORKS PDM をインストールする企業が本稼動環境で簡単にソフトウェアを使用できます。

スクリーン	動作
コンフィギュレーションの詳細を選択	ボルトを設定 画面での選択内容で、この画面の表示内容が決定します。 管理者エクスポート ファイルに基づくコンフィギュレーションの使用を選択した場合には、この画面は表示されません。
	空を選択した場合は、いかなるデータ オプションもボルトにインストールされず、ユーザーが作成した .cex ファイルのインポートが簡単になります。
	SOLIDWORKS クイック スタート (SOLIDWORKS Quick Start) を選択した場合には、基本的な SOLIDWORKS 環境向けに用意された次のオプションがインストールされます。 BOM - 標準 BOM - 溶接 BOM - 溶接カット リスト カード - デフォルト フォルダ カード - SOLIDWORKS すべての SOLIDWORKS ファイルに使用する単一のカードです。 検索サポート ボルトの検索時にユーザーに対して表示されます - 完全ファイル検索 - クイック スタート検索
	デフォルト オプションを選択した場合には、次のオプションが表示されます。オプション名をクリックすると、説明が表示されます。
	アドイン (SOLIDWORKS PDM Professional) Dispatch タスク実行 (Task Execution) の下にある変換 (Convert) や印刷 (Print) を選択すると、SWTaskAddinがボルトに追加されます。部品表

スクリーン

動作

BOM

- 標準BOM(Bill of Materials)
- 溶接BOM(Bill of Materials)
- 溶接カット リスト

カード

SOLIDWORKS PDM Professional 用のファイルおよびフォルダ
データ カード:

- Adobe Acrobat
- AutoCAD
- Autodesk Inventor
- ビットマップ イメージ
- CAL
- デフォルト フォルダ カード
- Microsoft Office
- MP3
- Pro/ENGINEER

Pro/ENGINEER には、別の Pro/ENGINEER コネクタのイン
ストールが必要です。

- Solid Edge
- SOLIDWORKS
- テキスト ファイル
- XML

SOLIDWORKS PDM Standard 用のファイルおよびフォルダ デー
タ カード:

- AutoCAD
- デフォルト フォルダ カード
- Microsoft Office
- SOLIDWORKS
- テキスト ファイル

アイテム (SOLIDWORKS PDM Professional)

- アイテム検索カードを含むアイテムのサポート
アイテム検索カードを含むアイテムのサポート

スクリーン	動作
	検索サポート ボルトの検索時にユーザーに対して表示 - 完全ファイル検索 Standard でサポートされるアイテムのみが利用可能です。 - ユーザー検索
	タスク実行 (サーバー側アドイン) SWTTaskAddin.dll で利用可能なタスク - 変換 - Design Checker (SOLIDWORKS PDM Professional) - 印刷 (SOLIDWORKS PDM Professional)
情報の確認	ボルト パラメータを確認して 完了 をクリックします。
完了	閉じる をクリックします。

SolidNetWork ライセンス サーバーをファイルボルト用に設定する

SolidNetWork License Manager をインストールし、サーバー上でライセンスをアクティブ化したら、サーバーをファイル ボルト用に設定できます。

SQL サーバー上のすべての SOLIDWORKS PDM ボルトは同じ SNL サーバーを使用するため、ライセンス サーバーを一度だけ設定する必要があります。

- 次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > /> > 管理 (Administration)** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の /> で、**管理 (Administration)** をクリックします。SOLIDWORKS PDM
- ファイル ボルトを作成するか、既存のファイル ボルトを展開します。
- ライセンス (License)** ノードを右クリックし、**開く (Open)** を選択します。
- サーバー リスト タブで、**追加 (Add)** をクリックします。

5. SolidNetWork License Manager のアドレスを次の形式で入力します:

port@SNLServerName。

デフォルトのポート番号は 25734 です。SNLServerName には、SolidNetWork ライセンス サーバーのホスト名または IP アドレスを入力できます。すべてのクライアントは、IP アドレスまたはホスト名によってサーバーに接続する必要があります。

6. **OK** をクリックします。
7. ライセンスの使用状況 (License Usage) タブをクリックし、SOLIDWORKS PDM ライセンスが使用可能であることを確認します。
8. **OK** をクリックします。

ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する (Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard)

ファイルを管理するユーザーは、各クライアント上に作成されたローカル ファイルボルト ビュー (作業フォルダ) からファイルボルトに接続する必要があります。

ファイルボルト ビューをセットアップするには、SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールしておく必要があります。

SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使用してローカル ファイルボルト ビューを作成することもできます。 *SOLIDWORKS PDM Administration Guide* のローカル ファイルボルト ビューの作成に関するセクションを参照してください。

ビュー セットアップ ウィザードを使用してファイルボルト ビューを作成するには:

1. 次のいずれかを実行して **ビュー セットアップ (View Setup)** を実行します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート > すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > ビュー セットアップ (View Setup)** をクリックしてください。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM で、ビュー セットアップ (View Setup)** をクリックします。

2. 次の手順に従ってファイルボルト ビューを作成してください：

画面	操作
ようこそ (Welcome)	次へ (Next) をクリックします。
アーカイブ サー バーの選択 (Select archive server(s))	ネットワーク上の利用可能なアーカイブ サーバーが表示されます。 - 接続したいアーカイブ サーバーが表示されていれば、選択します。 - 接続したいアーカイブ サーバーが表示されていない場合： 追加(Add) をクリックします。 - サーバーを手動で追加 ダイアログ ボックスで、システム名を入力し、OK をクリックします。 ユーザーのアカウントが十分なアクセス権限を持っていない場合、ログイン ダイアログ ボックスが表示されます。アーカイブサーバー上のファイルボルトに、アタッチ アクセス権限を持つユーザーでログインします。 - 新しいアーカイブ サーバーを選択します。 - ファイルボルトのある他のアーカイブ サーバーに接続するには、それらを選択します。 次へ (Next) をクリックします。
ボルトの選択 (Select vault(s))	選択されたアーカイブ サーバー上のすべてのファイルボルトがリストされます。 - ローカル ファイルボルト ビューを作成したいボルトを選択します。 次へ (Next) をクリックします。

画面	操作
場所を選択 (Select location)	a. ローカル ファイル ボルト ビューを作成する場所を選択します。 ビューは任意の場所に配置できます。しかし、システムの全てのプロファイルからアクセス可能な共有ビューの場合、アクセスが簡単のようにローカル ハードドライブのルートに作成してください。 b. 作成するビューのタイプを選択します。 自分のみ (Only for me) このローカル ビューは、現在システムにログオンしている Windows プロファイルからのみアクセスできます。複数のユーザーが同じシステムを使用している場合はこのオプションを使用します。ローカル ファイルボルト ビューは、現在ログインしているプロファイルからアクセス可能な場所に配置してください。 詳細については、<i>SOLIDWORKS PDM</i> をターミナル サーバーで使用するを参照してください。 このコンピュータ上のすべてのユーザー (For all users on this computer) ローカル ビューはこのシステム上の全ての Windows プロファイルからアクセス可能です (推奨)。現在ログインしているユーザーはこのオプションを指定する際ローカル システム レジストリの更新が必要となるためローカル管理者権限が必要です。 詳細については、複数のユーザー プロファイルで共有ファイルボルト ビューを使用する (<i>Using a Shared File Vault View with Multiple User Profiles</i>) を参照してください。 c. 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
アクションの確認 (Review actions)	完了 (Finish) をクリックします。
完了 (Completed)	閉じる をクリックします。

Windows ファイアウォールでブロードキャストを可能にする(Enabling Broadcast with Windows Firewalls)

Windows ファイアウォールが動作しているワークステーション上で SOLIDWORKS PDM を実行している場合、ユーザーがビュー セットアップを使用してファイル ボルト ビューを作成するとき、アーカイブ サーバーをリストするブロードキャストを有効にする必要があります。

これは、SOLIDWORKS PDM はブロードキャスト メソッドを使用して、ネットワーク上の使用可能なすべてのアーカイブサーバーのリストを取得するからです。このブロードキャストはクライアントのダイナミック ポートからサーバーシステムのデフォルトのポート3030</Z1>に送信されます。デフォルトでは、Windowsファイアウォールはブロードキャストの結果をサーバーからダイナミック クライアント ポートに返すのに3秒しか許容しません。その後ブロードキャストの応答はファイアウォールによって阻止されます。

Windowsファイアウォールを有効にした状態で、アーカイブサーバー ブロードキャストを正しく動作させるには、ブロードキャストを要求するアプリケーションを許可する必要があります。SOLIDWORKS PDM の場合、ビュー セットアップ ウィザード (ViewSetup.exe) と SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツール (ConisioAdmin.exe) がこれに該当します。

Windows 7 上でブロードキャストを可能にする

Windows 7 で SOLIDWORKS PDM を実行している場合にブロードキャストを有効にするには、許可されるプログラムのリストにそのアプリケーションを追加します。

1. Windows の **スタート** (Start) メニューから、**コントロール パネル** (Control Panel) を選択します。
2. コンピューターの設定を調整します ページで **Windows ファイアウォール (Windows Firewall)** をクリックします。
3. 左パネルで **Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する (Allow a program or feature through Windows Firewall)** をクリックします。
4. Windows ファイアウォール経由の通信をプログラムに許可します (Allow programs to communicate through Windows Firewall) 画面の許可されたプログラムのリストの下で **別のプログラムの許可 (Allow another program)** をクリックします。
5. プログラムの追加 ダイアログ ボックスで、**参照 (Browse)** をクリックして ViewSetup.exe (デフォルトでは \Program Files\SOLIDWORKS PDM\ にあります) を見つけ、**開く (Open)** をクリックします。

SLDIM 経由で製品をインストールした場合、ViewSetup.exe は Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM にあります。

6. **追加 (Add)** をクリックします。

ダイアログ ボックスが閉じ、プログラムが許可されたプログラムおよび機能のリストに追加されます。

7. ステップ4-6を繰り返し、**アドミニストレーション (Administration)**として表示される ConisioAdmin.exe を追加します。

8. **OK** をクリックし、Windows ファイアウォール経由の通信をプログラムに許可します (Allow programs to communicate through Windows Firewall) 画面を閉じます。
9. コントロール パネル (Control Panel) を閉じます。

複数のユーザー プロファイルで共有ファイルボルト ビューを使用する (Using a Shared File Vault View with Multiple User Profiles)

共有ファイルボルト ビューは、ローカルなWindows管理者権限を持つユーザーにより、作成されます。ローカル管理者グループはデフォルトで、そのビューで作成された (あるいはキャッシュされた) ファイルに対してすべての権限を持ちます。

多くのシステムでは、ローカル ユーザーまたはパワー ユーザー グループはWindowsのフォルダに対して制限された権限しか持ちません。ローカル管理者権限を持つユーザーが共有ボルト ビューにファイルをキャッシュした場合、ユーザーあるいはパワーユーザーアクセス権限しか持たない他のWindowsユーザー プロファイルは、そのファイルに対して完全なアクセスを行う、あるいはチェックアウトする際に読みとり専用の属性を変更する権限を持っていない場合があります。

共有ファイルボルト ビューをWindowsのユーザーまたはパワーユーザー プロファイルで使用する計画がある場合、これらのグループに対してフォルダ アクセス権限を定義しなければなりません。

プロパティ ダイアログボックスを使って共有ビューのアクセス権限を変更する (Changing Access Permissions on a Shared View Using the Properties Dialog Box)

1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログインします。
2. Windowsエクスプローラでファイルボルト ビュー フォルダを選択します。
3. ファイルボルト ビュー フォルダを右クリックし、**プロパティ** (Properties) を選択します。
4. ファイルボルト ビューのプロパティ (Properties) ダイアログ ボックスのセキュリティ タブをクリックします。
5. **グループ名またはユーザー名** (Group or user names) で、ファイルボルト ビューを使用するWindowsプロファイル グループを選択し、すべてのアクセス権限がチェックされていることを確認してください (**フル コントロール** (Full Control)) 。
6. **OK** をクリックします。

コマンド プロンプトを使って共有ビューのアクセス権限を変更する (Changing Access Permissions on a Shared View Using the Command Prompt)

1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログインします。
2. コマンド プロンプトを開き、ファイルボルト ビューを含む親フォルダ (通常は c:\) を開きます。

3. `cacls` コマンドを使用して、ユーザーおよびパワー ユーザー グループに十分なアクセス権限を割り当てます。

```
CACLS "vault_view_name" /E /G "group_or_username":F
```

たとえば、ローカル ユーザーに十分なアクセス権限を付与するには、次を入力します：

```
CACLS "c:\EPDM File Vault" /E /G "users":F
```

`cacls` コマンドの詳細については、[Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、`cacls` をキーワードにして検索してください。

SOLIDWORKS PDM をターミナル サーバーで使用する

次の推奨事項は、ターミナル サーバー環境で SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールする場合に適用されます。

- クライアント ソフトウェアはターミナル サーバー上に1回だけインストールされます。すべてのターミナル プロファイルはこの同じコア システムおよびプログラム ファイルを使用します。同じターミナル システム上で異なるクライアント タイプを組み合わせることはできません。すべてのターミナル クライアント プロファイルで同じライセンス タイプが使用されます。
- ターミナル クライアント向けのローカル ファイルボルト ビューを作成する際には、そのビューにアクセス権限のあるWindows</Z1>プロファイルでログインしている必要があります。**自分のみ (Only for me)** またはこの**コンピュータ上のすべてのユーザー (ローカル管理者権限が必要) (For all users on this computer (requires local administrator rights))** オプションを選択すると、ビューがプライベートになります。

複数のターミナル クライアント プロファイルに対してビューを管理しやすくするには、SOLIDWORKS PDM ポリシーを使用するか、アドミニストレーティブ ビュー セットアップ ファイルを作成します。

ファイルボルト ビューには、ビューが作成されたWindowsプロファイルからしかログインできません。ビュー情報はレジストリの現在のユーザーのセクションに格納され、現在のプロファイルからのみアクセスできます。

- プライベートビューをすべてのプロファイルで同じ場所に配置したい場合は、ターミナル ユーザーのホーム フォルダに配置してください。例えば、環境変数`%HOMEDRIVE%%HOMEPATH%`を使用します。これらはほとんどのユーザーに対して同じパスを持っています。
- ターミナル サーバー上の全員からアクセス可能な共有ビューを作成することは、ターミナル環境では推奨されません。共有ビューを使用すると、すべてのターミナル ユーザーが同じローカル キャッシュで作業することになり、他人が行った変更を上書きしてしまう可能性があるからです。

ファイルボルト ビュー セットアップ ファイルの作成 (Creating a File Vault View Setup File)

ビュー セットアップ ファイル (.cvs) を使用することにより、.cvs ファイルを実行するだけでビュー セットアップ ウィザードを使用せずにクライアントをファイルボルトにアタッチできます。

.cvs ファイルは、ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成 (*Scripting File Vault View Setup*) で説明されているようにトリガを使ってサイレントに起動することも可能です。

.cvs ファイルは、既存のすべての SOLIDWORKS PDM クライアントから作成できます。

.cvs ファイルを作成するには：

1. ビュー セットアップを、トリガ/aを指定して起動します。
たとえば、Windows のスタート(Start) メニューから **ファイル名を指定して実行 (Run)** をクリックして次のコマンドを入力します：

```
"C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\ViewSetup.exe" /a
```

2. ローカル ビューを作成する場合と同様に、ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードを使って作業します。
ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する (*Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard*) を参照してください。ビューは任意の数選択できます。
アクションの確認 (Review Actions) 画面で、利用可能なアクションは**ファイルに保存 (Save to file)** です。
3. **完了 (Finish)** をクリックしてビュー セットアップ ファイルの場所とファイル名を指定します。
4. **閉じる (Close)** をクリックします。

ファイルボルト ビュー セットアップ ファイルの使用 (Using a File Vault View Setup File)

.cvs を実行することにより、ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードを使用せずにクライアントをファイルボルトにアタッチできます。

.cvs ファイルは、ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成 (*Scripting File Vault View Setup*) で説明されているようにトリガを使ってサイレントに起動することも可能です。

ビュー セットアップ ファイルを使用するには：

1. .cvs ファイルをファイルボルトにアタッチしたいクライアントにコピーします。

2. .cvsファイルをダブルクリックします。

ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードの 完了(Finish)画面が開き、ローカル ビューが作成されるボルトがリストされます。

3. **完了 (Finish)** をクリックします。

ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成 (Scripting File Vault View Setup)

ビュー セットアップ ウィザードは、以下のトリガを持つViewSetup.exeを使って起動することによりビューのインストールを自動化することができます。これはログイン スクリプトや同様の配布メソッドを使ってファイルボルト ビューの配布を行いたい場合に便利です。

オプション、または引数	動作
/a	ビュー セットアップ ファイルを作成します。
path_to_.cvs_file	ビュー セットアップ ファイルを開き、このファイルの情報を 使ってアタッチを可能にします。 完全なパスには.cvsファイルが必要です。
/q	ウィザードを表示せずサイレントにアタッチします。/s スイッチまたは.cvsファイルとの組み合わせでのみ使用できます。
/s {VaultID}	ボルト ID は、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールでボルトのプロパティを選択することで確認できます。 ボルトをホストするアーカイブサーバーが複数ある場合には、 <i>WAN 環境でファイルボルト ビューを配布する (Distributing File Vault Views in a WAN Environment)</i> を参照してください。

例

- .cvsファイルから、ボルト ビューをサイレントに作成します:

```
ViewSetup.exe PDMWEVault.cvs /q
```

- IDで指定された2つのボルトから.cvsファイルを作成します:

```
ViewSetup.exe /s  
{A8E07E93-F594-42c9-A01B-F613DBA53CB5} {699C4EC3-60FC-452f-940E-8786A7AAF1B2}
```

/a

Microsoft Windows Active Directory を使用した ファイル ボルト ビューの配布

SOLIDWORKS PDM ユーザー ポリシーを Microsoft Windows Active Directory で使うことにより、集中管理された場所からボルト ビューをクライアント ワークステーションに配布できます。

Active Directory の設定を行う前に、*SOLIDWORKS PDM* ボルト ID の検索で説明されているように、配布するボルト ビューの一意のボルト ID を確認します。

ほとんどのポリシー ダイアログには説明タブがあり、ポリシーに関する説明テキストが表示されます。

Windows Server Active Directoryを使ってボルトビューを配布するには：

1. コントロール パネルを開き、**システムとセキュリティ > 管理ツール > Active Directory ユーザーとコンピューター** をクリックします。
2. セキュリティ グループを作成（あるいは既存のグループを利用）します。
3. セキュリティ グループを右クリックし、**プロパティ (Properties)**を選択します。
4. セキュリティ グループのプロパティ ダイアログ ボックスのメンバー タブで、**SOLIDWORKS PDM ファイルボルト ビュー**を配布するユーザーを追加します。
5. 最上位のドメイン コンテナ（またはターゲットユーザーを含む最上位OU）を右クリックして**プロパティ (Properties)**を選択します。
6. ドメインのプロパティ (Properties) ダイアログ ボックスのグループ ポリシー タブで、**新規作成 (New)** をクリックします。
7. 新しいオブジェクトを選択し、**プロパティ (Properties)** をクリックします。
8. オブジェクトのプロパティ (Properties)ダイアログボックスのセキュリティ タブをクリックします。
 - a) ユーザーを含むグループをリストに追加し、選択します。
 - b) **アクセス許可 (Permissions)** の、**許可 (Allow)** 列で、**グループ ポリシーの適用 (Apply Group Policy)** を選択し、グループにポリシーを適用します。

他のドメイン グループにポリシーを設定したくない場合、他のグループに対してはアクセス許可がオフに設定されていることを確認してください。

- c) **OK** をクリックします。
9. ドメインのプロパティ (Properties)ダイアログボックスで、新しいオブジェクトを再度選択し、**編集 (Edit)** をクリックします。
 10. グループポリシーオブジェクトエディタ で：
 - a) **ユーザーの構成 (User Configuration) > 管理用テンプレート (Administrative Templates)** を参照します。
 - b) 右クリックして**テンプレートの追加と削除 (Add/Remove Templates)**を選択します。

11. ポリシー テンプレート ダイアログ ボックスで、SOLIDWORKS DVD の \SWPDMClient\Support\Policies に移動します。PDMWorks Enterprise.ADM を選択して **開く** をクリックします。
 12. ポリシーがロードされたら、**閉じる** をクリックします。
新しい **SOLIDWORKS PDM の設定** オプションが **管理用テンプレート > 従来の管理用テンプレート (ADM)** の下に表示されます。
 13. **ビュー セットアップ (View Setup)** フォルダを開き、**Automatic View Setup** をダブルクリックします。
 14. Automatic View Setup のプロパティ ダイアログ ボックスで次を行います:
 - a) **有効** を選択します。
 - b) **表示** をクリックしてインストールするビューを表示します。
 - c) 内容の表示 ダイアログ ボックスで **追加** をクリックしてファイル ボルト ビューを追加します。
 - d) 項目の追加 ダイアログ ボックスで、配布するビューに名前を指定します (ファイル ボルトと同じ名前にすることをお勧めします)。
 - e) 項目の値フィールドにボルト ID (Vault ID) を入力します。
 - f) **OK** を 3 回クリックします。
- ボルトをホストするアーカイブサーバーが複数ある場合には、WAN 環境でファイルボルトビューを配布する (*Distributing File Vault Views in a WAN Environment*) を参照してください。
15. ユーザーのログイン時に新しいビューをアナウンスするには、SOLIDWORKS PDM が起動される必要があります。これを自動化するには、**Login Manager** フォルダを開き、**Start SOLIDWORKS PDM Login manager at Windows login** ポリシーを有効にします。
 16. ポリシー エディタ を閉じます。

SOLIDWORKS PDM ボルト ID の検索

1. クライアント コンピューターで、次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows Server 2012 よりも前の Windows 7 および Windows Server システムでは、Windows の **スタートメニュー** から、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面** の **SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. ボルト ビューを右クリックし、**プロパティ (Properties)** をクリックします。
3. ファイルボルト プロパティ ダイアログ ボックスでは、ボルト ID をコピーしてファイルにペーストすることができます。

ボルト ID はボルト データベースの **SystemInfo** テーブルでも確認できます。

配布されたファイル ボルト ビューを受け取る (Receiving a Distributed File Vault View)

ファイルボルト ビューを配布すると、ユーザーは自動通知を受け取ります。

- 配布されたグループ内のユーザーが次にログインすると、新しいボルト ビューが利用可能になったことを知らせる次のようなバルーン ヒントが表示されます。

システム管理者により、アタッチする新しいボルトが割り当てられました。 [ここをクリックしてアタッチしてください。](#)

メッセージ ボックスをクリックすると、ビュー セットアップ (View Setup) ウィザードの場所を選択 (Select Location) 画面が表示され、ユーザーはビューを配置する場所を選択することができます。

メッセージ ボックスが閉じる前にクリックできなかった場合も、トレイ上の **SOLIDWORKS PDM** アイコンをクリックすると**アタッチ (Attach)** オプションが表示され、そこから配布されたビューにアクセスできます。

- Automatic View Setup ポリシーで**Setup Views Silent**オプションを選択していた場合、ユーザーには以下のメッセージが表示されます：

システム管理者により、ユーザーは新しいボルトにアタッチされました。 [ここをクリックして参照してください。](#)

メッセージをクリックすると、ボルト ビューがWindowsエクスプローラで開きます。

サイレント ビュー セットアップ ポリシーが動作するためには、ポリシーを使用するドメイン ユーザー プロファイルがアーカイブ サーバー コンフィギュレーション ツールのセキュリティ セクションのアタッチ アクセス (または管理アクセス) リストの一部でなくてはなりません。そうでない場合には、**アタッチ (Attach)**オプションを使ってビューを手動で作成しなければなりません。

WAN環境でファイルボルト ビューを配布する (Distributing File Vault Views in a WAN Environment)

デフォルトで、アーカイブ サーバーはブロードキャスト インターフェイスを使ってネットワークを介してクライアントに自らをアナウンスします (ポート3030を通じて)。これにより、ビュー セットアップ (View Setup) ウィザードあるいはアドミニストレーション (Administration) ツールは正しいアーカイブ サーバーを自動的にリストすることができます。

スクリプトまたはActive Directoryポリシーがファイルボルト ビューを配布する際、クライアントは最初にアナウンスを受けたアーカイブ サーバーを使用します。複数サーバーのある複製環境など一部のケースでは、これが正しいサーバーでない場合があります。

WAN あるいは制限のあるネットワークでスクリプトの使用に問題がある場合、SOLIDWORKS PDM Settings ポリシーを使って手動でサーバーを追加してください。

SOLIDWORKS PDM クライアントに通知するアーカイブサーバーを手動で設定

1. 次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート > すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**をクリックしてください。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. **ローカル設定** で、**グループ ポリシー** をクリックします。
3. グループ ポリシー ダイアログ ボックスで、**ユーザーの構成 > 管理用テンプレート > SOLIDWORKS PDM 設定**をクリックします。
4. SOLIDWORKS PDM ポリシーの通常のプロードキャストを無効にします。
 - a) 右側パネルで、**Disable broadcast**をダブルクリックします。
 - b) Disable Broadcast Properties ダイアログ ボックスで **無効** を選択し、**OK** をクリックします。
5. クライアントが接続するアーカイブ サーバーを追加します：
 - a) **ビュー セットアップ**(View Setup)をクリックします。
 - b) **Configure Select Server Page** をダブルクリックします。
 - c) Configure Select Server Pageのプロパティ ダイアログ ボックスで **有効** を選択します。
 - d) デフォルト サーバーを表示するには**表示** (Show) をクリックします。
 - e) 内容の表示 ダイアログ ボックスで **追加** をクリックしてサーバーを追加します。
 - f) 項目の追加 ダイアログ ボックスで、アーカイブ サーバー名とポート (通常は3030) を入力します。
 - g) **OK** をクリックして各ダイアログ ボックスを閉じます。

ファイルボルト ビューが配布されると、クライアントは指定されたアーカイブ サーバーを使用するよう強制されます。

SOLIDWORKS PDM 設定グループ ポリシーを手作業で指定

Windows Active Directory ポリシー オプションを使用して、SOLIDWORKS PDM 設定を配布できます。Active Directory を使ってグループ ポリシーの配布を行わない場合、SOLIDWORKS PDM 設定ポリシーをローカル グループ ポリシーとしてクライアントに手動で追加できます。

Active Directory を使用した SOLIDWORKS PDM 設定の配布の詳細については、*Microsoft Windows Active Directory* を使用したファイル ボルト ビューの配布を参照してください。

ポリシーを手動で追加するには：

1. 次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート > すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**をクリックしてください。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. **ローカル設定** を選択します。
3. **グループ ポリシー(Group Policies)**を右クリックして、**開く (Open)** をクリックします。
4. グループ ポリシー ダイアログ ボックスで、**ユーザーの構成** を選択します。
5. **管理用テンプレート(Administrative Templates)**を右クリックし、**テンプレートの追加と削除 (Add/Remove Templates)**を選択します。
6. テンプレートの追加と削除 ダイアログ ボックスで **追加** をクリックします。
7. ポリシー テンプレート ダイアログ ボックスで、**\SWPDMClient\Support\Policies** の下にある SOLIDWORKS DVD の **PDMWorks Enterprise.ADM** ポリシー テンプレートを参照し、**開く**をクリックします。
8. **閉じる**をクリックします。

SOLIDWORKS PDM 設定ポリシー オプションが**管理用テンプレート > 従来の管理用テンプレート (ADM)**の下に表示されます。

SOLIDWORKS PDM 設定ポリシー オプション

ポリシー	説明 (Description)
設定 (Settings)	
ブロードキャスト ポート設定	デフォルトで、ブロードキャストで使用するポートを port 3030 に定義します。 特に変更する必要はありません。
Disable Broadcast	ブロードキャストを使ってローカル サブネット上のアーカイブ サーバーを探さないようにします。 マニュアルで追加されたサーバーのみが使用されます。 このポリシーは、特定のアーカイブ サーバーを必ず使いたい場合に使用します。 詳細は、 <i>Microsoft Windows Active Directory</i> を使用したファイル ボルト ビューの配布を参照してください。

ポリシー	説明 (Description)
Disable Automatic View Refresh	通常、別の SOLIDWORKS PDM クライアントから何かの変更された場合（ファイルの名前変更やチェックアウトなど）、ブロードキャストによって Explorer のファイル ビューが更新（最新表示）されます。 ビューが自動的に更新されないようにするにはこのオプションを使用します。ユーザーは、ビューをリストするフォルダをリフレッシュするのに F5 を押す必要があります。

ログイン マネージャの設定(Login Manager Settings)

Enable Alternative Servers	ファイルボルトが複製されている場合、このポリシーを有効にすることによりアーカイブ サーバーのログイン ダイアログ ボックスにユーザーが接続可能な複製ボルトが表示されます。 このポリシーは、ノートPC等を使用して複製ボルトをホストしているこれら両方の場所で作業する場合等に使用します。ブロードキャストされているサーバーのみがリストされます。このサーバーは Add alternative servers ポリシーに組み込んでおく必要があるかもしれません。
Start SOLIDWORKS PDM Login Manager at Windows Login	このポリシーは、Automatic View Setup ポリシーを使ってビューを配布する際に設定します。これにより、ログイン時に SOLIDWORKS PDM ログイン マネージャが起動され、ビューを追加できるようになります。
Add Alternative Servers	代替サーバー リストは、複製されたボルトをホストしている利用可能なブロードキャストされたサーバーをリストします。ブロードキャストがサーバーをリストしない場合、このポリシーを使って手動で追加します。サーバー名を Value Name、サーバー ポートを Value として指定します。

ポリシー	説明 (Description)
ビュー セットアップの設定	
Disable Add Server	ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードでユーザーがボルトソースのリストにサーバーを追加できないようにします。クライアントによる指定されたセットのサーバーの利用を制限するには、このポリシーを Disable Broadcast、および Select Server page と組み合わせて使用します。

ポリシー	説明 (Description)
Select Attach Page	ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードの 場所を選択 (Select Location) 画面をコントロールします。 ビューをサイレントに追加したい場合に定義します。 位置 デフォルトのファイルボルトのアタッチの場所を設定します。これはターミナル サービス環境で特定のディレクトリ (ユーザーのホーム ドライブ等) にファイルボルトが作成されるよう強制する場合にも使用できます。 種類 (Type) デフォルトのファイルボルト アタッチの種類を設定します。 制限されたWindowsユーザーは通常ファイルボルト ビューをコンピュータに追加する権限を持ちません。
Select Server Page	ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードの アーカイブ サーバーの選択(Select Archive Server)画面を制御します。 サーバーを選択するリストにデフォルト アーカイブ サーバー名を追加します。 アーカイブ サーバーの名前とポート (3030) 値として入力します。 指定されたセットのサーバーの利用をクライアントに対して強制するには、このポリシーをDisable Broadcast、およびDisable Add Serverと組み合わせて使用します。 また、このポリシーはブロードキャストによりアーカイブ サーバーがビュー セットアップ (View Setup) ウィザードにリストされない (例えばWAN環境等) 場合にも使用できます。
Automatic View Setup	このポリシーはファイルボルト ビューをクライアント コンピュータに配布するのに使用します。 アナウンスすべきビューに対するボルト名および値としてボルトIDを指定します。 Setup views silentを使用することにより、ビューはユーザーの関与なしに追加されます。 このオプションを使用する際には、ビューを正しい位置に作成するためSelect Attach Pageポリシーも定義しておきます。 クライアント コンピュータが異なるサブネットに存在し、ブロードキャストを受信できない場合には、Select Server Pageポリシーを定義しなければなりません。
ポリシー	説明 (Description)
エクスプローラ設定	
Configure Thumbnails	アーカイブ サーバー上で作成されるサムネイルのサイズと色深度を定義します。

ポリシー	説明 (Description)
Drawing Extensions	BOMビューで図面として扱うべき他の拡張子を追加できます。デフォルトでは、SLDDRWおよびIDWファイルが図面として有効にされています。 BOMビュー オプション選択アイテムを表示 (Show Selected) を選択解除すると、図面ファイルは通常トップ ノードとして扱われず、図面とアセンブリの両方が除外されます。
ルートからコピー ツリーを削除	コピー ツリー(Copy Tree)アイテムをボルトのルートのショートカットメニューから削除します。
ファイルの取得の設定	クライアントにファイルを取得するとき使用されたスレッド オプションを設定します。1 から 20 の間の値を使用します。デフォルトは 5 です。
SQL	
一括操作を設定	SQL サーバーと通信するとき、一括操作を使用するときの設定を行います。 一括操作をしない時、ステートメントがテキストでビルドされて、可能な場合、実行ステートメントに連結されます。 SOLIDWORKS サポートにより直接行われるときだけ使用します。

8

ボルトを Standard から Professional にアップグレードする

この章では以下の項目を含みます：

- **SolidNetWork License** を **Standard** から **Professional** にアップグレードする
- **Professional** ライセンスのアクティブ化
- **Standard** ボルトのアップグレード
- **SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server** を **Professional** にアップグレードする
- **ファイル ボルトのアップグレード後**

アップグレードすると、Professional ボルトを Standard ボルトにダウングレードすることはできません。この手順は、バックアップがない場合には元に戻すことができません。

ボルトを Standard から Professional にアップグレードするには：

1. SOLIDWORKS PDM Standard ボルトのファイル ボルト データベースをバックアップします。
詳細は、**ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database)** (176ページ) を参照してください。
2. ライセンスを Standard から Professional にアップグレードします。
詳細は、**SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする** (159ページ) を参照してください。
3. ボルトをアップグレードします。
4. SQL Server 2014 Express を SQL Standard 2014 にアップグレードします。
詳細は、**SQL Server 2014 Express を SQL Server 2014 にアップグレードする** (65ページ) を参照してください。
5. SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional Client/Server にアップグレードします。
詳細は、**SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする** (116ページ) を参照してください。

SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする

ボルトをアップグレードする前に、SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする必要があります。

SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードするには:

1. Windows で、コントロール パネル (**Control Panel**) > プログラム (**Programs**) > プログラムと機能 (**Programs and Features**) を開きます。
2. 最新のライセンス サーバーで **SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager** を右クリックし、**変更 (Change)** > **次へ (Next)** をクリックします。
3. プログラム メンテナンス (Program Maintenance) 画面で**変更 (Modify)** を選択します。
4. ライセンス情報 (License Information) 画面で Professional のシリアル番号を入力し、**次へ (Next)** をクリックします。
5. **インストール (Install)** をクリックします。

Professional ライセンスのアクティブ化

Professional ボルトにログインするにはライセンスをアクティブ化する必要があります。

Professional ライセンスをアクティブ化するには:

1. 次のいずれかを実行して SolidNetWork License Manager を開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート (Start)** > **すべてのプログラム (All Programs)** > **SOLIDWORKS version** > **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** > **SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ (Apps)** 画面の **SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools)** で、**SolidNetWork License Manager Server version** をクリックします。
2. アクティブ化を求めるプロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
SolidNetWork ライセンスをアクティブ化している場合は、**変更 (Modify)** をクリックします。

3. SolidNetWork ライセンス サーバー情報 (SolidNetWork License Server Information) 画面 で以下を行います。

- 会社でファイアウォールを使用している場合は、**このサーバーのファイアウォールは使用中です** (A firewall is in use on this server) を選択します。

詳細は、SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用 (Using SolidNetWork Licenses Server with Firewalls) を参照してください。

- **ポート番号** (Port Number) (およびファイアウォールを使用している場合は **ベンダー デモン ポート番号** (Vendor Daemon Port Number)) にはデフォルト値を使用するか、または会社で使用しているポート番号を指定します。

ポート番号は、1024 - 60000の範囲内のTCP/IPポート番号で、これは他のプロセスでは使用できません。通常、デフォルト (25734) が好ましく、現在ライセンス マネージャー サーバー上にある他の FLEXnet サーバーのプロセスと一致する可能性が少ないといえます。

4. SOLIDWORKS 製品のアクティブ化 (Activate Your SOLIDWORKS Product) 画面で以下を行います。

- インターネットか電子メールのプロセスを選択します。
- 電子メールの連絡先を入力します。
- **次へ** をクリックし、続行します。
 - インターネットの場合: アクティベーションは自動的に行われます。
 - Email : **保存** をクリックしてリクエスト ファイルを作成し、ファイルを activation@solidworks.com に送信します。レスポンス ファイルを含む電子メールを受信したら、電子メールからファイルを抽出し、**開く** をクリックしてファイルを読み込みます。

必要に応じて、アクティベーション手順を終了してから再び実行してレスポンス ファイルを開きます。

5. **完了** (Finish) をクリックします。

Standard ボルトのアップグレード

Standard ボルトを Professional ボルトにアップグレードする場合、Professional ライセンスをライセンス サーバーでアクティブにしておく必要があります。

ボルトを Standard から Professional にアップグレードするには:

1. **ファイル ボルト管理 (File vault management)** 権限で SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールにログインします。

アーカイブ サーバーでの管理者アクセスがあるアカウントで、コンピュータにログインする必要があります。そうでないアカウントを使用した場合、サーバーへの管理者アクセスがあるユーザーのログイン情報を入力するように求められます。

2. ボルトを右クリックし、**Professional ボルトへのアップグレード (Upgrade to Professional Vault)** を選択します。
3. Professional ボルトへのアップグレード (Upgrade to Professional Vault) 画面で**次へ (Next)** をクリックします。
4. チェックボックスを選択して**次へ (Next)** をクリックします。
5. Professional ライセンスをアクティブにしているライセンス サーバーを選択します。
6. **完了 (Finish)** をクリックします。

SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする

InstallShield Wizard を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、次のステップを実行します。

アップグレードする方法:

1. Windows で、**コントロール パネル (Control Panel) > プログラムと機能 (Programs and Features)** を開きます。
2. **SOLIDWORKS PDM Client** または **SOLIDWORKS PDM Server** を右クリックし、**変更 (Change)** を選択します。
クライアントをインストールした場合は、SOLIDWORKS インストールを変更して、クライアント インストールをアップグレードします。
3. ようこそ画面で、**次へ (Next)** をクリックします。
4. プログラム メンテナンス (Program Maintenance) 画面で**変更 (Modify)** をクリックします。
5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を選択します。
6. SOLIDWORKS PDM Professional のインストールを続行します。
SLDIM を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、**プログラムと機能 (Programs and Features)** でリストされている **SOLIDWORKS 2016** を変更してアップグレードします。

ファイル ボルトのアップグレード後

ファイル ボルトのアップグレード後に後処理の設定手順を実行します。

Professional ボルトへのアップグレード後:

- アドミニストレーション ツールに Professional 固有のフィーチャーが表示されます。
- 管理者は Professional ボルトを明示的に設定する必要があります。
- 組み込みの管理者ユーザーには、**管理権限 (Administrative Permissions)** と (Professional 固有の) **フォルダ権限 (Folder Permissions)** が割り当てられています。管理者ユーザーは、これらの権限をユーザーとグループに割り当てる必要があります。

- admin ユーザーは、変換タスクを再構成し、他のタスクを構成する必要があります。

9

コンテンツ検索を設定する (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

この章では以下の項目を含みます：

- [コンテンツ検索の概要 \(Content Search Overview\)](#)
- [推奨されるコンピュータ構成 \(Recommended Computer Configuration\)](#)
- [コンテンツ検索での Windows Search の使用](#)
- [Windows Search サービスのインストール](#)
- [Windows Search の設定](#)
- [Windows Search のアーカイブのインデックス作成](#)
- [コンテンツ検索に Microsoft インデックス サービスを使用する](#)
- [インデックス サーバー フィルタの追加 \(Adding Index Server Filters\)](#)
- [ファイルボルト インデックス カタログの管理 \(Managing File Vault Index Catalogs\)](#)
- [ファイルボルト インデックスを削除する\(Removing a File Vault Index\)](#)

ファイルボルト アーカイブにインデックスを作成すると、検索ツールでコンテンツ検索オプションを指定してドキュメントのコンテンツやプロパティを検索できるようになります。

例えば、product という単語を含むすべてのドキュメントを検索したり、特定の作成者によって作成されたすべての Microsoft Office 文書を探したりすることもできます。

コンテンツ検索の概要 (Content Search Overview)

SOLIDWORKS PDM Professional コンテンツ検索では、Microsoft インデックス サービスまたは Windows Search サービスを使用して、インデックス付けされた各ファイル ボルトのカタログが作成されます。このカタログは、ファイルボルトのアーカイブ フォルダ内のすべてのドキュメント バージョンのインデックス情報とストアド プロパティから構成されます。

管理者は、インデックス サービスまたは Windows Search のインデックス方式を選択できます。アップグレードされたシステムの管理者は引き続きインデックス サービスを使用できますが、以前

にインデックスが作成されていない新しいシステムの管理者は Windows Search を使用する必要があります。

Microsoft は、Windows 8 または Windows Server 2012 オペレーティング システムに対するインデックス サービスをサポートしていません。

インデックス サービスはファイルボルトのアーカイブ フォルダを定期的にスキャンし、フィルタ コンポーネントを使用してコンテンツを抽出します。 Microsoft</Z1>インデックス サービスは Microsoft Office</Z2>ファイル、HTML</Z3>ファイル、MIME</Z4>メッセージ、プレーンテキスト ファイル等に対するフィルタを提供しています。 PDF</Z1>ファイルを検索するもの等他のドキュメント フィルタをインストールすることも可能です。

インデックスを作成する過程で、単語とインデックス対象ドキュメント内の位置を格納するマスターインデックスを持ったカタログが作成されます。 SOLIDWORKS PDM Professional コンテンツ検索機能では、このカタログに対して特定の単語の組み合わせがクエリされ、マスター インデックスやワードリスト、シャドウ インデックスなどを使用したコンテンツ検索が行われます。

推奨されるコンピュータ構成 (Recommended Computer Configuration)

インデックス サービスの最小ハードウェア構成は、SOLIDWORKS PDM Professional データベース サーバーと同じです。 しかし、インデックス生成と検索ツールのパフォーマンスはアーカイブ内のドキュメントの数とサイズ、ならびにインデックス サービスで利用できるリソースのサイズに依存します。

ファイルボルト内のドキュメントの数（およびバージョンの数）が非常に多い場合、メモリが不十分だとパフォーマンスに深刻な影響を与えます。

インデックス作成の対象となるドキュメントの合計サイズはインデックス サーバーのデータの格納に必要なディスク領域に影響します。 カatalogに必要な領域はインデックスが作成されるドキュメントの約 15% です。

コンテンツ検索での Windows Search の使用

SOLIDWORKS PDM では、Windows Search サービスを使用してコンテンツ検索を実行できます。

Microsoft は Windows 8 以降および Windows Server 2012 オペレーティング システムではインデックス サービスをサポートしていないため、SOLIDWORKS PDM はそれらのオペレーティング システムで Windows Search サービスを使用してコンテンツ検索をサポートします。

コンテンツ検索に Windows Search を使用するには:

- 管理者は、Windows Search サービスを構成し、ファイル ボルト アーカイブ フォルダのインデックスを作成する必要があります。
- インデックスを作成するファイル ボルト アーカイブ フォルダは次のとおりである必要があります:

- 構成された Windows Search サービスと同じマシン上にある。

Windows Search では、リモート ネットワーク シェアおよびマップされたネットワークドライブはサポートされていない。アーカイブ フォルダは、ローカルに接続されているストレージまたは SAN ストレージからアクセス可能である必要がある。

- Windows Search サービスにアクセスしてシステム インデックスを構築できる。
- アーカイブ サーバーが SQL Server と異なるマシン上にある場合:
 - 管理者は、ファイル ボルト アーカイブ フォルダを共有する必要があります。
 - SQL Server サービスを実行しているログイン ユーザーには、共有フォルダに対する完全な権限が必要です。
 - Windows Search サービスは、ボルトのアーカイブをホストしているアーカイブ サーバーだけではなく、SQL Server のマシン上にもインストールする必要があります。

Windows Search サービスがシステム インデックスを構築する場合、管理者はシステム インデックスを使用するように SOLIDWORKS PDM を設定できます。

Windows Search サービスのインストール

アーカイブ サーバー システムに Windows Search サービスをインストールします。ボルト データベースが別の SQL サーバー システムでホストされている場合、その SQL サーバー上に Windows Search サービスもインストールする必要があります。

Windows 7 上での Windows Search サービスの有効化

Windows Search サービスは、クライアント オペレーティング システム上でデフォルトで有効になっています。無効になっている場合、有効にする必要があります。

Windows 7 上で Windows Search サービスを有効にするには:

1. Windows で、コントロール パネル (Control panel) > プログラム (Programs) > プログラムと機能 (Programs and Features) > Windows の機能の有効化または無効化 (Turn Windows features on or off) を開きます。
2. **Windows Search** を選択します。
3. **OK** をクリックします。

Windows Server 2008 R2 上での Windows Search サービスの有効化

1. Windows で、コントロール パネル (Control panel) > システムとセキュリティ (System and Security) > 管理ツール (Administrative Tools) > サーバー マネージャー (Server Manager) を開きます。
2. 左側パネルで **役割** をクリックします。
3. 右側パネルの役割 (Roles) ページで**役割の追加 (Add Roles)** をクリックします。

4. 役割の追加ウィザード (Add Roles Wizard) の開始する前に (Before You Begin) ページで、**次へ (Next)** をクリックします。
5. サーバーの役割の選択 (Select Server Roles) ページで、**ファイル サービス (File Services)** をオンにして**次へ (Next)** を 2 回クリックします。
6. 役割サービスの選択 (Select Role Services) ページで、**Windows 検索 サービス (Windows Search Service)** をオンにして**次へ (Next)** をクリックします。
7. インストール (Install) をクリックします。
8. Windows Search をインストールした後、**閉じる (Close)** をクリックして役割の追加ウィザード (Add Roles Wizard) を終了します。

Windows Server 2012 上での Windows Search サービスの有効化

1. Windows のスタート (Start) 画面で、サーバー マネージャー (Server Manager) と入力して、**サーバー マネージャー (Server Manager)** をクリックします。
2. **管理 (Manage) > 役割と機能の追加 (Add Roles and Features)** を選択します。
3. 機能の選択 (Select Features) ページで、**Windows 検索 サービス (Windows Search Service)** を選択して**次へ (Next)** をクリックします。
4. **インストール (Install)** をクリックします。
5. Windows Search をインストールした後、**閉じる (Close)** をクリックして役割と機能の追加ウィザード (Add Roles and Features Wizard) を終了します。

Windows Search の設定

Windows Search を使用するように SOLIDWORKS PDM Professional コンテンツ検索を設定するには、Windows Search サービスをインストールし、アーカイブ フォルダのパスをインデックス設定に追加し、ファイル ボルトのアーカイブのインデックスを作成します。

Windows Search を設定するには:

1. アドミニストレーション ツールで、**インデックス設定を更新することができます (Can update index settings)** 権限を持つ SOLIDWORKS PDM ユーザーとして、インデックス作成されるファイル ボルトにログインします。
2. **インデックス (Indexing)** を右クリックし、**開く (Open)** をクリックします。
3. インデックスの設定 (Indexing Settings) ダイアログ ボックスで、**ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成 (Index File Vault Archives)** を選択します。
4. **ファイル ボルト インデックス方式の選択 (Select the File Vault Indexing Method)** で **Windows Search** を選択します。
5. **アーカイブの場所 (Archive Locations)** で、アーカイブ パスをダブルクリックしてインデックスの位置を構成します。

6. ファイル ボルト アーカイブ フォルダのパスを編集 (Edit File Vault Archive Folder Path) ダイアログ ボックスで、SQL Server のファイル ボルト アーカイブ フォルダのパスを入力します。

- アーカイブ サーバーが SQL Server と異なるマシン上にある場合は、アーカイブ フォルダ シェアへの UNC パスを入力します。
- アーカイブ フォルダは、アーカイブ サーバー マシン上でローカルに接続されているストレージまたは SAN ストレージからのみアクセス可能である必要があります。

7. **OK** を2回クリックします。

詳細は、SOLIDWORKS PDM/SOLIDWORKS Manage インストレーション ガイドの *Windows Search* サービスのインストールを参照してください。

Windows Search のアーカイブのインデックス作成

インデックス対象ドキュメントを探すための SOLIDWORKS PDM コンテンツ検索では、Windows Search サービスによってアーカイブ フォルダのインデックスを作成する必要があります。

Windows Search のアーカイブのインデックスを作成するには:

1. アーカイブ サーバーで、以下のいずれかを実行することにより **Windows インデックスのオプション (Windows Indexing Options)** を開きます。
 - Windows 7 では、**スタート (Start)** をクリックして**インデックスのオプション (Indexing Options)** と入力し、**インデックスのオプション (Indexing Options)** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、スタート画面で**インデックスのオプション (Indexing Options)** と入力して**インデックスのオプション (Indexing Options)** をクリックします。
2. インデックスのオプション (Indexing Options) ダイアログ ボックスで、**変更 (Modify)** をクリックします。
3. インデックスが作成された場所 (Indexed Locations) ダイアログ ボックスで、ファイル ボルト アーカイブが存在するフォルダを参照します。

アーカイブ サーバーが、インデックス作成対象のファイル ボルト アーカイブを複数ホストしている場合、このダイアログ ボックスで、すべてのアーカイブのアーカイブ フォルダを追加します。
4. アーカイブ フォルダの横にあるチェック ボックスを選択して、個別の 0~F サブフォルダも含まれていることを確認します。
5. **OK** をクリックします。

6. アーカイブ フォルダが、**含まれる場所 (Included Locations)** 列の下にリストされていることを確認します。

Windows Search Indexer がアーカイブ フォルダのスキャンを開始し、ファイル内で検出されたコンテンツのインデックスを作成します。このプロセスはバックグラウンドで実行され、アーカイブのサイズによっては、完了までに数時間かかる場合があります。インデックスが完全に構築されるまで、コンテンツ検索が不完全になる場合があります。

コンテンツ検索に Microsoft インデックス サービスを使用する

SQL Server 上に SOLIDWORKS PDM Professional のコンテンツ検索の構成を設定するには、Microsoft インデックス サービスのインストール済み環境を確認し、インデックス サービスをモニターおよび調整して、SOLIDWORKS PDM Professional のファイルボルト アーカイブをインデックス付けする必要があります。

Microsoft インデックス サービスは、Windows 8 以降および Windows Server 2012 オペレーティングシステムではサポートされていません。代わりに Windows Search サービスを使用してください。

Microsoft インデックス サービスのインストールを確認する (Verifying Microsoft Indexing Service Installation)

デフォルトで、インデックス サービスは Windows Server 2008 ベースのコンピュータ上にインストールされません。Windows Server 2008 でのインデックス サービスのインストールおよび構成の手順については、[Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、ナレッジ ベース記事 954822 を検索してください。

1. インデックスを作成するファイルボルトをホストする SQL Server で、**コントロール パネル (Control Panel) > プログラム (Programs) > プログラムと機能 (Programs and Features) > Windows の機能の有効化または無効化 (Turn Windows features on or off)** を開きます。
2. Windows の機能 (Windows Features) ダイアログ ボックスで**インデックス サービス (Indexing Service)** が選択されていることを確認します。そうでない場合、選択してインストールします。

Microsoft インデックス サービスをモニタリングし、チューニングする (Monitoring and Tuning the Microsoft Indexing Service)

1. **スタート (Start) メニューで、コンピュータ (Computer) を右クリックし、管理 (Manage) を選択します。**

2. コンピュータの管理 (Computer Management) ダイアログ ボックスで**サービスとアプリケーション (Services and Application)** > **インデックス サービス (Indexing Service)**を展開します。

SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成

この手順では、インデックス サーバーとデータベース サーバーが両方ともファイルボルト データベースをホストするSQLサーバー上にインストールされている場合のインデックス サーバーの設定方法を説明します。

別のシステムにインデックス サーバーをインストールするには、SQL サーバー以外のシステムにインデックス サービスを設定する (*Configuring the Index Service on a Non-SQL Server System*) を参照してください。

ファイルボルト アーカイブのインデックスを作成する前に：

- データベース サーバーがインストールされ、設定されていることを確認します。
- **インデックス設定を更新することができます**権限を使用して、SOLIDWORKS PDM Professional ユーザーのユーザー名とパスワードを取得します。
- インデックス サーバーがアーカイブ サーバー以外のシステムにある場合、以下のいずれかを確認します：
 - UNCシェアへのフルアクセス（読みとり／書き込み）権限を持ったユーザーのアーカイブフォルダへのドメイン ログイン情報。
 - インデックス サーバー上のローカル Windows ユーザーのログイン情報。

SQLサーバー システムにインデックス サーバーをセットアップするには：

1. クライアント システムで、次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート > すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**をクリックしてください。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM で、管理** をクリックします。
2. インデックスを作成するファイルボルトに**インデックス設定を更新することができます**権限を持つ SOLIDWORKS PDM のユーザーとしてログインします。
3. 左側パネルのファイルボルトの下で、インデックスを右クリックし、**開く (Open)** を選択します。
4. プロンプトが表示されたら、管理者アクセス権を持つユーザーとしてアーカイブ サーバーにログインします。
5. インデックスの設定 (Indexing Settings) ダイアログ ボックスでこのボルトのコンテンツ検索を有効にするには、**ファイルボルトアーカイブのインデックス作成**を選択します。
6. **ファイル ボルトのインデックス作成方法を選択 (Select the File Vault Indexing Method)** で、**インデックス サービス (Indexing Service)** を選択します。
7. **アーカイブの場所 (Archive Locations)** で、アーカイブ パスをダブルクリックします。

8. ファイルボルト アーカイブ フォルダのパスを編集 ダイアログ ボックスの 2 番目のフィールドには、インデックス サービスを実行しているシステムから見たアーカイブへのパスを指定します。アーカイブ フォルダは **参照** ボタンを使って指定できます。

- インデックス サーバー (通常SQLサーバーです) がアーカイブ サーバーと同じシステムにある場合は、1番目のフィールドに表示されたパスをコピーして2番目のフィールドにペーストします。
- インデックス サーバーがアーカイブ サーバー以外のシステムにある場合は、アーカイブ フォルダへのUNCパスを指定します。

以下のいずれかを入力します：

- ドメイン管理者等、UNC共有へのフル アクセスを持つユーザーのドメイン ログイン
- インデックス サーバー上のローカル Windows ユーザーのユーザー名とパスワード

9. **OK** をクリックして インデックスの設定 ダイアログ ボックスを閉じます。

ファイルボルトに対する新しいインデックス カタログ**Conisio_vaultID** がインデックス サーバーに作成されます。 サポートされるファイル タイプを含むファイルボルト アーカイブはインデックス サービス実行時にインデックスが生成されますが、即時生成される場合も若干遅延がある場合もあります。

10. これを確認するには、**マイ コンピュータ** (My Computer) を右クリックし、**管理** (Manage) を選択します。
11. コンピュータの管理 ダイアログ ボックスで **サービスとアプリケーション > インデックス サービス** を展開し **Conisio** カタログが生成されていることを確認します。

SQLサーバー以外のシステムにインデックス サービスを設定する(Configuring the Index Service on a Non-SQL Server System)

インデックス サービスをセットアップするには、SOLIDWORKS PDM データベース サーバーと Microsoft SQL Server はインデックス サーバーとして使用されるシステムと通信できなくてはなりません。

SQLサーバー以外のシステムをインデックス サーバーとして使用する場合には、ファイルボルトのインデックスを設定する前に以下の手順を実行してください。

サービス アカウントとファイル ボルト データベースの設定が完了したら、*SOLIDWORKS PDM Professional* ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成の説明に従って、インデックス サービスの追加と、ファイル ボルト アーカイブのインデックス付けを行ってください。

ファイルボルト データベースをインデックス サーバー名で更新する (Updating the File Vault Database with the Index Server Name)

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。

2. 左のパネルで、**データベース(Databases) > file_vault_database > テーブル(Tables)**を展開します。
3. **SystemInfo** テーブル (**dbo.SystemInfo**) を右クリックし、**テーブルを開く** を選択します。
4. 右側パネルで、**IndexServer**列をインデックス サーバー システムの名前で更新します。
サーバー名にハイフン (-) が含まれる場合は、名前を二重引用符 (" ") で囲みます。

SystemInfo テーブルを正しいインデックス サーバー名で更新しないと SQL サーバー上の Microsoft インデックス サーバーが使用されます。

5. 変更を保存して、Microsoft SQL Server Management Studio を終了します。

データベース サーバーのログイン アカウントを変更する (Changing the Database Server Login Account)

データベースとアカウントを変更する前に、データベース サーバーとインデックス サーバーにローカル管理者権限を持つワークライプ サービスおよびインデックス サーバー サービスは別のシステムで実行されるため、システム アカウント以外のサービス アカウントを使って通信する必要があります。

データベースサーバー ログインアカウントを変更する前に、データベースサーバーとインデックスサーバーに関するローカルの管理者権限を持つ Windows ユーザーのログイン情報を得てください。

このユーザーは両方のシステムで同じ名前、パスワード、ローカル アカウント権限を持っている必要があります。

データベース サーバーのログイン アカウントを変更するには：

1. Windows のスタート (**Start**) メニューから、**コントロール パネル (Control Panel) > 管理ツール(Administrative Tools) > サービス (Services)** をクリックします。
2. **/>** **データベース サーバー**を右クリックし、**プロパティ (Properties)** を選択します。
3. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのプロパティ (SOLIDWORKS PDM Database Server Properties) ダイアログ ボックスのログオン (Log On) タブにある**ログオン (Log on as)** で、**アカウント (This account)** を選択します。
4. データベース サーバーを実行するシステムとインデックス サーバーの両方にローカル管理者権限を持つWindowsユーザー アカウント、例えばドメイン管理者などを指定し**OK**をクリックします。
5. SOLIDWORKS PDM データベース サーバー サービスを停止し、開始します。

データベース サーバーがインデックス サーバーと通信できない場合、ファイルボルト アークライプに対するインデックスの作成、削除を行うことはできません。以下のエラー メッセージが表示される場合があります。Access is denied. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーは *servername* との接続に失敗しました。

SQL サーバーのログイン アカウントを変更する(Changing the SQL Server Login Account)

SQLサーバー サービスとインデックス サービスおよびインデックス サーバー サービスは別のシステムで実行され同じドメインの一部ではないため、システム アカウント以外のサービス アカウントを使って通信できる必要があります。 同じドメインにある場合、この手順は不要です。

SQLサーバーのログイン アカウントを変更する前に、SQLサーバーとインデックス サーバーにローカル管理者権限を持つWindowsユーザーのログイン情報を確認しておきます。

このユーザーは両方のシステムで同じ名前、パスワード、ローカル アカウント権限を持っている必要があります。

Microsoft SQLサーバーのログイン アカウントを変更するには：

1. Windows のスタート (**Start**) メニューから、**コントロール パネル (Control Panel) > 管理ツール(Administrative Tools) > サービス (Services)** をクリックします。
2. SQL Server (**MSSQLSERVER**)までスクロールして右クリックし、**プロパティ (Properties)** を選択します。
3. SQL サーバー (MSSQLSERVER)のプロパティ (SQL Server (MSSQLSERVER) Properties) ダイアログ ボックスのログオンタブの**ログオン (Log on as)** で、**アカウント (This account)** を選択します。
4. Microsoft SQL Server とインデックス サーバーを実行する両方のシステムでローカル管理者権限を持つWindowsユーザー アカウント、例えばドメイン管理者などを指定し**OK**をクリックします。
5. MSSQLサービスを停止し、開始します。

SQL サーバーがインデックス サーバーと通信できない場合、SOLIDWORKS PDM でコンテンツ検索を行うと次のエラーが発生して失敗します。

データベース サーバーにアクセスする際に通信リンクの失敗起こりました。 データベース サービスが再起動されたか、あるいはネットワークがダウンしているかもしれません。 この操作を再試行して問題が解決されない場合、システム管理者と連絡を取ってください。 "vaultname"

インデックス サーバー フィルタの追加 (Adding Index Server Filters)

デフォルトでは、Microsoft インデックス サービスと Windows Search サービスは次のファイル形式のインデックス作成をサポートしています。 Microsoft Office</Z1>ファイル、HTML</Z2>ファイル、MIME</Z3>メッセージ、プレーンテキスト ファイル。 インデックス サーバーにサードパーティのインデックス フィルタ (iFilters) をインストールすることにより、他の多くのファイル形式に対してもコンテンツ検索サポートを追加することができます。

アーカイブに既にインデックスが作成されたインデックス サーバーに新しいインデックス フィルタをインストールした後は、インデックスを再構築する必要があります。 詳細については、インデックス カタログの再構築を参照してください。

圧縮アーカイブ (gzip) フィルタ (Compressed Archives (gzip) Filter)

SOLIDWORKS PDM のサーバー コンポーネントをインストールする際に GZ iFilter は自動的に登録されます。 このフィルタを使用すると、アーカイブ サーバー圧縮 (gzip) を使用して圧縮されたアーカイブがインデックス サーバーによってカタログ化されます。

インデックス カタログの再構築

インデックス サーバーによってアーカイブのインデックスが作成されている場合、インデックス カタログ全体に再スキャンをかけてコンテンツのリフレッシュを行う必要があります。

インデックスの再構築には数時間かかることがあります。 インデックスが完全に再構築されるまで、コンテンツ検索が不完全になる場合があります。

Microsoft Search サービス カタログの再構築

1. アーカイブ サーバーで、以下のいずれかを実行することにより **Windows インデックスのオプション (Windows Indexing Options)** を開きます。
 - Windows 7 では、**スタート (Start)** をクリックして**インデックスのオプション (Indexing Options)** と入力し、**インデックスのオプション (Indexing Options)** をクリックします。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、スタート画面で**インデックスのオプション (Indexing Options)** と入力して**インデックスのオプション (Indexing Options)** をクリックします。
2. インデックスのオプション (Indexing Options) ダイアログ ボックスで、**詳細設定 (Advanced)** をクリックします。
3. 詳細設定オプション (Advanced Options) ダイアログ ボックスでインデックスの設定 (Index Settings) タブをクリックして、**再構築 (Rebuild)** をクリックします。

Microsoft インデックス サービス カタログの再構築

1. **マイ コンピュータ** を右クリックし、**管理 (Manage)** を選択します。
2. コンピュータの管理 (Computer Management) ダイアログ ボックスで**サービスとアプリケーション (Services and Applications)** > **インデックス サービス (Indexing Service)**、**Conisio_vaultID** を展開します。
3. **ディレクトリ (Directories)** をクリックします。
4. 右側のパネルで、ディレクトリを右クリックし、**すべてのタスク (All Tasks)** > **再スキャン (完全) (Rescan (Full))** を選択します。

ファイルボルト インデックス カタログの管理 (Managing File Vault Index Catalogs)

Microsoft インデックス サービスの動作を設定する方法は多数あります。

Windows Search サービスや Microsoft インデックス サービスの詳細については、インデックス サーバー ノードについての Windows のヘルプまたはオンラインのリソース (<http://support.microsoft.com>) を参照してください。

ファイルボルト インデックスを削除する (Removing a File Vault Index)

ファイルボルト インデックスを削除する際、削除されるのはインデックス カタログのみです。物理 ファイルやアーカイブはこの処理によって影響を受けません。

ファイルボルト インデックスを削除する前に、次の権限でユーザーに対するログイン情報を確認してください：

- アーカイブサーバーへの管理者アクセス
- インデックスの設定を更新する SOLIDWORKS PDM の権限

ファイルボルト アーカイブからインデックスを削除するには：

1. クライアント システムで、次のいずれかを実行しアドミニストレーション ツールを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、**スタート > すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**をクリックしてください。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. インデックスを削除するファイルボルトにログインします。
3. **インデックス** を右クリックし、**開く** を選択します。
4. プロンプトが表示されたら、アーカイブ サーバーに対する管理者アクセス権を持つユーザーとしてログインします。
5. **ファイルボルト アーカイブのインデックス作成** を選択解除し **OK** をクリックします。

10

ファイルボルトのバックアップと復元 (Backing Up and Restoring File Vaults)

この章では以下の項目を含みます：

- ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database)
- **SOLIDWORKS PDM マスター データベースのバックアップ**
- アーカイブ サーバー設定のバックアップ (Backing Up the Archive Server Settings)
- アーカイブ ファイルのバックアップ (Backing Up the Archive Files)
- データベース バックアップのスケジュール作成
- **Restoring a File Vault**

ファイルボルトのバックアップは SOLIDWORKS PDM に対する毎日の管理作業の一部です。 また、SOLIDWORKS PDM コンポーネントのアップグレードを行う前にも必要な作業です。

SQL Server Standard の SQL Maintenance ウィザードを使用して、ファイルボルト データベースのバックアップ計画のスケジュールを設定できます。 すべてのアーカイブ サーバーの物理ファイルボルトアーカイブは、スケジュールされたファイル バックアップ ソフトウェアを使用して定期的にバックアップする必要があります。

ボルトをバックアップする際、チェックアウトされクライアントのワークステーション上で編集されたファイルに含まれる最新の更新内容は含まれません。これらはクライアントのローカル ファイルボルトビュー（キャッシュ）に格納されているためです。すべてのファイルの最新情報をバックアップに含めるためには、すべてのファイルがチェックインされている必要があります。

ファイルボルトの完全なバックアップには、ファイルボルト データベースとすべての物理ファイルボルトアーカイブ ファイルが含まれている必要があります。データベースのバックアップは、バックアップセットの不一致によるデータ損失を回避するために、アーカイブ ファイルのバックアップと同時に実行する必要があります。ボルトに障害が発生した際に回復するには、データベースとアーカイブの両方が必要です。

ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database)

SQL サーバーでホストされるファイル ボルト データベースのバックアップは、ライブ SQL データベース バックアップをサポートする専用バックアップ ソリューションを使用することが推奨されています。SQL Serverに付属のSQL Managementツールを使ってもバックアップを行うことはできます。

1. SQL Server Management Studio を開きます。
2. **データベース** フォルダを展開します。
3. バックアップするデータベースを右クリックし、**タスク (Tasks)** > **バックアップ (Back Up)** を選択します。
4. データベースのバックアップ ダイアログ ボックスの **リンク元** で、次を行います。
 - a) **バックアップの種類** (Backup type) で、**完全 (Full)** を選択します。
 - b) **バックアップ コンポーネント** で、**データベース** を選択します。
5. **移動先** で、**追加** をクリックします。
6. バックアップ先の選択 ダイアログ ボックスで、バックアップするデータベースのターゲットのパスとファイル名を入力し、**OK** をクリックします。
7. **OK** をクリックしてバックアップを開始します。
8. バックアップが完了した後、**OK**をクリックします。
9. 他にもファイルボルト データベースがあれば同じ手順を繰り返します。
10. SQL Server Management Studioを終了します。

SOLIDWORKS PDM マスター データベースの バックアップ

ファイル ボルト データベースに加えて、**ConisioMasterDb** という名前の SOLIDWORKS PDM マスター データベースもバックアップする必要があります。

このデータベースのバックアップをとるために、ファイルボルト データベースのバックアップをとるために使用した同じインストラクションに従ってください。詳細は、ファイルボルト データベースのバックアップ (*Backing Up the File Vault Database*)を参照してください。

アーカイブ サーバー設定のバックアップ (Backing Up the Archive Server Settings)

アーカイブ サーバーにはパスワードやログイン タイプ等ファイルボルトの設定が含まれています。また、SOLIDWORKS PDM ボルト アーカイブ ファイルの物理的場所でもあります。アーカイブ サーバー設定をバックアップしてもアーカイブ ファイルはバックアップされません。

アーカイブ サーバー設定のバックアップ後、バックアップ ファイルを通常のファイル バックアップに含めるようにしてください。

アーカイブ サーバー設定をバックアップするには：

1. アーカイブ サーバー上で、次のいずれかを実行して SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション**を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
2. ツール (Tools) > **バックアップ設定 (Backup settings)** を選択します。
3. バックアップ設定 ダイアログ ボックスで：
 - a) **すべてのボルトを含める** を選択します。(推奨)
または、**選択されたボルトを含める** (Include selected vaults) を選択して設定をバックアップするファイルボルトを指定する事も可能です。
 - b) **バックアップの場所** を選択または指定します。
デフォルトの場所はアーカイブ フォルダです。
 - c) 自動バックアップを行うには、**スケジュール** (Schedule) をクリックしてスケジュールを指定します。
 - d) バックアップ ファイルのパスワードを入力し、確認します。

このパスワードは設定を復元するのに必要です。

 - e) 次のいずれかを行います：
 - バックアップをすぐに実行するには、**バックアップを開始** (Launch backup) をクリックします。バックアップを確認するメッセージに対して、**OK** をクリックします。
 - スケジュールされた時間にバックアップを実行するには、**OK** をクリックします。
4. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを閉じます。

バックアップ ファイルは指定された場所にBackup.datという名前で保存されます。

アーカイブ ファイルのバックアップ (Backing Up the Archive Files)

ファイルボルト アーカイブにはファイルボルトに保存される物理的ファイルが含まれています。ボルトに追加されたファイルは、アーカイブ サーバーに指定されるアーカイブ フォルダに格納されます。

1. ファイルボルトと同じ名前を持ったアーカイブ フォルダを配置します。
このフォルダは、アーカイブ サーバーのアーカイブ フォルダ パスの下にあります。詳細は、*SOLIDWORKS PDM* アーカイブ サーバーのインストールを参照してください。

ファイルボルト アーカイブの場所がわからない場合、レジストリ キー
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks
Enterprise\ArchiveServer\Vaults\vaultname\ArchiveTable を確認してください。

2. このフォルダとその内容をバックアップするにはバックアップ アプリケーション (Backup Exec等) を使用してください。

データベース バックアップのスケジュール作成

SQL Server Standard Edition のメンテナンス プランを使用してデータベース バックアップのスケジュールを作成できます。事前作成されたメンテナンス プランや自動化されたバックアップ オプションはないため、SQL Express で日次ファイル ボルト バックアップを取る必要があります。

ファイルボルトSQLデータベースの自動バックアップを定期的に行うには、SQL Server Management Studioのメンテナンス プランを使用することができます。メンテナンス プランにより、データベースの完全なバックアップを作成し、通常ファイルバックアップルーチンに含めることができます。

データベース バックアップのスケジュールを作成する前に：

- SSIS (Integration Services) がSQLサーバーにインストールされている必要があります。
Integration ServicesはSQLサーバーのインストール ウィザードのワークステーション コンポーネントの一部として含まれています。
- SQL Server Agentが実行されている必要があります。

SQL Server Express Edition は無償版の SQL Server であり、SQL Management ツールや SQL エージェントは含まれていません。標準ボルトの場合、毎日のファイル ボルト バックアップを設定するには、[Microsoft サポート](#) ページにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 2019698 を検索します。

SQL Server Agentの開始 (Starting the SQL Server Agent)

SQL Server Agentが実行中でない場合、"Agent XPs"コンポーネントがセキュリティ コンフィギュレーションの一部としてオフになっていることを知らせるメッセージが表示されます。

1. SQL Server 構成マネージャー を開きます。

2. 左側パネルで **SQL Server サービス**(SQL Server Services)を選択します。
3. SQL Server Agent の状態が **Stopped** になっている場合、右クリックして**開始**を選択します。

エージェントの**開始モード** (Start Mode) が**自動** (Automatic) になっていることを確認します。 そうでない場合、エージェントを右クリックして**プロパティ** (Properties) を選択し、サービスタブの**開始モード** (Start Mode) を設定します。

4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

データベース バックアップのためのメンテナンス プランの設定 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

SQL Server Standard でバックアップ メンテナンス プランを設定する最も簡単な方法は、SQL Maintenance ウィザードを使用することです。

バックアップ メンテナンス プランが実行されると、ファイルボルト データベースがバックアップされ、指定されたフォルダに格納されます。 このバックアップフォルダを毎日のバックアップ手順に含めてください。

バックアップ メンテナンス プランを設定するには：

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
2. 左側パネルのSQL Serverで**管理** (Management) を展開します。

3. **メンテナンス プラン** を右クリックし、**メンテナンス プラン ウィザード** を選択します。

画面	操作
SQL Server メンテナンス プラン ウィザード	SQL Server メンテナンス プラン 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
プランのプロパティを選択	a. メンテナンス プランの名前と説明を入力してください。 b. 変更 をクリックしてスケジュールを設定します。 ジョブ スケジュールのプロパティ ダイアログ ボックスで、スケジュールの名前を指定し、データベースバックアップを行う時間を選択します。これは毎日のファイルバックアップの開始時間と近い時間に設定します。データベースのハードドライブへのバックアップは速く、通常数分で完了します。 c. OK をクリックします。 d. 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
メンテナンス タスクの選択	a. データベースのバックアップ (完全) を選択します。 毎日のバックアップに依存している場合、データベースのバックアップ (差分) (Back Up Database (Differential)) も選択するとよいでしょう。少なくとも毎週1回、フルバックアップを作成してください。 b. 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
メンテナンス タスクの順序を選択	a. バックアップタスクがリストされることを確認してください。 b. 次へ (Next</Z2>) をクリックします。

画面	操作
データベースのバックアップ (完全) タスクの定義	a. データベース リストを展開します。 b. すべてのユーザー データベース を選択します。 これにより、すべての SOLIDWORKS PDM データベースが選択され、SOLIDWORKS PDM で必要のない SQL System データベースは除外されます。 データベースを個別に選択するには、これらのデータベース (These databases) を指定して選択します。 ファイルボルト データベースと ConisioMasterDb データベースを選択してください。 c. OK をクリックします。 d. バックアップ セットの有効期限 を選択して、既存のバックアップ セット ファイルを何日保存するかを定義します。 e. ディスクにバックアップする を選択します。 f. すべてのデータベースにバックアップ ファイルを作成する を選択します。 g. フォルダ には、SQL Server上のバックアップ ファイルを作成する既存のフォルダへのローカルパスを入力します。 h. 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
レポート オプションの選択	a. バックアップ タスク レポートに関しては、レポートをテキスト ファイルに書き込む (Write a report to a text file) またはレポートを電子メールで送信する (E-mail report) を選択し、保存先または送信先を指定します。 b. 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
ウィザードの完了	完了 (Finish) をクリックします。
メンテナンス プラン ウィザードの進行状況	全てのタスクが完了したら、 閉じる (Close) をクリックします。

4. SQL Server Management Studioを終了します。

Restoring a File Vault

ファイルボルトを復元させるには、ファイルボルト データベース、ConisioMasterDb データベース、アーカイブサーバー コンフィギュレーション設定、ファイルボルト アーカイブファイルの最新のバックアップを必要とします。

SQL Server Express を使用して、Standard ボルト データベースを復元します。

SQLサーバー ファイルボルト データベースの復元 (Restoring the SQL Server File Vault Databases)

1. SQLサーバーをインストールします。
 - a) SQLログイン タイプを混在モードに設定します。
 - b) 管理ツールのインストールを選択します。詳細は、*SQL Server のインストールと設定 (Installing and Configuring SQL Server)* を参照してください。
2. 最新のSQLサービスパックを適用します。
3. SQLデータベース バックアップ ファイルをSQLサーバーの一時フォルダに復元します。
4. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
5. 左側パネルで、**データベース** (Databases) を右クリックして**データベースの復元** (Restore Database) を選択します。
6. データベースの復元 ダイアログ ボックスの **復元先データベース** フィールドに、バックアップした時と全く同じ名前をファイルボルト データベース名を入力します。
7. **復元用のソース** (Source for restore) で、**デバイスから** (From device) を選択し、**参照** (Browse) ボタンをクリックします。
8. バックアップの指定 ダイアログ ボックスで **追加** をクリックします。
9. バックアップファイルの検索 ダイアログ ボックスで、データベース バックアップ ファイルを選択し、**OK** を 2 回クリックして データベースの復元 ダイアログ ボックスに戻ります。
10. **復元するバックアップ セットの選択** で、リストアしたいデータベースに対して **復元** をクリックします。
11. 左側パネルで**オプション** (Options) を選択します。
12. 右側パネルで、データベース ファイルへのパスが正しいことを確認します。
デフォルトでは、データベースをバックアップしたときに使用されたパスになります。
13. **OK** をクリックして復元を開始します。
14. 他のファイルボルト データベースがあればこの手順を繰り返し、また**ConisioMasterDb**データベースも復元してください。
15. SQL Server Management Studioを終了します。

ConisioMasterDbの復元を検証 (Verifying the ConisioMasterDb Restore)

ConisioMasterDbデータベースを復元した後、**FileVaults**テーブルの**VaultName**および**DatabaseName**列が正しいことを確認します。 どちらかのエントリが欠けていると、通知が処理できません。

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
2. データベース > **ConisioMasterDb** > テーブル(Tables) > **dbo.FileVaults**を展開します。
3. **列** をクリックし、**VaultName** と **DatabaseName** を確認します。
4. SQL Server Management Studioを終了します。

アーカイブ サーバーとファイルボルト アーカイブの復元 (Restoring the Archive Server and File Vault Archives)

アーカイブ サーバーの設定をログイン設定やユーザー情報も含めて以前の状態に戻すには、以下の手順を使用します。

1. 新しいアーカイブ サーバー上で、バックアップ (フォルダ0-F) から物理ボルト アーカイブをバックアップ前と同じ場所に復元します。
2. アーカイブ サーバーをインストールします。
元のインストール時と同じ設定を使用します。 定かでない場合、デフォルトを使用します。 元の設定と同じアーカイブ フォルダ パスを定義します。
3. アーカイブ サーバー コンフィギュレーション設定のバックアップ ファイル Backup.dat をアーカイブ フォルダに復元します。
4. 次のいずれかを行って、SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション**を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
5. ツール (Tools) > **バックアップ設定 (Backup settings)** を選択します。
6. バックアップ設定 ダイアログ ボックスで **バックアップをロード** をクリックします。
7. アーカイブ サーバー設定バックアップ ファイルBackup.datを選択し、**開く (Open)** をクリックします。
8. パスワードを入力 ダイアログ ボックスでバックアップ ファイルのパスワードを入力します。
9. 設定が復元されたら、**OK**をクリックします。
10. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを閉じます。

11

SOLIDWORKS PDM のアップグレード

この章では以下の項目を含みます：

- **Enterprise PDMのアップグレードについて (About Enterprise PDM Upgrade)**
- **アーカイブ サーバーのアップグレード (Upgrading the Archive Server)**
- **データベース サーバーのアップグレード (Upgrading the Database Server)**
- **SolidNetWork License Manager のインストールまたはアップグレード**
- **ファイルボルトのアップグレード (Upgrading File Vaults)**
- **SOLIDWORKS PDM での Toolbox のアップグレード**

SOLIDWORKS PDM インストール ウィザードを使用して、Enterprise PDM 2015 またはそれ以前のバージョンを SOLIDWORKS PDM Professional にアップグレードできます。ウィザードは古いソフトウェア コンポーネントを自動的にアンインストールし、新しいソフトウェアをインストールします。

Enterprise PDM から SOLIDWORKS PDM Standard にアップグレードすることはできません。

以前の PDMWorks Enterprise または SOLIDWORKS PDM のバージョンまたはサービス パックをアップグレードするには、次の手順に従ってください。 予備システム要件については、[システム要件](#) を参照してください。

SOLIDWORKS PDM では、同じメジャー バージョンであれば、クライアント コンポーネントとサーバー コンポーネントでサービス パックの不一致が許容されます。

どのバージョンがインストールされているかを調べるには[現在のバージョンを調べる \(Determining the Current Version\)](#) (185ページ) を参照してください。

Enterprise PDMのアップグレードについて (About Enterprise PDM Upgrade)

アップグレードの前に (Before Upgrading)

SOLIDWORKS PDM をアップグレードする前に、次のタスクを行います。

- お使いの SOLIDWORKS PDM のシリアル番号にアクティブ化された新しいバージョンの有効なライセンスがあることを確認してください。
- すべてのファイルをチェックインします。
- バックアップ：
 - SQLサーバー ファイルボルト データベース
 - ファイルボルト アーカイブ全体
 - アーカイブ サーバーの設定
- 古いファイルボルトで作業しているユーザーがいないことを確認します。すべてのクライアント上で、ユーザーがファイル ボルトを使用して開始したすべてのツールを閉じて、タスクバーの右側で SOLIDWORKS PDM アイコン  をクリックして、**ログオフ (Log Off)** を選択します。

現在のバージョンを調べる (Determining the Current Version)

Conisio または SOLIDWORKS Enterprise PDM ソフトウェアとファイルボルト データベースの現在のバージョンを調べることができます。

1. Windows の**コントロール パネル (Control Panel)**を開きます。
2. **プログラムのアンインストール** をダブルクリックします。
3. プログラムのアンインストールまたは変更 画面で、Conisio または SOLIDWORKS Enterprise PDM を探します。

バージョン 列に、現在インストールされているバージョンが表示されます。

バージョン 列が表示されない場合は、列の見出しを右クリックし、**バージョン** を選択します。

また、SOLIDWORKS Enterprise PDM アドミニストレーション ツールを開き、**ヘルプ > (HelpAbout)** をクリックして、**現在のバージョンを確認**できます。 をクリックして、現在のバージョンを確認できます。

バージョン番号は以下のバージョンに対応します：

発行元バージョン番号(Publisher Version Number)	インストールされた製品バージョン(Installed Product Version)
6.02	Conisio 6.2

発行元バージョン番号(Publisher Version Number)	インストールされた製品バージョン(Installed Product Version)
6.03	Conisio 6.3
6.04	Conisio 6.4
6.05	PDMWorks Enterprise 2006
7.00.0027 through 7.05.0074	PDMWorks Enterprise 2007 32-bit Edition
7.07.0032 through 7.09.0042	PDMWorks Enterprise 2007 64-bit Edition
8.00	PDMWorks Enterprise 2008
9.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2009
10.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2010
11.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2011
12.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2012
13.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2013
14.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2014
15.00	SOLIDWORKS Enterprise PDM 2015
16.00	SOLIDWORKS PDM 2016

どの更新が適用されたかを調べる(Determining Which Updates Have Been Applied)

- 次の 1 つを行いアドミニストレーションツールを開始します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の **スタート** メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS Enterprise PDM > 管理** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS Enterprise PDM** で、**管理** をクリックします。
- 左側パネルでファイルボルト名を右クリックし、**プロパティ** (Properties) を選択します。
- ファイルボルト プロパティ ダイアログ ボックスで、**インストールされている更新** リストを選択します。

このリストには、製品、バージョン、更新日が表示されています。

アーカイブ サーバーのアップグレード (Upgrading the Archive Server)

アーカイブ サーバーとデータベース サーバー ソフトウェアが同じシステム上にインストールされている場合、両方のコンポーネントを同時にアップグレードおよびインストールできます。

アーカイブ サーバーを以前にインストールした際の設定はすべて保持されます。

1. アーカイブ サーバーがインストールされるシステムに対し、ローカルにログインしている、あるいはローカルな管理者権限を持ってリモート ログインします。
2. SOLIDWORKS DVD を挿入し、SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合はキャンセルします。
3. `\SWPDMServer\setup.exe` を実行して SOLIDWORKS PDM サーバー アップグレードを開始します。

SOLIDWORKS PDM の古いバージョンが見つかり、アップグレードされることを示す警告が表示されます。

4. **OK** をクリックします。
5. インストール ウィザードの示す手順に従って各画面で**次へ** (Next) をクリックします。
6. 以前のバージョンの Enterprise PDM または SOLIDWORKS PDM Professional からアップグレードする場合、製品選択 (Select Product) 画面はデフォルトで **SOLIDWORKS PDM Professional** になります。
7. セットアップの種類 (Setup Type) では、**サーバー インストール** (Server Installation) を選択して**次へ** (Next) をクリックします。
8. サーバー インストール (Server Installation) 画面では、**アーカイブ サーバー** (Archive Server) が選択されていることを確認し、**次へ** (Next) をクリックします。
SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインストールする場合、**クライアント (client)** も選択する必要があります。
9. アップグレードが完了したら、**完了** (Finish) をクリックします。

データベース サーバーのアップグレード (Upgrading the Database Server)

アーカイブ サーバーのアップグレード時にデータベース サーバーもアップグレードした場合、[ファイルボルト データベースをアップグレードする \(Upgrading the File Vault Database\)](#) (190 ページ) に進んでください。

データベース サーバーをアップグレードする前に、以下を確認してください：

- ローカル管理者権限をもつユーザーのログイン情報
- SQLサーバー名
- SQL サーバー上でホストされているすべての SOLIDWORKS PDM データベースに読み取り／書き込み権限を持つ SQL ユーザー アカウントの名前とパスワード。

読み取り／書き込みアクセスを有するユーザーの名前が分からない場合、これらの権限を持つ SQL **sa** アカウントを使用できます。また、この用途のためにログインを作成することもできます。詳細はSQL サーバーのログイン アカウントを変更するを参照してください。

データベース サーバーをアップグレードするには：

1. ボルト データベースがホストされているSQLサーバーにローカルまたはリモート ログインします。
2. SOLIDWORKS DVD を挿入し、SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合はキャンセルします。
3. \SWPDMServer\setup.exe を実行して SOLIDWORKS PDM サーバー アップグレードを開始します。

SOLIDWORKS PDM サーバーの古いバージョンが見つかり、アップグレードされることを示す警告が表示されます。

4. **OK** をクリックします。

5. インストール ウィザードの示す手順に従って各画面で**次へ**（Next）をクリックします。

画面	操作
サーバー インストール	データベース サーバー（Database Server）を選択して次へをクリックします。 SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインストールする場合、クライアント（client） も選択する必要があります。
SOLIDWORKS PDM データベース サーバー SQL ログイン	a. 次のいずれかを行います。 - データベース サーバーが管理するファイルボルト データベースをホストするSQLサーバーの名前を入力します。 参照（Browse）をクリックしてネットワーク上のSQLサーバーおよびインスタンスのリストを表示します。 適切な名前を選択し、OKをクリックします。 b. ログイン名（Login name） フィールドに、SQL サーバー上でホストされているすべての SOLIDWORKS PDM データベース（ファイルボルト データベースと ConisioMasterDb）に対する読み取り／書き込みアクセス（db_owner 権限など）を持つサーバー上の SQL ユーザーの名前を入力します。 定かでない場合、sa ログインを指定してください。 c. パスワード（Password）フィールドにはそのSQL ユーザーのパスワードを入力します。 d. 次へ（Next）をクリックします。 ログイン情報が検証されます。間違いがある場合には警告が表示されます。
プログラム インストールの準備完了	インストール （Install）をクリックします。
InstallShield ウィザード完了	完了 （Finish）をクリックします。

SolidNetWork License Manager のインストール またはアップグレード

SOLIDWORKS PDM をアップグレードする場合は、SolidNetWork License Manager をインストールまたはアップグレードする必要があります。

SolidNetWork License Manager をアップグレードします。

詳細については、『*SolidNetWork License Manager のアップグレード*』を参照してください。

ファイルボルトのアップグレード (Upgrading File Vaults)

ファイルボルトをアップグレードするには、ファイルボルト データベースをアップグレードしてから、必要に応じてファイルボルト アーカイブをアップグレードします。

ファイルボルト データベースをアップグレードする (Upgrading the File Vault Database)

SOLIDWORKS PDM データベース アップグレード ウィザードは、アーカイブあるいはデータベース サーバーで実行することも、SOLIDWORKS PDM クライアントが稼働しているシステムから実行することもできます。ただし、システム上にインストールされているすべての SOLIDWORKS PDM ソフトウェアがアップグレード ウィザードのバージョンと一致している必要があります。古いバージョンのソフトウェアを使用しているクライアントまたはサーバー システムでアップグレード ウィザードを実行することはできません。データベース アップグレード プロセスが完了するまでには、データベースのサイズとバージョンによって時間がかかります。

ファイルボルト データベースをアップグレードする前に：

- お使いの SOLIDWORKS PDM のシリアル番号に新しいバージョンの有効なライセンスがあることを確認してください。
- ボルトで作業しているユーザーがいないことを確認します。
- ファイルボルト データベースをバックアップします。

詳細については、[ファイルボルト データベースのバックアップ \(Backing Up the File Vault Database\)](#) (176ページ) を参照してください。

- アーカイブ サーバー ソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。

詳細については、[アーカイブ サーバーのアップグレード \(Upgrading the Archive Server\)](#) (187ページ) を参照してください。

- データベース サーバー ソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。

詳細については、[データベース サーバーのアップグレード \(Upgrading the Database Server\)](#) (187ページ) を参照してください。

データベース アップグレードが完了するまで古いクライアントはアンインストールしないでください。

SOLIDWORKS Enterprise PDM 2015 またはそれ以前から SOLIDWORKS PDM Professional にファイル ボルトをアップグレードできます。このツールはメジャー バージョンやサービス パックのアップグレードに使用され、ボルトを Standard から Professional にアップグレードする際には使用しません。

ファイルボルト データベースをアップグレードするには：

1. SOLIDWORKS DVD を挿入し、SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合はキャンセルします。
2. SWPDMServer\Upgrade\Upgrade.exe を実行し、インストール DVD の Upgrade フォルダからアップグレード ウィザードを手動で開始します。
3. データベースとファイルボルト アップグレードは管理者のみが実行すべきであるという警告が表示されたら、**はい** (Yes) をクリックします。

4. SOLIDWORKS PDM データベース アップグレード ウィザードの手順に従ってアップグレードを実行します。

画面	動作
ステップ 1	アップグレードの前提条件を全て実行したかどうか確認し、 次へ (Next)をクリックします。
ステップ 2	a. サーバーリストから、アップグレードするファイルボルト データベースをホストするSQLサーバーを選択します。 サーバーがリストにない場合、SQLシステム名を入力して指定することも可能です。 b. 次へ (Next) をクリックします。 c. ログイン ダイアログ ボックスでは、sa などシステム管理者の権限を持つSQLユーザーのユーザー名とパスワードを入力し、ログイン (Login) をクリックします。
ステップ 3	アップグレードするファイルボルト データベースを選択し、 次へ (Next)をクリックします。
ステップ 4	次へ(Next)をクリックしてアップグレードを開始します。 アップグレードが完了するまで、アップグレード ウィザードを閉じたりSQLサーバーをオフにしたりしないでください。
ステップ 5	ファイルボルト データベースのアップグレードが終了すると、アップグレードの作業と結果を示すログが表示されます。 アップグレード ログのコピーを保存するには、結果を選択、コピーしてテキスト ファイルに貼り付けてください。 完了 (Finish) をクリックします。

5. データベースがアップグレードされた後、Microsoft SQL サーバを再起動するべきです。再起動しない場合、サーバーを再起動するまで、パフォーマンスの低下が発生する可能性があります。

ファイル ボルト アーカイブ (File Vault Archives)

ファイル ボルト データベースをアップグレードした後、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使ってファイル ボルト アーカイブをアップグレードできます。これはクライアント インストールでのみ使用できます。

Enterprise PDM 2008 以前のバージョンからファイル ボルトをアップグレードする場合は、ファイル ボルト アーカイブをアップグレードする必要があります。

新しいバージョンにアップグレードする場合は、アーカイブのアップグレードは必要ありません。

ファイルボルトアーカイブのアップグレードは次のタスクで構成されます。

- ファイルボルトをアップグレードするコンピュータ上に最初の SOLIDWORKS PDM クライアントをインストール、またはアップグレードします。

ファイルボルト アーカイブが更新された後、他のクライアントも更新します。

- 最初のクライアントコンピュータ上で SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使ってファイルボルト アーカイブをアップグレードします。
- 残りの SOLIDWORKS PDM をアップグレードします。

ファイルの数とアーカイブの規模に依存しますが、ボルト アーカイブのアップグレード プロセスには数時間かかる場合もあります。 アップグレードを行っている間、ユーザーはファイルボルトでの作業はできません。

最初の SOLIDWORKS PDM クライアントのアップグレード

1. クライアント ワークステーションにローカル管理者権限のあるユーザーとしてログインします。
2. SOLIDWORKS DVD を挿入し、SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合はキャンセルします。
3. \SWPDMClient\setup.exe を実行して SOLIDWORKS PDM サーバーのアップグレードを開始します。
4. SOLIDWORKS PDM のインストール画面で次を行います。
SOLIDWORKS PDM クライアントの古いバージョンがインストールされている場合は、**アップグレード (Upgrade)** をクリックします。

現在のクライアント ソフトウェアがアップグレードされるというメッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。

5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で、**SOLIDWORKS PDM Professional** が選択されていることを確認します。
6. アイテム エクスプローラを含めるには、**ユーザー定義 (Customize)** を選択します。
7. ユーザー定義設定 (Custom Setup) 画面の**クライアント (Client)** の下で、**アイテム エクスプローラ (Item Explorer)** をクリックし、**この機能をローカルのハード ディスク ドライブにインストールします (This feature will be installed on local hard drive)** を選択します。

8. インストール ウィザードの示す手順に従って各画面で**次へ** (Next) をクリックします。
9. 新しいクライアントをインストールする場合と同様にインストール ウィザードに従って作業を進めます。

詳細については、インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール (*Installing Clients Using the Installation Wizard*) を参照してください。

製品タイプを選択 (Choose Product Type) 画面で、クライアント ライセンスに対応した正しい製品を選択してください。

ファイルボルト アーカイブをアップグレードする (Upgrading the File Vault Archives)

アーカイブのアップグレードは EPDM 2008 以前からアップグレードする場合にのみ必要です。

1. 次の 1 つを行いアドミニストレーションツールを開始します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の**スタート** メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. アップグレードされたファイルボルトをホストするアーカイブ サーバーが左側パネルに表示されていない場合：
 - a) **ファイル > サーバーを追加**を選択します。
 - b) サーバーを追加 ダイアログ ボックスでアーカイブ サーバーの名前を選択または入力し、ポートを指定して、**OK** をクリックします。
 - c) アーカイブ サーバーに対して管理者アクセス 権限を持つ Windows ユーザー アカウントを使用してログインします。
3. 左側パネルでアーカイブ サーバーを展開します。アップグレードする必要のあるファイルボルト アーカイブ サーバーには赤いアイコンが表示されます。
 - アイコンが表示されていない場合、アーカイブ サーバー名を右クリックして**更新** (Refresh) を選択し、ビューをリフレッシュします。
 - リフレッシュしてもアイコンが表示されない場合、ファイルボルト アーカイブは新しく、アップグレードの必要はありません。

4. アーカイブ名を右クリックし、**アップグレード** (Upgrade) をクリックします。
ログインを求められたら、ボルト管理権限のある SOLIDWORKS PDM ユーザー名 (通常 Admin) とパスワードを入力します。

2つのメッセージが表示されます：

- 最初のメッセージはアップグレードに時間がかかることを警告し、ログインしているユーザーがいなかったことを確認するよう求めます。
- 2番目のメッセージは、アーカイブ サーバーのバックアップがされていることを確認します。

これらの前提条件が満足されている場合、両方のメッセージに **はい** をクリックします。

アーカイブのアップグレードを行っている間、ワーク モニターウィンドウがプログレスバーを表示します。 **完了!(Completed!)** が現れるまで、プロセスをアボートしないでください。

アップグレードするファイルボルト アーカイブが複数ある場合、これらのアップグレードも開始できます。 それらはワーク モニター(Work Monitor)に追加されます。

アップグレードが完了した後、アップグレード結果のログを確認するには、**ログを表示** (Show Log) をクリックします。

5. ワーク モニター を閉じます。
6. ファイルボルトにログインし、ファイルを取得して見てアップグレードが成功したことを確認してください。

複製されたファイル ボルト アーカイブのアップグレード (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

他のサーバーで複製されたファイルボルト アーカイブをアップグレードするには、追加のコンフィギュレーション プロセスを必要とします。

複製されたファイルボルトをホストするアーカイブ サーバーをアップグレードする際には、アップグレードする必要のあるファイルボルトには赤いアイコン  が表示されます。

アイコンが表示されていない場合、アーカイブ サーバー名を右クリックして**更新** (Refresh) を選択し、ビューをリフレッシュします。 それでもアイコンが表示されている場合は、アップグレードの必要はありません。

アイコンが表示される場合は、次のようにします。

- 複製されたボルトをホストする全てのサーバー上でアーカイブ サーバーをアップグレードする必要があります。 その場合も選択されたアーカイブはアップグレードされますので、ソフトウェアがアップグレードされた後複製サーバーに対するアップグレードを別途行う必要があります。
- すべての複製されたアーカイブ サーバー上でアーカイブ サーバー ソフトウェアがアップグレードされ、アドミニストレーション ツリーにそれらが表示されている場合、複製ファイルボルト アーカイブはすべてのサーバー上で同時にアップグレードされます。
- ボルトが複製され、複製されたアーカイブ サーバーがアドミニストレーション ツリーに表示されていない場合、ダイアログが表示されますのでここで複製されたサーバーにアタッチすることを選択できます。 接続しないことを選択した場合、選択されたアーカイブのみがアップグレードされ、複製サーバーに対するアーカイブ アップグレードは別途行う必要があります。

ファイル ボルト データベースをアップグレードした後 (After Upgrading File Vault Databases)

SOLIDWORKS Enterprise PDM 2009 の SP02 以降にはアイテムを作成して管理するための機能が含まれます。このバージョンをインストールしてからボルト データベースを以前のインストレーションからアップグレードすると、アップグレードされたデータベースにはデフォルト アイテム データ カード、検索フォーム、BOM、及びアイテム番号を生成するためのシリアル番号が含まれません。

このボルトでアイテムの作業を行うには、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使用して、次のカードとシリアル番号をインポートします。

- **all(Item Card)_gb.crd**
- **all(Item Search Property)_gb.crd**
- **all(Item Search Simple)_gb.crd**
- **all(Item Search)_gb.crd**
- **all_Item Setup_languagecode.cex**、ここで *languagecode* はお客様の言語のコードです。

アイテム カードのインポート (SOLIDWORKS PDM Professional Professional のみ)

1. 次の 1 つを行いアドミニストレーションツールを開始します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の **スタート** メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. **カード (Cards)** を右クリックし、**開く (Open)** をクリックします。
3. カードエディタ で、**ファイル > インポート** をクリックします。
4. 開く ダイアログ ボックスの **探す場所** で、**インストール_ディレクトリ\Default Cards** に移動します。
5. カード リストで **all(item Card)_gb.crd** を選択し、**開く (Open)** をクリックします。
6. **ファイル (File) > 保存 (Save)** をクリックし、カードをボルトに保存します。
7. ステップ3から6を繰り返し、残りのアイテム データ カードをインポートします。

シリアル番号とアイテム BOM のインポート (SOLIDWORKS PDM Professional Professional のみ)

1. アップグレードされたボルトを右クリックし、**インポート (Import)** を選択します。
2. 開く (Open) ダイアログ ボックスで、**探す場所 (Look in)**、**インストール_ディレクトリ \Default Data** を参照します。

3. 最初のリストで、**all_Item Setup_language.cex**を選択し、**開く**(Open)をクリックします。
4. 確認メッセージで、**OK**をクリックします。

残りのクライアントのアップグレード (Upgrading the Remaining Clients)

ファイルボルト データベースとアーカイブがアップグレードされ、アップグレードされたボルトにアクセスできることを確認したら、残りのクライアントを SOLIDWORKS PDM にアップグレードできます。

最初のクライアントをアップグレードしたときと同じ手順を使用してください。詳細については、最初の *SOLIDWORKS PDM* クライアントのアップグレードを参照してください。

クライアントをアップグレードした後 (After Upgrading Clients)

SOLIDWORKS PDM クライアントをアップグレードした後で、ポストプロセスのコンフィギュレーション ステップを完了してください。

アップグレードが終了したら：

- SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールで、有効なライセンスを持っていることを確認します。
- ディスパッチとタスク アドインをアップデートします。

これらのタスクを1台のクライアントで実行すると、それらは他のクライアントにも自動的に配布されます。

ボルトのライセンス サーバーの表示

1. 次の 1 つを行いアドミニストレーションツールを開始します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の **スタート** メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > 管理**を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**管理** をクリックします。
2. 左側パネルでファイルボルトを参照し、Adminとしてログインします。
3. ファイルボルトで**ライセンス** (License) をダブルクリックします。
4. ライセンスの設定 ダイアログ ボックスで、有効なライセンス サーバーが表示されていることを確認してください。

Dispatch アドインの更新 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

1. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールから、ファイル ボルトを展開して**アドイン (Add-ins)** をダブルクリックします。

2. Dispatch アドインを更新するには：

- a) **Dispatch** を右クリックし、ショートカットメニューから **削除 (Remove)** を選択します。
- b) **はい(Yes)** をクリックして、削除したいアドインを確認します。
- c) **ファイル (File) > 開く (Open)** と選択し、C:\Program Files\SolidWorks Corp\SOLIDWORKS PDM\Default Data に移動します。
- d) フィルタを変更して **.caf** ファイルを表示します。
- e) Dispatch.caf を開きます。
- f) ボルトの **アドイン (Add-ins)** ノードにある **.caf** ファイルから **Dispatch** アドインをドラッグ&ドロップします。
- g) アドミニストレーション ボルトを閉じます。

更新されたアドインは、他のクライアントにもログイン時に自動的に配布されます。

SOLIDWORKS タスク アドインのアップグレード (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

SOLIDWORKS タスク アドインなど、アップグレードされた最新バージョンのアドインが実行されるようにするには、アドインを手動でアップグレードする必要があります。

ファイル ボルトを新しい Service Pack またはバージョンにアップグレードするとき、既存のアドインは自動的にアップグレードされません。これは、アドイン内の更新された情報によって、カスタマイズされた内容が上書きされないようにするためです。

たとえば、SOLIDWORKS タスク アドインでコントロールされるタスクをカスタマイズしているとします。そのタスクはアップグレードしないで使用し続けることができます。ただし、新しいタスク機能を使用できなくなり、タスクの起動やアップグレードされた SOLIDWORKS ファイルの処理に問題が生じる可能性があります。

タスクを手動でアップグレードするには、SWTaskAdd-in の更新、変換、Design Checker、および印刷タスクを含む **.cex** ファイルをコピーします。**.cex** ファイルの場所は、クライアントのインストール方法によって異なります。InstallShield ウィザードを使用してクライアントをインストールする場合は、**.cex** ファイルを C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Default Data\ フォルダにコピーします。SolidWorks Installation Manager を使用してクライアントをインストールする場合は、**.cex** ファイルを C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\Default Data\ フォルダにコピーします。これらのファイルのうちの 1 つ以上をインポートして、SWTaskAdd-in とこれがサポートしているタスクを更新します。

SOLIDWORKS PDM と SOLIDWORKS タスク アドインの現在のバージョンの確認

SOLIDWORKS タスク アドインの最新のアップデートを使用するには、SOLIDWORKS PDM Professional のバージョンと SWTaskAddin のバージョンが同じである必要があります。

1. SOLIDWORKS PDM のバージョンを確認するには、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールで、ヘルプ (Help) > **SOLIDWORKS PDM アドミニストレーションについて (About SOLIDWORKS Enterprise PDM Administration)** をクリックします。

クライアントのバージョン フィールドに次の形式でバージョンが表示されます。

MV.S (BBBB)

ここで、

- *MV* はメジャー バージョンを表します。たとえば、2019 の場合は 27 です。
- *S* は Service Pack です。たとえば、3 は SP3 を表します。
- *BBBB* はビルド番号です。たとえば、5014 です。

2. インストールされている SWTaskAddin のバージョン番号を確認するには、次の手順を実行してください。

a) Windows の通知領域で、SOLIDWORKS PDM アイコン  を右クリックし、**タスク ホスト コンフィギュレーション (Task Host Configuration)** をクリックします。

b) タスク ホスト コンフィギュレーション (Task Host Configuration) ダイアログ ボックスで、確認したい SWTaskAddin のバージョンのボルトを選択します。

バージョン 列にバージョンが次の形式で表示されます。

MVSSBBBB

ここで、

- *MV* はメジャー バージョンを表します。
- *SS* は ServicePack です。
- *BBBB* はビルド番号です。

SWTaskAddin アップグレードの実行 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

SWTaskAddin のバージョンが SOLIDWORKS PDM Professional のバージョンよりも前のものであった場合は、.cex ファイルをインポートすることで SWTaskAddin をアップグレードできます。

1. 次のいずれかを実行して、アドミニストレーション ツールを開始します。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > アドミニストレーション (Administration)** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**アドミニストレーション (Administration)** をクリックします。

2. SWTaskAddin をアップグレードするボルトに管理者としてログインします。
3. **ファイル > 開く** をクリックします。
4. C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Default Data\ に移動して、Convert_GB.cex を選択します。
5. 表示されるダイアログ ボックスで、**Convert_GB.cex** を展開して、**SWTaskAddin** を選択し、これを左のパネルの**アドイン** ノードにドラッグします。
6. メッセージ ボックスでは**はい**を選択して、現在のアドインを更新します。
7. Windows の通知領域で、SOLIDWORKS PDM アイコン  をクリックし、**タスク ホスト コンフィギュレーション**をクリックして、SWTaskAddin がアップグレードされたことを確認します。

アップグレードしたばかりのクライアントがタスク ホストとして動作している場合は、SOLIDWORKS PDM を終了して、再度ログインしてから確認を行ってください。

タスクのアップグレード

SWTaskAddin をアップグレードした後、**変換**、**印刷**、および **Design Checker** のタスクの最新バージョンをインポートできます。

この手順では、**変換**タスクのアップグレード方法について説明します。

1. アドミニストレーション ツールで**タスク** ノードを展開します。
2. いずれかのタスクの名前がデフォルト名の**変換**、**印刷**、または **Design Checker** になっている場合は、その名前を変更して、それらのタスクに対して行ったカスタマイズが上書きされないようにしてください。
3. **ファイル > 開く** をクリックします。
4. **変換**タスクをアップグレードするには、C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Default Data\ に移動して、Convert_GB.cex を選択します。
製品が SLDIM でインストールされている場合、デフォルトのパスは C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM です。
5. 表示されるダイアログ ボックスで、**タスク**の下から**変換**を選択し、これを左のパネルの**タスク** ノードにドラッグします。
6. 新しくインポートしたタスクに変更を加え、これまで使用していたタスクと一致するようにして、必要に応じて新しいオプションを設定します。
これには、ファイルのパス、名前のフォーマット、変換タイプ、タスク ホストとして動作するコンピュータ、タスクに対する権限、通知などがあります。

7. 既存のタスクで**詳細スクリプト作成オプション**に対して変更が加えられている場合は（ファイル詳細を出力ページからアクセス）、新しいバージョンのスクリプトにもこの変更を加えます。

詳細スクリプトは、SOLIDWORKS の新機能を使用したり、新機能をタスクに追加したりするために、SOLIDWORKS PDM の新バージョン向けにアップグレードされている場合がよくあります。そのため、新しいスクリプトとカスタム スクリプトをマージしなければならない場合があります。

スクリプトにコメントを加えると、次のアップグレード時にカスタマイズした内容が理解しやすくなり、また移行しやすくなります。

デフォルトの変換タスクは、カスタマイズした変換タスクで問題が発生した場合に備えて、参照用とテスト用に保存しておきます。Admin ユーザーからのみ参照できるように権限を設定します。

8. 元のタスクを実行するワークフロー トランジションを修正して、アップデートしたタスクを実行するタスクとして選択します。

ワークフローの変更を保存します。

SOLIDWORKS PDM での Toolbox のアップグレード

SOLIDWORKS Toolbox を SOLIDWORKS PDM と統合している場合、SOLIDWORKS ソフトウェアをアップグレードするときに、Toolbox に部品が追加されていれば Toolbox もアップグレードされます。

アップグレードを始めるために SOLIDWORKS Installation Manager を起動する前に、Toolbox フォルダの準備をしておく必要があります。

- アップグレードを行う最初のコンピュータ上で、SOLIDWORKS Installation Manager が書き込みができるように、Toolbox データベースをチェックアウトしなくてはなりません。**最新バージョンの取得**を使って Toolbox 部品をローカル キャッシュにダウンロードし、インストーラが部品を更新するべきか、追加するべきか検証できるようにします。
- 別のコンピュータをアップグレードするには、SOLIDWORKS Installation Manager を起動する前に、SOLIDWORKS PDM から Toolbox ファイルの最新のバージョンを取得してください。

最初の SOLIDWORKS PDM コンピュータをアップグレードするには：

1. Windows Explorer で、全権限（チェックアウト、チェックイン、追加、削除）を持つユーザーとしてボルトにログインします。
2. ボルトの Toolbox フォルダまで移動します。
3. Toolbox フォルダを右クリックし、**最新バージョンの取得**をクリックして、すべての Toolbox ファイルおよび Toolbox データベースをローカルキャッシュにコピーします。

アーカイブ サーバーがリモートにある場合、この処理は数分かかることがあります。

4. アップグレードの場合、Toolbox データベース ファイルをチェックアウトする必要があります:

- SOLIDWORKS 2014 以前の場合は、次をチェックアウトします:
`vault_name\Toolbox_folder_name\lang\your_language\SWBrowser.mdb。`
- 後続のバージョンの SOLIDWORKS の場合は、次をチェックアウトします:
`vault_name\Toolbox_folder_name\lang\your_language\swbrowser.sldedb。`

5. SOLIDWORKS ソフトウェアをアップグレードするために SOLIDWORKS Installation Manager を (SOLIDWORKS Toolbox を含めて) 起動します。
6. サマリー画面で、**Toolbox オプション**のインストレーションの位置がボルトにあることを確認します。

無い場合は、**変更**をクリックし、**既存の Toolbox の参照またはアップグレード**を選択し、ボルトの Toolbox 位置を参照します。

7. SOLIDWORKS 2014 以降からのアップグレードでは、アップグレードが完了したら、Windows エクスプローラで、手順 4 で説明したフォルダを参照し、Toolbox データベース ファイル `swbrowser.sldedb` をボルトに追加します。
このフォルダで作成した他のローカル ファイルをボルトに追加することもできます。
8. すべてのアップグレードで、新規または更新されたファイルをボルトに追加するために Toolbox フォルダをチェックインし、他のユーザーが Toolbox を操作できるようにします。
9. SOLIDWORKS 2012 またはそれ以降へのアップグレードでは、ボルトの Toolbox フォルダに移動して、次のフォルダおよびファイルがあることを確認します。

- `\Toolbox_folder_name\Updates`
- `\Toolbox_folder_name\ToolboxStandards.xml`
- `\Toolbox_folder_name\Browser\ToolboxFiles.index`

存在しない場合は、お客様の代理店までご連絡ください。

別のコンピュータをアップグレードするには、SOLIDWORKS PDM のアップグレードを始める前に、**最新バージョンの取得**を使用してボルト Toolbox フォルダをローカル キャッシュにダウンロードする必要があります。

SOLIDWORKS Installation Manager は、インストレーションを行なうとき、Toolbox ファイルが最新であることを確認します。

12

SOLIDWORKS ファイルのアップグレード (Upgrading SOLIDWORKS Files)

この章では以下の項目を含みます:

- **SOLIDWORKS ファイルのアップグレード (Upgrading SOLIDWORKS Files)**
- **必要なアップグレード ユーティリティ ソフトウェア (Required Upgrade Utility Software)**
- **システム要件 (System Requirements)**
- **ファイルバージョンアップグレード ユーティリティのインストール (Installing the File Version Upgrade Utility)**
- **アップグレードの準備 (Preparing to Upgrade)**
- **バージョン設定を選択 (Selecting Version Settings)**
- **トライアル ファイル アップグレードの実行 (Performing a Trial File Upgrade)**
- **アップグレード ユーティリティの実行 (Running the Upgrade Utility)**
- **作業インストラクション ファイルの作成と使用 (Creating and Using Work Instruction Files)**
- **中断されたアップグレードを完成する (Completing an Interrupted Upgrade)**
- **アップグレード後 (After Upgrading)**
- **バックアップ ファイルの管理 (Managing Backup Files)**

SOLIDWORKS ファイルのアップグレード (Upgrading SOLIDWORKS Files)

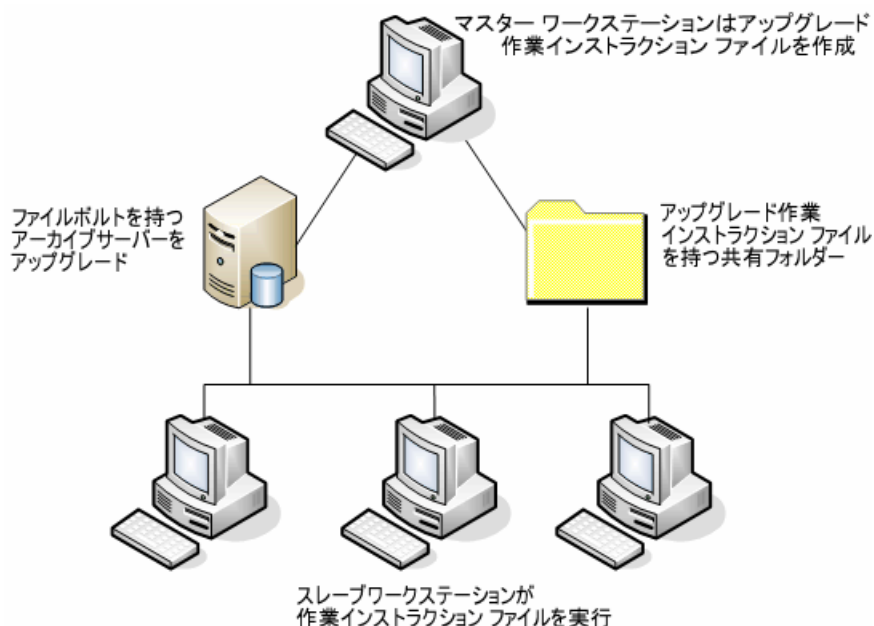
SOLIDWORKS® PDM File Version Upgrade ツールは SOLIDWORKS ファイルを古いバージョンから新しいバージョンの SOLIDWORKS ファイル フォーマットに変換します。

ファイルをアップグレードした後では、以前の SOLIDWORKS バージョンでこれらのファイルを開くことはできません。

このツールは、SOLIDWORKS PDM ボルトに保存されている SOLIDWORKS ファイルを自動的にチェックアウトし、アップグレードして、チェックインします。ファイル参照、リビジョンタグ、ワークフロー ステータスはそのまま保たれます。

アップグレードされるファイル フォーマットは、.sldprt、.slddrw、.sldasm のみです。
SOLIDWORKS テンプレートおよびブロック ファイルは手動でアップグレードしてください。

複数のワークステーションでそれぞれアップグレード ツールを実行させ、同時にアップグレード処理を行うことによって処理時間を短縮することもできます。アップグレードツールを最初に行うワークステーションがマスターワークステーションとなり、作業プランを作成します。このプランは複数の作業インストラクションファイルで構成され、アップグレードプロセスに参加する各ワークステーション毎に作業インストラクションファイルが用意されます。詳細については、作業インストラクション ファイルの作成と使用 (*Creating and Using Work Instruction Files*)を参照してください。



作業インストラクションファイルには、SOLIDWORKS ファイルの親子関係を反映したツリー構造が含まれます。マスターワークステーション、スレーブステーションのどちらも、1つの作業インストラクションファイルの処理を完了した後で別の作業インストラクションファイルを実行することができます。部品やサブアセンブリは他のアセンブリと共有されている場合がありますが、各ファイルがアップグレードされるのは1回だけです。

アセンブリが最新バージョンでない部品を参照する場合、アセンブリを参照している部品の最新バージョンとリンクするためのバージョン設定を選択できます。また、参照ファイルの既存のバージョンを最新バージョンのファイルで上書きするためのバージョン設定を選択することもできます。バージョン設定を選択 (*Selecting Version Settings*)を参照してください。

必要なアップグレード ユーティリティ ソフトウェア (Required Upgrade Utility Software)

SOLIDWORKS PDM 2019 のファイル バージョン アップグレード ツールは、SOLIDWORKS 2019、2018、および 2017 で使用できます。

システム要件 (System Requirements)

システム要件はボルト データベースがアップグレードされることに依存します。それらはファイル数、バージョンと変換されている参照を含んで、データベース構造に影響を受けます。

処理能力の高いワークステーションを使用してください。ファイルが開かれて、SOLIDWORKS で再保存されるとき、使用されるワークステーションが最も大きいアセンブリ構造を処理するために十分なリソースを持っていることが重要です。最低 4GB の RAM と多くの空き領域のあるハードディスクを持つ強力なワークステーションを使用してください。

使用されるワークステーションでは、可能な限りの多くのリソースをフリーにして、重要でないプロセスは停止してください。

次は具体的な推奨事項です：

- アーカイブ サーバー

ファイルの既存のバージョンに上書きすることによって、変換が実行されるとき、バックアップがそれぞれの上書きされたファイルのために作成されます。アーカイブサーバーはこれらのバックアップ ファイルを保管するディスク容量を持っていないてはなりません。

アップグレードが始まる前に、スクリーンメッセージが、アップグレードするよう選んだファイルに基づき、必要とされる容量を通知します。

- ワークステーション

アップグレードのために使われるすべてのワークステーションは変換される最も大きいアセンブリを開くために十分な RAM を持っていません。最小 4 GB の RAM が推奨されます。

SOLIDWORKS は最小 6 GB の RAM (あるいは Windows 7 x64 オペレーティング システム) を推奨します。

ファイル バージョン アップグレード ユーティリティのインストール (Installing the File Version Upgrade Utility)

ファイル バージョン アップグレード ユーティリティは SOLIDWORKS インストレーション メディアの SWPDMClient\Support\File Version Upgrade\ ディレクトリにあります。

ファイル バージョン アップグレード ユーティリティをインストールするには:

1. インストレーション メディアの SWPDMClient\Support\File Version Upgrade\ ま でナビゲートします。
2. **File Version Upgrade.exe** をダブルクリックします。
3. ようこそ (Welcome) 画面で**次へ** (Next) をクリックします。
4. 使用許諾契約を読み、**次へ (Next)** をクリックします。
5. **インストール** (Install) をクリックします。
6. **完了 (Finish)** をクリックします。

アップグレードの準備 (Preparing to Upgrade)

アップグレード プロセスを開始する前に、アップグレードで使用するワークステーションで準備を行います。

ボルトを完全にバックアップします:

- ファイルボルト データベース
- アーカイブ ファイル

アップグレードプロセスに参加するマスターおよびスレーブワークステーション上で:

1. 同じバージョンおよびリビジョン レベルの SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールする。
2. アップグレードするファイルボルトのローカル ビューを作成する。
3. すべてのファイルをボルトにチェックインする
4. SOLIDWORKS を閉じます。

マスターワークステーション上で:

1. 参加するクライアントに対し、アップグレードするボルト内のすべてのファイルへの読みとり/書き込みアクセスを与える。
2. 作業インストラクションファイル用のフォルダを作成し、参加するすべてのクライアントとフルアクセス権限 (読みとり/書き込み) で共有する。

バージョン設定を選択(Selecting Version Settings)

バージョン設定 (Version Settings) で、どのバージョンと選択されたファイルタイプの修正がアップグレードされ、古いバージョンが上書きされるかを指示することができます

完全な変換を行なう前に、SOLIDWORKS のターゲット バージョンでサンプル セットを開くことによって古いファイルの変換をテストし、変換エラーを調べます。

もしファイルのアップグレードされた最も最新のバージョンだけが必要で、古いファイル形式でファイルの既存のバージョンを保持したい場合、**ファイルの新しいバージョンを作成** (Create new version of files) を選択してください。新しい SOLIDWORKS PDM バージョンが作成されます。

次が行いたい場合、**ファイルの既存のバージョンを上書き** (Overwrite existing versions of files) を選択します：

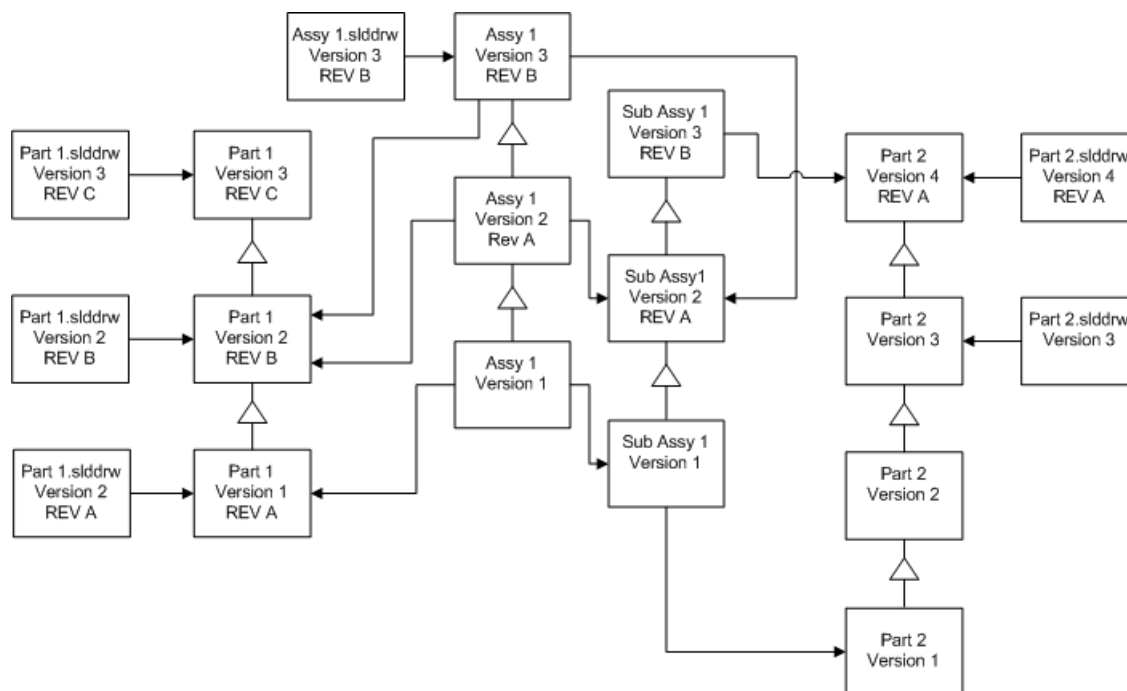
- アップグレードされたファイルでファイルのすべてのバージョンに上書きします。
- 次の1つ、または両方を選択することにより、ファイルのどのバージョンに上書きするかを指示します：
 - **最新バージョン** (Latest version): ツールはファイルとそれらが参照するすべてのファイルを最新のバージョンにアップグレードします。
 - **リビジョンを持つバージョン** (Versions with a revision): ツールはリビジョンタグを持っているすべてのファイルをアップグレードします。

もし既存のバージョンに上書きすることを選ぶ場合、ファイル バージョン アップグレード ツールは、それらをアップグレードする前に、ファイルのバックアップを作成します。アップグレードが成功していることを確認した後で、バックアップされたファイルを削除することができます。**バックアップ ファイルの管理 (Managing Backup Files)**を参照してください。

もしファイルの既存のバージョンに上書きを選択する場合、循環参照を含んでいるアセンブリはアップグレードされません。

アップグレード シナリオ (Upgrade Scenarios)

次のトピックは下のファイルのセットのために可能なアップグレードのシナリオを説明します。



△ バージョンの増加

→ 参照

ファイルの新しいバージョンを作成する (Creating New Versions of Files)

新しいバージョンのファイルを作成する場合、古いバージョンのファイルも引き続き存在し、SOLIDWORKS の古いバージョンで開くことができます。

参照されたファイルの最新版への再リンク(Relinking to the Latest Version of Referenced Files)

アセンブリが参照するファイルの最新版にアセンブリを再びリンクすることができます。

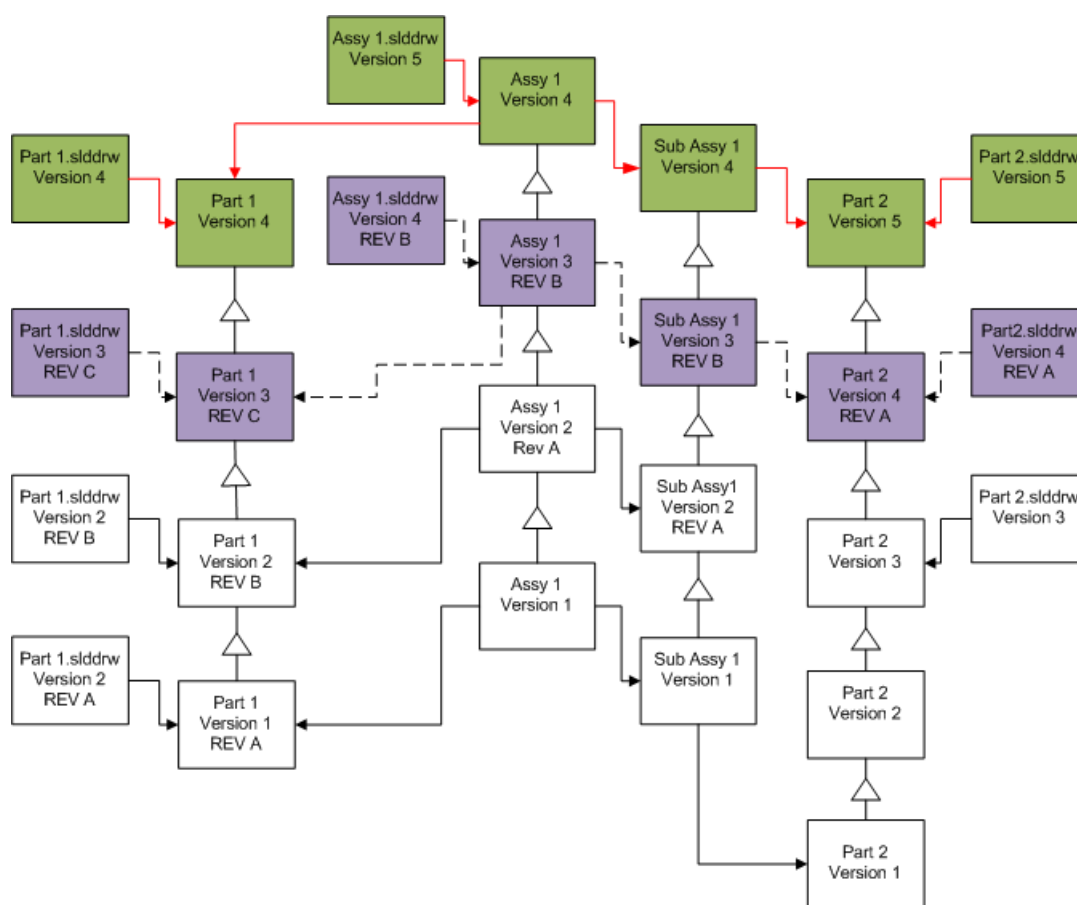
アセンブリとそのサブアセンブリが最新版ではない部品を参照している場合、参照は部品の最新のバージョンに移動されます。

古いバージョンの部品、アセンブリ、サブアセンブリはアップグレードされず、それらの参照は影響を受けません。

参照ファイルの新しいバージョンでジオメトリが変更された場合にこのオプションを使用すると、結果として不必要なアセンブリの変更が行われたり、再構築エラーが発生する場合があります。更に、ファイル プロパティ (部品名、注記、材料など) が変更されている場合、新しいバージョンの部品表が変更される場合があります。

下の図で示される選択は：

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの新しいバージョ ンを作成(Create new version of files)	古いバージョンを参照しているファイル(Files referencing older versions) - 新しいバージョンに再リンクされます(Are re-linked to the new version) - リビジョンを更新(Update revisions) - リビジョンを更新しない(Do not update revision)



--- → アップグレード前の参照リンク

■ アップグレード前のファイル

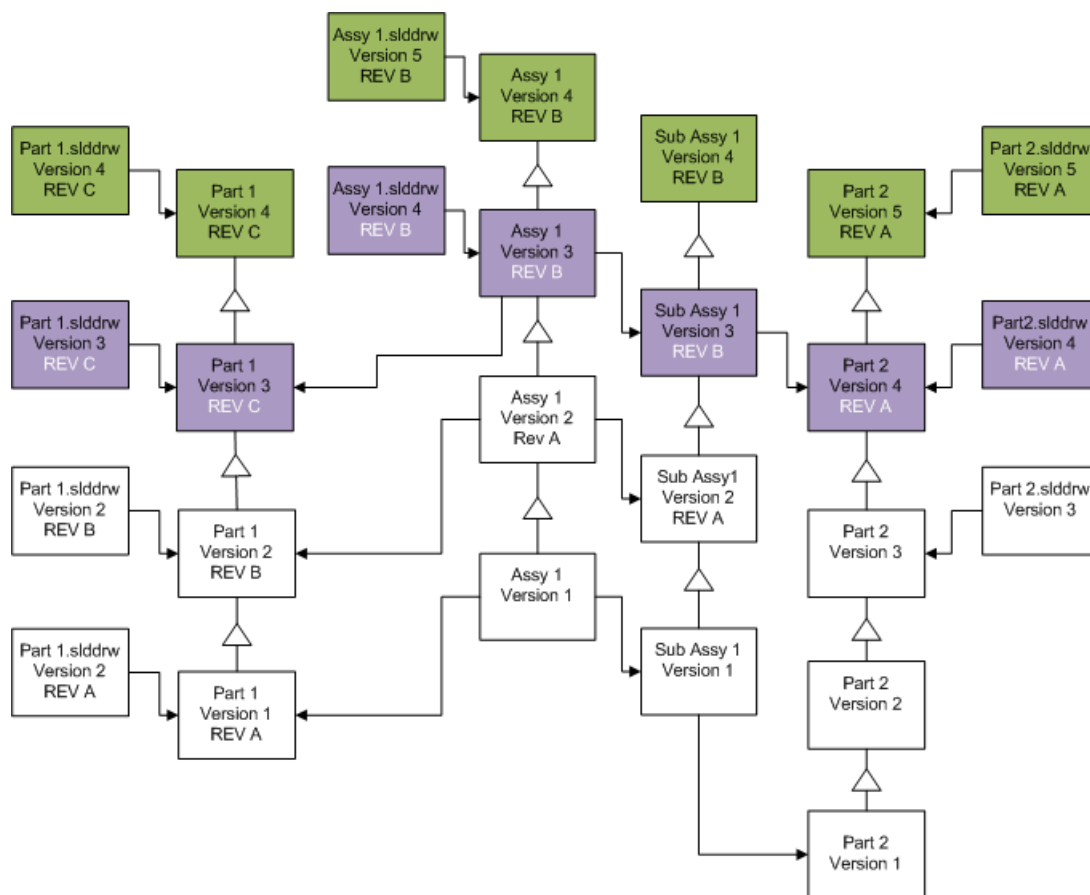
 アップグレード後の参照リンク
  アップグレードされたファイル

既存のリビジョン タグの移動(Moving Existing Revision Tags)

最新のリビジョンタグをアップグレードしているファイルの最新版に移動させることができます。

下の図で示される選択は：

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの新しいバージョ ンを作成(Create new version of files)	古いバージョンを参照しているファイル(Files referencing older versions) - 除外されます リビジョンを更新(Update revisions) - リビジョンを変更(Move revision)



REV B アップグレード前のファイル、移動されたリビジョンを表示します。

アップグレードされたファイル

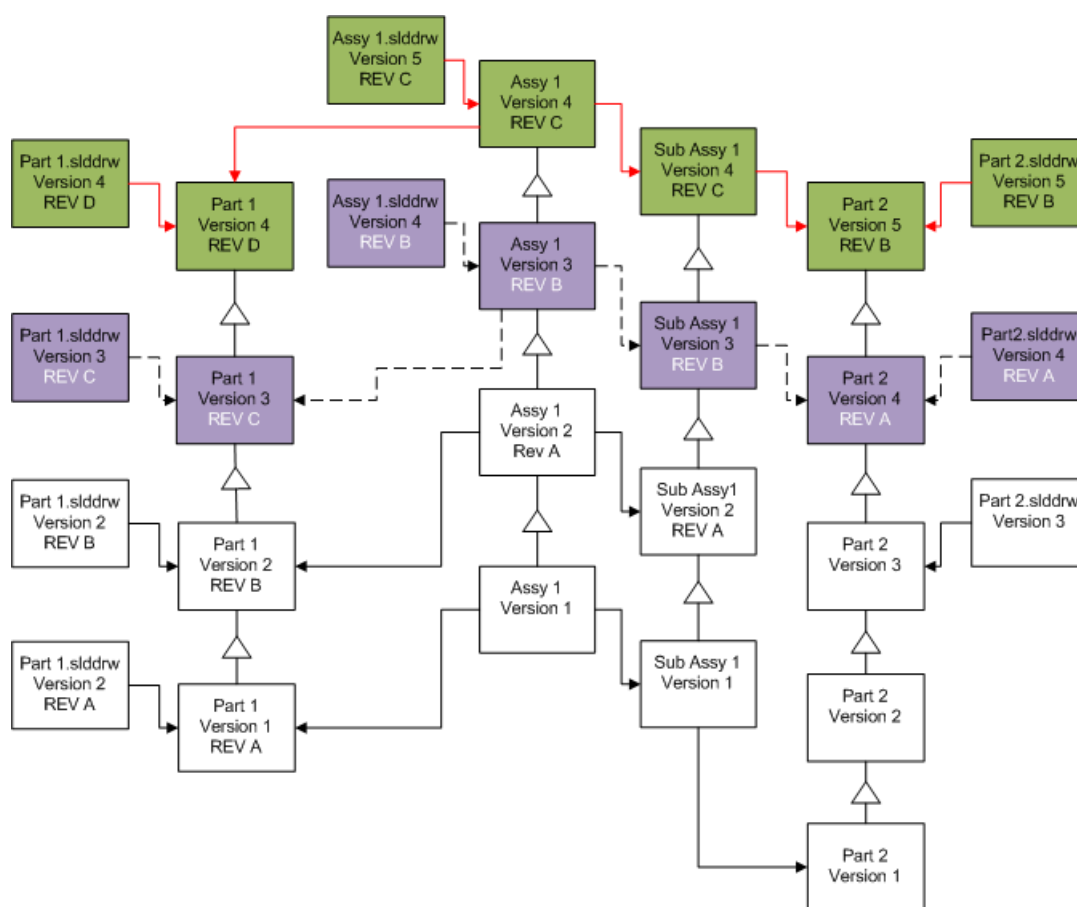
リビジョンタグの増加 (Incrementing Revision Tags)

ファイルをアップグレードするように、ファイルの最新のバージョンでリビジョンタグを増加させることができます。

下の図で示される選択は：

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>

画面	オプション	選択
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの新しいバージョンを作成(Create new version of files)	古いバージョンを参照しているファイル(Files referencing older versions) 新しいバージョンに再リンクされます(Are re-linked to the new version)
	リビジョンを更新(Update revisions)	リビジョンを増加 (Increment revision)



-----> アップグレード前の参照リンク

REV B

アップグレード前のファイル、移動され、増加されたリビジョンを表示します。

-----> アップグレード後の参照リンク

REV B

アップグレードされたファイル

ファイルの既存のバージョンを上書き (Overwriting Existing Versions of Files)

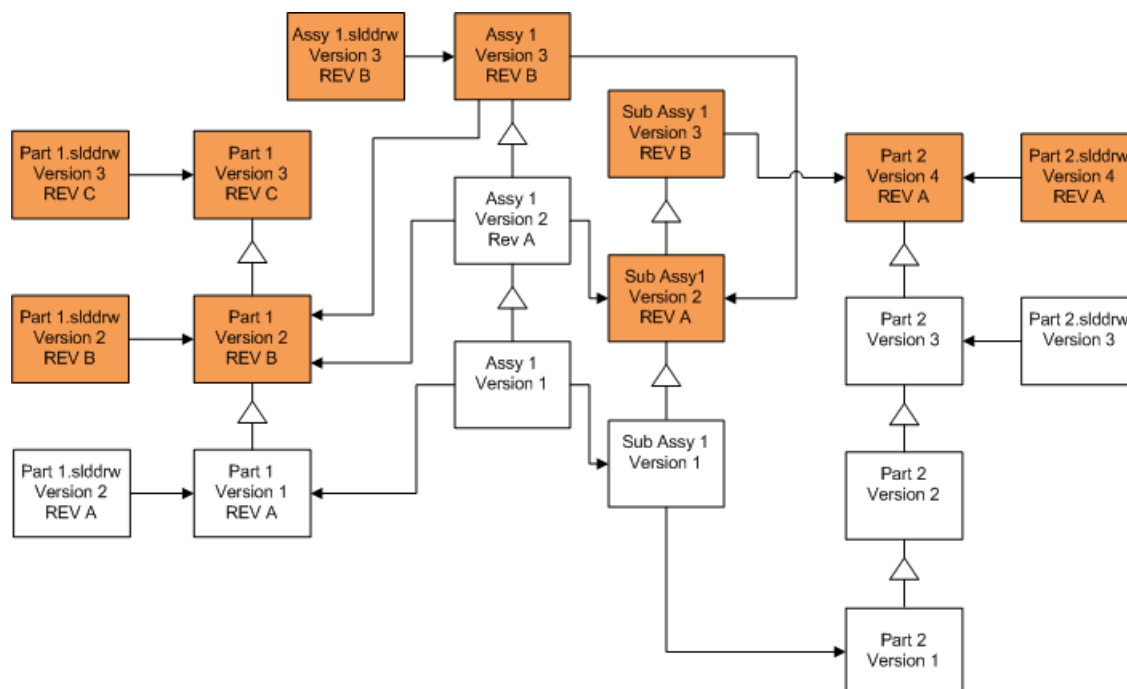
既存のバージョンのファイルを上書きすると、既存のファイルはアップグレードされたファイルで置き換えられます。新しいバージョンは作成されません。

ファイルの最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Versions of Files)

選択されたファイルタイプのすべてのファイルを最新版に上書きすることによって、アップグレードすることができます。アップグレードされたファイルから参照で使われるファイルのすべてのバージョンが同様にアップグレードされます。

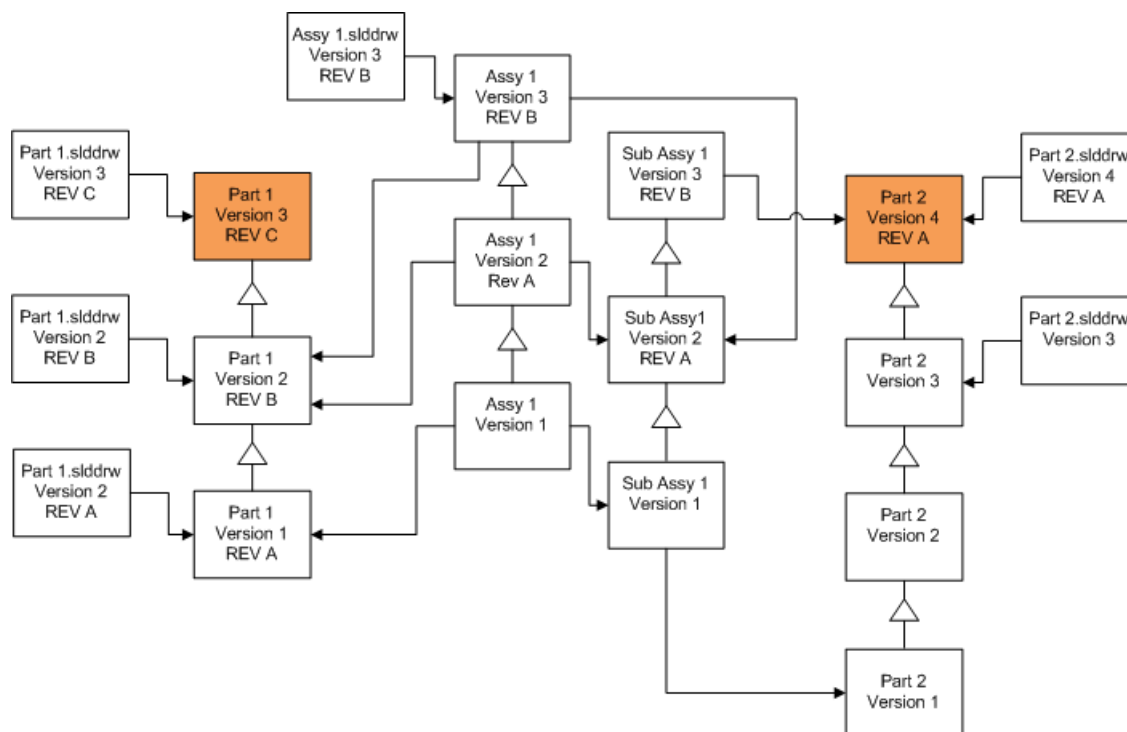
すべてのファイルを最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Versions of All Files)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き 最新バージョン(Latest version)



ファイルの最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Versions of Files)

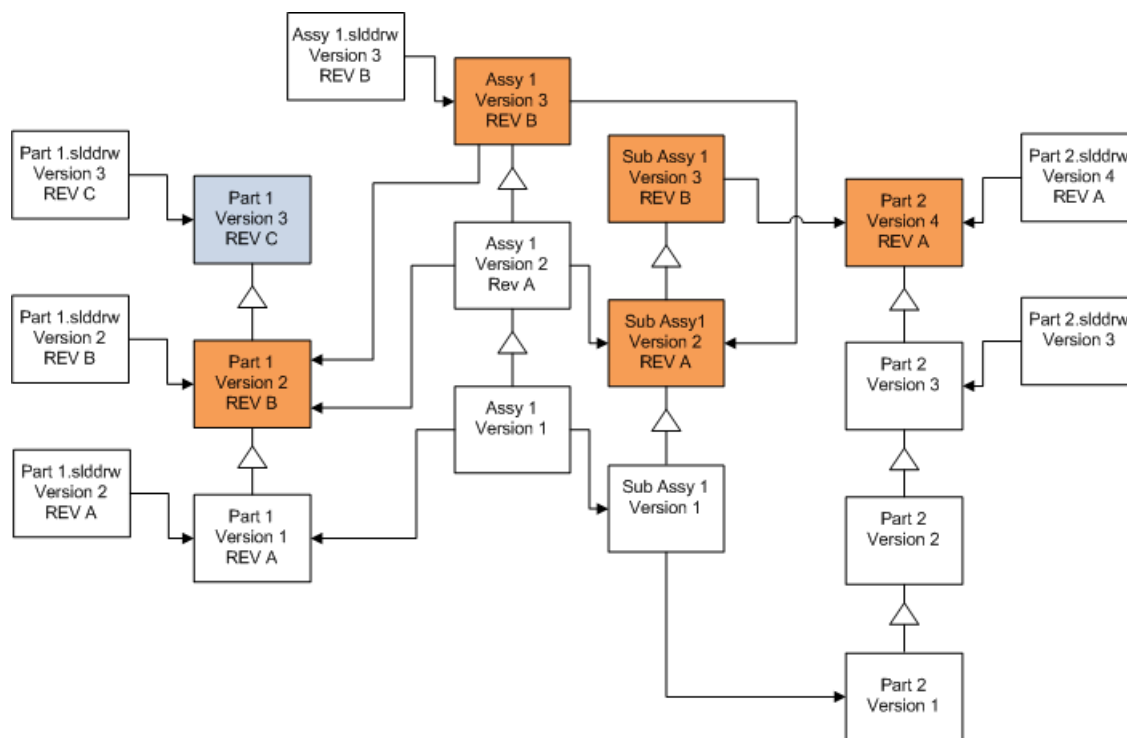
画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of *.sldprt type)	
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョ ンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き 最新バージョン(Latest version)



デフォルトで、部品図面はアップグレードされません。しかし、図面が部品を親として持つので、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品を参照する図面をアップグレードするために選択させます。

アセンブリの最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Version of Assemblies)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of *.sldasm type)	
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き • 最新バージョン

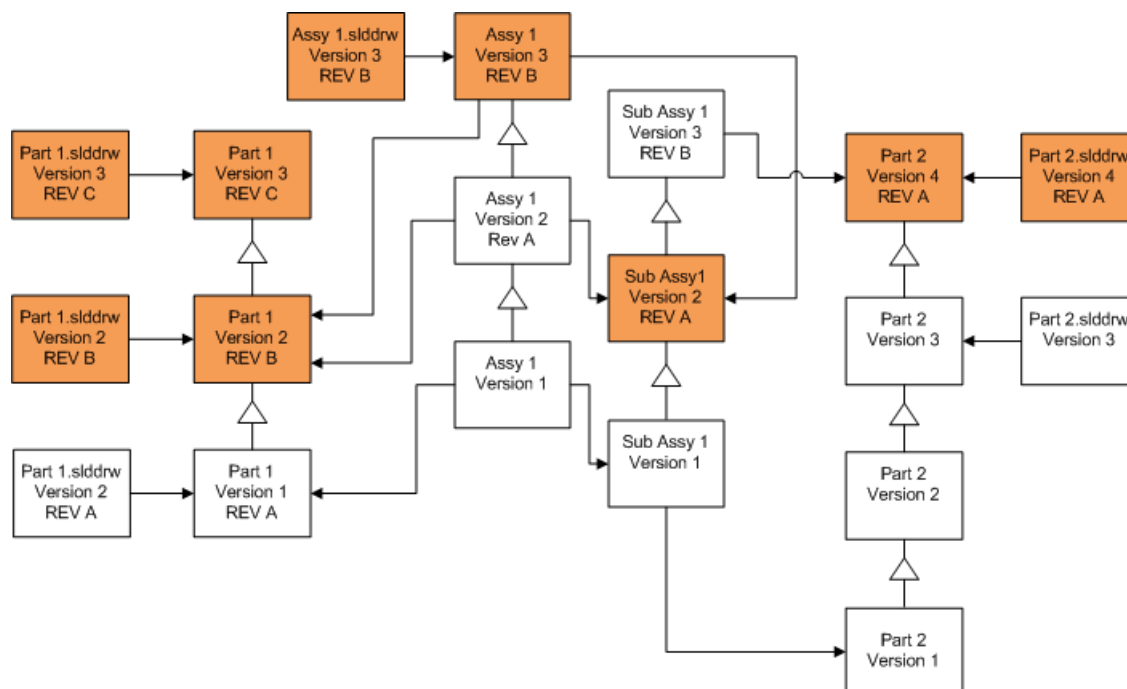


参照されたバージョンストリームで、ファイルバージョンアップグレードツールは、青い  ボックスによって表示されるように、同様に最新の部品をアップグレードします。

デフォルトで、部品とアセンブリ図面はアップグレードされません。しかし、図面が部品とアセンブリを親として持つので、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品とアセンブリを参照する図面をアップグレードするために選択させます。

図面の最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Version of Drawings)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of *.slddrw type)	
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョ ンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き • 最新バージョン(Latest version)



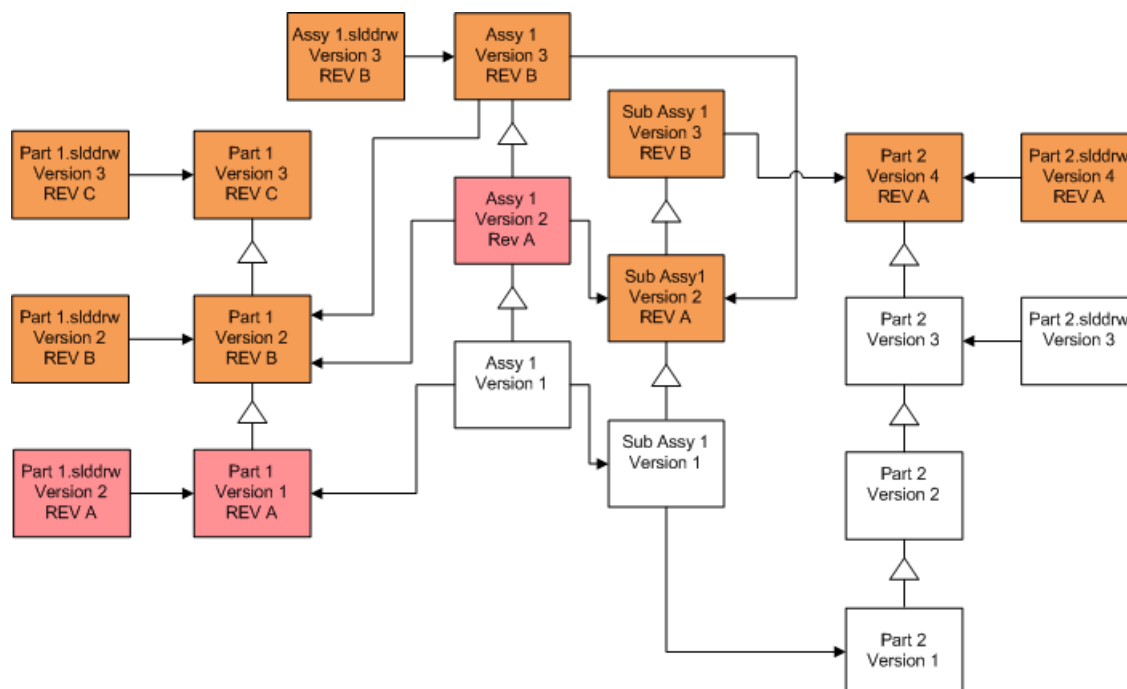
リビジョンタグを持つファイルに上書き(Overwriting Files with Revision Tags)

リビジョンタグをもつファイルをアップグレードされるファイルとして含むことができます。

両方の**最新バージョン(Latest version)**と**リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)**を選ぶとき、これらの例はアップグレードされるファイルを示します。赤いボックスは、それらが最新版ではないけれどもリビジョンタグを持っているのでアップグレードされるファイルを示します。

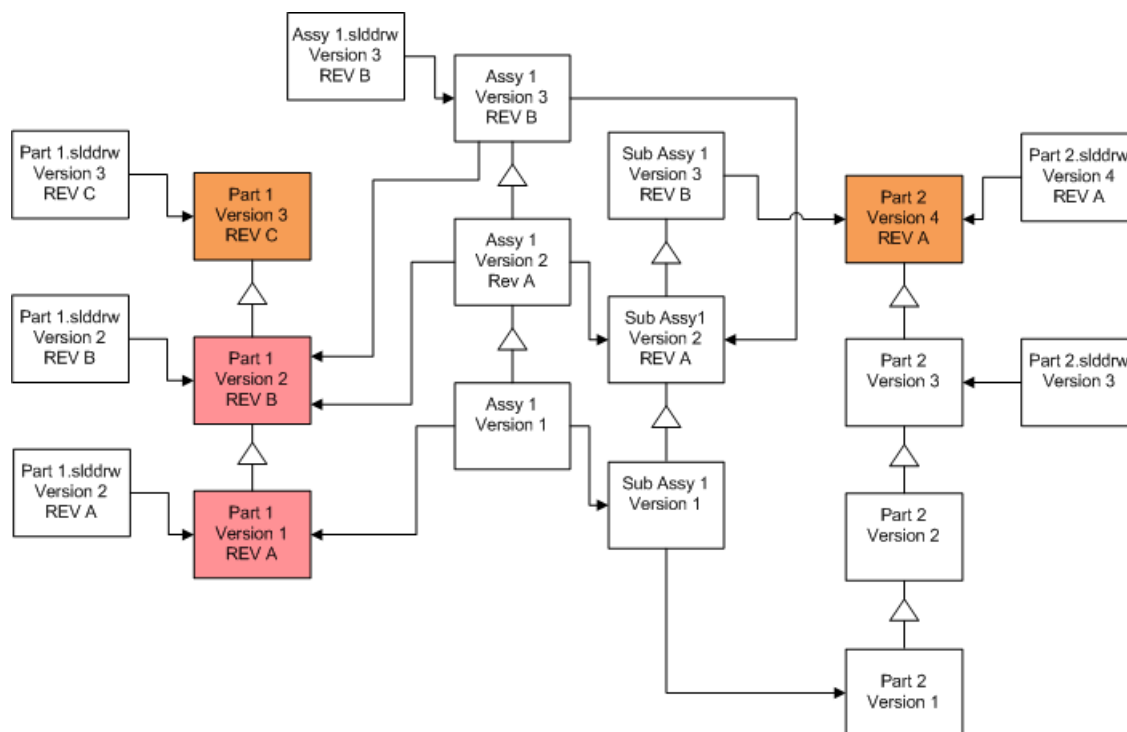
リビジョンタグを持つすべてファイルに上書き(Overwriting All Files with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上書き	上書き - 最新バージョン: - リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



リビジョンタグを持つ部品に上書き(Overwriting Parts with Revision Tags)

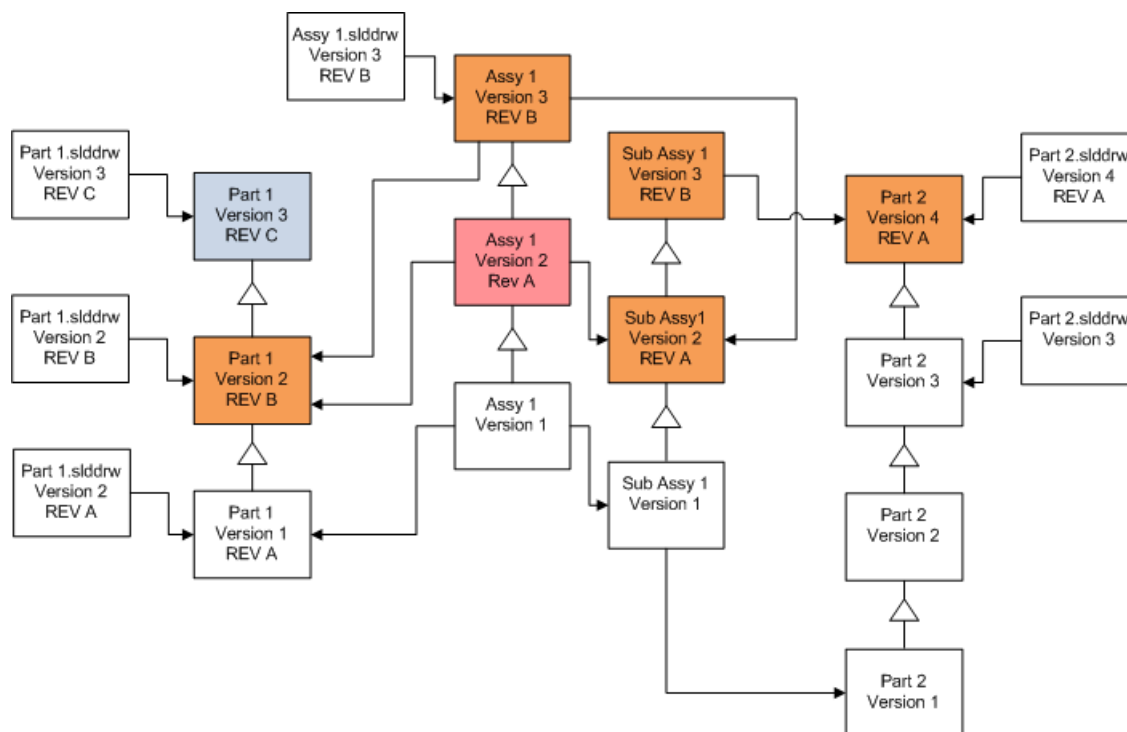
画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of *.sldprt type)	
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上 書き	上書き - 最新バージョン: - リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



デフォルトで、部品図面はアップグレードされません。しかし、図面が部品を親として持つので、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品を参照する図面をアップグレードするために選択させます。

リビジョンタグを持つアセンブリに上書き(Overwriting Assemblies with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of *.sldasm type)	
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上 書き	上書き - 最新バージョン: - リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)

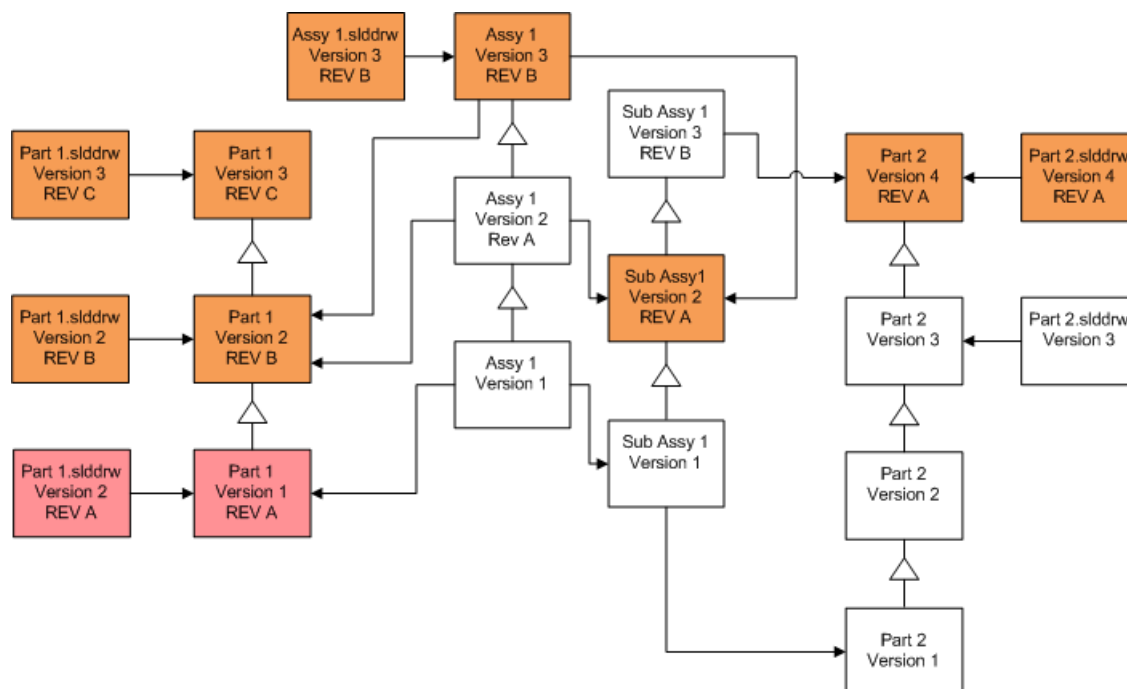


参照されたバージョンストリームで、ファイルバージョンアップグレードツールは、青い ボックスによって表示されるように、同様に最新の部品をアップグレードします。

デフォルトで、部品とアセンブリ図面はアップグレードされません。しかし、図面が部品とアセンブリを親として持つので、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品とアセンブリを参照する図面をアップグレードするために選択させます。

リビジョンタグを持つ図面に上書き(Overwriting Drawings with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of *.slddrw type)	
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上書き	- 最新バージョン: - リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



トライアル ファイル アップグレードの実行 (Performing a Trial File Upgrade)

生産で使用するボルトの SOLIDWORKS ファイルをアップグレードする前に、ボルトのコピーでアップグレードを実行し、問題が発生しないことを確認してください。ボルトのコピーの作成にサポートが必要な場合は、お客様の代理店までご連絡ください。

1. ファイル ボルトの完全なバックアップを別のサーバーに復元します。
2. 次のいずれかを実行して、ファイルバージョン アップグレード ユーティリティを起動します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > ファイルバージョン アップグレード (File Version Upgrade)** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**ファイルバージョン アップグレード (File Version Upgrade)** をクリックします。
3. アップグレード ウィザードの指示に従って処理を進めてください。
4. アップグレードが成功したかどうか確認してください。
アップグレード後 (*After Upgrading*) を参照してください。

アップグレードユーティリティの実行 (Running the Upgrade Utility)

アップグレード ユーティリティを実行するには：

1. 次のいずれかを実行して、ファイルバージョン アップグレード ユーティリティを起動します：
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > ファイルバージョン アップグレード (File Version Upgrade)** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**ファイルバージョン アップグレード (File Version Upgrade)** をクリックします。
2. ようこそ 画面で次のいずれかを実行します：
 - アップグレードを設定するには、**新しいアップグレードプロセスを開始(マスターワークステーション)** (Initiate a new upgrade process (Master Workstation)) をクリックします。
 - 更新のために作成された作業インストラクションファイルを実行するために **アップグレードプロセスへ参加 (スレーブワークステーション)** (Participate in an upgrade process (Slave Workstation)) をクリックします。
 - 中断されてしまったアップグレードを再試行するには、**中断したアップグレードプロセスを再起動(マスター、スレーブワークステーション)** (Restart an interrupted upgrade process (Master and Slave Workstation)) をクリックします。
3. アップグレード ウィザードの指示に従って処理を進めてください。

作業インストラクション ファイルの作成と使用 (Creating and Using Work Instruction Files)

作業インストラクション ファイルを作成することにより、アップグレード時間を減らすためにアップグレード ツールを同時にいくつかのワークステーション上で実行することができます。

マスター ワークステーションになる、アップグレードツールを実行する最初のワークステーションで作業インストラクション ファイルを作成します。

作業インストラクション ファイルを作成し使用するには：

1. 共有フォルダを作成し、アップグレード 読み取り／書き込みアクセスに参加させる各ワークステーションを指定します。

2. 次のいずれかを実行して、ファイル バージョン アップグレード ユーティリティを起動します:
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > ファイル バージョン アップグレード (File Version Upgrade)** を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**ファイル バージョン アップグレード (File Version Upgrade)** をクリックします。
3. ようこそ 画面で、**新しいアップグレード プロセスを開始 (マスターワークステーション)** を選択し、**次へ** をクリックします。
4. ウィザード画面を完了してください。
5. アップグレード設定 画面で:
 - a) **アップグレード設定** の下で、**アップグレード作業を複数の作業インストラクション ファイルに分割** を選択します。
 - b) 作成する作業インストラクションファイルの数を指定します。
 - c) **作業インストラクション ファイルの共有位置**(Shared location for work instruction files)には、ステップ 1 で作成した共有フォルダの名前を入力するか、あるいはフォルダにナビゲートするために参照ボタンをクリックしてください。

このフォルダ名は UNC フォーマット である必要があります。
 - d) **次へ (Next</Z2>)** をクリックします。
6. ファイルのアップグレードの準備完了 画面で次のいずれかを実行します:
 - **すぐにアップグレードするには はい (Yes)** をクリックします。
完了メッセージが表示されたら、**OK**をクリックします。
 - アップグレード ユーティリティを終了し、後で作業インストラクション ファイルを実行するには**いいえ (No)** をクリックします。
7. ステップ 6 で**いいえ(No)**を選択した場合、作業インストラクションファイルを使ってアップグレードを行なうために再びファイル バージョン アップグレードツールを実行してください。
8. ようこそ 画面で、**アップグレード プロセスへ参加 (スレーブ ワークステーション)** を選択します。
9. 作業インストラクションファイルを選択 画面で:
 - a) 作業インストラクション ファイルの位置を参照してください。
 - b) 処理する作業インストラクション ファイルを選択してください。
 - c) **次へ (Next</Z2>)** をクリックします。
作業インストラクションファイルの概要 はアップグレードのために指定された設定の読み取り専用の概要を表示します。
 - d) **次へ (Next</Z2>)** をクリックします。

10. ファイルのアップグレードの準備完了 画面で:
 - a) **ファイルを表示** (View Files) をクリックしてアップグレードするファイルのリストを確認します。
 - b) すぐにファイルをアップグレードするには **はい** (Yes) をクリックします。
 - c) 完了メッセージが表示されたら、**OK**をクリックします。

中断されたアップグレードを完成する (Completing an Interrupted Upgrade)

ネットワーク接続が失われた、または停電があった場合など、予期せぬアップグレードの中断が起こる場合があります。

中断されたアップグレードを完成するには：

1. エラーメッセージの**再試行** (Retry) をクリックします。
2. 変換が正しく完了していないことを示すメッセージでは**OK**をクリックします。
3. **終了** (Exit) をクリックします。
4. 中断を引き起こした問題を解決します。
たとえば、ネットワークの復旧やコンピュータの再起動を行います。
5. アップグレードユーティリティを再度実行します。
6. ようこそ (Welcome) 画面で、**中断したアップグレードプロセスを再起動** (マスター、スレーブワークステーション) を選択します。
7. 中断した移行を継続 (Continue Interrupted Migration) 画面で、**次へ** (Next) をクリックします。
8. 作業インストラクション ファイルの概要 (Work Instruction File Summary) 画面で、**次へ** (Next) をクリックします。
9. ファイルのアップグレードの準備完了 (Ready to Upgrade Files) の画面で、**完了** (Finish) をクリックします。

アップグレード後 (After Upgrading)

アップグレードが完了したら以下を行います：

- アップグレードログファイルを確認する。
- 自動的にツールでアップグレードされなかったファイルを手動でアップグレードする。

手作業のアップグレードは新しいバージョンを作成します。もし既存のバージョンを上書き (Overwrite existing versions) を使ってアップグレードした場合、手作業のアップグレードは参照構造を無効にします。

- または、**最新バージョンを取得** (Get Latest Version) を使用して他のワークステーションで変換されたファイルのローカル コピーを作成します。

- 変換が成功したことを確認するには、変換されたファイルのサブセットを SOLIDWORKS で開きます。
- もしファイルの既存のバージョンに上書きするために選択した場合、アップグレードが成功していたことを確認した後で、バックアップ・ファイルをアーカイブサーバーから削除してください。

アップグレードログのファイル名フォーマット (File Name Formats for Upgrade Logs)

アップグレードログでのファイル名は次のフォーマットになります：

- アップグレードされたファイル

アップグレード ユーティリティ <id>Batch<n>.log

ここで、

- <id> は一意の英数字文字列です
- <n> はログが作成されたバッチファイルの番号です

例：Upgrade Utility 471F2FDS Batch 4.log

- アップグレードできなかったファイル

アップグレード ユーティリティ <id> Batch <n>.logExcluded.log

例：Upgrade Utility 471F2FDS Batch 4.logExcluded.log

バックアップファイルの管理(Managing Backup Files)

アップグレードするとき、ファイルの既存のバージョンに上書きすることを選ぶ場合、アップグレードツールはそれぞれの上書きされたファイルのためにバックアップファイルを作成します。

これらのバックアップファイルはアップグレードの後で残ります。アップグレードが成功したことを確認後、それらを削除することができます。

バックアップファイルの作成 (Backup File Creation)

バックアップ オプションを無効にすることはできませんので、アップグレードを開始する前にアーカイブ サーバー上に十分なディスク領域があることを確認してください。

ファイルのアップグレードの準備完了 (Ready to Upgrade Files) 画面では、必要なディスク領域の大きさの予測が表示されます

上書きされる各ファイルに対して：

1. アップグレードツールはファイルのオリジナルバージョンをアーカイブフォルダからアップグレードの作業インストラクションファイルを実行しているクライアントに取得します。

2. ツールはファイルを SOLIDWORKS で開き、アップグレードし、バッチプロセス終了時にアーカイブ フォルダに返送します。
3. バージョンが置き換えられる前に、アーカイブ内のオリジナルバージョンは次のフォーマットで名前変更されます：

```
bak_counter_version.extension
```

ここで、

- `bak` はすべてのバックアップファイルのプレフィックスです。
 - `counter` は前のアップグレードで同じ名前のバックアップファイルが存在した場合の一意的カウンタです。
 - `version` は置き換え対象のファイルバージョンの16進数です。
 - `extension` はファイル拡張子です。
4. アップグレード ツールはファイルのアップグレードされたバージョンを、元のファイル名でアーカイブに保存します。

誤ってアップグレードしたバージョンをバックアップから復元 (Restoring an Incorrectly Upgraded Version from a Backup)

ファイルのアップグレードしたバージョンが正しくない場合、バックアップファイルを使って元のコンテンツを復元することができます。

1. ローカル ファイルボルト ビューで、見つけるべきファイルの名前を確認します。
2. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
3. **データベース** を展開し、復元したいファイルを含むボルトを選択します。
4. **新しいクエリ** をクリックします。
5. 右側のパネルで、クエリを次のように入力します：

```
select * from documents where filename like 'filename.ext'
```

例えば：

```
select * from documents where filename like 'speaker_frame.sldprt'
```

6. **実行** をクリックします。
ファイルのDocumentIDを記録します。これは結果 (Results) タブにリストされています。
7. SQL Server Management Studioを終了します。
8. 計算機を使ってDocumentIDを16進数に変換します。
9. エクスプローラ ウィンドウで `install_dir\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Data\vault_name` に移動します。
10. 16進数の最後の桁に一致するボルト アーカイブを展開します。
たとえば、16進数が3Bであれば、**B**というラベルのフォルダを展開します。
11. 16進数に合ったフォルダを展開してください。

12. 復元したいファイルのバージョンを変更または削除します。
たとえば、00000002.sldprt を 00000002.backup に変更します。
13. 適切な bak_ ファイルを元のファイル名に名前変更します。
たとえば、bak_0_00000002.sldprt を 00000002.sldprt に変更します。
14. SQL Server Management Studioを終了します。

13

その他の設定 (Additional Configuration)

この章では以下の項目を含みます：

- **SQLトランザクション ログ サイズの管理 (Managing the SQL Transaction Log Size)**
- **SOLIDWORKS PDM を IP アドレスのみを使用して通信するように設定する**
- **サーバー コンポーネントを別のシステムに移動 (Moving Server Components to Another System)**

SQLトランザクション ログ サイズの管理 (Managing the SQL Transaction Log Size)

各SQLデータベースには1つのデータベース ファイル (.mdf) と少なくとも1つのトランザクション ログファイル (.ldf) が含まれています。データベース ファイルはデータベースに追加される物理的ファイルを格納し、トランザクション ログはデータベースに対して行われた変更を記録します。トランザクション ログはSQLサーバーによりデータベース整合性の維持に使用されます（特に復元時）。

デフォルトで、SQLデータベースの復元手法は完全復元モデルに設定されています。つまり、データベースに対するあらゆる変更が記録されます。ディスク領域が無くなるまでトランザクション ログが大きくなり、SQLサーバーのパフォーマンスが低下する場合があります。

特定の時間まで正確に復元するには完全復元モデルが推奨されますが、毎日データベース バックアップを行っており、トランザクション ログが膨大になってSQLのパフォーマンスが低下するのを避けたい場合には、単純復元モデルに変更することをお勧めします。

単純復元モデルに変更した後、大きなトランザクション ログのサイズを削減するには、トランザクション ログの縮小を行ってください。

復元モデルの変更についての詳細は、オンラインのSQL Serverマニュアルおよび次の技術情報を参照してください：

<http://support.microsoft.com/?kbid=873235>

単純復元モデルに変更 (Changing to the Simple Recovery Model)

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
2. 左側パネルで**データベース** (Databases) フォルダを展開し、データベース名を右クリックして**プロパティ** (Properties) を選択します。
3. データベースのプロパティ ダイアログ ボックスの左側パネルで、**オプション** を選択します。
4. **復旧モデル** リストから、**単純** を選択して **OK** をクリックします。
5. Microsoft SQL Server Management Studio を閉じます。

トランザクション ログの縮小可 (Shrinking the Transaction Log)

1. データベース名を右クリックし、**タスク** (Tasks) > **圧縮** (Shrink) > **ファイル** (Files) を選択します。
2. ファイルの圧縮 (Shrink File) ダイアログ ボックスの**ファイルの種類** (File type) リストから**ログ** (Log) を選択します。
3. **OK** をクリックします。

SOLIDWORKS PDM を IP アドレスのみを使用して通信するように設定する

デフォルトで、SOLIDWORKS PDM 環境を設定するときに、クライアントはシステム名を使ってサーバーと通信します。DNS ルックアップが不安定であるか、ネットワーク設定が十分でない場合、SOLIDWORKS PDM が IP 番号のみを使って通信するよう設定することもできます。

このセットアップには次が必要です：

1. アーカイブ サーバーの更新
2. SQLサーバーの更新
3. SOLIDWORKS PDM クライアントの更新

アーカイブサーバーに接続する際、レジストリを手動で更新する代わりに、アーカイブサーバーのIPアドレスを使ってファイルボルト ビューを削除し、再アタッチすることもできます。

アーカイブ サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート (Updating the Archive Server to Communicate Using IP Addresses)

1. アーカイブ サーバーを実行しているシステムでWindowsの**スタート (Start)** メニューから、**ファイル名を指定して実行 (Run)** > **regedit**をクリックしてレジストリを開きます。
2. アーカイブ サーバーのキーを探します：
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer
3. 右側のパネルで、右クリックして**新規 (New)** > **文字列値(String value)**を選択し、文字列値の名前をServerNameにします。
4. **ServerName**をダブルクリックします。
5. 文字列の編集 (Edit string) ダイアログ ボックスの**値のデータ (Value data)** フィールドに、アーカイブ サーバーのIPアドレスを入力し、**OK**をクリックします。
6. ファイルボルトのキーを探します：
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\vaultname
7. **Server**をダブルクリックして**値 (Value)** のデータフィールドにボルト データベースをホストしているSQLサーバーのIPアドレスを入力し**OK**をクリックします。
8. アーカイブ サーバー サービスを再起動します。

SQL サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート (Updating the SQL Server to Communicate Using IP Addresses)

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
2. 左側パネルで**データベース (Databases)** をクリックしてファイルボルト データベースを展開し、**テーブル (Tables)** を選択します。
3. **dbo.ArchiveServers** を右クリックし、**テーブルを開く** を選択します。
4. **ArchiveServerName** のエントリを、ボルトをホストしているアーカイブ サーバーの IP アドレスに変更します。
5. **dbo.SystemInfo** を右クリックし、**テーブルを開く** を選択します。
6. **ArchiveServerName** のエントリを、ボルトをホストしているアーカイブ サーバーの IP アドレスに変更します。
7. SQL Server Management Studioを終了します。

SOLIDWORKS PDM クライアントを IP アドレスを使って通信するようにアップデート

1. 開始した場合、タスクバーの右にある SOLIDWORKS PDM アイコン  をクリックして、終了 (Exit) を選択し、SOLIDWORKS PDM を終了します。 アドミニストレーション ツールが実行中でないことも確認してください。
2. アーカイブ サーバーを実行しているシステムでWindowsのスタート (Start) メニューから、ファイル名を指定して実行 (Run) > **regedit** をクリックしてレジストリを開きます。
3. ファイルボルト ビューのキーを探します：
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\Databases\vaultname
4. **DbServer**の値をボルト データベースをホストしているSQLサーバーのIPアドレスに更新します。
5. **ServerLoc**の値をボルト アーカイブをホストしているアーカイブ サーバーのIPアドレスに更新します。
6. クライアントに対してアドミニストレーション ツールが使用されている場合には、以下のキーを削除します。
HKEY_CURRENT_USER\Software\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ConisioAdmin

このキーはアドミニストレーション ツールを起動すると再作成されます。

IP アドレスを使った通信の検証 (Verifying IP Address Communication)

1. すべてのサーバーとクライアントが更新されたら、以下ができることを検証します：
 - ファイルボルトにログインする。
 - 新しいファイルを追加する。
 - 既存のファイルを取得する。
2. ボルトが複製されている場合、複製設定ダイアログでIPアドレスを使用していることを確認します。
3. 新しいアドレスと接続して問題が発生する場合は：
 - エラーがないかクライアントとアーカイブサーバー ログをチェックしてください。
 - 指定されたIPアドレスを使ってクライアントからサーバーにpingできるか確認してください。

サーバー コンポーネントを別のシステムに移動 (Moving Server Components to Another System)

SOLIDWORKS PDM サーバーのコンポーネントをあるシステムから別のシステムに移動する場合、または更新すべきデータベースとレジストリ項目を確認するためにサーバー システムの名前を変える場合に、これらの手順を使用します。

SQL Server Express が含まれているマシン上で、SOLIDWORKS PDM Standard サーバーのコンポーネントを移動するようにしてください。

これらの手順はデータベースとアーカイブ サーバーの両方を移動する方法を説明したものです。1 つだけを移動する場合には、摘要されるそれらのインストラクションのみに従ってください。

開始前に、ユーザーにすべての SOLIDWORKS PDM ボルトを終了するように伝えます。移行中、ユーザーはオフラインで作業することができます。クライアント レジストリ キーのアップデート後、ユーザーはオフライン作業を新しいボルトの場所にチェックインできます。

ファイルを新しいサーバーにコピー (Copying Files to the New Server)

1. 古いSQLサーバーで、ファイルボルト データベースと**ConisioMasterDb**をバックアップします。
詳細は、ファイルボルト データベースのバックアップ (*Backing Up the File Vault Database*) を参照してください。
2. バックアップ ファイルを新しいサーバーにコピーします。
3. 次のいずれかを行って、SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows のスタート メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション**を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、アプリ画面の **SOLIDWORKS PDM** で、**アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。

4. アーカイブ サーバー設定をバックアップするには：
 - a) **ツール (Tools) > バックアップ設定 (Backup settings)** を選択します。
詳細は、アーカイブ サーバー設定のバックアップ (*Backing Up the Archive Server Settings*) を参照してください。
 - b) パスワードをクリアあるいは設定し、**バックアップを開始** (Launch backup) をクリックします。
 - c) SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを閉じます。
 - d) バックアップ ファイル (backup.dat) を新しいサーバーにコピーします。
5. ファイルボルト アーカイブ フォルダ全体を古いサーバーから新しいサーバーに同じパスでコピーします。

アーカイブの場所がわからない場合、次のレジストリ キーを確認してください：

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\vaultname\ArchiveTable

移動した SQL ファイルボルト データベースの設定 (Configuring the Moved SQL File Vault Database)

1. 新しいサーバーに、SQLサーバーをインストールします。
詳細は、*SQL Server のインストールと設定 (Installing and Configuring SQL Server)* を参照してください。
2. 照合順序の設定は古いサーバーと同じにしてください。
 - a) Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
 - b) サーバーを右クリックし、**プロパティ** (Properties) を選択します。
 - c) サーバーのプロパティ ダイアログ ボックスの右側パネルで古いサーバーの **サーバー照合順序** を確認してください。
 - d) SQLインストールの際に**カスタム** (Custom) を選択して同じ照合順序を設定します。
3. バックアップされたデータベースを同じ名前で復元します。

古いSQLサーバーのサービスを停止する、あるいは古いデータベースをオフラインにすることにより同じボルト データベースのサーバーが2つアクティブにならないようにします。

4. 復元されたファイルボルト データベースの**ArchiveServers**および**SystemInfo**テーブルを新しいアーカイブ サーバー名で更新します。

複製環境では、**ArchiveServers**テーブルには各複製サーバーが含まれます。移動したサーバーのエントリのみを更新するようにしてください。**VaultName**エントリは変更しません。

5. 移動されたファイルボルト データベースのインデックス作成を許可するには、リンクされたサーバー エントリを作成します。

リンクされたサーバー エントリを作成する必要があるのは、Windows 7 または Windows Server 2008 R2 で Microsoft インデックス サービスを使用する場合のみです。

- a) Microsoft SQL Server Management Studio を開き、**接続** をクリックします。
- b) 移動したファイルボルト データベースを右クリックして、**新しいクエリ** を選択します。
- c) クエリウィンドウに次のコマンドを入力し、**Execute** (F5) を押してクエリを実行します。

```
Exec Sys_IndexServerLink 1
```

古いサーバーでインデックスが既に設定されている場合はインデックス カタログを削除し、アドミニストレーションツールの**インデックス ノード**を使用して新しいサーバーでインデックス カタログを再作成します。

6. SQL Server Management Studioを終了します。

SolidNetWork License Manager の移動

ライセンス マネージャー ソフトウェアを別のサーバーに移動する必要がある場合は、アクティブなライセンスを、Dassault Systèmes SOLIDWORKS Corporation のライセンス キー サーバーに転送する必要があります。

SolidNetWork License Manager ソフトウェアを移動するには:

1. アクティブなライセンスをライセンス キー サーバーに転送します。

詳細は、[SolidNetWorkライセンス トランスファー \(Transferring a SolidNetWork License\)](#) (86ページ) を参照してください。

2. 新しいサーバーに SolidNetWork License Manager をインストールします。

3. ライセンスを再度アクティブにします。

詳細は、[SolidNetWorkライセンスのインストールと設定 \(Installing and Configuring SolidNetWork Licensing\)](#) (81ページ) を参照してください。

SOLIDWORKS PDM データベース サーバーの移行

SOLIDWORKS PDM データベースを新しいシステムに移行する場合は、データベース サーバー搭載部品を移行または再インストールする必要があります。

データベース サーバー コンポーネントを移行または再インストールすることで、データベース サーバーは通知、ローカル ビュー更新、複製スケジュール最新情報、インデックス サーバー変更などの更新情報を SOLIDWORKS PDM データベースから受信できます。

SOLIDWORKS PDM データベース サーバーを移行するには:

1. 古いサーバーから SOLIDWORKS PDM データベース サーバーをアンインストールします。
2. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーを新しいサーバーにインストールします。

3. ファイル ボルト データベースをホストする SQL サーバーを指定するよう求められたら、ボルト データベースの移行先 SQL サーバーの名前を指定します。
4. メール サービス構成を検証するには:
 - a) 新しいサーバーで**スタート (Start)** メニューを展開し、**プログラムとファイルの検索 (Search programs and files field)** フィールドに **regedit** と入力します。
 - b) **プログラム (Programs)** の下で **regedit.exe** を右クリックし、**管理者として実行 (Run as administrator)** をクリックします。
 - c) レジストリ エディタで **HKEY_LOCAL_MACHINE > SOFTWARE > SOLIDWORKS > Applications > PDMWorksEnterprise > MailService** を展開します。
 - d) **Server** の値を確認します。
値は次のとおりです。
 - SQL サーバーと同じシステムに SOLIDWORKS PDM データベース サーバーがインストールされており、データベースがデフォルト SQL インスタンスで稼働している場合は、空白です。
 - SQL サーバーが異なるシステム上にある場合、または指定された SQL インスタンスを使用している場合は、SQL サーバーまたはインスタンスの名前です。

移動したアーカイブ サーバーの設定 (Configuring the Moved Archive Server)

1. アーカイブ サーバーを新しいサーバーにインストールします。古いサーバーで使ったデフォルト設定を覚えていれば、それを使用します。
詳細については、*SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール*を参照してください。
2. 次のいずれかを行って、SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 7 と、Windows Server 2012 よりも前の Windows Server システムでは、Windows の**スタート** メニューから、**すべてのプログラム > SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション**を選択します。
 - Windows 8.1 および Windows Server 2012 以降では、**アプリ画面の SOLIDWORKS PDM** で、**アーカイブ サーバー コンフィギュレーション** をクリックします。
3. **ツール (Tools) > バックアップ設定 (Backup settings)** を選択します。
4. バックアップ設定 ダイアログ ボックスで、**バックアップをロード** をクリックします。
古いアーカイブ サーバーの設定がインポートされます。
5. アーカイブ サーバーで Windows の**スタート (Start)** メニューから、**ファイル名を指定して実行 (Run) > regedit**をクリックしてレジストリを開きます。

- 古いサーバーとは異なる可能性のある以下のキーを確認し、更新します。

- **HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Computers\local\Archives**

既定値がファイル ボルト アーカイブが格納されている正しいアーカイブ フォルダ（親）（ファイル ボルト アーカイブ フォルダのコピー先のパス）を指していることを確認します。たとえば、次を入力します：

C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Data

SLDIM 経由でプロダクトをインストールすると、デフォルト パスは C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM になります。

- **HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\vaultname**

Server 値が更新されており、SQL Server 名と **SQLDbName** がリストアされたファイルボルト データベース名と一致することを確認してください。 **DbName** エントリは変更しません。

- **HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\vaultname\ArchiveTable**

すべてのパスが（古いサーバーから）ファイルをコピーした先のファイルボルト アーカイブ場所を指していることを確認してください。

- 古いアーカイブ サーバーの実行を停止します。

できれば古いサーバーをネットワークから切断し、すべてのクライアントが更新されるまで利用できないようにしてください（あるいはアーカイブ サーバーとSQLサーバー サービスを停止します）。

クライアント レジストリ キーの更新 (Updating Client Registry Keys)

- 各クライアントで、以下のレジストリ キーを更新します：

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\Databases\vaultname

DbServer（データベース サーバー）と**ServerLoc**（アーカイブ サーバー）を新しいサーバー名で更新します。

64-bit クライアントでは、**DbServer** と **ServerLoc** をこのレジストリ キーでアップデートします。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\SOLIDWORKS Applications\PDMWorks Enterprise\Databases\vaultname

2. 各クライアントで、以下のレジストリ キーを削除します：

HKEY_CURRENT_USER\Software\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ConisioAdmin

複製設定の更新 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

複製環境でアーカイブ サーバー コンポーネントを移動する場合は、複製設定をアップデートし、新しいアーカイブ サーバー名を反映させます。

1. アップデートされたクライアントから、アドミニストレーション ツールを開き、ボルトにログインします。
2. **複製設定** (Replication Settings) を右クリックし、**開く** (Open) をクリックします。
3. 複製設定 (Replication Settings) ダイアログ ボックスも**接続** (Connections) で最初の行を選択します。
4. **選択された接続** (Selected connection) の**IPアドレス/DNS名** (IP address or DNS name) に新しい IP アドレスか移動されたアーカイブ サーバー名を入力します。
5. ファイル ボルトを複製する各アーカイブ サーバーでアーカイブ サーバー サービスを再起動します。

サーバー移動後の検証 (Verifying the Server Move)

1. **Admin** ユーザーとしてログインし、ファイル ボルト リストを表示します。
2. テキスト ファイルを追加し、チェックインし、削除してみることでよりアーカイブ サーバーの動作を確認してください。

ボルトにログインできない、またはファイルを追加、チェックアウトもしくは変更できない場合は、ファイルを新しいサーバーにコピーのステップ 5 で指定したファイル ボルト アーカイブ フォルダのパスが正しいことを確認します。

14

SOLIDWORKS Manage Professional のインストール

この章では以下の項目を含みます:

- **SOLIDWORKS Manage Server** コンポーネントのリスト
- **SOLIDWORKS Manage Client** のタイプとライセンス
- **SOLIDWORKS Manager** の前提条件とシステム要件
- **SOLIDWORKS Manage** 向け **SOLIDWORKS Installation Manager** の使用
- **SOLIDWORKS Manage** コンフィギュレーション ファイルの編集

SOLIDWORKS Manage Professional のアーキテクチャは、SOLIDWORKS PDM Professional に似ています。アイテムおよびプロジェクト データを管理するために Microsoft SQL Server データベースを用いる、クライアント/サーバー アーキテクチャを使用します。データベース、ファイル サーバー、Web サーバー機能の 3 つのサービスがあり、シック クライアントと Web ブラウザ クライアントの両方がサポートされます。これら 3 つのサービスは、同一のサーバー上でホストすることも、別々のサーバー上でホストすることもできます。

SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントのリスト

このテーブルには SOLIDWORKS Manage Server のコンポーネントがまとめられています。

部品	関数	インストール
SolidNetWork License Manager	SOLIDWORKS Manage と SOLIDWORKS PDM のライセンスを管理します。	SOLIDWORKS Manage と一緒にインストール可能です。または、SOLIDWORKS PDM に以前インストールされているバージョンを使用できます。
SOLIDWORKS Manage ファイル サーバー	SOLIDWORKS Manage のデータ、レポート、その他の要素を管理します。	SOLIDWORKS Manage と一緒にインストールする必要があります。

部品	関数	インストール
SOLIDWORKS Manage Web サーバー	ブラウザ ベースのクライアント からインターネット経由で SOLIDWORKS Manage 機能へのアクセスを提供します。	オプションで SOLIDWORKS Manage と一緒にインストール します。
SOLIDWORKS Manage 電子 メール サーバー	SOLIDWORKS Manage で電子 メール メッセージを送信できるようにします。	オプションで SOLIDWORKS Manage と一緒にインストール します。
SWmanage.swmc	SOLIDWORKS Manage Server および Client を SQL Server データベースと SolidNetWork License Manager に接続するための情報が含まれています。	SOLIDWORKS Manage Server のインストール時に生成されます。

SOLIDWORKS Manage Client のタイプとライセンス

SOLIDWORKS Manage Professional では 3 つのクライアント タイプを使用できます。

- Editor
- 提供者
- ビューア

SOLIDWORKS Manage のすべてのクライアントでは、SOLIDWORKS Manage Professional と SOLIDWORKS PDM Professional で保存されている情報にアクセスできますが、次の表に示すように、クライアント タイプごとに編集機能が異なります。

能力	Manage Editor	Manage Contributor	Manage Viewer
ドキュメントおよびレコードの検索、表示、印刷	X	X	X
CAD データの表示	X	X	X
CAD データの作成、編集	X		
CAD 以外のデータの表示	X	X	X

能力	Manage Editor	Manage Contributor	Manage Viewer
CAD 以外のデータの作成、編集	X	X	
プロジェクト ステータスおよびタイムシートの表示	X	X	X
プロジェクト ステータスおよびタイムシートの更新	X	X	
ダッシュボードの表示、レポートの実行とエクスポート	X	X	X
プロセスと履歴の表示	X	X	X
任意のオブジェクトでのプロセスの開始と更新	X	X	X
PDM ワークフロー アクションによるプロセスの起動	X	X	X
部品表の表示	X	X	X
部品表の作成、編集	X	X	
タスクの表示	X	X	X
タスクの割り当て、更新	X	X	
PDM ワークフローへの参加	X	X	X

SOLIDWORKS Manage Professional の各ライセンスには、同じクライアント タイプの SOLIDWORKS PDM Professional ライセンスが含まれます。たとえば、SOLIDWORKS Manage Professional Editor ライセンスには、SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor を同じマシンで使用するためのライセンスが含まれています。

SOLIDWORKS PDM Professional の既存のライセンスを SOLIDWORKS Manage ライセンスにアップグレードできます。アップグレードによって、ユーザーは、同じマシンで Manage Professional と PDM Professional の両方にアクセスできます。

SOLIDWORKS Manage Professional のライセンスを付与する前に、SOLIDWORKS PDM Professional 2018 にアップグレードする必要があります。SOLIDWORKS Manage Professional は SOLIDWORKS PDM 2017 以前のバージョンでは動作しません。

SOLIDWORKS Manage Professional Editor のライセンスを所有するユーザーは、SOLIDWORKS Manage アドインを実行して、SOLIDWORKS ソフトウェアの内部から Manage のデータに直接アクセスすることもできます。

SOLIDWORKS Manager の前提条件とシステム要件

SOLIDWORKS Manage Professional をインストールする前に:

- SOLIDWORKS Manage Server および Client をインストールする予定のマシンに対する完全な管理権限を取得してください。
- 既存の SQL Server データベースを使用する予定の場合、SQL Server インスタンスの名前と、データベースへの読み取り/書き込みアクセス権を持つ SQL Server 管理者またはデータベース所有者のアカウント ID とパスワードを取得してください。tew ユーザーは使用できません。

SOLIDWORKS Manage 用に新しい SQL Server データベースをインストールする場合は、**SQL Server のインストールと設定 (Installing and Configuring SQL Server)** (23 ページ) の指示に従ってください。

- 既にインストールされているライセンス サーバーを使用する場合は、SolidNetWork (SNL) サーバーのポート番号とサーバー名を取得します。
- SOLIDWORKS Manage Server のインストール先マシンには、Microsoft .NET Framework 4.6.2 および Visual C++ 再頒布可能ランタイム (vc_redist.x64.exe) をインストールしておく必要があります。SOLIDWORKS Installation Manager を使用して SOLIDWORKS Manage をインストールする場合、これらのファイルは自動的にインストールされます。
- Microsoft Internet Information Services (IIS) をインストールして構成します。手順は、**SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設定** (245 ページ) で参照できます。

SOLIDWORKS Manage Professional のシステム要件は SOLIDWORKS PDM Professional と同じです。要件は、<http://www.solidworks.com/sw/support/pdmsystemrequirements.html> で参照できます。

SOLIDWORKS Manage 向け SOLIDWORKS Installation Manager の使用

SOLIDWORKS Manage Server のインストール

SOLIDWORKS Manage Server をインストールする際には、ファイル サーバー、Web サーバー、および電子メール サーバーを同じマシン上にインストールできます。 ファイル サーバーは必須ですが、Web サーバーと電子メール サーバーはオプションです。

SOLIDWORKS Manage Server をインストールするには:

1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
2. ようこそ (Welcome) ページで、**サーバー製品 (Server Products)** を選択し、**SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントをこのコンピュータにインストールする (Install SOLIDWORKS Manage Server components on this computer)** を選択します。

SOLIDWORKS PDM Server コンポーネントをこのコンピュータにインストールする (Install SOLIDWORKS PDM Server components on this computer) ボックスと SolidNetWork License Manager (配布ライセンス) をこのコンピュータにインストールします (Install SolidNetWork License Manager (distributed licensing) on this computer) ボックスが自動的に選択されます。 このマシンに SOLIDWORKS PDM Server または SolidNetWork License Manager をインストールしない場合は、対応するボックスを選択解除します。

3. SOLIDWORKS Manage Server のサマリー (Summary) ページで**変更 (CHANGE)** をクリックします。
 - a) インストール場所は、デフォルト パスをそのまま使用するか、**参照 (Browse)** をクリックして別のパスを指定します。
 - b) SQL サーバー (SQL Server) セクションで:
 1. 名前 (Name) については、デフォルトをそのまま使用するか、**参照 (Browse)** をクリックして新しいホスト名を指定します。
 2. データベースへの読み取り/書き込みアクセス権を持つ SQL Server 管理者またはデータベース所有者の**ログイン名 (Login Name)** とパスワードを入力します。
 3. 新しいデータベースを作成するには、**データベースの新規作成 (Create New Database)** を選択し、テンプレートを選択します。
 4. 既存のデータベースを使用するには、**既存のデータベースを使用 (Use Existing Database)** を選択し、既存のデータベースの名前を入力するか、既存のデータベースを参照します
 - c) ライセンス サーバー (License Server) セクションには、SolidNetWork (SNL) サーバーのポート番号とサーバー名を入力します。
 - d) SOLIDWORKS Manage Server が動作するためには、ファイル サーバーがインストールされている必要があります。 Web サーバーと電子メール サーバーをインストールしない場合は、それらをインストールするオプションを選択解除します。
 - e) **サマリーに戻る (Back to Summary)** をクリックします。

- サマリー (Summary) ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインストール (Install Now)** をクリックします。

SOLIDWORKS Manage Client のインストール

ここでは、SOLIDWORKS PDM クライアントと共に SOLIDWORKS Manage クライアントをインストールする手順について説明します。SOLIDWORKS PDM クライアントが既にインストールされている場合、または PDM クライアントをインストールする必要がない場合は、手順が多少異なります。

SOLIDWORKS Manage Client をインストールするには:

- SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
- ようこそ (Welcome) ページで**個人 (Individual)** を選択します。
- シリアル番号 (Serial Number) ページで**次へ (Next)** をクリックします。
- システムの警告の指示に従い**次へ (Next)** をクリックします。
- サマリー (Summary) ページの製品 (Products) の下で**変更 (Change)** をクリックします。
- 製品選択 (Product Selection) ページで**別のパッケージ/製品の選択 (Select different packages or products)** をクリックします。
- 製品選択 (Product Selection) ページで **SOLIDWORKS Manage Client** を選択します。**SOLIDWORKS PDM Client** も自動的に選択されます。**サマリーに戻る (Back to Summary)** をクリックします。
- 製品選択 (Product Selection) ページで **SOLIDWORKS PDM Client** を選択します。
- SOLIDWORKS PDM Client オプション (SOLIDWORKS PDM Client Options) ページで:
 - SOLIDWORKS PDM Professional** を選択します。
 - SOLIDWORKS Manage Client タイプに一致する PDM クライアント タイプを選択します。
 - SOLIDWORKS Manage Professional Editor のライセンスがある場合は、**SOLIDWORKS アドイン (SOLIDWORKS Add-in)** を選択すると、SOLIDWORKS ソフトウェア内の Manage データに直接アクセスできます。
 - サマリーに戻る (Back to Summary)** をクリックします。
- サマリー (Summary) ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインストール (Install Now)** をクリックします。

SOLIDWORKS Manage クライアントと SOLIDWORKS PDM クライアントは、SOLIDWORKS ソフトウェアと同じバージョン、あるいは同じサービス パックでなくても構いません。

SOLIDWORKS Manage コンフィギュレーション ファイルの編集

SOLIDWORKS Manage では、データベース サーバーとライセンス サーバーに関する情報をクライアントに提供する SWmanage.swmc というコンフィギュレーション ファイルを使用します。この

ファイルでは、ファイルに暗号化されている SQL Server ユーザー名とパスワード、およびサーバーのインストール時に入力されたライセンス サーバーの情報を保存します。

SOLIDWORKS Manage Server をインストールすると、コンフィギュレーション ファイルが自動的に作成され、SOLIDWORKS Manage Server のインストール フォルダ（通常は C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS Manage Server\Fileserver）に保存されます。すべてのユーザーに、このコンフィギュレーション ファイルへのアクセス権が必要です。このファイルを PDM ボルトに保存することはできません。

SWmanage.swmc ファイルを編集するには:

1. SOLIDWORKS Manage のインストール フォルダの下にある **Server Utilities** フォルダ（通常は C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS Manage Server\Server Utils）を参照します。次に、**SWM.configwizrd.exe** ファイルをダブルクリックします。
2. コンフィギュレーション ウィザードが表示されたら、**開く (Open)** をクリックして、Manage のコンフィギュレーション ファイル SWmanage.swmc を参照します。
3. サーバーのインストール時に入力した SQL Server の sa ユーザー名を入力します。
4. 必要に応じて、ファイルの情報を変更し、**保存 (Save)** をクリックします。
5. ファイルのパスワードを入力します。このパスワードは、以前に使用した SQL Server のパスワードと同じにすることも、別のパスワードにすることもできます。
6. 変更した .swmc ファイルをコピーし、次のサーバー コンポーネントそれぞれに保存します。
 - ファイル サーバー (Fileserver)
 - Web フォーム (Webforms)
 - 通知 (Notifications)
7. 変更した .swmc ファイルがすべての SOLIDWORKS Manage クライアントで使用できることを確認します。

15

SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設定

この章では以下の項目を含みます:

- **SOLIDWORKS Manage** への初回ログイン
- **SOLIDWORKS PDM** 用の **SOLIDWORKS Manage** アドインの使用
- **SOLIDWORKS** 用 **SOLIDWORKS Manage** アドインの使用
- **IIS** の構成

SOLIDWORKS Manage への初回ログイン

この手順では、ウィザードの各ダイアログ ボックスの詳細については説明しません。最小限の構成で PDM ボルトを SOLIDWORKS Manage に接続する方法について説明します。

SOLIDWORKS Manage に初めてログインするには:

1. Windows で、**スタート (Start) > SOLIDWORKS バージョン > SOLIDWORKS Manage バージョン**をクリックします。
コンフィギュレーション ファイルが存在しないという警告が表示されます。
2. **OK** をクリックします。
3. SOLIDWORKS Manage ダイアログ ボックスで、以下を行います。
 - a)  をクリックします。
 - b) SOLIDWORKS Manage のコンフィギュレーション ファイルである `SWmanage.swmc` を参照します。
 - c) (オプション) インターフェイスのスキームを設定するか、別のライセンス タイプを設定するには、**オプション (Options)** をクリックします。
 - d) 管理者権限を持つユーザーの**ユーザー名 (User Name)**と**パスワード (Password)**を入力します。
 - e) **OK** をクリックします。

4. SOLIDWORKS Manage ダイアログ ボックスのオプション (Options) タブで、**管理者オプション (Administration Options)** をクリックします。

システム管理 (System Administration) ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、SOLIDWORKS Manage を構成し、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールにアクセスすることができます。

5. システム管理 (System Administration) ダイアログ ボックスで、PDM ボルトに接続します:
 - a) **構造 (Structures)**  をクリックします。
 - b) **ドキュメントとレコード (Documents & Records)**  をクリックします。
 - c) **新規 PDM オブジェクト (New PDM Object)**  をクリックします。
6. SW PDM 構成 (SW PDM Configuration) ダイアログ ボックスの接続 (Connection) 画面で、**次へ (Next)** をクリックします。
7. **オブジェクト (Object)** で、次の操作を行います。
 - a) **名前 (Name)** ボックスに値の名を入力します。
任意の名前を使用できますが、通常は接続先の PDM ボルトの名前にします。
 - b) **番号付けスキーム (Numbering Scheme)** で、**単純 (Simple)** を選択します。
SOLIDWORKS Manage のすべてのオブジェクトに番号が必要です。SOLIDWORKS Manage の PDM レコードの部品番号の多くは PDM 変数に由来しますが、SOLIDWORKS Manage で**番号付けスキーム (Numbering Scheme)** を指定する必要があります。
 - c) (オプション) **データベース (Database)** で、ボルトを選択します。
SQL Server および PDM ボルト データベースが事前選択されています。SOLIDWORKS Manage では、サーバー上に存在する PDM Professional のボルトをすべて読み取ります。
 - d) **次へ (Next)** をクリックします。
8. フィールド (Fields) 画面で、**次へ (Next)** をクリックします。
9. BOM (Bill of Materials) 画面で、**次へ (Next)** をクリックします。

10. 部品番号、説明およびリビジョン マッピング (Part Number, Description and Revision mapping) 画面で、次をクリックします：

- a) (オプション) **すべて自動マップ (Auto map All)**。SOLIDWORKS Manage では、**番号 (Number)**、**説明 (Description)**、および**リビジョン (Revision)** という名前の PDM 変数を使用します。リストにある各データ カード上の変数がこれらの名前で存在している場合、テーブルの値が変更されます。
- b) (オプション) **番号 (Number)**、**説明 (Description)**、および**リビジョン (Revision)**。これらの変数のみをマッピングします。

この画面では、必要な**部品番号 (Part Number)**、**説明 (Description)**、および**リビジョン (Revision)** の各フィールドにどの PDM データ カード変数を使用するかを構成できます。SOLIDWORKS Manage のデフォルトでは、ファイル名を部品番号と説明として使用し、リビジョンには PDM バージョン番号を使用します。PDM データ カード上の変数がデフォルト名と一致しない場合は、テーブルの各アイテムの変数を設定できます。

番号 (Number) 変数を使用した自動マッピングに関しては、報告されている問題が存在します。この問題が発生した場合は、**番号 (Number)** 変数を手動で設定します。

- c) **次へ (Next)** をクリックします。

11. コンフィギュレーション オプション (Configuration Options) 画面で、次の操作を行います。

- a) **次の条件に基づいてレコードを作成 (Create records based on the following conditions)** を選択しますが、条件は入力しないでください。

SOLIDWORKS Manage は、SOLIDWORKS 部品およびアセンブリ ファイルごとに 1 つのレコードを作成するか、すべてのコンフィギュレーションのレコードを作成することができます。各コンフィギュレーション用のレコードが作成されている場合、BOM、プロセス、プロジェクトなどのアイテムでコンフィギュレーションを使用できるように、複数のコンフィギュレーションを**アクティブ (Active)** として指定することができます。**非アクティブ (Inactive)** なコンフィギュレーションは、SOLIDWORKS Manage のメイン領域には表示されず、レコードの詳細を表示する場合にのみ表示されます。

特定のコンフィギュレーションを**アクティブ (Active)** または**非アクティブ (Inactive)** として自動的に指定するには、条件を構成できます。**次の条件に基づくレコードを作成しない (Do not create records based on the following conditions)** を選択し、条件が一覧にない場合、SOLIDWORKS ファイルですべてのコンフィギュレーション用にアクティブなコンフィギュレーション レコードが作成されます。**次の条件に基づいてレコードを作成 (Create records based on the following conditions)** を選択し、条件が一覧にない場合、PDM @ コンフィギュレーションのみがアクティブとして指定されます。この初期セットアップの目的のために、**次の条件に基づいてレコードを作成 (Create records based on the following conditions)** を選択します。

- b) **次へ (Next)** をクリックします。

12. PDM プロジェクト (PDM Projects) 画面で、次の操作を行います。

- a) フォルダ構造リストで、ルート フォルダをクリックします。
- b) **任意のステータス (Any State)** を選択します。
- c) **保存**をクリックします。
- d) **次へ (Next)** をクリックします。

SOLIDWORKS Manage は、PDM ワークフローのステータスに基づいて、SOLIDWORKS PDM Professional ボルトのファイルに対してレコードを作成するタイミングを構成できます。これは、SOLIDWORKS Manage と SOLIDWORKS PDM Professional のユーザーが同じ PDM ボルトで作業するハイブリッド環境などのシナリオで便利です。PDM ファイルに対して SOLIDWORKS Manage でレコードが作成されれば、そのレコードを編集できる方法は、SOLIDWORKS Manage Client を使用する方法に限られます。SOLIDWORKS Manage のライセンスにより、ログイン済みユーザーが PDM ボルトにアクセスできます。

ユーザーが特定のトランジションを介して SOLIDWORKS PDM Professional のファイルを送信するたびに、SOLIDWORKS Manage は自動的にプロセスを作成できます。たとえば、ユーザーが要求変更 (Request Change) トランジションを使用する場合に、これによって ECR (設計変更要求) プロセスを開始することができます。この初期セットアップの目的のために、開始するプロセスは指定しないでください。

13. SW PDM - SW Manage ユーザーとグループ (SW PDM - SW Manage Users and Groups) 画面で、次の操作を行います。

- a) **管理 (Admin)** 行で、**SW Manage ユーザー (SW Manage User)** 列をクリックし、**管理システム (Admin System)** を選択します。
- b) **次へ (Next)** をクリックします。

SOLIDWORKS Manage では、SOLIDWORKS PDM Professional からユーザーとグループを読み取って作成することができます。SOLIDWORKS Manage および SOLIDWORKS PDM Professional のシステム管理者を、同じパスワードを持つ同じユーザーに設定することが重要です。他の PDM ユーザーとグループは、既に設定されている必要があります。

14. アクセス権限 (Access Rights) 画面で、組織のすべてのユーザーが**フル コントロール (Full control)**を所有しているデフォルト設定をそのまま使用し、**次へ (Next)** をクリックします。15. 添付ファイル (Attached Files) 画面で、**関連ファイル (Related Files)** および**ファイル (Files)** フォルダのみを許可するデフォルト設定をそのまま使用し、**次へ (Next)** をクリックします。

SOLIDWORKS Manage には、レコードを他のレコードや制御対象外のファイルに接続するさまざまな手段があります。関連ファイルは、レコードに添付できる制御対象外のファイルであり、レコード内部からのみ表示できます。これらのファイルは、電子メール メッセージ、画像 ファイル、レポートなどのアイテムにすることができます。参照は、SOLIDWORKS Manage の他のレコードへのリンクです。**関連ファイル (Related Files)** を整理するために、必要に応じて一連のフォルダを定義できます。

16. タブ プロパティ (Tab Properties) 画面で、次の操作を行います。
 - a) **有効化 (Enabled)** で、**プロパティ (Properties)**、**BOM**、**SWConfigurations**、**RelatedFiles**、**WhereUsed**、および **ToDo** のチェック ボックスを選択します。
SOLIDWORKS Manage には各レコードに関する情報を表示するプロパティ タブがあります。これらは、Windows エクスプローラで表示される SOLIDWORKS PDM Professional のタブに似ています。アクセス権限はすべてのユーザーに自動で割り当てられます。
 - b) (オプション) **表示名 (Display Name)** の下にある任意の行をクリックして、タブの名前を変更します。
各プロパティ タブを構成すると、**表示名 (Display Name)** を変更したり、特定のユーザーまたはグループが特定のタブを参照できるかどうかを変更したりできます。
 - c) **次へ (Next)** をクリックします。
17. 次の画面で、**次へ (Next)** をクリックします:
 - レポート
 - 特別オブジェクト (Special Objects)
 - 通知 (Notifications)
18. 電子メール (Email) 画面で、**完了 (Finish)** をクリックします。
19. データの再同期を促すプロンプトが表示されたら、**はい (Yes)** をクリックします。
20. SOLIDWORKS Manage アドミニストレーション ツール (SOLIDWORKS Manage Administration Tool) ダイアログ ボックスを閉じます。
21. (オプション) SOLIDWORKS Manage ダイアログ ボックスの左パネルで、何も無いスペースを右クリックし、**ツリーを更新 (Refresh Tree)** をクリックします。
これにより、SOLIDWORKS Manage ドキュメントとレコード (SOLIDWORKS Manage Documents & Records) 内に SOLIDWORKS PDM Professional ボルトが表示されます。

SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインの使用

Windows エクスプローラ内で SOLIDWORKS Manage の機能とデータを使用できるように、SOLIDWORKS Manage には SOLIDWORKS PDM Professional 用のアドインが用意されています。これには、選択したファイルに関連する SOLIDWORKS Manage の情報が表示される Windows エクスプローラのタブが含まれます。

SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインを使用するには:

1. SOLIDWORKS PDM Professional アドミニストレーション ツールを開きます。
2. **SOLIDWORKS Manage への初回ログイン** (245ページ) で接続したボルトにログインします。
3. **アドイン (Add-ins)** を右クリックし、ショートカット メニューから**新しいアドイン (New Add-in)** を選択します。
4. SOLIDWORKS Manage Client のインストール先 (C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS Manage Client など) に移動し、**SWM.swpdm.dll** を選択します。

5. **開く** (Open) をクリックします。
6. **OK** を 2 回クリックし、アドイン (Add-in) ダイアログ ボックスと、クライアント マシンの再起動に関するメッセージを閉じます。
7. SOLIDWORKS PDM Professional にログインしている場合は、タスクバーのアイコンを右クリックし、**終了 (Exit)** をクリックします。
8. SOLIDWORKS Manage アドインで、ボルトのローカル ビューにログインします。
そこでは SOLIDWORKS Manage タブと新しいメニュー項目を使用できます。

SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインの使用

SOLIDWORKS Manage には SOLIDWORKS ソフトウェア用のアドインがあり、SOLIDWORKS PDM アドインと併用できます。SOLIDWORKS Manage アドインには、検索機能が組み込まれているという利点があります。いずれかのアドインからもファイルのチェックアウトとチェックインが可能です。

SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインを使用するには:

1. SOLIDWORKS で **ツール (Tools) > アドイン (Add-Ins)** をクリックします。
2. **SOLIDWORKS Manage** を選択し、**OK** をクリックします。
3. SOLIDWORKS Manage にログインします。
ログインではライセンスは使用されません。
SOLIDWORKS Manage はタスク パネルで使用可能になります。

IIS の構成

Internet Information Services (IIS) を構成するには:

1. Windows で、**スタート (Start) > コントロール パネル (Control Panel)** をクリックします。
2. コントロール パネル (Control Panel) ダイアログ ボックスで、**プログラム (Programs)** をクリックします。
3. **Windows の機能の有効化または無効化 (Turn Windows features on or off)** をクリックします。

4. Windows の機能 (Windows Features) ダイアログ ボックスで:
 - a) 次の項目を展開します:
 1. インターネット インフォメーション サービス (**Internet Information Services**)
 2. **Web Management Tools**
 3. **World Wide Web**サービス (**World Wide Web Services**)
 - b) **Web 管理ツール (Web Management Tools)** で、**IIS 管理コンソール (IIS Management Console)** を選択します。
 - c) **World Wide Web**サービス (**World Wide Web Services**) で、**アプリケーション開発機能 (Application Development Features)** と次の項目を選択します:
 - **.NET Extensibility**
 - **ASP**
 - **ASP.NET**
 - **CGI**
 - **ISAPI Extensions**
 - **ISAPI Filters**
 - **Server-Side** には、以下が含まれます
 - d) **HTTP 共通機能 (Common HTTP Features)** で、次の項目を選択します:
 - 既定のドキュメント (**Default Document**)
 - ディレクトリの参照 (**Directory Browsing**)
 - **HTTPエラー (HTTP Errors)**
 - **HTTP リダイレクション (HTTP Redirection)**
 - 静的コンテンツ (**Static Content**)
 - e) **状態と診断 (Health and Diagnostics)** で、次の項目を選択します:
 - **HTTPログ (HTTP Logging)**
 - **要求監視 (Request Monitor)**
 - f) **性能機能 (Performance Features)** で、**静的なコンテンツの圧縮 (Static Content Compression)** を選択します。
 - g) **セキュリティ (Security)** で、**要求のフィルタリング (Request Filtering)** を選択します。
 - h) **OK** をクリックします。
5. コントロール パネル (Control Panel) を閉じます。

IIS ファイル サーバーの確認

SOLIDWORKS Manage Server のインストール後、Internet Information Services (IIS) ファイル サーバーが動作していることを確認する必要があります。IIS ファイル サーバーは Web サービスです。SOLIDWORKS Manage Server は **SWManage** という Web サイトを IIS に作成し、**SWMfs** と **SWMweb** という、2 つのアプリケーション プールも作成します。

IIS ファイル サーバーが動作していることを確認するには:

1. Windows のスタート (**Start**) メニューで、「**IIS**」と入力して**インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ (Internet Information Services (IIS) Manager)** を選択します。
2. **サイト (Sites)** ノードを展開し、**SWManage** ノードを展開します。
3. **SWMfs** フォルダを選択します。 **アクション (Actions)** パネルのアプリケーションの管理 (Manage Application) で、***.ポート番号を参照 (Browse *.port number)** をクリックします。

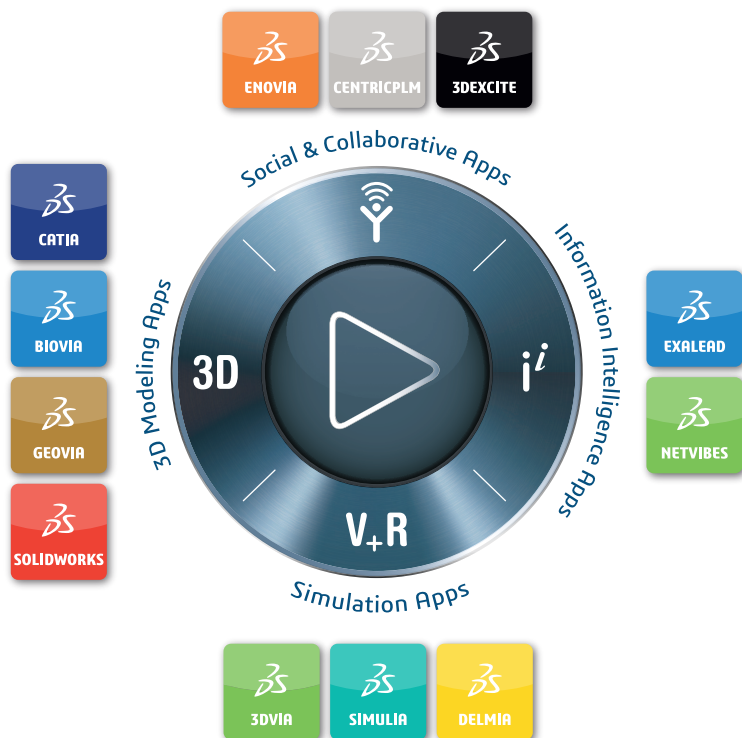
デフォルトの Web ブラウザが開きます。サーバー名、ポート番号、SWMfs (SOLIDWORKS Manage ファイル サーバー Web サイト) がアドレス バーに表示されます。

IIS のトラブルシューティング

SOLIDWORKS Manage のファイル サーバー Web サイトを参照できない場合は、いくつかのチェック項目があります。詳細については、インターネット インフォメーション サービス (IIS) に関するマイクロソフトのヘルプを参照してください。

IIS をトラブルシューティングするには:

1. **SWMfs** Web サイトを右クリックし、**アクセス許可の編集 (Edit Permissions)** をクリックします。
これにより、IIS のユーザーにはこの Web サイトに対する適切なアクセス権が割り当てられます。
2. ファイルサーバーのプロパティ (Fileserver Properties) ダイアログ ボックスのセキュリティ (Security) タブで、**編集 (Edit)** をクリックします。
3. ファイルサーバーの権限 (Permissions for Fileserver) ダイアログ ボックスで**追加 (Add)** をクリックします。
4. ユーザーまたはグループの選択 (Select Users or Groups) ダイアログ ボックスで:
 - a) **詳細設定**をクリックします。
 - b) **検索開始 (Find Now)** をクリックします。
 - c) **検索結果 (Search results)** で **IIS_USRS** および **IUSR** を選択します。
 - d) **OK** を2回クリックします。
5. ファイルサーバーの権限 (Permissions for Fileserver) ダイアログ ボックスの**許可 (Allow)** 列で、両方のグループの**変更 (Modify)** を選択し、**OK** をクリックします。
6. ファイルサーバーのプロパティ (Fileserver Properties) ダイアログ ボックスで **OK** をクリックします。



Our **3DEXPERIENCE®** platform powers our brand applications, serving 11 industries, and provides a rich portfolio of industry solution experiences.

Dassault Systèmes, the **3DEXPERIENCE®** Company, provides business and people with virtual universes to imagine sustainable innovations. Its world-leading solutions transform the way products are designed, produced, and supported. Dassault Systèmes' collaborative solutions foster social innovation, expanding possibilities for the virtual world to improve the real world. The group brings value to over 250,000 customers of all sizes in all industries in more than 140 countries. For more information, visit www.3ds.com.

Europe/Middle East/Africa

Dassault Systèmes
10, rue Marcel Dassault
CS 40501
78946 Vélizy-Villacoublay Cedex
France

Asia-Pacific

Dassault Systèmes K.K.
ThinkPark Tower
2-1-1 Osaki, Shinagawa-ku,
Tokyo 141-6020
Japan

Americas

Dassault Systèmes
175 Wyman Street
Waltham, Massachusetts
02451-1223
USA

DASSAULT SYSTEMES | The **3DEXPERIENCE®** Company